

第 1 5 期 中部山岳地域森林計画書 (中部山岳森林計画区)

長野県松本地域振興局管内 〔 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、
生坂村、山形村、朝日村、筑北村 〕

長野県北アルプス地域振興局管内 〔 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村 〕

計画期間 自 令和 8 年 4 月 1 日
 至 令和 1 8 年 3 月 3 1 日

長 野 県

目 次

I 計画の大綱

第1 中部山岳地域森林計画区の概況	1
1 自然的背景(位置、気候、地形、地質、土壌)	1
2 社会・経済的背景(人口、農業、工業・商業、交通、観光)	2
3 森林・林業の現状と課題	3
(1) 令和7年度の森林面積と蓄積(民有林+国有林)	3
(2) 民有林の森林資源の内容	3
(3) 民有林の樹種構成	4
(4) 森林の所有形態	5
(5) 林業労働	6
(6) 高性能林業機械	7
(7) 林内路網の整備状況	7
(8) 間伐	7
(9) 素材生産、製材品出荷	8
(10) 木材流通及び利用	9
(11) 地域材の利用	10
(12) 特用林産物	10
(13) 林業用苗木	10
(14) 森林病虫害による被害	10
(15) 野生鳥獣による林業被害	11
(16) 土砂災害の対策	11
(17) 保安林の配備状況	11
(18) 森林経営管理制度の推進	12
(19) その他	12
第2 前計画の実行結果の概要及びその評価	13
1 伐採立木材積	13
2 造林計画面積	14
3 林道等の開設及び拡張の数量	15
4 保安林の指定又は解除の面積	15
5 治山事業	16
第3 計画樹立に当たっての基本的な考え方	17
1 県民の暮らしを守る森林づくり	18
(1) 森林整備の推進	18
(2) 災害に強い森林づくりの推進	19
(3) 集積・集約化等による適切な森林管理の推進	20
(4) 野生鳥獣対策の推進	20
2 持続的な木材供給が可能な森林づくり	21
(1) 適正な主伐と計画的な再生林の推進	21
(2) 林業就業者の確保・育成と林業事業体の経営強化	22
(3) 林業の生産性の向上	23
(4) 県産材の安定的な供給体制の確立	24
(5) 様々な用途での県産材需要の拡大	26
3 県民が恩恵を享受できる森林づくり	27
(1) 森林の多面的利活用の推進	27

(2) 森林等に関わる多様な人材の育成	27
(3) 多様な主体による森林への関わりの推進	28

II 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域	29
------------------	----

第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項	31
------------------------	----

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的事項	31
(1) 森林の整備及び保全の目標	
(2) 森林の整備及び保全の基本方針	
(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	
2 その他必要な事項	34

第3 森林の整備に関する事項	35
----------------	----

1 森林の立木竹の伐採に関する事項(間伐に関する事項を除く。)	36
(1) 立木の伐採(主伐)の標準的な方法に関する指針	
(2) 立木の標準伐期齢に関する指針	
(3) 立木の伐採・搬出に関する指針	
(4) その他必要な事項	
2 造林に関する事項	38
(1) 人工造林に関する指針	
(2) 天然更新に関する指針	
(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針	
3 間伐及び保育に関する事項	46
(1) 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針	
(2) 保育の標準的な方法に関する指針	
(3) その他必要な事項	
4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項	55
(1) 公益的機能別施業森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針	
(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準及び当該区域における森林施業の方法に関する指針	
5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項	61
(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	
(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方	
(3) 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域(路網整備等推進区域)の基本的な考え方	
(4) 路網の規格・構造についての基本的な考え方	
(5) 林産物の搬出方法等	
6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化その他森林施業の合理化に関する事項	65
(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大及び森林施業の共同化に関する方針	
(2) 森林経営管理制度の活用に関する方針	
(3) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針	
(4) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	

- (5) 林産物の利用の促進のための施設の整備に関する方針
- (6) その他必要な事項

第4 森林の保全に関する事項……………70

1 森林の土地の保全に関する事項……………70

- (1) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区
- (2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法
- (3) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

2 保安施設に関する事項……………88

- (1) 保安林の整備に関する方針
- (2) 保安施設地区の指定に関する方針
- (3) 治山事業の実施に関する方針
- (4) その他必要な事項
- (5) 特定保安林の整備に関する事項

3 鳥獣害の防止に関する事項……………91

- (1) 鳥獣害防止森林区域の基準及び当該区域内における鳥獣害の防止に関する方針
- (2) その他必要な事項
- (3) 鳥獣害対策の方針((1)及び(2)に掲げる事項を除く)

4 森林病虫害等の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項……………93

- (1) 森林病虫害等の被害対策の方針
- (2) 林野火災の予防の方針

第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項……………95

- (1) 保健機能森林の区域の基準
- (2) その他保健機能森林の整備に関する事項
- (3) 立木の期待平均樹高

第6 計量等……………97

1 伐採立木材積……………97

2 間伐面積……………97

3 人工造林及び天然更新別の造林面積……………97

4 林道の開設及び拡張に関する計画……………98

5 保安林の整備及び治山事業に関する計画……………115

- (1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等
- (2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等
- (3) 実施すべき治山事業の数量

6 要整備森林の所在及び面積及び要整備森林について実施すべき森林施業の方法及び時期……………117

- (1) 要整備森林の所在及び面積
- (2) 要整備森林について実施すべき施業の方法及び時期

第7 保安林その他法令による制限林の施業の方法……………118

I 計画の大綱

第1 中部山岳地域森林計画区の概要

1 自然的背景

(1) 位置

本計画区は、県の北西部に位置する松本、北アルプス地域の13市町村からなり、総面積は約30万haで県総面積の22%を占めています。

〔構成市町村〕

区 分	市 町 村
松本	松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村
北アルプス	大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村

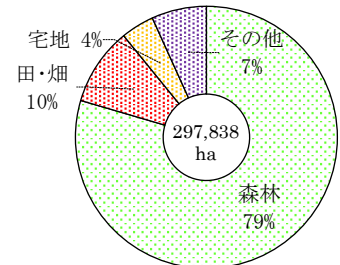
〔面積〕

区 分	総面積	森林	森林率
中部山岳	297,838 ha	234,876 ha	79%
県全域	1,356,160 ha	1,059,391 ha	78%

(注) ながの県勢要覧 令和6年版、長野県民有林の現況(令和7年版)による。



○地目別内訳



(2) 気候

松本地域から北アルプス地域の南部は中央高地式気候で、停滞前線が通過する6, 7, 9月を除いて降水量が少なく、北アルプス地域の北部は、日本海側気候の影響を受け降雪量が多くなっています。

○ 中部山岳地域森林計画内の観測地のデータ

観測地	松本	奈川	穂高	大町	白馬
平均気温 (℃)	12.2	8.5	11.8	9.7	9.6
年間降水量 (mm)	1,045.1	1,946.8	1,108.7	1,405.8	1,889.2
最深積雪 (cm)	24	観測なし	観測なし	58	100

(注) 気象庁ホームページによる。(統計期間 1991～2020年)

(3) 地形

中央に細長く続く松本盆地や白馬盆地があり、その西側には、北アルプス(飛騨山脈)の大起伏山地が、東側には聖山や美ヶ原の一部を含む台地状の高原や比較的起伏の小さな丘陵地が発達しています。

大起伏山地を水源として、南からは奈良井川、西からは梓川、北西からは高瀬川が松本盆地に集まり、合流して犀川となった後、さらに丘陵の中を北東へと流下します。松本盆地は別名松本平とも呼ばれ、安曇野や筑摩野を埋め立てる複合扇状地から構成されています。また、白馬村を源流とする姫川は北へと流下し、そのまま日本海へと注ぎます。

(4) 地質

本地域は糸魚川-静岡構造線が中央を縦断し、この断層を境に東西で大きく地質が異なります。西側の山地は主に古生代から新生代に及ぶ多種多様な深成岩類、火山岩類や各種堆積岩類などから成り、白馬岳周辺には特に複雑な地質構造が見られます。東側の山地(丘陵)は主に新生代の新第三紀層堆積岩類の分布域で、第三紀層地すべりが起きやすい地帯

です。丘陵の西縁には糸魚川－静岡構造線活断層系の一部をなす、牛伏寺断層などの活断層が分布します。また、盆地内の扇状地には未固結の沖積層・洪積層が堆積しています。

(5) 土壌

立木の育成に適した褐色森林土壌が広く分布し、山頂付近の緩斜面や山麓部には、黒色土がみられ、亜高山帯の針葉樹林の下には、ポドゾル土壌がみられます。

2 社会・経済的背景

2 (1)～(6)は、ながの県勢要覧(令和6年版)の数値によります。

(1) 人口

令和6年10月現在の人口は469,680人で県の24%を占めますが、漸減傾向が続いています。人口密度は158人/km²で、県平均の147人/km²を上回っています。

産業別就業人口割合は、第一次産業7%、第二次産業26%、第三次産業67%となっています。

○ 人口

(単位:人)

区 分	R1 (2019 年)	R6 年 (2024 年)	R1 年比
中部山岳地域	479,492	469,680	98%
長野県	2,049,653	1,989,104	97%

(2) 農業

令和2年の農家数は18,317戸で、総世帯数に対する農家率は9%となっており、県全体の平均(10.8%)程度となっています。

多様な農産物が栽培されており、特に水稻、野菜、果物、花卉の産出額が多い地域です。
(2020年農林業センサスによる。)

(3) 工業

令和3年の工業に関する製造品出荷額は1兆8,964億円で県の29%を占め、事業所数は1,025箇所、従業者数は42,122人となっています。

(令和3年経済構造実態調査による。)

(4) 商業

令和3年の商業に関する年間商品販売額は1兆5,146億円で県の28%を占め、事業所数は4,695箇所、従業者数は37,691人となっています。

(令和3年経済センサス-活動調査による。)

(5) 交通

鉄道は、中央東線が東京方面、中央西線が名古屋方面、篠ノ井線が長野方面、大糸線が大町市を經由して糸魚川方面に通じているほか、松本電鉄上高地線が松本と新島々駅を結んでいます。

道路交通は、長野自動車道が計画区を縦断しており、一般国道は国道19号線が長野市から名古屋市へ通じ、国道147号線が松本市から大町市に、大町市からは国道148号線が糸魚川市方面に通じている等、国道や主要地方道を通じて連絡道路が整備されています。

信州まつもと空港からは、札幌、神戸、福岡への便が運航しています。

(6) 観光

上高地や白馬山麓など自然を活かした観光地を始め、松本城や奈良井宿などの史跡、浅間、穂高、大町などの温泉地、美術館や立山黒部アルペンルートなどの観光資源に恵まれています。

令和5年の年間観光地利用者数は、1,653万人で県下の21%を占めています。

3 森林・林業の現状と課題

(1) 令和7年度の森林面積と蓄積（民有林＋国有林）

計画区の森林の面積は234,641ha、蓄積は35,435千m³、森林率は79%となっており、県全体の森林面積の22%を占めています。

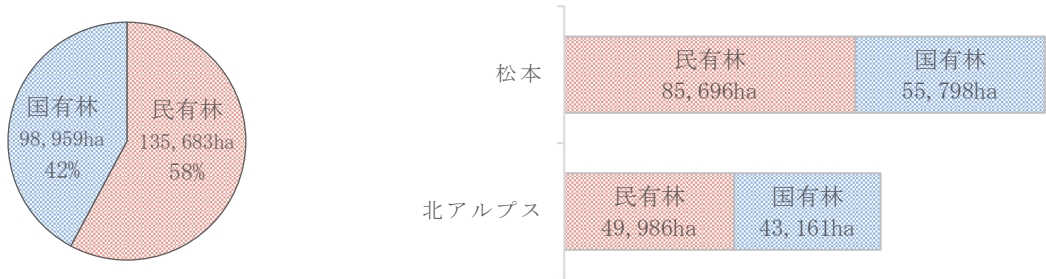
民有林と国有林の面積割合は58：42で、県全体に比べて国有林の割合がやや多くなっています。

○ 森林面積及び蓄積

流域名	面積 (ha)				蓄積 (千 m ³)		
	民有林	国有林	計	内訳	民有林	国有林	計
中部山岳地域	135,683	98,959	234,641	22%	23,381	12,054	35,435
(民国比率)	58%	42%			66%	34%	
長野県	688,105	368,028	1,056,134	100%	143,003	62,542	205,545
(民国比率)	65%	35%			70%	30%	

※四捨五入のため、合計が一致しない。国有林は、林野庁所管（官行造林含む）に限る。

○ 民有林・国有林別の面積と割合



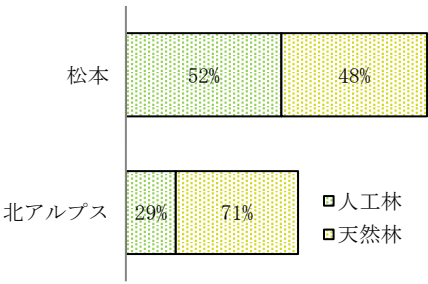
(2) 民有林の森林資源の内容

本計画区の民有林面積は131,138haで県全体の20%にあたり、人工林率は43%と県平均の50%より下回っています。特に北アルプス地域は天然林が多く、71%を占めています。

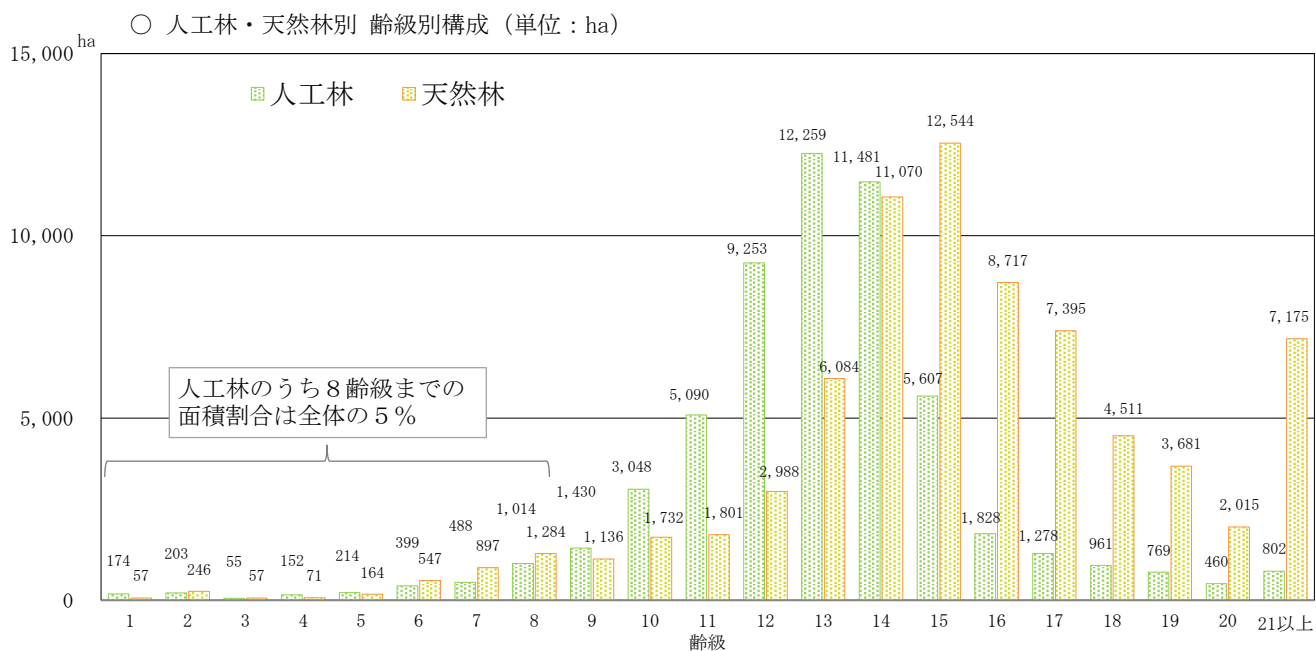
人工林は11齢級以上（51年生以上）が86%を占め、天然林は13齢級以上（61年生以上）が多く、森林資源が充実する一方で若齢林が少ない状況にあります。

○ 民有林の人工林・天然林別面積

区分	人工林 (ha)	天然林 (ha)	計	人工林率
中部山岳地域	56,965	74,173	131,138	43%
松本	43,113	40,331	83,444	52%
北アルプス	13,852	33,842	47,694	29%
長野県	334,967	333,219	668,186	50%



注）竹林、無立木地、更新困難地を除いているため(1)の森林面積と異なる。



(3) 民有林の樹種構成

本計画区の民有林の針葉樹と広葉樹の面積割合は針葉樹52%、広葉樹48%であり、県全体の59%、41%と比較すると、広葉樹の割合が高い地域となっています。

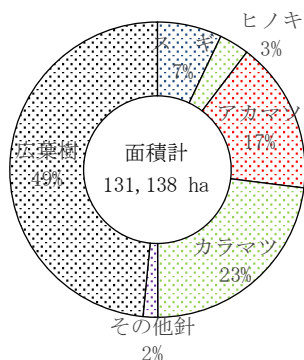
また、人工林の52%をカラマツが占め、次いで22%のアカマツとなっており、これら二つの樹種で人工林面積の74%を占めています。

○ 樹種の構成

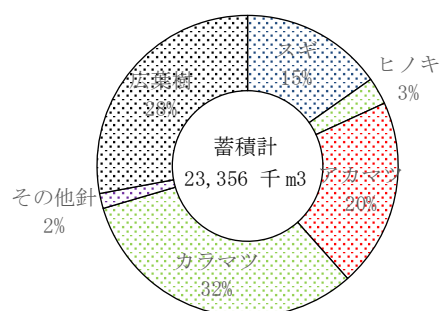
樹種	面 積 (ha)				蓄 積 (千 m3)			
	人工林	天然林	全体	比率	人工林	天然林	全体	比率
スギ	9,163	102	9,265	7%	3,532	40	3,571	15%
ヒノキ	4,302	7	4,309	3%	687	1	688	3%
アカマツ	12,352	9,373	21,725	17%	2,522	2,193	4,715	20%
カラマツ	29,683	437	30,120	23%	7,362	95	7,457	32%
その他針	806	1,302	2,108	2%	109	273	382	2%
広葉樹	659	62,952	63,611	49%	43	6,500	6,543	28%
計	56,965	74,173	131,138	100%	14,254	9,102	23,356	100%

※ 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

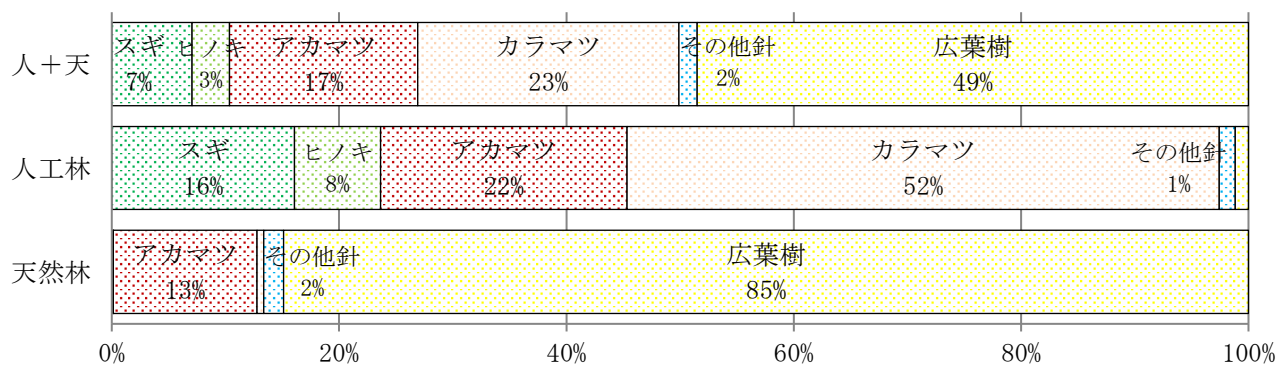
○ 計画区の樹種別面積割合



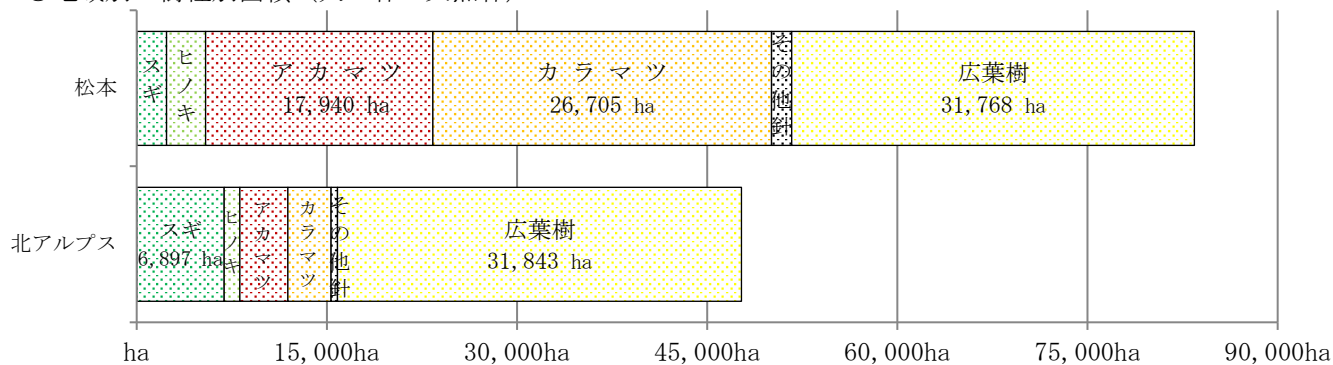
○ 計画区の樹種別蓄積割合



○ 計画区の樹種別面積内訳



○ 地域別の樹種別面積（人工林+天然林）



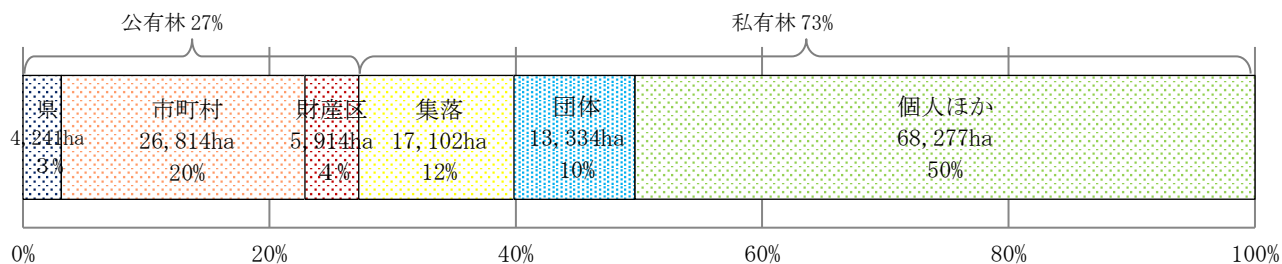
(4) 森林の所有形態

本計画区の所有形態は、公有林が27%、私有林が73%となっています。

個人有林等が50%を占め、個人有林は1戸あたり2.0haで県平均1.7haを上回っています。

- 課題**
- ・所有者や境界が不明な森林、所有者自らが管理できない森林の整備・管理
 - ・小規模な個人有林等の集約化の推進、森林経営管理制度の積極的な活用

○ 所有形態別森林割合



※ 3 (1)～(4)は、長野県民有林の現況（令和7年版）による。

(5) 林業労働

本計画区の令和6年度末現在の林業事業体数は30者、就業者数は268人で、県全体の17%を占めています。

県や市町村による就業者支援等により、本計画区の林業労働者数は、増加傾向です。事業体別の就業者は、会社が一番多く、63%を占めています。

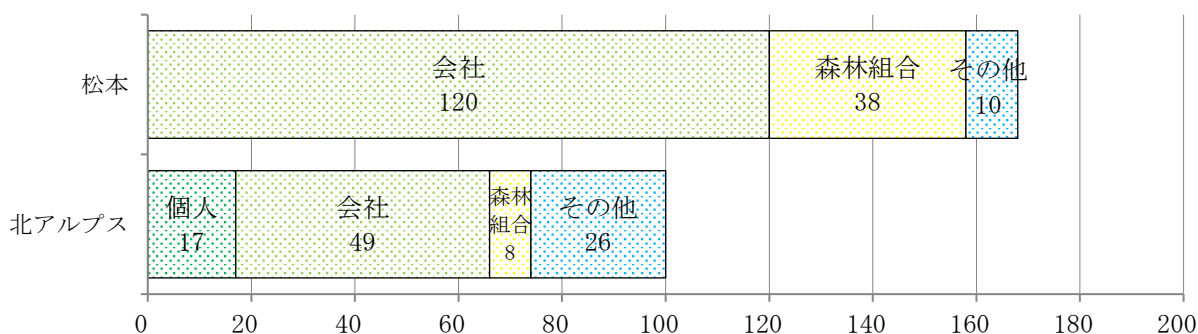
素材生産の担い手のみならず、再生林や保育作業の技能者、新規就業者の確保・定着に向けた対策を進めています。

○ 林業事業体数（者）

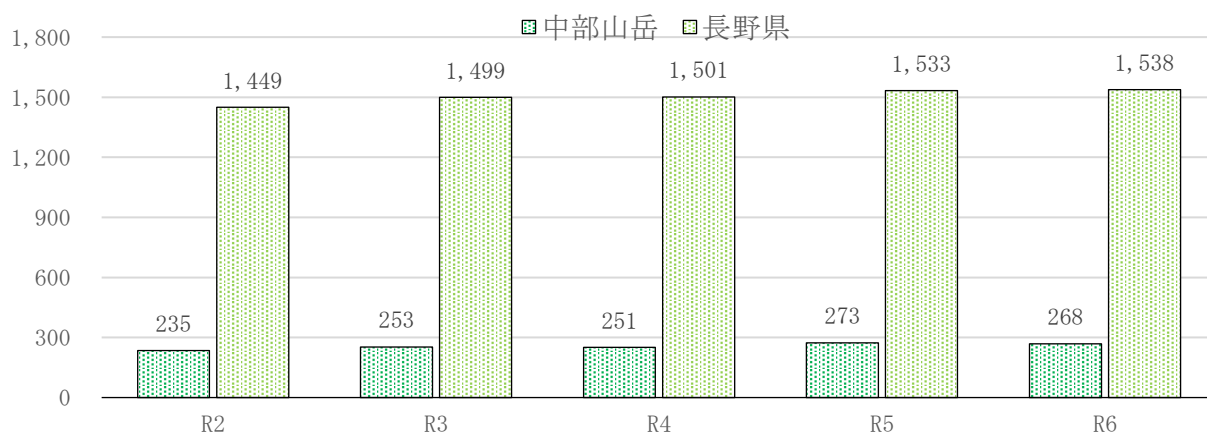
区分	松本	北アルプス
個人	0	6
会社	13	6
森林組合	1	1
その他	2	1
計	16	14

- 課題**
- ・新規林業就業者の確保、定着
 - ・林業就業者の雇用環境の改善
 - ・労働災害の防止と安全対策
 - ・多様な人材の育成と活躍
 - ・森林環境教育、林業教育の推進

○ 事業体別従事者内訳（単位：人）



○ 林業就業者の推移（単位：人）



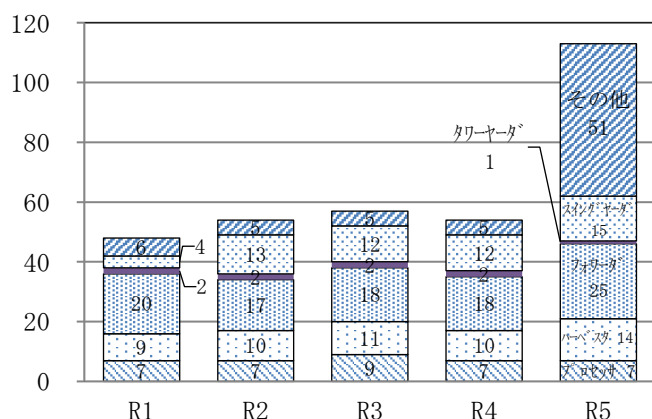
(6) 高性能林業機械

本計画区の令和5年度末現在の高性能林業機械の保有台数は113台で、県全体の16%を占めています。

令和元年度から65台増加しており、内訳はハーベスタ5台、フォワーダ5台、その他（グラップルバケット他）45台などとなっています。

- 課題**・集約化の促進（高性能林業機械の性能を最大限に発揮する事業規模での施業）
- ・路網と高性能林業機械の合理的な組み合わせによる生産性の高い作業システムの構築

○高性能林業機械保有台数の推移（単位：台）



○令和5年度機械種別の台数（単位：台）

種別	松本	北アルプス	長野県
プロセッサ	5	2	87
ハーベスタ	11	3	93
フォワーダ	18	7	199
タワーヤーダ	1	0	19
スイングヤーダ	14	1	93
その他	41	10	207
合計	90	23	698

(7) 林内路網の整備状況

本計画区の令和6年度末現在の林道、森林作業道等の林内路網延長は2,989km、林内路網密度は22.0m/haで県平均とほぼ同じとなっています。

- 課題**・合理的な路網整備と維持管理
- ・運材の効率化

○林内路網の整備状況

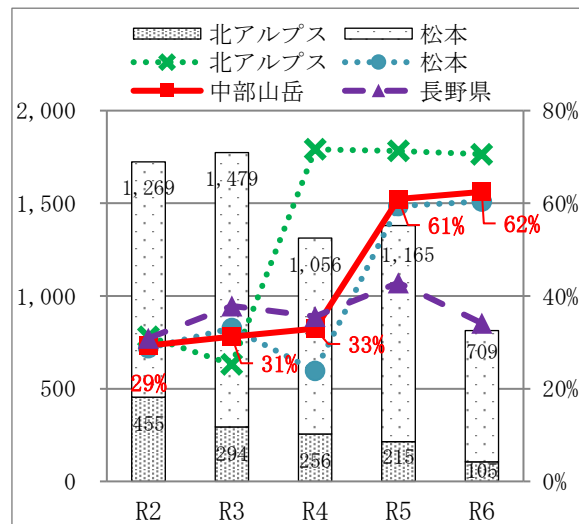
区分	令和6年度末現況		
	林道数	林内路網延長	林内路網密度
中部山岳地域	367	2,989 km	22.0 m/ha
松本	262	2,034 km	23.8 m/ha
北アルプス	105	955 km	19.1 m/ha
長野県	1,895	15,446 km	22.4 m/ha

(8) 間伐

本計画区は高齢級林分の増加に伴い、主伐や搬出間伐に移行し、間伐面積は減少傾向となり、搬出率は上昇傾向です。

- 課題**・森林経営計画の認定・継続等による施業地の集約化の推進
- ・路網整備と高性能林業機械を組み合わせた生産性の高い作業工程による収益性の強化

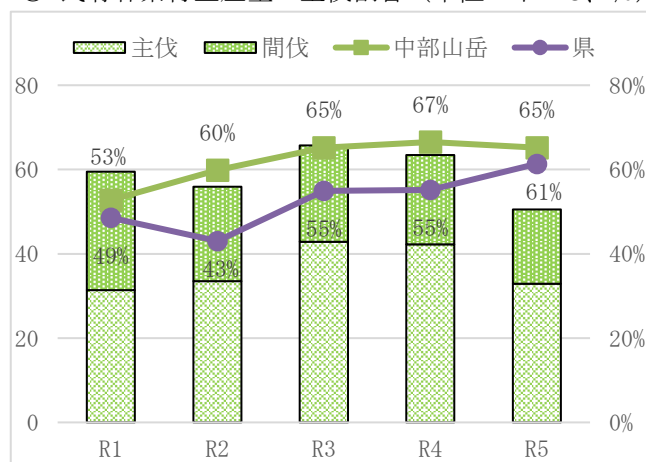
○間伐面積と搬出率の推移（単位：ha、%）



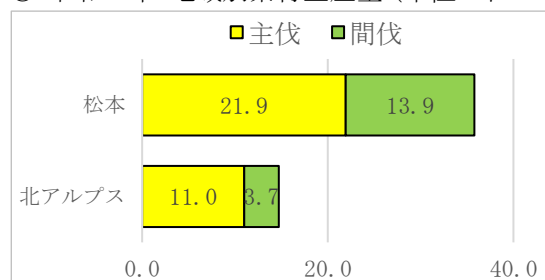
(9) 素材生産、製材品出荷

本計画区の民有林からの素材生産量は間伐由来の材から主伐材に移ってきており、主伐材の割合は65%と県全体の61%を上回っています。

○ 民有林素材生産量・主伐割合（単位：千m³、%）



○ 令和5年 地域別素材生産量（単位：千m³）



国有林を含めた素材生産量は61千m³で県全体の12%を占め、うち民有林83%、国有林17%となっています。民有林の主な樹種別の生産量は、アカマツ52%、次いでカラマツ30%となっています。

製材品出荷量は98千m³で県全体の27%を占め、樹種別出荷量はアカマツが54%を占めており、用途別ではパルプ・チップが79%を占め、建築用材は10%となっています。

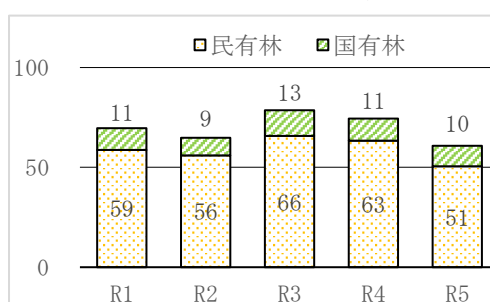
課題

- ・ 安定的な木材生産
- ・ 特に効率的な施業が可能な森林の区域での再造林による資源の循環的な利用
- ・ 県産材の加工流通体制の整備・サプライチェーンマネジメントの構築と強化

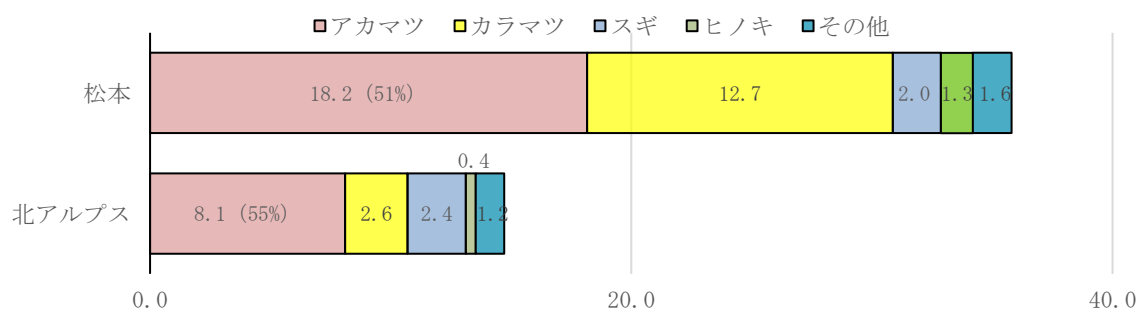
○ 令和5年 素材生産量（単位：m³）

区 分	民有林	国有林	合計	民有林/合計
中部山岳地域	50,513	10,343	60,856	83%
長野県	368,691	169,802	538,493	68%
県内割合	14%	6%	11%	

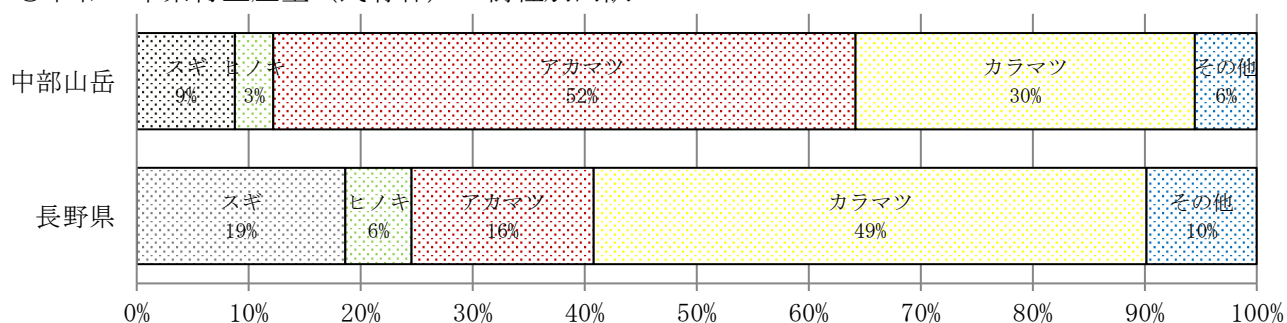
○ 素材生産量の推移（単位：千m³）



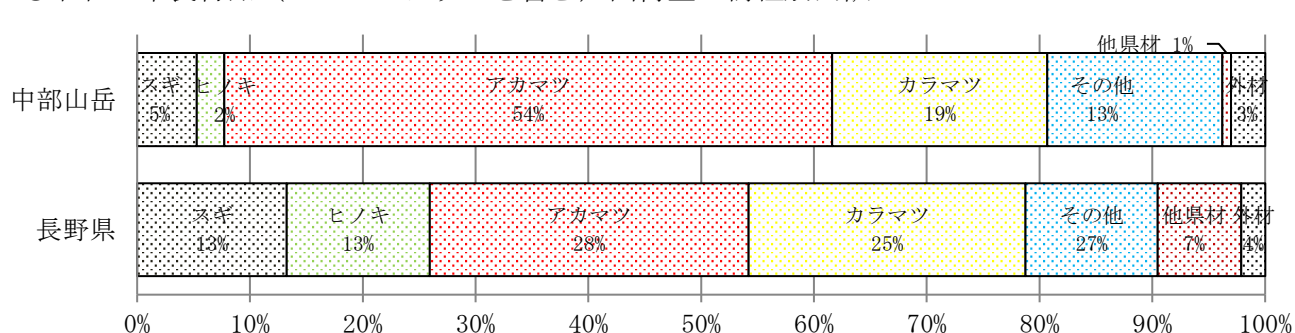
○ 令和5年地域別樹種別素材生産量（単位：千m³）



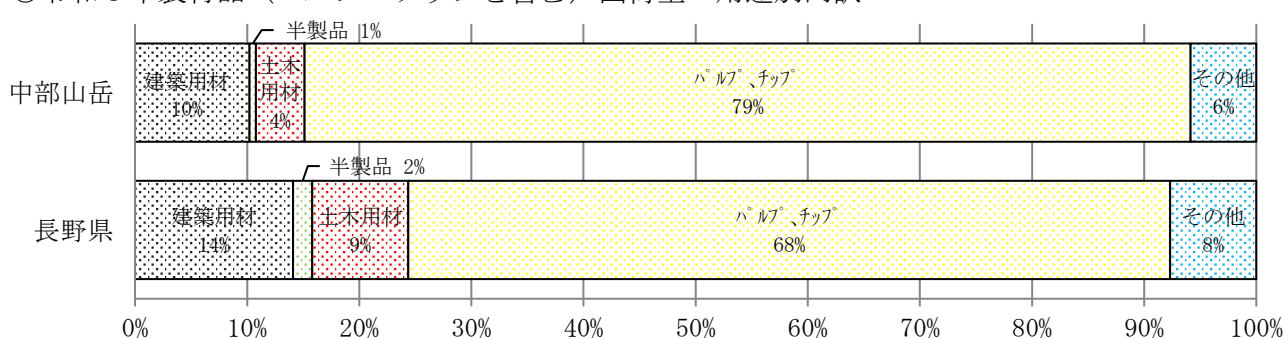
○令和5年素材生産量（民有林） 樹種別内訳



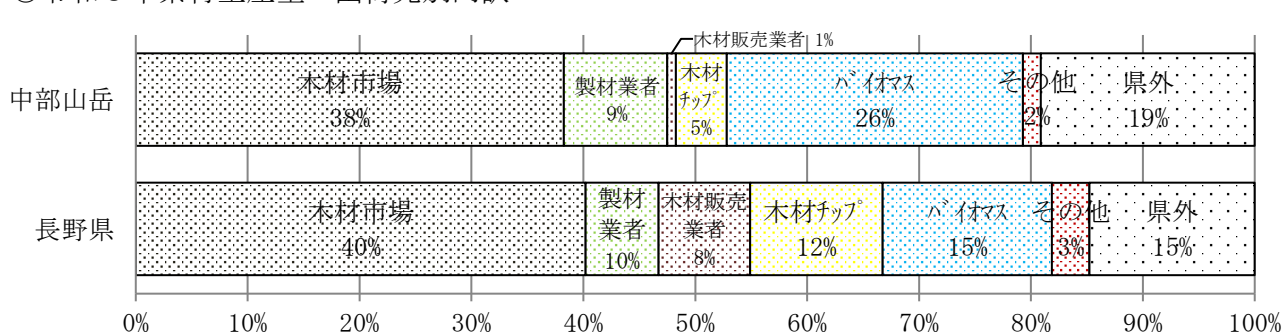
○令和5年製材品（パルプ・チップを含む）出荷量 樹種別内訳



○令和5年製材品（パルプ・チップを含む）出荷量 用途別内訳



○令和5年素材生産量 出荷先別内訳



※ 令和6年度長野県木材統計(R5年1月～R5年12月のデータ)の数値

(10) 木材流通及び利用

本計画区の建築用材出荷量は、県内の製材品出荷量のうち10%で、22社の製材・加工工場があります。

塩尻市では、信州F・POWERプロジェクトにより製材加工施設と木質バイオマス発電施設が併設され、令和6年度はバイオマス発電の燃料材として13万7千トン/年が利用されました。

(11) 地域材の利用

地域材の利用は、公共施設等での活用が広がっており、近年では、朝日村役場や、地域の学校や保育園、公民館等に利用されています。

課題

- ・ 県産材の流通体制の構築・強化
- ・ 林地残材等森林資源の有効活用
- ・ 県産材製品の高付加価値化
- ・ 県産材利用の推進

○業種別事業者数（単位：者）

区分	木材販売業	製材・加工業	木材チップ製造業
松本	11	16	0
北アルプス	5	6	1
計	16	22	1

(12) 特用林産物

本計画区では、えのきたけ等の栽培や山菜類の生産が行われているほか、小谷村のキハダ樹皮（薬草）の生産など、特徴的な林産物の生産も行われています。

○ 令和5年度 主な特用林産物生産状況（単位 生産量：t）

区 分	生しいたけ	なめこ	えのきたけ等	山菜類	木炭	薬草	薪（層積m ³ ）
松本	40	1	3,771	17	0	0	806
北アルプス	2	0	5,146	2	0	2.1	4,422
長野県	3,071	5,039	135,272	75	11	2.6	16,376
中部山岳計画区/全県	1%	0%	7%	26%	0%	81%	32%

(13) 林業用苗木

本計画区の林業用苗木生産者は18者で、県内の計画区別で最多となっています。

また、本計画区の苗木生産量は、県内の80%以上を占めており、全県に占める割合は増加傾向となっています。

今後の主伐後の再生林の拡大に向け、苗木生産の効率化、軽労化につながるマルチキャビティーコンテナを用いた育苗の取組みが行われています。

課題

- ・ 特定母樹や第二世代精英樹から採取した優良な種子の確保
- ・ コンテナ苗による育苗技術の向上と安定供給に向けた技術確立

○ 林業用苗木生産量の推移

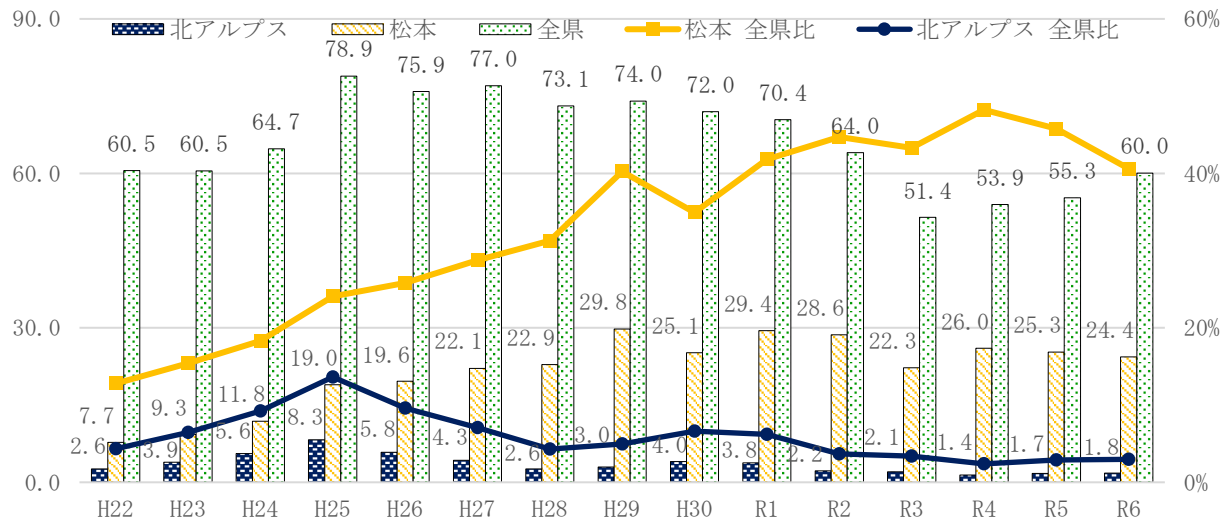
（単位：千本）

区 分	R1	R2	R3	R4	R5
松本	2,805.2	3,386.7	3,282.3	3,347.5	3,147.1
うちコンテナ	526.5 (19%)	677.0 (20%)	714.8 (22%)	862.7 (26%)	987.3 (31%)
北アルプス	85.5	77.1	93.6	85	31.9
うちコンテナ	31.6 (37%)	11.9 (15%)	10.7 (11%)	10.0 (12%)	2.7 (8%)
長野県	3,531.9	4,084.0	3,898.3	3,851.3	3,573.0
うちコンテナ	642.6 (18%)	808.9 (20%)	803.2 (21%)	963.6 (25%)	1,167.5 (33%)

(14) 森林病虫害による被害

松くい虫被害対策として県のアカマツ林施業指針による、松くい虫被害レベルマップ等を活用し被害レベルに応じた対策が進められており、本計画区では、主に微被害のアカマツを他の樹種へと更新を図り、被害の拡大を防ぐ事業（以下、「樹種転換事業」という。）による被害の拡大防止対策が行われています。

○ 松くい虫被害量の推移（単位：千m³）



また、白馬村等でカシノナガキクイムシによるナラ類の集団枯損が発生しており、ライフライン等に被害を及ぼすことが危惧される枯損木等の伐採が行われています。

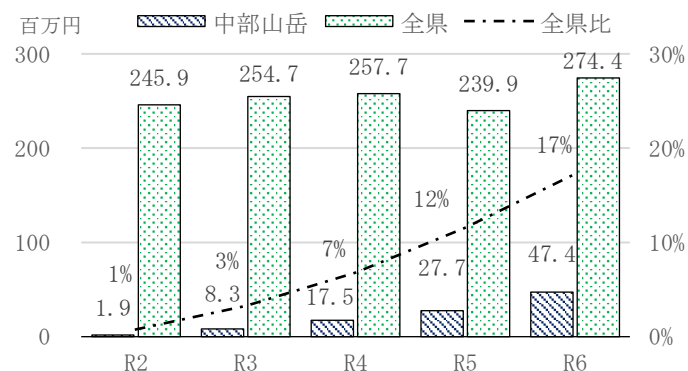
課題 ・被害地域での拡大防止、早期発見、被害材の利活用

(15) 野生鳥獣による林業被害

本計画区の林業被害は増加傾向にあります。令和6年度の被害額は約4,740万円で、ツキノワグマの樹皮剥ぎ被害やニホンジカによる食害があります。

課題 ・野生獣害対策の継続と特定鳥獣管理計画に基づく個体数管理
・捕獲の担い手の確保・育成

○ 野生鳥獣による林業被害額の推移（単位：百万円）



○ 令和6年度 被害額の加害獣別内訳（単位：百万円）

獣名	松本	北アルプス
ニホンジカ	2.9	0.0
ニホンザル	1.7	0.0
イノシシ	0.0	0.0
ツキノワグマ	40.3	0.0
その他	2.6	0.0
合計	47.4	0.0

(16) 土砂災害の対策

公益的機能の発揮が特に求められる森林において、保安林の指定や地すべり防止区域の設定、山地災害危険地区の検討等が進められています。また、令和3年8月豪雨による松本市の土石流等、土砂災害の発生箇所では治山事業による計画的な復旧工事が行われています。

(17) 保安林の配備状況

森林法に基づく保安林指定により、立木の伐採や土地の形質変更等を規制し、森林を保

全するための治山事業が実施されています。本計画区内では、保安林として民有林面積の39.5% (53,651ha) が指定されています(県平均の指定率は34%)。

(18) 森林経営管理制度の推進

森林所有者による経営管理が難しい民有林について、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや意欲と能力のある林業事業者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を図る森林経営管理制度が行われています。

本計画区の市町村では、森林環境譲与税等が活用され、森林・林業の専門的な知識を持つ職員(地域林政アドバイザー)の雇用や森林所有者の意向調査、集積計画の作成が行われており、着実な森林経営管理制度の促進が図られています。

○令和元～6年度の本計画区内市町村の森林経営管理制度の進捗状況表(市町村数、面積)

(令和7年11月現在)

地域振興局 (管内市町村数)	意向調査実施		集積計画		配分計画		市町村森林経営 管理事業		意向調査後、制度以外の 方法で森林整備を実施		森林整備の実施 (重複市町村控除)	
松本(8)	6	1,982ha	2	30ha	0	0ha	1	2ha	1	36ha	1	39ha
北アルプス(5)	5	81ha	5	56ha	0	0ha	5	22ha	1	2ha	5	23ha
全県(77)	72	19,308ha	26	1,554ha	8	282ha	22	148ha	29	1,358ha	43	1,788ha

(19) その他

ア 企業等による森林づくり

「森林(もり)の里親制度」の契約は令和7年1月末までに県内で181件、本計画区内で35件が締結され、県内外の企業や団体等、様々な主体による森林づくりへの支援や地域との交流が行われています。

イ 里山の整備

県ふるさとの森林づくり条例により認定された里山整備利用地域は令和7年1月末時点で県下に117団地あり、うち松本地域13団地、北アルプス地域10団地が認定され、里山の利活用を進めています。

ウ 多様な森林利用

小谷村の森林セラピー基地では、母池自然園や雨飾高原など多彩なコースが設定され、森林の癒し効果を実感しながら地域の温泉や食事とも融合した森林利用を行っています。

また、安曇野市、大町市、松川村に位置する国営アルプスあづみの公園では、林内の散策や自然体験活動などを楽しむことができます。

エ 森林情報の活用

森林組合や信州大学等が連携し、航空レーザやドローンの写真等を活用して詳細な森林情報を把握し、これらを活用した森林調査や施業の実施、木材の生産情報の共有等を行うなど、作業の効率化と省力化を行う「スマート林業」の推進に取り組んでいます。

(図表資料：長野県民有林の現況(令和7年版)、令和6年度長野県木材統計、その他出典表記のないものは長野県林務部調べ)

第2 前計画の実行結果の概要及びその評価

1 伐採立木材積

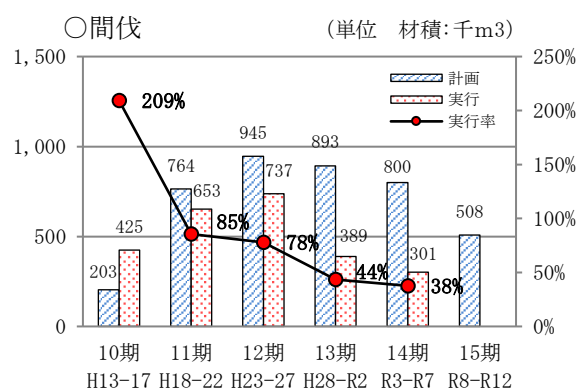
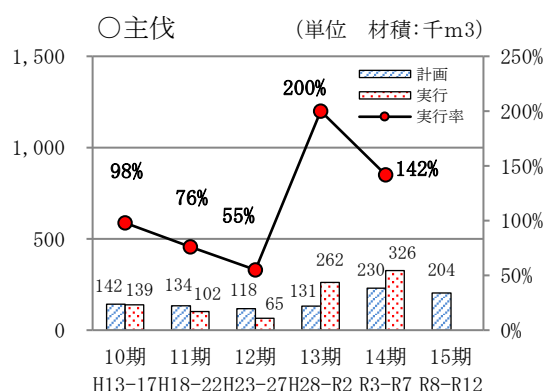
(1) 前計画の実行結果

(単位 材積:千m³)

	総 数			主 伐			間 伐		
	計画	実行	実行率	計画	実行	実行率	計画	実行	実行率
5年間の計画・ 実行量	1,030	627	61%	230	326	142%	800	301	38%
単年での計画・ 実行量	206	125	61%	46	65	142%	160	60	38%
※5年間の計画・ 実行量	366	627	171%	192	326	170%	174	301	173%
※単年での計画・ 実行量	73	125	171%	38	65	170%	35	60	173%

注：前計画期間は令和3～7年度の5か年分。実行数量の令和6年度及び7年度分は見込値を含む。

※長野県森林づくり指針から算出した参考値



(2) 評価

守るべき松林の保全対策として被害前のアカマツの松くい虫対策事業や伐採適期に達した林分の増加により、主伐に区分される伐採量は計画に対し実行率142%となりました。一方で、間伐での伐採量は間伐対象面積の減少等に伴い、計画に対し実行率38%でした。

主伐・間伐を併せた伐採立木材積の総量は、計画に対して実行率61%となり、計画量内の伐採立木材積になりました。一方、14期のアカマツ松くい虫対策事業を除く主伐量は114千m³、実行率は50%と推定され、地域の林業労働力等を松くい虫対策等に集中させざるを得ない状況が課題となっています。

令和4年度に策定された「長野県森林づくり指針」では、令和9年度に全県の木材生産量として83万m³を目標にしています。松くい虫被害対策も含めた伐採を進めた結果、中部山岳計画区内の計画量に対し、実行率は100%を上回っています。

今後は、更に森林資源の循環利用を図っていくため、森林の境界明確化や集約化を進め、路網整備や林業機械を上手に組み合わせた施業の効率化を図ると共に、再生林の省力・低コスト化を更に推進していく必要があります。

2 造林計画面積

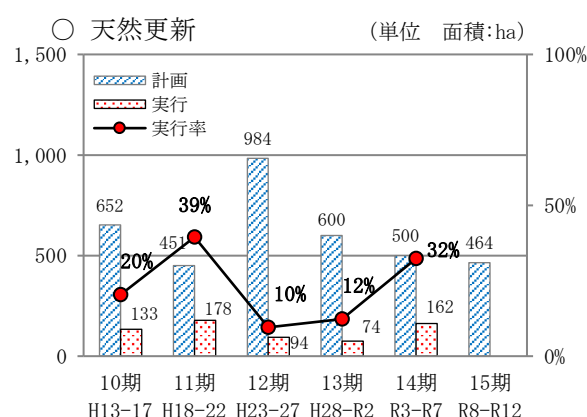
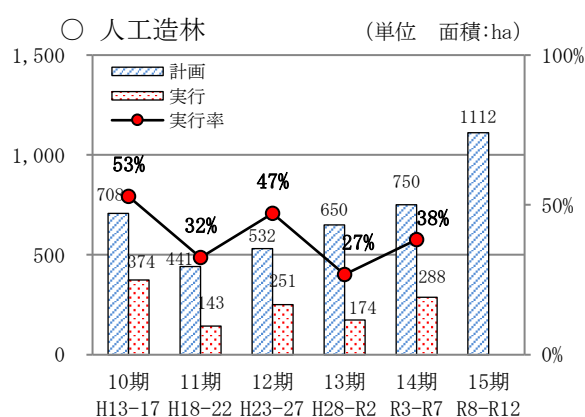
(1) 前計画の実行結果

(単位 面積:ha)

	総 数			人工造林			天然更新		
	計画	実行	実行率	計画	実行	実行率	計画	実行	実行率
5年間の計画・ 実行量	1,250	450	36%	750	288	38%	500	162	32%
単年での計画・ 実行量	250	90	36%	150	58	38%	100	32	32%
※5年間の計画・ 実行量	—	—	—	214	288	135%	—	—	—
※単年での計画・ 実行量	—	—	—	43	58	135%	—	—	—

注：前計画期間は、令和3～7年度の5か年分。実行数量の令和6年度及び7年度分は見込値を含む。

※長野県森林づくり指針から算出した参考値



(2) 評価

計画量に対する実行率は低位となりました。一方、令和4年度に義務付けられた伐採造林後の状況報告※をもとに令和4年度から令和6年度の期間における本計画区の再造林率を算出すると、主伐後も森林として維持する林地225ha（線下伐採を除く）の再造林率は65%（147ha）、天然更新を含めると79%（177ha）となっています。

なお、人工造林および天然更新は主伐の翌年度以降に完了する場合がありますため、今後に報告される造林面積を考慮すると、伐採跡地の更新が図られる割合は80%よりも高いと見込まれます。

今後も着実な造林が実施されるよう伐採跡地での人工造林と天然更新の更新確認を市町村と連携して実施してまいります。

主伐・再造林の加速化は県の森林行政の最重要課題の一つであることから人工造林・初期保育に係る経費に対して森林税による嵩上げ支援を実施しています。主伐により生産される木材の付加価値向上を図るため、高付加価値の流通事例を含めた市場調査を令和7年度から実施し、木材販売額から再造林経費を賄う「新しい林業」の取組みを進めます。

事業体のノウハウ不足を解消するため、事業体からの求めに応じて、主伐・再造林が進む地域の事業体の行う伴走支援の補助と共に、林業普及指導員による事業体訪問を強化します。

※ 森林法第10条の8第2項に定める伐採に係る森林の状況報告および伐採後の造林に係る森林の状況報告

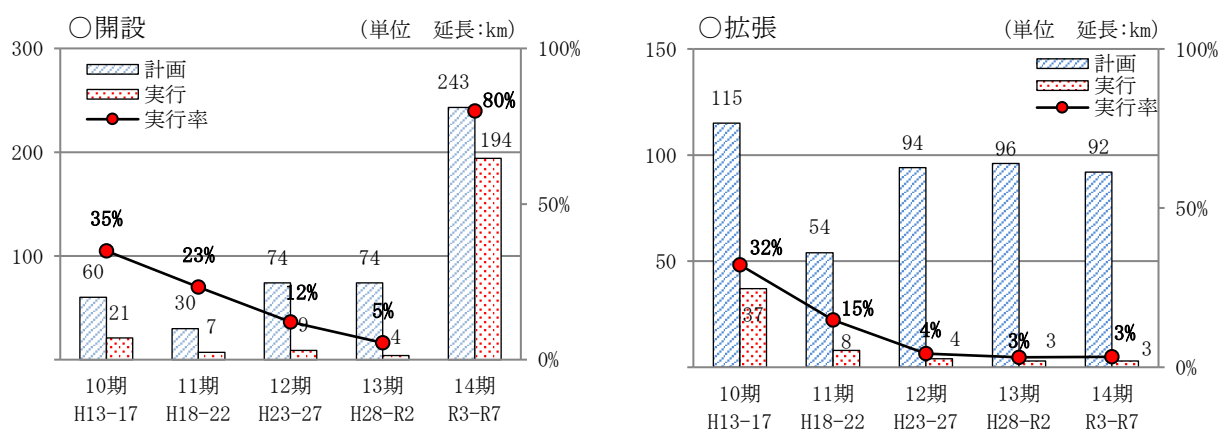
3 林道等（林道、林業専用道、森林作業道）の開設及び拡張の数量

(1) 前計画の実行結果

(単位 延長:km)

区 分	開設 (新設+改築)			拡張 (改良+舗装)		
	計 画	実 行	実行率	計 画	実 行	実行率
延長	243	194	80%	92	3	3%
うち林道・林業専用道	69	1	1%	92	3	3%

注：前計画期間は令和3～7年度の5か年分。実行数量の令和6年度及び7年度分は見込値を含む。



※ 14期から森林作業道を含む

(2) 評価

今期における林道等の開設延長は、材の搬出等に用いる森林作業道の延長が大きく伸び、計画数量を概ね達成できました。一方、林道等での拡張については計画に対する実行率が低位となりました。今後、県の技術的支援により、材の搬出に支障となるカーブの拡張や路網の改良、舗装等を促進するとともに、災害に強い路網の整備を推進してまいります。

4 保安林の指定又は解除の面積

(1) 前計画の実行結果

(単位 面積:ha)

種 類	指 定 令和7年度末総面積			解 除 令和3～7年度の合計		
	計 画	実 行	実行率	計 画	実 行	実行率
総数(実面積)	56,737	53,775	95%	—	2.2	—
水源涵養 ^{かん}	32,268	29,525	91%	—	0.3	—
災害防備	24,347	24,261	100%	—	1.9	—
保健風致	3,208	3,163	99%	—	0.4	—

注) 1：前計画期間は、令和3～7年度の5か年分。実行数量の令和6年度及び7年度分は見込値を含む。

2：複数の種類で指定される保安林があるため、内訳と総数は一致しない。

(2) 評価

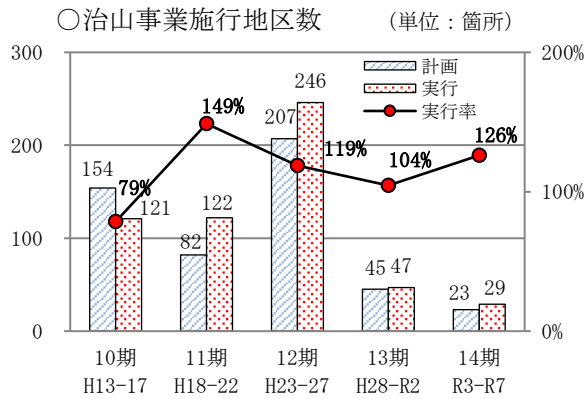
公益的機能の確保が必要な森林において保安林の指定を推進し、おおむね計画どおりに指定が行われました。引き続き、公益的機能の発揮が特に強く求められる森林において、保安林指定と公益的機能が高度に発揮されるよう適切な管理に取り組んでまいります。

5 治山事業

(1) 前計画の実行結果

区 分	計 画	実 行	実行率
治山事業施行地区数	23 箇所	29 箇所	126%

注：計画期間の考え方は、第2 1 (1)の注釈に同じ。



(2) 評価

近年の災害発生箇所等、緊急性の高い箇所を優先して事業を実施し、計画を達成しました。今後も災害の発生が懸念される山地災害危険地区等において、治山事業の実施に取り組んでまいります。

第3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

これまでも森林が有する多面的機能^{*}を持続的に発揮させるため、森林計画制度等に基づく適正な管理や木材生産を主目的に適宜に行う森林整備に取り組んできました。

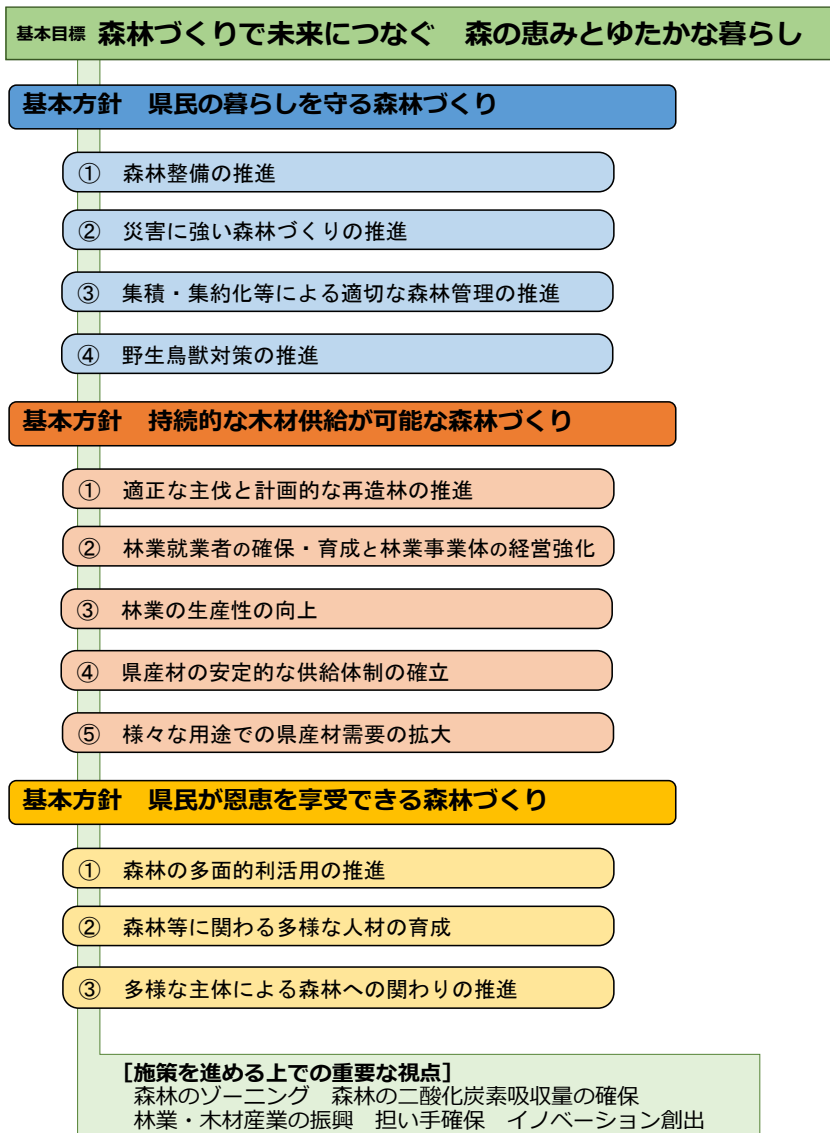
森林は、2050年のカーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの主な吸収源や炭素固定の役割、山村地域での経済活動を通じた社会の持続性や生物多様性等も高く求められています。森林を適正（健全）に保つ取組みは、一つの目的達成だけではなく様々な波及効果や相乗効果を生み出します。

このような機能を有する多様な森林がバランス良く形成されるよう地域の特性や森林の現況を踏まえたゾーニング設定を基に、新しい林業の展開、木材産業の競争力の強化等も重要になっています。

こうした状況を踏まえ、「長野県ふるさとの森林づくり条例」による森林づくりの基本理念や目指す森林の姿に向けた基本的な考え方を整理し、本計画における重点項目を「長野県森林づくり指針」の施策体系に沿って着実に取り組んでまいります。

（※ 多面的機能：国土保全や水源かん養、地球温暖化の防止、保健・レクリエーションの場の提供、生物多様性の保全、木材の供給等の多様な恩恵 等）

【参考：長野県森林づくり指針 森林づくりを進めるための具体的な方策 施策の体系】



1 県民の暮らしを守る森林づくり

(1) 森林整備の推進

ア 重視すべき機能に応じた森林整備の推進

水源かん養機能、山地災害防止機能等の森林の公益的機能の高度発揮をめざす森林や、林業経営に適した森林といった木材生産機能の高度化をめざす森林といったゾーニングを明確にし、それぞれの機能を高度に発揮させるために必要な森林整備を推進します。

特に、林業経営に適した森林については、市町村森林整備計画において定める「特に効率的な施業が可能な森林の区域」を中心に位置付けることとし、市町村と協力しながら適切なゾーニングを行い、主伐後の再造林を進めます。

イ 実効性の高い森林計画の策定の推進

森林経営計画の策定を促進し、間伐や主伐・再造林等の森林施業の計画的な実施により森林の有する多面的機能の十分な発揮を図っていきます。

ウ 間伐等の推進

これまで間伐が必要であった森林が徐々に高い齢級にシフトすることを踏まえ、重視すべき機能に応じた施業が適期に実施されるよう、防災減災等の機能がより必要な森林において計画的な間伐等の実施を推進します。

エ 針広混交林化等の推進

林業経営に適した森林以外の人工林のうち公益的機能の高度発揮をめざす森林では、過去の災害履歴や自然条件等に応じて、治山事業や森林経営管理制度に基づく整備等により複層林化や長伐期化のほか、成長した樹木の抜き伐り（択伐や更新伐等）による針広混交林化を推進するなど、多様で健全な森林へと誘導を図ります。

特に、針広混交林化に当たっては「長野県針広混交林施業指針（平成 17 年（2005 年））」や「災害に強い森林づくり指針（平成 20 年（2008 年））」、「森林経営管理制度市町村業務マニュアル（令和 3 年（2021 年））」等を活用しながら、技術的な支援を行います。

オ 生物多様性の保全や環境等に配慮した森林整備

優れた自然環境を有する森林や奥山の天然林等については、生物多様性の保全に配慮した森林の管理を推進します。特に貴重な動植物等が生息・生育する森林においては、それらの保護・管理に資する適正な森林の保全を図ります。

また、里山については、生物多様性保全等の機能確保に配慮しつつ、地域住民等を含めた適正な整備及び利用を推進します。

国際的な森林認証制度（SGEC 等）などの認証森林の普及・啓発を通じ、その推進を図ります。

鳥獣害防止施設の整備等を含む森林整備で使用する資材については、環境負荷が少ない素材の活用が図られるよう取り組みます。

景観形成等に配慮が必要な森林については、森林の適切な維持管理の一環として、観光地の魅力向上のための景観整備を推進します。

ライフライン沿い等の森林や河畔林では、森林所有者、施設管理者、市町村及び県の役割分担のもと、危険木の除去などの森林整備を進めます。

(2) 災害に強い森林づくりの推進

ア 適地適木・適正管理による森林づくりの推進

災害から人々の暮らしを守るため、特に直下に集落等の保全対象を控えるといった山地災害防止機能を重視する森林においては、「災害に強い森林づくり指針」に基づき、崩壊防止や災害緩衝に資する森林の整備を進めるなど、適地適木・適正管理を基本とした災害に強い森林づくりを推進します。

航空レーザ測量データを用いた CS 立体図による地形や林況の解析、干渉 SAR 解析による地すべりや深層崩壊の兆候の把握等、最新技術を用いて危険な箇所や要整備林分の抽出を行い、事前防災対策を進めていきます。

イ 治山事業等による流域の防災機能の向上

災害に強い森林づくりを進めるにあたっては、治山事業や造林事業等の公的な森林整備事業を導入し、適正な立木の密度が保たれた針広混交林や広葉樹林の整備を進めるほか、必要に応じて治山施設の整備を行い、流域の防災機能の向上を図ります。

近年の大規模な河川氾濫災害を契機とした「流域治水」の取組と連携しつつ、森林の浸透機能・保水機能の維持・向上を図るため、山地災害危険地区等において、森林整備と筋工・柵工等の設置を面的、一体的に進めていきます。

また、治山施設の効率的な機能強化・老朽化対策により、長寿命化を推進します。

ウ 地域ぐるみの防災体制の整備

事前防災対策（ハード）と関係機関との連携や住民への周知（ソフト）を組合せた減災対策を進めていきます。

災害に強い森林づくりを進めるにあたっては、行政機関による公的な取組に加え、地域の防災力を高める取組が重要であることから、県が認定し災害の兆候等の早期発見や災害情報等の迅速な収集活動等を行う「山地防災ヘルパー」の活動や、地域の防災活動の一翼を担う取組に対し、研修会の開催や活動に必要な用具の提供等により支援を行います。

エ 森林病虫害被害の防止

松くい虫被害対策では、松くい虫被害レベルマップを活用し、被害の進行度合いに応じた防除対策をパッケージで講じることなどにより、効率的かつ効果的な対策を推進します。

また、森林病虫害による枯損木をバイオマス燃料等に活用する取組を推進します。

オ 保安林の指定等による森林の保全

保安林については、森林の公益的機能の発揮のため森林所有者の理解を得ながら指定を推進し、適正に管理します。また、森林の乱開発を防止するため、林地開発制度を関係法令に基づき適正に運用します。

(3) 集積・集約化等による適切な森林管理の推進

ア 管理主体の明確化と適正な管理の推進

適正な森林管理を進めるためには、森林所有者や地域住民等の合意形成を図りつつ、最

も適切な今後の森林管理のあり方を検討し、それぞれの管理手法に基づいて、管理主体が責任を持って森林を管理していくことが必要なことから、それぞれの森林について、林業事業体や市町村、地域も含めた管理主体の明確化を図るための取組を推進します。

イ 林業事業体や市町村、地域による管理や集約化等の推進

手入れや管理がなされていない不在村者が所有する森林等が増加していることから、森林経営管理制度の活用や林地台帳の整備により森林所有者等の特定作業を進め、市町村及び地域が主体となって協働して集積・集約化を図る取組を推進し、今後の適切な経営管理につなげていきます。

林業経営に適した森林では、森林所有者または林業事業体が策定する森林経営計画や、森林経営管理制度に基づく経営管理実施権配分計画の策定により、林業経営の効率化を進めます。

地域住民等が主体的に整備・利用に取り組む里山については、多面的な利用により整備・保全等が図られるよう、地域主体の森林管理を進めます。

ウ 森林情報の高度利用の推進、所有界の明確化の推進

リモートセンシング技術や森林 GIS の活用による森林情報の高度利用を図るとともに、農業関係機関との連携による非農地判定を行った土地を把握し、森林化した耕作放棄地等の森林への編入を推進します。

市町村による地籍調査や林地台帳の整備を促進し、取組に必要な林務関係の技術者等に関して、市町村に対し人的な支援を進めていきます。

(4) 野生鳥獣対策の推進

ア 野生鳥獣の生息や集落等への出没を考慮した森林環境の整備

針広混交林化や広葉樹林化等による野生鳥獣の生息に適した環境づくりを行うとともに、計画的な野生鳥獣の保護管理を推進します。

野生鳥獣が集落周辺に出没しにくい環境を目指して、里山と集落の間の緩衝帯の整備等の生息環境対策を推進します。対策に当たっては、加害個体の特性に応じた適切な捕獲対策、侵入防止柵の設置等の防除対策とともにパッケージで取り組み、人と野生鳥獣との共生を目指します。

イ 農林業被害の軽減

農林業被害に対しては、野生鳥獣被害対策チームによる被害集落に対する技術支援等を継続するとともに、ICT や生息状況等のモニタリング結果を活用した効果的な被害対策を推進します。

樹木のはく皮被害が想定される箇所について、被害防止施設の設置に対する支援等を通じ、被害の効果的な未然防止対策を図ります。

ウ 捕獲の担い手の確保・育成

狩猟に興味のある一般の方や経験が少ない狩猟免許所持者を対象としたイベントや体験会の開催支援等により、捕獲の担い手の確保を図ります。

また、地域の捕獲者が参加し ICT の活用等を体験できる事業の実施等を通じて、効率的な捕獲技術の普及・定着を図ります。

エ 野生鳥獣の持続的・効果的な捕獲に向けたジビエ利活用の推進

ジビエについて、効果的な捕獲や捕獲個体の回収方法の検討のほか、最新の衛生基準等に適合するよう、食肉加工施設への継続的な指導や、地域でのジビエ生産体制の構築を進めます。

県内外で「信州といえばジビエ」と連想してもらえるよう、飲食店、観光関係者と連携した取扱店舗の充実や情報発信等により、ジビエ関連製品の一層の販路・需要拡大を推進します。

2 持続的な木材供給が可能な森林づくり

(1) 適正な主伐と計画的な再造林の推進

ア 適正な主伐と主伐後の再造林の推進

林業経営に適した森林において、段階的に主伐・再造林が進むよう、市町村とも連携し、林業事業体や森林所有者の理解を得ながら進めます。災害リスクの低減に加え、景観面への配慮など周辺環境との調和を図るため「長野県主伐・再造林推進ガイドライン」に適合した主伐を推進します。

再造林については、伐採から造林の一貫作業システムによる効率化や、低密度植栽・特定母樹由来の成長等に優れた苗木の植栽等の新しい省力化技術の導入に向けて長野県林業総合センター等による研究や実証試験を推進します。

イ 適切かつ効率的な更新施業の推進

主伐後の再造林については、適地適木に基づき実施するとともに、省力化にも十分配慮しながら再造林後の保育作業を着実に実施し、更新施業を推進していきます。

ニホンジカ等の野生鳥獣による造林木への被害を進行させないために、捕獲対策、防除対策を適切に組み合わせた効果的、効率的な対策を実施していきます。

上記によらず、天然更新等を行う森林では、確実な更新が図られるよう、技術的な支援も含め市町村と連携しながら取り組んでいきます。

ウ 優良苗木の安定供給の促進

採種園の造成管理等により、特定母樹由来の成長等に優れた苗木の種子を安定供給します。

また、長野県林業総合センター等による育苗技術の向上を図り、今後利用が拡大するコンテナ苗によるカラマツ等の優良な苗木の生産を強化します。

長野県山林種苗需給協議会等の苗木生産者と苗木需要者との調整により、段階的に増加が見込まれる苗木の需要に適切に対応します。

エ 地域の特性に応じた森林づくり

希少性から比較的高価格で取引される事例もある広葉樹材や大径材について、広葉樹林整備や長伐期施業など、関係者と連携しながら地域の特性に応じた森林づくりを進めています。

(2) 林業就業者の確保・育成と林業事業体の経営強化

ア 林業就業者の雇用環境の改善等

森林の適切な保全と森林資源の持続的な利用を将来にわたって支える林業就業者の確保と育成を図るため、林業事業体における他産業並みの賃金や雇用環境の改善、生産性の向上、事業の合理化、経営力の向上等の取組を推進します。

他産業に比べ高い発生率となっている労働災害の防止を図るため、訓練の機会や経験・職責等に応じた体系的な労働安全教育と指導者の育成等により、安全対策の強化に取り組めます。

女性を含む多様な人材が林業を選択し働き続けられるよう、就業希望者と既就業者との交流機会の創出、作業方法や安全対策の配慮、それぞれ就業者のワーク・ライフ・バランスが実現できる就業環境の整備を促進します。

生産性の向上と安定的な事業量の確保により、一人当たりの生産量を増加させるとともに、就業者のスキルアップ等による事業量の変動や複数の工程への対応、林業におけるキャリアパスの定着、他産業との連携促進等により、所得の増加を図ります。

イ 新規就業者等の確保・育成

林業の認知度の向上、移住や転職等の多様な人材や働き方の受け入れ等により、林業の関係人口の裾野を拡大し、新規就業者の確保に取り組めます。

主伐・再造林の加速化に向け、素材生産技能者が伐採にできるだけ専念できるよう作業の専門化を進めるため、植栽や下刈等の保育従事者の確保と育成に取り組めます。

ウ 多様な人材の育成と活用

小規模事業者については、地域の森林へのニーズに柔軟に対応できることから、他産業との兼業や林福連携の促進等により、多様な人材の活用を図ります。

地域おこし協力隊や特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、多様な人材を確保するとともに活躍できる仕組みづくりを市町村と連携して進めます。

また、地域住民や森林ボランティア団体、林業士・林業研究グループ、森林の利活用に取り組む団体等との連携により林業への多様な関わりを促進するとともに、地域の林業人材が安全作業の指導的な役割を担うなど、多様な人材による森林づくりを推進します。

エ 森林プランナーや高度な技術者の養成

効率的な森林管理や木材生産に取り組む森林施業プランナー及び森林経営プランナーの育成や、オペレーター等の技術者養成の取組について、経験や習得している知識・技術に応じ体系化して継続するとともに、現場で活躍する森林施業プランナーと林業普及指導員・市町村職員との連携を強化します。

ICT や AI を活用した林業機械のオペレーターの育成に取り組めます。

オ 林業事業体の役割の重点化

労働力が不足する地域や季節において、林業事業体の相互連携による労働力の流動化と林業機械の稼働率向上の取組により、就業機会と一人当たりの生産量の増加を図ります。

地域の森林づくりの担い手の中心となる森林組合について、施業地の集約化や森林経営計画の策定の率先実施、多様な連携手法の導入や販売力の強化等による経営基盤の強化を

図ります。

小規模事業者について、危険木の伐採や中核的な担い手と連携して保育作業を担うなど、関係機関との連携を促進します。

カ 森林環境教育、林業教育の推進

森林・林業に対する理解の醸成を図るため、子どもの成長に応じた、学校等での森林環境教育や林業教育を推進するとともに、社会人や地域人材への森林・林業の生涯教育の推進に取り組みます。

林業の認知度の向上や、林業におけるキャリアプランの提示等により、未来の林業就業者となり得る若年層の林業への関心の向上を図るとともに、職業を意識する中学校段階での林業職業教育や、高校における林業の基礎教育の充実を図ります。

(3) 林業の生産性の向上

ア 高性能林業機械の導入による生産性の向上

高性能林業機械の導入促進に加え、これまで導入されている林業機械の稼働率向上や効果的な活用による生産性の向上につながる取組を支援します。

既存の林業機械の能力をフルに発揮させ、収穫から造林・育林コストの縮減に向けた「一貫作業システム」や「機械地拵え」を推進します。

国有林の持つ造林作業の省力化や低コスト木材生産のノウハウについて民有林への定着を図ります。

イ 林内路網の整備推進

林業経営に適した森林を中心に、林道と森林作業道等を適切に組み合わせた路網の整備を推進します。

災害に強い路網を目指し、路網の強靱化・長寿命化を図るとともに、「長野県森林作業道作設指針」及び「長野県森林作業道作設マニュアル」に基づく森林作業道の開設を推進します。

より効果的で効率的な森林管理を目指し、森林路網のデジタル情報整備を推進します。

ウ 林業 DX による森林情報の高度利用、スマート林業の推進

リモートセンシング技術や森林 GIS の活用による森林情報の高度利用を図ります。

また、森林施業や管理を進めるため、樹種、面積、林齢、施業履歴等の必要な森林情報のオープンデータ化を更に進め、効率的な森林施業や森林管理に繋げます。

森林を管理するための社会基盤である森林路網について、GIS や GNSS 等を活用し、精度の高いデジタル情報として整備し、森林・林業関係者がお互いに情報を共有する仕組みを構築します。

航空レーザ測量データを用いた CS 立体図による地形や林況の解析、干渉 SAR 解析による地すべりや深層崩壊の兆候の把握等、最新技術を用いて危険な箇所や間伐など防災上、手入れが必要な森林の抽出を行い、事前防災対策を進めていきます。

林業事業体による高精度 GNSS 等を用いた現地測量や、ドローンを用いた苗木やシカ柵等の運搬、林業機械の遠隔操作など新たな技術の普及を行い、業務の省力化を推進します。

農林業被害等、県民の生活に影響をおよぼす野生鳥獣による被害に対して、ICT やモニ

タリング結果を活用した効果的な被害対策を推進します。

ICT や AI を活用した林業機械のオペレーターの育成に取り組みます。

スマート林業による資源管理・生産管理技術（ICT を活用した需給マッチングシステム）の定着とシステムユーザーの拡大を図ります。

エ 地域特性等を踏まえた林業の推進

県内での利用が減少している架線系作業システムについて、地理的な条件等から、改めて活用に向けた見直しと技術継承を進めていきます。

素材としての付加価値を高めることに加え、地域ごとに森林の立地条件（斜度や傾斜方向等）等による木材の強度特性を把握することを検討します。

原木の安定供給と伐採後の再生林の確実な実行を通じた森林の持続的経営を図るため、原木需要者等の関係者による再生林支援の仕組みを検討します。

地域における林業・木材産業の活性化を目指し、地域内の経済循環に取り組む地消地産型の林業を再評価していきます。

(4) 県産材の安定的な供給体制の確立

ア 安定的な木材生産体制の整備

間伐から主伐・再生林への転換により、生産性の向上と事業量の安定的な確保を図るとともに、高性能林業機械の稼働率の向上等により一人当たりの木材生産量を増加させます。

主伐後の再生林を確実に進めるための保育事業者の確保に向け、他分野との兼業等、多様な働き方や、多様な人材の受け入れを進めます。

森林資源の有効利用を図るため、林地残材等の効率的な集材のための技術の再構築（架線技術のグレードアップ、機械地拵え（バケット・グラップル）の定着等）を進め、建築用の良質材から林地残材まで幅広く生産できる体制を整えます。

イ 県産材の流通体制の構築（垂直・水平連携の仕組みづくり）

県内の木造住宅需要等に確実に県産材を供給するための川上・川中・川下における地域密着型の連携の仕組みづくりや、県外への分譲住宅等のまとまった需要を開拓していくための川上から川下までを垂直的に繋げる流通の仕組みを構築します。

県内外の非住宅建築物等の大規模な需要等に対応するため、製材工場等が同一規格の製品を共同で出荷するような水平連携の仕組みづくりを進めます。

計画区内外の製材工場との連携による県産材製品の安定供給を図り、県内外の非住宅、商業施設等のまとまった需要に対応できる体制の構築を進めてまいります。

ウ 県産材の流通体制の構築（原木の需給調整機能の拡充）

いわゆるウッドショック等による国際的な木材需給の変動に左右されず、県内の製材工場等が必要とする原木を安定的に供給していくため、県内の原木市場の機能を最大限生かしつつ、素材生産業者等が計画的に原木を供給することが可能となる市場等の需給調整機能の構築を目指します。

エ 県産材の加工流通体制の整備（地域内経済の好循環の構築）

県産材の加工流通体制について、地域の木造住宅需要等に的確に対応するために必要な

高付加価値化・高効率化・品目転換等や、県外に分譲住宅や非住宅商業施設等のまとまった需要を開拓するために必要な供給力向上・規模拡充・低コスト化・高度加工処理等の施設整備を、木材産業の動向を踏まえて促進します。

木材産業の経営体質の強化等を図るために必要な資金融通制度等を国と連携して充実します。

オ 森林資源の有効活用（製紙用・木質バイオマス用等）

主伐等により発生する林地残材等の未利用材や枝葉、森林病虫害被害材等を、製紙・木質バイオマス用として活用するため、未利用材等の効率的な搬出方法を実践的に構築し、チップ化等による製品化を促進します。

カ 県産材製品の高付加価値化等の促進（JAS 製品等の製造・出荷体制の強化）

JAS 認証を取得した製材工場を中心として、今後見込まれる非住宅分野における需要等に対して県内製材工場が連携して JAS 認証製品を供給していく仕組みづくりを進め県産材製品の高付加価値化等を図ります。

県内の木造住宅需要に対し、高品質・高規格な県産材製品を提供していくため、県独自の取組である「信州木材認証製品制度」により、長野県林業総合センターと連携し、認証工場の技術向上等を促進します。

これまで木材が使われてこなかったマーケットを視野に入れた、県産材製品の高付加価値化につながる製品開発や販路開拓を促進します。

非住宅分野で今後需要拡大が見込まれる CLT の県産材ラミナを地域の製材工場が連携することによりロットを取りまとめて供給する取組を推進します。

キ 新製品等の研究・開発の推進及び統計分析による課題抽出

信州ウッドコーディネーターから得られた市場等の様々なニーズを分析し、長野県林業総合センターや企業等の関係者が連携して取り組む試験研究や製品開発を促進します。

信州カラマツの人工乾燥技術や強度性能評価技術の向上に向けた長野県林業総合センターによる試験研究の充実や人工乾燥材の製造技術等の普及啓発等に取り組みます。

木材産業の実態把握に努め、短期的・中長期的な課題の抽出を適時的確に行うための木材市況調査及び木材流通調査を継続的に実施するとともに国の統計等を活用していきます。

海外先進地域の先端技術等を参考に、本県に適した木材生産技術等を研究します。

(5) 様々な用途での県産材需要の拡大

ア 県産材を利用した住宅建築等の推進

環境への負荷が少なく、高い断熱性能を有する信州健康ゼロエネ住宅の普及により、県産材利用を推進します。

外材高騰など木材調達の不透明さから、これまで県産材を使っていなかった工務店等の需要者と県産材を加工する製材業者との新たな関係構築を促進します。

工務店や建築士等の意見を製材工場や林業事業体にフィードバックし、木材製品の製造や出荷、原木の生産等の課題解決につなげます。

イ 非住宅分野での県産材利用の推進

「都市（まち）の木造化推進法」に基づき、公共施設や民間施設での県産材利用を推進します。

子どもたちが直接木に触れる機会を創出し、木の文化を育む担い手づくりを進めます。

先駆的な技術の普及啓発により、低～高層建築物における県産材の需要拡大につなげます。

公共建築物・公共土木施設への木材利用の取組事例を集約し、情報発信するとともに、木造化・木質化に関係する建築基準法などの法令等を整理し、関係機関等へ情報提供します。

ウ 大消費地における販路の開拓

信州ウッドコーディネーターの配置等により、首都圏等の大消費地をはじめとする県内外の様々な分野への営業を拡充し、木材需要の掘り起こしを進めます。

都市部の市区町村に配分される森林環境譲与税を活用した公共施設の木造化等の情報等を的確につかみ、集成材等や内装材等の長野県産の木材の強みを生かした営業を展開します。

エ あたりまえに木のある暮らしの実現

脱炭素社会の実現に向け、暮らしに身近な用具等を、石油由来の素材等から木製品へ転換させるウッドチェンジの取組に関する製品開発や市場開拓等を促進します。

子どもから大人までが木に親しむことができるよう、木工芸品や家具・建具・玩具等の木製品を普及します。

都市部で暮らす県民等にも森林の大切さや木を使うことの意義を普及啓発していくため、多くの県民が利活用する市街地の施設等の木造化・木質化を進めます。

オ 木質バイオマスの利用促進

県産材の木質バイオマス利用に当たって、まずは、製材用等の素材としての利用を推進し、その過程で発生する主伐等における未利用材や枝葉、森林病虫害被害材等について、森林資源の有効活用の観点から熱や発電用の燃料としての利用を進めます。

地域住民による各地域内での木質バイオマス利用の取組が進むよう、地域内エコシステム等による木質バイオマスの熱利用を行う仕組みを普及します。

県民が直接、脱炭素社会の実現に貢献できる木質ペレットの利用拡大に繋がるペレットストーブ等の導入を促進するなど、身の回りの木質バイオマス利用を波及させるよう普及啓発していきます。

カ 新たな木材利用に向けた調査・研究の推進

脱プラスチックや脱炭素社会実現等の観点から、木材に関する様々な技術開発等の情報収集に努め、新しい需要の創出を試験研究等により促進し、県内で取組可能な技術等を普及していく取組を、関係者と連携しながら進めていきます。

キ 信州木材認証製品等の普及

信州木材認証製品の普及に加え、森林認証木材や JAS 製品の情報発信に努めます。

3 県民が恩恵を享受できる森林づくり

(1) 森林の多面的利活用の推進

ア 森林サービス産業の推進

山村地域における経済循環や関係人口の増加をめざし、様々なアイディアで森林を活用したビジネスを展開する森林ベンチャーの支援などにより、森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用する「森林サービス産業」の取組を推進し、その振興を図ります。

森林サービス産業に関する情報の集積・発信や人材育成を担うプラットフォームへの参加を促進するとともに、地域の主体的な取組を支援します。

イ 県民が広く親しめる里山づくり

これまで地域住民が自ら整備に取り組んできた里山の質を向上させ、多くの県民や県外から長野県を訪れる方が気軽に利用できる「開かれた里山」の整備と仕組みづくりを推進します。

ウ 特用林産物等の生産の振興

きのこや山菜等の特用林産物の地元食材を観光や健康分野でも活用する仕組づくりを進めるとともに、長野県林業総合センター等の試験研究機関と連携しながら、精油等の新たな森林資源活用に向けた取組を進めます。

しいたけ等原木栽培を「食育」や「森林環境教育」のツールとして学校等で活用する取組を促進します。

ジビエについて、効果的な捕獲や捕獲個体の回収方法の検討により、ジビエ等としてできるだけ利用することを進めるほか、最新の衛生基準等に適合するよう、食肉加工施設への継続的な指導や、地域でのジビエ生産体制の構築を進めます。

(2) 森林等に関わる多様な人材の育成

ア 多様な地域人材の育成

林業士等地域林業の中核的リーダーのノウハウを活かしながら森林ボランティア等の安全指導を支援します。

比較的容易な保育事業で他分野の人材を受け入れるなど、林業における多様な働き方を推進します。

特用林産物の活用や森林空間を利用した「森林サービス産業」等、山村地域の交流人口の増加により、森林と関わる多様な人材を育成します。

里山リーダーや林業士など、地域の里山管理や零細な森林所有者の取りまとめを担える地域人材の育成と掘り起こしに取り組めます。

イ 林業の認知度向上

職業としての林業の関心を高め、林業の就業希望者の裾野を広げるため、広報活動、学校教育等の機会を通じ、森林・林業の多面的な役割や林業就業者の重要性、林業の魅力について、若者を含めた県民の関心及び理解を促進します。

ウ 人材の育成・定着の促進

林業への就業相談から就業前研修、就業後のフォローアップを含めた体系的かつ段階的な人材の育成と移住や転職等による山村地域の定住促進を進めます。

小規模事業者については、地域の森林へのニーズに細やかに対応できることから、他分野との兼業や林福連携の促進、多様な人材の活用を図ります。

(3) 多様な主体による森林への関わりの推進

ア 多様な整備手法の推進、都市住民等との交流の推進

カーボンニュートラル、SDGs 時代を見据え、企業の森林整備に対するニーズは今後も堅調に推移すると予想されることから、引き続き企業と連携した森林整備を進めるとともに、整備による二酸化炭素吸収量の評価・認証制度を推進します。

都市部と県内市町村の連携を図りながら、都市部の森林環境譲与税を県内の森林整備等に活用いただく取組を推進します。

適切な森林管理による二酸化炭素等の吸収量を「クレジット」として国が認証し、県内外の企業等に販売することができる J-クレジット制度について、県有林での活用に加え、市町村の公有林等での導入を促進します。

イ 地域ぐるみの取組の推進

地域住民が主体的に行う里山整備を促進するとともに、森林の多面的利活用を推進することで、豊かな「里山暮らし」の創出や、自立的・持続的な森林管理の構築を図ります。

ウ 森林ボランティア活動等の推進

林業研究グループや森林ボランティア団体等が地域の森林づくりを「安全」に進めるための技術習得の機会を提供します。

ボランティア団体等が継続的な活動に取り組めるよう、森林を活用した様々な「森林サービス産業」の掘り起こしと、参入促進を図ります。

エ 森林環境教育の推進

森林環境教育のフィールドとして、学校林のみならず県民の森や里山整備利用地域等の身近な森林の活用を進めます。

地域林業の中核的リーダーである林業士等が、子どもたちの林業体験等において指導するといった活躍の場づくりを進めます。

みどりの少年団の活動や小中学校における学校林を活かした活動等を通じて、青少年の森林を守り育てる意識を養うための森林環境教育の取組を推進します。

信州やまほいく認定園の活動フィールド整備等を通じ、子どもたちが森林の中で安全に自然体験活動ができる環境の充実を図ります。

オ 身近なみどりづくりの推進

2050 年カーボンニュートラルの実施に向け持続可能な社会の構築や、都市防災においてみどりの持つ多様な機能の活用を図る観点から、「まちなかグリーンインフラ」を推進します。

多くの県民が親しめる身近な「みどり」づくりを推進するとともに、みどりの大切さへの理解の醸成を図ります。

Ⅱ 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域

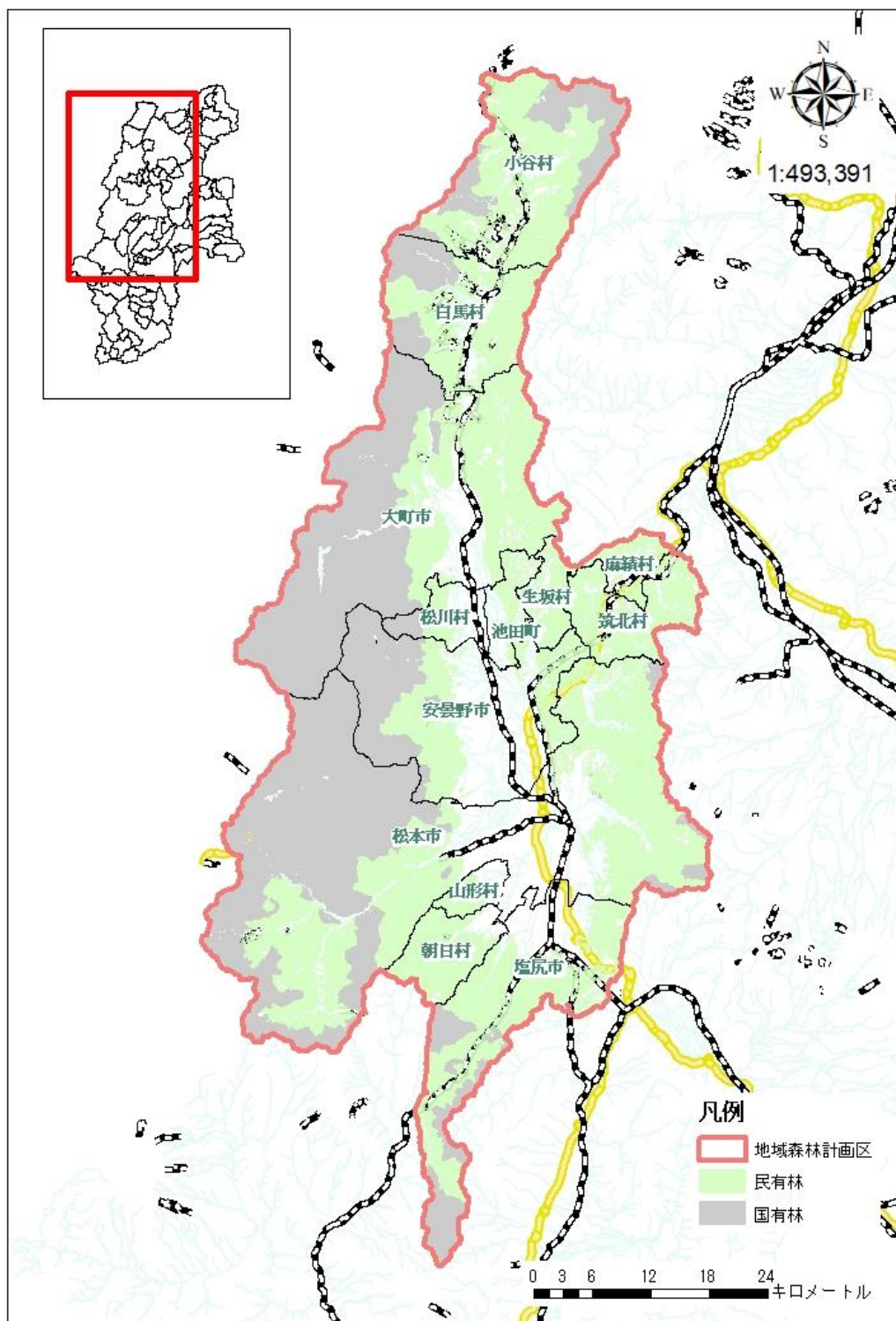
市町村別森林面積(令和7年9月1日現在)

(単位:ha)

区 分	面 積	備 考
松 本 管 内	松 本 市	38,378
	塩 尻 市	15,865
	安 曇 野 市	10,454
	麻 績 村	2,337
	生 坂 村	3,058
	山 形 村	1,273
	朝 日 村	6,085
	筑 北 村	8,245
	計	85,696
北アルプス管内	大 町 市	19,117
	池 田 町	2,143
	松 川 村	1,686
	白 馬 村	10,599
	小 谷 村	16,441
	計	49,986
計 画 区 総 数		135,683

- 注) 1 計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の民有林とする。
- 2 森林計画図は、中部山岳地域森林計画区に含まれる地域の市役所、町村役場及び長野県林務部森林政策課、松本地域振興局、北アルプス地域振興局において閲覧できる。
- 3 面積は四捨五入のため各項の加算値と総数は必ずしも一致しない。
- 4 増減面積が1ha未満の場合、備考に0haにて記載とする。
- 5 地域森林計画の対象となる民有林(次の(1)の事項については保安林及び保安施設地区の区域内の森林並びに海岸法(昭和31年法律第101号)第3条の規定により指定された海岸保全区域内の森林を除き、次の(3)の事項については保安林及び保安施設地区の区域内の森林を除く。)は、次の(1)～(3)までの事項の対象となる。
- (1) 森林法(昭和26年法律第249号)第10条の2第1項の開発行為の許可
- (2) 森林法第10条の7の2第1項の森林の土地の所有者となった旨の届出
- (3) 森林法第10条の8第1項の伐採及び伐採後の造林の届出

【計画の対象とする森林の区域図】



第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的事項

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進します。

近年の豪雨の増加等の自然環境の変化、急速な少子高齢化と人口減少、所有者不明森林や整備の行き届いていない森林の存在等の社会的情勢の変化等にも配慮し、近年の森林に対する要請も踏まえ、花粉発生源対策を加速化するとともに、流域治水とも連携した国土強靱化対策を推進します。加えて、航空レーザ測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網整備の効率化、崩壊リスクが高い箇所における効果的な治山施設配置等を推進し、森林GISの効果的な活用を図ります。

(1) 森林の整備及び保全の目標

森林の整備及び保全の推進に当たっては、全国森林計画に定められた「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」、長野県森林づくり指針に即しつつ、計画の大綱の第3に定める「計画樹立に当たっての基本的な考え方」を踏まえ、計画区の自然的、社会経済的な特質、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する要請、木材需要の動向、森林の構成等に配慮の上、森林の有する機能ごとの望ましい森林の姿をめざして、多様な森林の整備及び保全を計画的に推進することとします。

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

(1)の目標を実現するために、森林の有する公益的機能ごとの基本方針と望ましい森林の姿を表2-1のとおり定めます。

【表2-1】 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針	望ましい森林の姿
かん 水源涵養機能	洪水の緩和や県民生活に必要な良質な水の安定供給を確保する観点から、次の施業を基本とする。 ① 林内が暗く下層植生の乏しい森林は、林内の光環境の改善による下層植生の育成促進と樹木の根を発達させるため、間伐を実施する。 ② 健全な森林土壌の維持のため、適切な保育・間伐を実施する。 ③ 不成績造林地は、植栽により浅根性と深根性の樹種を組み合わせ配置し、森林土壌の粗大空隙を発達促進させる ④ 主伐による裸地は早期に縮小及び分散を図る。	① 粗大孔隙の大きな森林土壌を持つ森林 ② 階層構造が発達し、他樹種が混交する森林 ③ 齢級の高い森林 ④ 林床が下層植生や落葉落枝に覆われた森林

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針	望ましい森林の姿
山地災害防止機能 /土壌保全機能	<p>災害に強い県土を形成する観点から、「災害に強い森林づくり指針」（森林の土砂災害防止機能に関する検討委員会編：長野県林務部）に即した施業を基本とする。</p> <p>施設整備等が必要な森林は、保安林に指定し治山事業による整備を推進する。</p>	<p>① 根系が広く深く発達し、土壌を保持する能力に優れた森林</p> <p>② 樹冠が適度にうっ閉している森林</p> <p>③ 林床が下層植生や落葉落枝に覆われた森林</p> <p>④ 必要に応じ山地災害を防ぐ施設が整備されている森林</p>
快適環境形成機能	<p>地域の快適な生活環境を保全する観点から、次の施業を基本とする。</p> <p>① 樹種の多様性を増進する施業</p> <p>② 着葉量を維持するための適切な保育・間伐等</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>	<p>① 樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高い森林</p> <p>② 諸被害に対する抵抗性が高い森林</p>
保健・レクリエーション機能	<p>県民に憩いと学びの場を提供する観点から、広葉樹等多様な樹種の導入を図る。</p> <p>保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>	<p>① 多様な樹種等からなり、自然とのふれあいの場として適切に管理され、住民等に憩いと学びの場を提供している森林</p> <p>② 必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林</p>
文化機能	<p>潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を実施する。</p> <p>風致の保存のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。</p>	<p>① 史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林</p> <p>② 必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林</p>
生物多様性保全機能	<p>森林生態系の不確実性を踏まえ、様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置された森林を目指す。</p> <p>森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全する。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進する。</p>	<p>① 原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林</p> <p>② 陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林</p>

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針	望ましい森林の姿
木材等生産機能	<p>木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林及び間伐等の森林整備を実施する。</p> <p>その上で、地域の木材集積施設や木材加工施設、木質バイオマス利用等への原木供給を行う。</p> <p>「長野県林内路網整備指針」に基づき、林道や作業路等の整備を積極的に進める。</p>	木材需要側の要望に応えられる、森林経営計画の樹立、路網整備などが進められ、木材の供給体制の整った森林

注) 全国森林計画の「第1表 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針」と併せたものをそれぞれの方針とします。

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

伐採計画材積から造林計画面積を算出することとし、伐採後は全て人工植栽又は天然更新としました。また、未立木地へ植栽する計画として算出しました。

育成複層林は、森林の持つ公益的機能が高度発揮されるよう、過去の実績も踏まえ必要な計画量を設定しました。

【表2-2】 森林の区分別の計画量

(単位 面積:ha)

区 分		現 況	計 画 期 末	差 引 増 減
面 積	育成単層林	57,542	49,540	▲8,002
	育成複層林	748	4,749	4,001
	天然生林	72,940	76,941	4,001
	計	131,230	131,230	
森林蓄積 (m ³ /ha)		178	184	

(注) 1 育成単層林とは、森林を構成する林木を皆伐により伐採し、単一の樹冠層を構成する森林として人為^{※①}により成立させ維持される森林。例えば、植栽により成立するスギ、ヒノキ、カラマツ等からなる森林。



育成単層林

2 育成複層林とは、森林を構成する林木を帯状若しくは群状又は単木で伐採し、一定の範囲又は同一の空間において、林齢や樹種の違いから複数の樹冠層^{※②}を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。例えば、針葉樹を上木とし、広葉樹を下木とする森林。



育成複層林

3 天然生林とは、主として自然に散布された種子などにより成立し、維持される森林(未立木地及び竹林を含む。)。例えば、天然更新によるミズナラ・ブナ・コメツガ・シラビソ等からなる森林。



天然生林

※^①：「人為」とは、目的に応じ、植栽、更新補助(天然下種更新のための地表のかきおこし・刈払い等)、芽かき、下刈、除伐等の保育及び間伐等の作業を行うこと。

※^②：「複数の樹冠層」とは、林齢や樹種の違いから樹木の高さが異なることにより生ずるもの。

2 その他必要な事項

県及び市町村は、十分な連携のもと、発揮を期待する機能が高度に発揮されるよう、一体的な森林の整備及び保全に努めることとします。

第3 森林の整備に関する事項

第2に定める「森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、次に掲げる事項を踏まえ、森林の整備に関する事項を定めます。

施業の実施に当たっては、山村における過疎化や高齢化の進行を踏まえ、林地生産力の高低や傾斜の緩急といった自然条件のほか、車道等や集落からの距離といった社会的条件を勘案しつつ効率的かつ効果的に行います。また、花粉の発生源となるスギ等の人工林の伐採・植替え等を促進します。このほか、野生鳥獣による森林被害の状況に応じた施業を行います。

なお、「立木の伐採（主伐）の標準的な方法」は、市町村森林整備計画における立木の伐採（主伐）を行う際の指針として定めるものです。

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針

立木の伐採のうち主伐については、あらかじめ伐採後の適切な更新の方法を定め、うえで伐採を行うものとし、特に伐採後の更新を天然更新による場合は、天然稚樹の生育状況、母樹となる木の保存、種子の結実周期、野生鳥獣害の有無等を考慮することとします。

「更新」とは、伐採跡地（伐採により生じた無立木地）において、造林（人工造林又は天然更新）により更新樹種を育成し、再び立木地にすることをいいます。

なお、主伐方法の選択に当たっては、更新方法及び成林の可否、並びに必要な初期保育施業までの費用負担等を総合的に検討することとします。

【表 3-1】主伐の区分

区 分	主 伐 の 方 法 の 内 容
皆 伐	伐採区域の森林を構成する立木の全部を一度に伐採し収穫する方法であり、伐採跡地が直ちに更新されることを前提としている。更新は一斉に同齢林に更新することから、植林が一般的である。
択 伐	伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行い、更新を図りながら環境の改変を小さくする作業法。 なお、ここで択伐とは、材積による択伐率が 30%以下の択伐をいう（伐採後の造林を人工植栽による場合は、40%以下の択伐率）。

【表 3-2】主伐の留意事項

区 分	留 意 事 項
共通事項	<ul style="list-style-type: none">① 伐採跡地が連続しないように、伐採跡地間には周辺森林の成木の樹高程度（20m以上）の幅を確保する。② 自然条件により人工造林及び天然更新に相当の時間が必要な地域（例えば、標高が高い地域、積雪が多い地域等）は、大規模な伐採を避けるとともに、更新が完了するまで隣接地での伐採は行わない。③ 森林の公益的機能を保全するため必要がある場合には、所要の保護樹林帯を設置することとする。④ 伐採後の更新が天然更新による場合は、前生樹の発生状況や母樹の配置等に配慮する。

区 分	留 意 事 項
<p>共通事項</p> <p>(前ページからの続き)</p>	<p>⑤ 伐採後の更新がぼう芽更新による場合は、ぼう芽が難しい夏季の伐採は避けるとともに、良好な光条件を確保するため、根株に枝条等を集積して被覆しないこととする。</p> <p>⑥ 森林経営計画に基づいて施業を行う場合は、あらかじめ森林経営計画の認定を受けておく必要がある。</p> <p>⑦ 伐採作業に伴う林業機械の走行等に必要な集材網の作設等に当たっては、伐採する区域の地形や地質等を十分に確認した上で配置の計画や施工等を行い、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑える。</p> <p>⑧ あらかじめ適切な更新方法を計画し、その方法を勘案して伐採を行うとともに、地拵えや植栽等の造林作業、天然稚樹の生育の支障とならないよう枝条類を整理する。特に伐採後の更新が天然更新により行われる場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮する。</p> <p>⑨ 林地の保全、雪崩や落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持、溪流周辺や尾根筋等の森林における生物多様性の保全等のため必要がある場合には、人工林・天然林を問わず所要の保護樹帯を設置する。</p>

区 分	留 意 事 項
皆 伐	<p>① 原則として傾斜が急な所、風害・雪害の気象害がある所、野生鳥獣の被害が激しいところは避け、確実に更新が図られるところで行うものとする。</p> <p>② 一箇所当たりの皆伐の面積は、20haを超えないものとする。また、長野県主伐・再造林ガイドライン（令和5年3月長野県林務部）に基づき、一伐区あたりの面積はおおむね5haまでを推奨する。</p> <p>③ 隣接する伐採跡地との間には、幅20m以上の保残帯を設けること。</p> <p>④ ②、③に関わらず、気候、地形、土壌等の自然的条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、伐採面積及び伐採区域のモザイク的配置に配慮すること。</p> <p>⑤ 次の土地に隣接する森林は、防災上の観点から20m程度の緩衝帯を残すよう心掛けること。</p> <p>河川、溪流沿いの水辺環境、耕作地 人家、工場等建造物、幹線道路、鉄道</p>
択 伐	<p>① 群状伐採にあつては、一箇所当たりの伐区面積は0.05ha未満とし、隣接する伐区との間は、20m以上離れていること。</p> <p>② 带状伐採にあつては、伐採する帯の幅は、10m未満とし、隣接する伐採帯との間は、20m以上離れていること。</p> <p>③ 森林の有する公益的機能の維持増進が図られる林分構成となるよう、適切な伐採率により一定の立木材積を維持する。</p>

(参考) 伐採方法の区分について

地域森林計画は、全国森林計画に即して立てる計画と規定されており、伐採方法の区分は、全国森林計画に準じています。

一方、森林学（林学）上の伐採方法の区分は、一般に次の3種に大別されます。

伐採種		伐採方法	更新方法
皆伐		更新面の林木を全部伐採し、主に植栽によって一様に更新させる伐採方法。	人工造林 天然下種 ぼう芽（広葉樹）
漸伐	傘伐	上層木の伐採完了する前に更新を行う伐採方法。 予備伐、下種伐、後伐により、高木が全て伐採される時には、稚樹が生えそろっている状況で伐採を行う。	天然下種
	画伐	更新地を漸次拡張する区画単位で伐採を行い、拡張した伐採地の更新後、全ての上木を伐採し、更新を終える伐採方法。	
択伐		単木や群状にて数年おきにその間の成長量だけ伐採する作業。天然更新を前提とした伐採方法。	天然下種 ぼう芽（広葉樹）

なお、更新とは、主伐の前または後に次代の森林を作ること、人工造林と天然更新とがあります。また、広葉樹林では、萌芽による更新も行われます。

ここで、主伐というのは、林木が目的の大きさに達した時に伐採することをいいます。

(参考図書) 「森林・林業実務必携第2版補訂版 P276」 東京農工大学農学部編

(2) 立木の標準伐期齢に関する指針

立木の標準伐期齢は、平均成長量が最大となる年齢を基準に表3-3のとおり定めます。

なお、立木の標準伐期齢は、森林の伐採を義務付けるものではありません。

【表 3-3】樹種ごとの標準伐期齢

区分	主 な 樹 種				
針葉樹	カラマツ	アカマツ	スギ	ヒノキ	その他針葉樹
	40年	40年	40年	45年	60年
広葉樹	クヌギ	ナラ類	ブナ		その他広葉樹
	15年	20年	70年		20年

(3) 立木の伐採・搬出に関する指針

立木の伐採・搬出に当たっては、土砂の流出等を未然に防止し、林地保全を図るとともに、生物多様性の保全にも配慮しつつ伐採・搬出後の林地の更新を妨げないように配慮することを踏まえ、林業事業体等が主伐時における立木の伐採・搬出する場合は、国で定める「主伐時における伐採・搬出指針（令和5年3月31日付け4林整整第924号林野庁長官通知）」に則して伐採・搬出することとします。

(4) その他必要な事項

ア 主伐後の更新の確認方法

【表 3-4】更新の確認時期と確認者

主伐の届出	更新方法	確認時期	確認者
伐採及び伐採後の造林の届出書	人工造林	伐採終了年度の翌年度の初日から2年を経過する日までの期間に確認する。	市町村
	天然更新	伐採終了年度の翌年度の初日から5年を経過する日までの期間に確認する。	
森林経営計画に係る伐採等の届出書	人工造林	伐採終了年度の翌年度の初日から2年を経過する日までの期間に確認する。	県認定計画は、 地域振興局 市町村認定計画は、 市町村
	天然更新	伐採終了年度の翌年度の初日から5年を経過する日までの期間に確認する。	

注)「伐採及び伐採後の造林の届出書」を提出した森林については、伐採が完了した日から30日以内に「伐採に係る森林の状況報告書」を、造林を完了した日から30日以内に「伐採後の造林に係る森林の状況報告書」のそれぞれ提出することが義務付けられています。

確認方法は、第3の2 造林の更新完了の基準及び調査の方法のとおりとします。

なお、森林所有者等の届出者への指導・助言や市町村の確認調査にあたっては、地域振興局の林業普及指導員等が積極的に技術的な助言、協力を行うこととします。

2 造林に関する事項

造林については、裸地状態を早期に解消して森林の有する公益的機能の維持を図るため、更新されるべき期間内に行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然条件等に応じて、人工造林又は天然更新によるものとします。特に、天然更新には不確実性が伴うことから、現地の状況を十分確認すること等により適切な更新方法を選択し、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林においては人工造林による更新を図ることとします。伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急な更新を図ります。

また、花粉症発生源対策の加速化を図るため、県内の採種園の植栽木を踏まえ、成長に優れた特定母樹やエリートツリー（第2世代精英樹等）等の苗木や花粉の少ない苗木の増加に努め、花粉の少ない苗木の植栽、広葉樹の導入等に努めます。

なお、市町村森林整備計画における造林に関する事項は、以下の内容を参考に定めるものとします。

(1) 人工造林に関する指針

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、特に効率的な施業が可能な森林等の木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行うこととします。

ア 人工造林の対象地

【表 3-5】人工造林の対象地

人工造林の対象地	木材生産の適地
	森林の有する公益的機能の発揮が必要な土地
	特に効率的な施業が可能な森林
	植栽によらなければ適確な更新が困難な森林

イ 人工造林の標準的な方法に関する指針

(ア) 人工造林の対象樹種及び植栽本数

植栽木は、適地適木を旨とし、苗木や品種の特性を踏まえて選定を行います。

植栽本数は、表 3-6 の植栽本数を標準として、多様な施業体系や木材生産目標等を考慮し、疎仕立てでは一般材・合板材等、中庸仕立てでは優良材・大径材等を生産することを目標として検討します。

なお、効率的な施業の実施の観点から技術的合理性に基づき、現地の状況に応じた植栽本数について考慮しつつ、低密度植栽（疎仕立て）の導入に努めることとします。

また、伐採に用いた林業機械を地拵えや苗木運搬なども活用して、軽労化を図ると共に、伐採から造林までの一貫作業の導入を進め（積雪地での翌年植栽を含む）、植栽適期が広いコンテナ苗や、下刈回数を削減できる大苗の使用により、低コスト化を図るものとします。

これらを踏まえて、植栽木とその植栽本数を決定します。

【表 3-6】樹種別の植栽本数一覧表

仕立て方法	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	その他 針葉樹	広葉樹
	ha当たりの植栽本数(本) 目安					
疎仕立て	1,500	—	—	1,500	—	—
疎仕立て～ 中庸仕立て	2,000	2,000	2,000	1,800	2,000	—
中庸仕立て	3,000	3,000	3,000	2,300	3,000	3,000

※注：保安林にあっては、指定施業要件に定める植栽本数以上を行うこととします。

(イ) 人工造林の標準的な方法

a 地拵えの方法

伐採木及び枝条等が植栽や保育作業の支障とならないように整理するとともに、林地の保全に配慮することとします。また、伐採・搬出に用いる林業機械を

地拵え作業でも活用し、作業の効率化に努めることとします。

b 植付けの方法

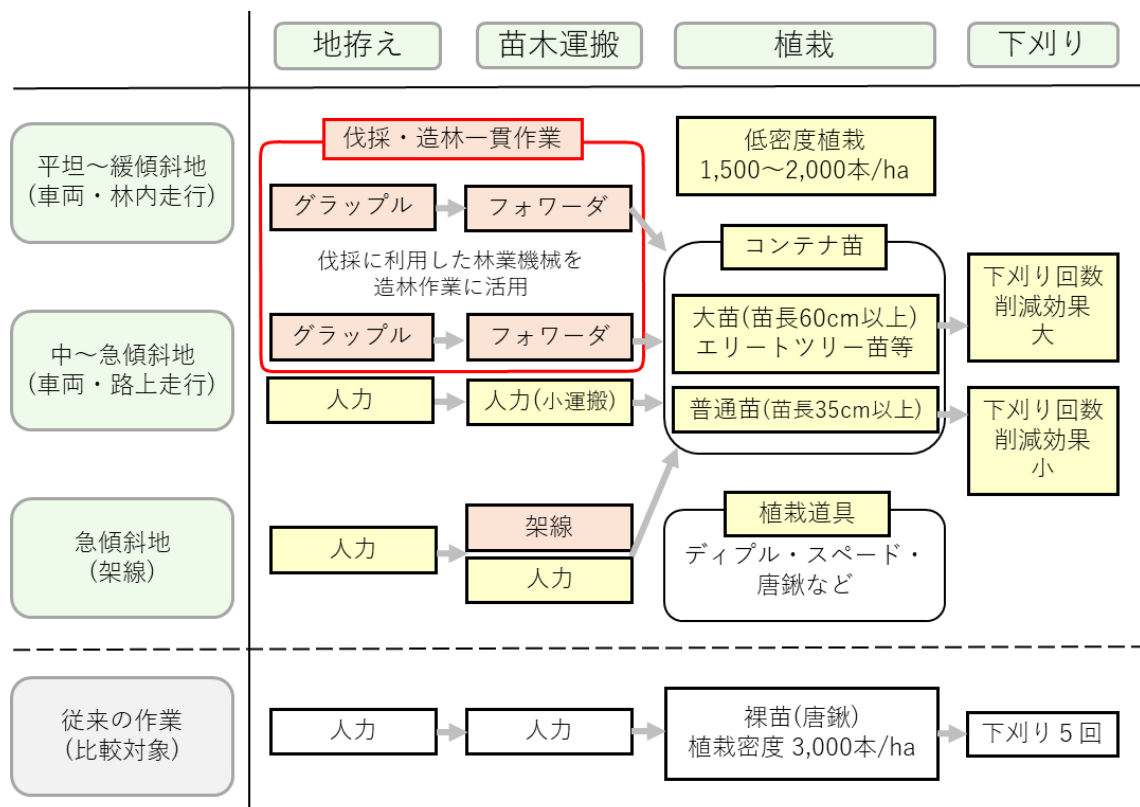
気候、コンテナ苗等の特性、植栽する苗木の種類、その他立地条件、既往の植栽方法及び施業の効率性を勘案するとともに、適期に植え付けることとします。

c 野生鳥獣による被害防止の方法

近年のニホンジカ等による食害により、更新することが困難な箇所も今後発生する恐れがあることから、鳥獣害防止対策を検討することとします。

d 人工造林の省力・低コスト化

機械による地拵え・苗木運搬や伐採・造林の一貫作業並びに低密度植栽等の技術を適切に組み合わせることにより、造林作業全体の省力・低コスト化に努めることとします。組み合わせにあたっては、傾斜等の立地条件や林業事業体の体制等を踏まえ、各地域において最適と考えられる方法を選択することとします。



【参考図】 省力・低コスト化に資する標準的な作業の組合せ
(林野庁 造林に係る省力化・低コスト化技術指針 p32 より一部改変)

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間に関する指針

森林の有する公益的機能の早期回復及び森林資源の維持増進を図るため、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林及びそれ以外の森林の伐採跡地において伐採跡地の人工造林をすべき期間について、次のとおりとします。

【表 3-7】伐採跡地の人工造林をすべき期間

皆 伐	択 伐
伐採終了年度の翌年度の初日から 2 年 を経過する日までの期間	伐採終了年度の翌年度の初日から 5 年 を経過する日までの期間

上記の期間については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林及びそれ以外の森林においても同様とし、人工造林を行う際の指針として市町村森林整備計画において定めます。

(2) 天然更新に関する指針

天然更新については、前生稚樹の生育状況、母樹の存在等森林の現況、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行うこととします。

ア 天然更新の対象地

【表 3-8】天然更新の対象地

天然更新の対象地	周辺森林からの実生による更新可能地
	ぼう芽更新が期待できる樹種の伐採跡地
	人工造林不成績地で天然更新が進行した箇所 (森林病虫害、野生鳥獣被害地も含む。)
	気象害等の被害跡地で天然更新が進行した箇所

イ 天然更新の対象樹種に関する指針

天然更新のうち、天然下種更新の対象樹種は、林冠を構成する高木性の樹種から選定するものとします。また、ぼう芽更新による場合の対象樹種は、ぼう芽能力の強いものとして選定します。

なお、平成24年 3 月林野庁計画課編『天然更新完了基準書作成の手引き(解説編)』によれば、ぼう芽更新は、根元直径とぼう芽発生数には強い関連があることが分かっていることから、更新未完了の若齢広葉樹林や根元直径40cm以上、おおむね80年生以上の広葉樹林は、ぼう芽更新が困難な森林として扱い、更新確認には特に留意します。

対象樹種は、下表を基準とします。

【表 3-9】天然下種更新樹種一覧表

バッコヤナギ(ヤナギ科)	オノエヤナギ(ヤナギ科)	その他ヤナギ類(ヤナギ科)
サワグルミ(クルミ科)	オニグルミ(クルミ科)	ヨグソミネバリ(ミズメ)(カバノキ科)
ウダイカンバ(カバノキ科)	シラカンバ(カバノキ科)	ダケカンバ(カバノキ科)
ネコシデ(カバノキ科)	ハンノキ(カバノキ科)	ケヤマハンノキ(カバノキ科)
コバノヤマハンノキ(カバノキ科)	ヤハズハンノキ(カバノキ科)	ミヤマハンノキ(カバノキ科)
ヤシヤブシ(カバノキ科)	ミヤマヤシヤブシ(カバノキ科)	ヒメヤシヤブシ(カバノキ科)
オオバヤシヤブシ(カバノキ科)	アサダ(カバノキ科)	サワシバ(カバノキ科)
クマシデ(カバノキ科)	イヌシデ(カバノキ科)	アカシデ(カバノキ科)
ブナ(ブナ科)	イヌブナ(ブナ科)	コナラ(ブナ科)
ミズナラ(ブナ科)	アベマキ(ブナ科)	クヌギ(ブナ科)
カシワ(ブナ科)	クリ(ブナ科)	エゾエノキ(ニレ科)
ケヤキ(ニレ科)	フサザクラ(フサザクラ科)	カツラ(カツラ科)
ヒロハカツラ(カツラ科)	タムシバ(モクレン科)	コブシ(モクレン科)
ホオノキ(モクレン科)	ヤマザクラ(バラ科)	カスミザクラ(バラ科)
オオヤマザクラ(バラ科)	ミヤマザクラ(バラ科)	ウワミズザクラ(バラ科)
イヌザクラ(バラ科)	ズミ(バラ科)	ウラジロノキ(バラ科)
ナナカマド(バラ科)	キハダ(ミカン科)	イタヤカエデ(カエデ科)
ウリハダカエデ(カエデ科)	オオモミジ(カエデ科)	ヤマモミジ(カエデ科)
コミネカエデ(カエデ科)	トチノキ(トチノキ科)	シナノキ(シナノキ科)
ナツツバキ(ツバキ科)	ハリギリ(ウコギ科)	コシアブラ(ウコギ科)
ヤマボウシ(ミズキ科)	ミズキ(ミズキ科)	リョウブ(リョウブ科)
オオバアサガラ(エゴノキ科)	コバノネリコ(アオダモ)(モクセイ科)	アカマツ(マツ科)
カラマツ(マツ科)	キタゴヨウ(マツ科)	チョウセンゴヨウ(マツ科)
モミ(マツ科)	ウラジロモミ(マツ科)	シラビソ(マツ科)
オオシラビソ(マツ科)	トウヒ(マツ科)	ツガ(マツ科)
コメツガ(マツ科)	スギ(スギ科)	コウヤマキ(コウヤマキ科)
ヒノキ(ヒノキ科)	サワラ(ヒノキ科)	アスナロ(ヒノキ科)
クロベ(ネズコ)(ヒノキ科)	ネズミサシ(ヒノキ科)	イチイ(イチイ科)

(平成 20 年 1 月 長野県「災害に強い森林づくり指針」解説を参考としました。)

【表 3-10】ぼう芽更新樹種一覧表

区分	樹種	ぼう芽能力がピークとなる根元直径及びその時の平均ぼう芽本数 (参考)		ぼう芽の発生するおおむねの限界根元直径 (参考)
ぼう芽更新樹種	ミズナラ(ブナ科)	20 cm	30 本	50 cm
	コナラ(ブナ科)	10 cm	20 本	40 cm
	クリ(ブナ科)	20 cm	60 本	40 cm
	ホオノキ(モクレン科)	20 cm	20 本	60 cm
	カスミザクラ(バラ科)	10 cm	20 本	40 cm
	イタヤカエデ(カエデ科)	10 cm	20 本	20 cm
	ウリハダカエデ(カエデ科)	10 cm	20 本	40 cm
	※クマシデ(カバノキ科)	10 cm	10 本	20 cm
	※オオモミジ(カエデ科)	10 cm	10 本	50 cm
	※コシアブラ(ウコギ科)	10 cm	10 本	30 cm
	※ミズキ(ミズキ科)	10 cm	10 本	30 cm
	※リウウブ(リウウブ科)	10 cm	10 本	20 cm

※印は、ぼう芽更新はするものの、ぼう芽能力の弱い樹種

(平成24年3月林野庁計画課編『天然更新完了基準書作成の手引き(解説編)』を参考としました。)

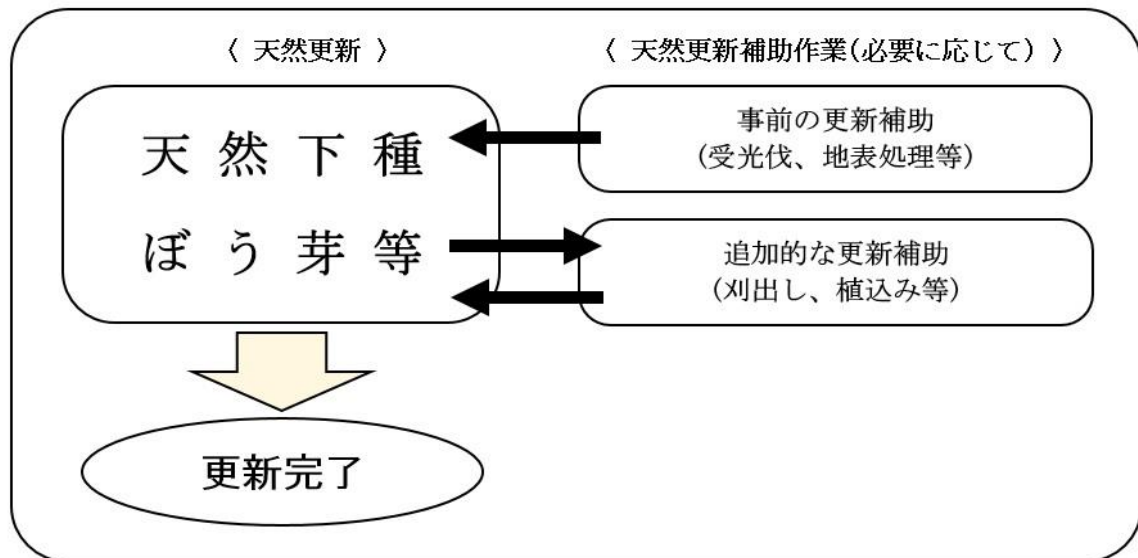
ウ 天然更新の標準的な方法に関する指針

更新の種類は、天然下種更新及びぼう芽更新とし、更新補助の作業は次のとおり定めます。

【表 3-11】天然更新方法

区分	方 法	内 容
天然更新	天然下種更新	天然力により種子を散布し、その発芽、成長を促して更新樹種を成立させるために行うものとする。
	ぼう芽更新	樹木を伐採し、その根株からのぼう芽を促して更新樹種を成立させるために行うものとする。
天然更新補助作業	地 表 処 理	ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所について、種子の確実な定着と発芽を促し、更新樹種が良好に生育できる環境を整備するために地表かき起こし、枝条整理等を行うものとする。
	刈 出 し	ササ、低木、シダ類、キイチゴ類、高茎草本等の競合植物により更新樹種の生存、生育が阻害されている箇所について刈払い等を行うものとする。
	植 込 み	更新樹種の生育状況等を勘案し、天然更新が不十分な箇所に必要な本数を植栽するものとする。

更新条件が当初の想定と異なり、更新成績が不良となっている場合（種子の凶作、ササ類の繁茂等）には、速やかに追加的な天然更新補助作業を実施します



エ 天然更新の完了判定基準

「更新」とは、第3の1(1)で定めたとおり、伐採跡地（伐採により生じた無立木地）において、造林により更新樹種を育成し、再び立木地にすることをいいます。

天然更新の場合、「再び立木地」となった更新樹種の成立本数（周辺の植生の草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高以上のものに限ります。）は、立木度3に相当する本数以上に成立していなければなりません。

ここで、「立木度」とは、次の式で表すものです。

$$\text{立木度} = \frac{\text{現在の林分の立木の本数（本/ha）}}{\text{当該林分と同一の樹種及び林齢に相当する期待成立本数（本/ha）}} \times 10$$

以上のことを踏まえ、天然更新の完了判定基準を次のとおり定めます。

なお、判定の時期は、第3の1(3)表3-4の天然更新の確認時期とし、判定者は確認者と同様とします。

【表 3-12】天然更新の完了判定基準表

区分	内容	備考
期待 成立本数	10,000 本/ha 以上	森林資源モニタリング調査の調査結果、広葉樹が優先する林齢 5 年生の調査プロットの平均成立本数が約 10,000 本/ha（平均樹高 3～4m）であったことから設定。（平成 24 年 3 月林野庁計画課編『天然更新完了基準書作成の手引き（解説編）』を参照）
更新すべき 立木本数	3,000 本/ha 以上	立木度の計算式より設定。
稚樹高	競合植物の草丈との関係により、表 3-13 を参考に判断する。	
更新を判定 する時期	伐採終了年度の翌年度の初日から 5 年を経過した日までに判定する。 判定日に更新すべき立木本数が不足する場合は、追加の天然更新補助作業を行うか、または不足本数を人工造林し伐採終了年度の翌年度初日から 7 年を経過した日までに判定する。	

【表 3-13】競合植物の草丈及び更新樹種の稚樹高の関係表 (3,000 本/ha の場合)

(単位: cm)

競合植物の草丈	10	20	30	40	50	60	70	80	90
成林に必要な稚樹高	50	80	80	130	150	180	200	230	250
競合植物の草丈	100	110	120	130	140	150	160	170	180
成林に必要な稚樹高	270	290	310	340	340	360	380	400	410
競合植物の草丈	190	200							
成林に必要な稚樹高	430	450							

(平成24年3月林野庁計画課編『天然更新完了基準書作成の手引き（解説編）』から引用しました。)

オ 更新調査

(ア) 更新調査の実施主体

更新調査の実施主体は、第 3 の 1 (3) 表3-4 の天然更新の確認者と同様に市町村及び地域振興局(県現地機関)とします。

(イ) 更新調査の方法

更新調査は、標本抽出調査及び標準地調査によることとし、調査の信頼度を確保できる範囲で調査区(調査プロット)の数及び面積を設定するものとします。

なお、明らかに更新の判定基準を満たしている場合は、更新の状況が明確に判る写真を撮影して記録し、目視による調査も可能とします。

a 調査区及びプロットの設定

調査地は、対象地の尾根部、中腹部、沢部のそれぞれ1ヶ所以上の標準的箇所を選んで設定します。1 調査区の大きさは2 (幅)×10 (長さ) mの帯状とし、調査区内は長さ方向に5 区分 (2m×2m×5プロット) とし、調査区の長さ方向は斜面傾斜方向に配置します。

b 調査方法

調査は1プロット毎に所定の樹高以上の稚幼樹の樹種別本数調査を行うものとします。なお、ナラ類などぼう芽更新の場合は株数をもって本数とします。

c 調査の記録

調査を実施した際は、野帳に記録し、写真を撮影して保管します。また、調査位置は、GPSを利用し位置情報を記録し、森林GISで管理することを推奨します。

なお、調査記録は、その後の森林管理に役立つものであることから、永年保存とすることを推奨します。

(ウ) 天然更新すべき立木の本数に満たない場合の対応

更新調査の結果、更新樹種の成立本数が天然更新すべき立木の本数に満たない場合、第3の1(3)表3-4 確認者は造林者に対して、速やかに植栽又は天然更新補助作業のいずれかを実施するよう指導するとともに、伐採を終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して7年を経過する日までに、前項に準じて再度の更新調査を行うものとします。

(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

人工林を伐採し天然更新を計画する場合は、近隣の伐採跡地や若齢の造林地における天然更新の立木の生育状況、人工林の林床や地表に生育する若齢木及び前生稚樹の有無、周囲の種子の供給源となる広葉樹林の有無などから天然更新の実施の可否を判断します。その判断の結果、天然更新による森林化が期待できない森林である場合は、「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」として定め、適確な更新を確保します。

ただし、近年のニホンジカ等による食害により、更新することが困難な箇所もあることから、鳥獣害防止対策を検討することとします。

なお、「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」の基準は、市町村森林整備計画において定めるものとします。

3 間伐及び保育に関する事項

間伐及び保育は、公益的機能別施業森林にあつては、その機能増進のため、木材生産機能維持増進森林にあつては、木材の利用価値を高めるために行います。ここでは間伐の標準的な方法及び保育の施業種を定めます。

なお、市町村森林整備計画における間伐及び保育に関する事項は、以下の内容を参考にして定めるものとします。

(1) 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針

間伐については、林冠閉鎖（隣り合わせた樹木の葉が互いに接して樹冠が相互に接して葉の層が林地を覆ったようになることをいう。以下同じ。）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採する方法により、伐採後、一定の期間内（概ね5年後）に林冠が再度樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが見込まれる森林において行う、立木材積が35%以内の伐採を行うものとします。

間伐に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持され、根の発達が促されるよう、適切な伐採率により繰り返し行います。特に高齢級の森林における間伐に当たっては、その必要性を十分に検討の上、今後の立木の成長力に留意し行うものとします。

施業の省力化・効率化の観点から、列状間伐の導入を検討することとします。

次表に示す施業体系を基礎とし、必要な事項を定めます。

【表 3-14】スギ(表系)の施業体系

区分		間伐回数（主伐期）						間伐木の選定	備考
		1	2	3	(主伐Ⅰ) 4	(主伐Ⅱ) 5	(主伐Ⅲ) 6		
林齢（年）	地位級Ⅰ	14	18	23	30	40	55	点状間伐 1. 立木の形質区分 (1) 良質な立木樹幹が通直正円で、傷がなく、樹冠は四方に発達し片寄りのない生長状態の良好な立木 (2) 並の立木形質及び生育状態に、著しい欠点のない立木 (3) 不良な立木被圧木、曲り木、傾斜木、被害木、衰弱木、あばれ木、二又木等形質、生育ともに、著しく不良な立木 2. 選木 初回の間伐は前 1(3)の立木が対象となるが、間伐率によっては、前 1(2)の立木も対象とする。 3. 立木の配置 間伐率を念頭におく中で、立木の配置が均等になるように実行する。 列状間伐 列状間伐を実施する場合には、1 列伐採、2 列残存を標準とする。	1. 建築用材を主な生産目標とした指針表である。 2. 収量比数(Ry=0.70) を中心とした本数管理であって、「中庸仕立て」の指針表である。 3. 大径材(胸高直径40cm、心去角10.5cm×10.5cm、4 本以上採材)の生産対象林分は地位級Ⅰ～Ⅱとする。 4. 現在ある林分をこの指針表に適用する場合は、林分中の上層部の樹高と林齢及び、ha 当たり本数を求めて、本表の上層樹高及び林齢に近似する欄の ha 当たり「本数」と比較し、「同値」であれば、そのまま適用し「多い」場合は間伐率を 40%以内で試算して、本表の数値に近似させる なお、本表の間伐前本数より少なく、間伐後本数より多い場合には、本表によって間伐を実施する。 5. 地域の状況により、密仕立て又は疎仕立てを行おうとする場合には、林分の状況に応じて収量比数を±0.1 の範囲で調整実施する。
	地位級Ⅱ	16	20	27	36	51	85		
	地位級Ⅲ	18	23	32	46	80	—		
	地位級Ⅳ	21	27	41	72	—	—		
	地位級Ⅴ	25	35	64	—	—	—		
上層樹高(m)		11.0	14.0	18.0	22.0	26.0	30.0		
胸高直径(cm)	前	12.6	16.0	21.0	26.2	32.5	39.5		
本数 (本/ha)	前	2,700	1,900	1,300	900	600	400		
間伐本数 (本/ha)		800	600	400	300	200	—		
間伐率 (%)		30	32	31	33	33	—		
形状比 (%)	前	87	87	86	84	80	76		
	後	79	77	77	75	72	—		
収量比数 (Ry)	前	0.76	0.76	0.76	0.73	0.69	0.62		
	後	0.64	0.64	0.64	0.60	0.56	—		
材の主な用途		仮設、 建築、 用材等	建築用材 等	柱角等、 建築用材	柱角・平割・平角等 建築用材		建築用材 (内装材) (造作材)		
				合板			バイオマス		

【表 3-15】スギ(裏系)の施業体系

区分		間伐回数（主伐期）						間伐木の選定	備考
		1	2	3	(主伐Ⅰ) 4	(主伐Ⅱ) 5	(主伐Ⅲ) 6		
林齢 (年)	地位級Ⅰ	9	13	18	25	34	55	点状間伐 4. 立木の形質区分 (4) 良質な立木樹幹が通直正円で、傷がなく、樹冠は四方に発達し片寄りのない生長状態の良好な立木 (5) 並の立木形質及び生育状態に、著しい欠点のない立木 (6) 不良な立木被圧木、曲り木、傾斜木、被害木、衰弱木、あばれ木、二又木等形質、生育ともに、著しく不良な立木 5. 選木 初回の間伐は前 1(3)の立木が対象となるが、間伐率によっては、前 1(2)の立木も対象とする。 6. 立木の配置 間伐率を念頭におく中で、立木の配置が均等になるように実行する。 列状間伐 列状間伐を実施する場合には、1 列伐採、2 列残存を標準とする。	1. 建築用材を主な生産目標とした指針表である。 2. 収量比数(Ry=0.55)を中心とした本数管理であって、「疎仕立て」の指針表である。 3. 大径材(胸高直径 40cm、心去角 10.5cm×10.5cm、4 本以上採材)の生産対象林分は地位級Ⅰ～Ⅱとする。 4. 現在ある林分をこの指針表に適用する場合は、林分中の上層部の樹高と林齢及び、ha 当たり本数を求めて、本表の上層樹高及び林齢に近似する欄の ha 当たり「本数」と比較し、「同値」であれば、そのまま適用し「多い」場合は間伐率を 40%以内で試算して、本表の数値に近似させる なお、本表の間伐前本数より少なく、間伐後本数より多い場合には、本表によって間伐を実施する。 5. 雪害等を考慮し、形状比を低く保つように配慮する。
	地位級Ⅱ	11	15	22	32	45	88		
	地位級Ⅲ	13	19	29	44	78	—		
	地位級Ⅳ	17	25	42	85	—	—		
	地位級Ⅴ	23	39	—	—	—	—		
上層樹高(m)		8.0	11.0	15.0	19.0	23.0	28.0		
胸高直径 (cm)	前	11.0	14.5	19.8	25.4	31.7	40.0		
本数 (本/ha)	前	2,300	1,700	1,100	750	500	300		
間伐本数 (本/ha)		600	600	350	250	170	—		
間伐率 (%)		26	35	32	33	34	—		
形状比 (%)	前	73	76	76	75	73	70		
	後	68	68	69	68	66	—		
収量比数 (Ry)	前	0.55	0.61	0.61	0.61	0.57	0.54		
	後	0.45	0.47	0.49	0.48	0.44	—		
材の主な用途		仮設、 建築、 用材等	建築用材 等	柱角等、 建築用材	柱角・平割・平角等 建築用材	建築用材 (内装材) (造作材)			
		合板 バイオマス							

【表 3-16】カラマツの施業体系

区分		間伐回数（主伐期）						間伐木の選定	備考
		1	2	3	(主伐Ⅰ) 4	(主伐Ⅱ) 5			
林齢 (年)	地位級Ⅰ	11	16	24	39	58		点状間伐 7. 立木の形質区分 (7) 良質な立木樹幹が通直正円で、傷がなく、樹冠は四方に発達し片寄りのない生長状態の良好な立木 (8) 並の立木形質及び生育状態に、著しい欠点のない立木 (9) 不良な立木被圧木、曲り木、傾斜木、被害木、衰弱木、あばれ木、二又木等形質、生育ともに、著しく不良な立木 8. 選木 初回の間伐は前 1(3)の立木が対象となるが、間伐率によっては、前 1(2)の立木も対象とする。 9. 立木の配置 間伐率を念頭におく中で、立木の配置が均等になるように実行する。 列状間伐 列状間伐を実施する場合には、1 列伐採、2 列残存を標準とする。	1. 建築用材を主な生産目標とした指針表である。 2. 収量比数(Ry=0.65)を中心とした本数管理であって、「中庸仕立て」の指針表である。 3. 大径材(胸高直径38cm、一番玉で、心去角10.5cm×10.5cm、4 本以上採材)の生産対象林分は地位級Ⅰ～Ⅱとする。 4. 現在ある林分をこの指針表に適用する場合は、林分中の上層部の樹高と林齢及び、ha 当たり本数を求めて、本表の上層樹高及び林齢に近似する欄の ha 当たり「本数」と比較し、「同値」であれば、そのまま適用し「多い」場合は間伐率を 40%以内で試算して、本表の数値に近似させる なお、本表の間伐前本数より少なく、間伐後本数より多い場合には、本表によって間伐を実施する。 5. 地域の状況により、密仕立て又は疎仕立てを行おうとする場合には、林分の状況に応じて収量比数を±0.1 の範囲で調整実施する。
	地位級Ⅱ	13	19	29	50	87			
	地位級Ⅲ	15	23	37	76	—			
	地位級Ⅳ	19	31	53	—	—			
	地位級Ⅴ								
上層樹高(m)		10.0	14.0	19.0	26.0	31.5			
胸高直径 (cm)	前	11.5	16.1	22.1	30.0	38.3			
本数 (本/ha)	前	1,800	1,100	670	420	260			
間伐本数 (本/ha)		700	430	250	160	—			
間伐率 (%)		39	39	37	38	—			
形状比 (%)	前	87	87	86	87	82			
	後	77	76	76	76	—			
収量比数 (Ry)	前	0.68	0.71	0.73	0.76	0.72			
	後	0.53	0.56	0.58	0.61	—			
材の主な用途		土木用材等	土木用材等	土木用材 建築用材等	建築用材等	建築用材 (内装材) (造作材)			
		合板		バイオマス					

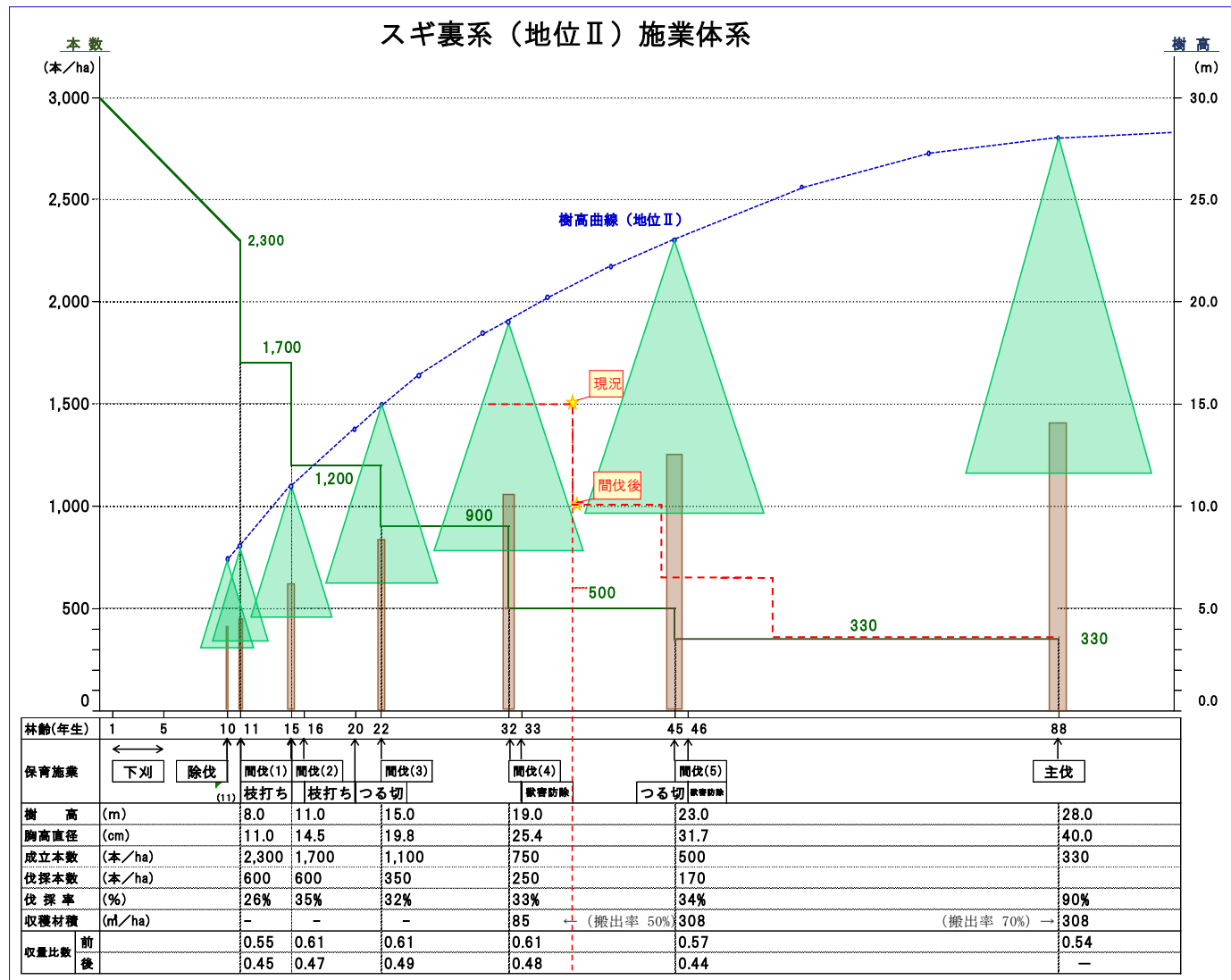
【表 3-17】アカマツの施業体系

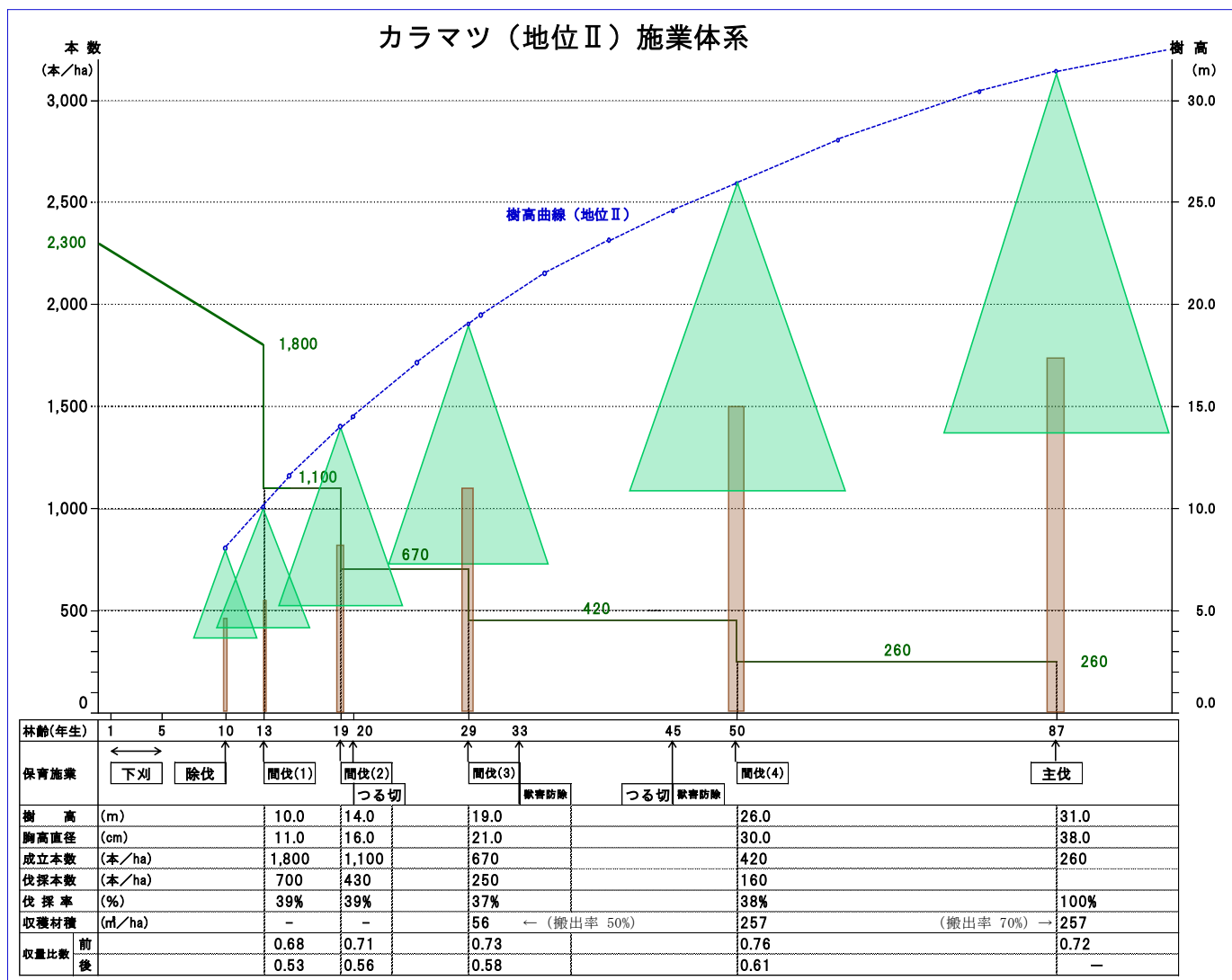
区分		間伐回数（主伐期）						間伐木の選定	備考
		1	2	3	(主伐Ⅰ) 4	(主伐Ⅱ) 5	(主伐Ⅲ) 6		
林齢 (年)	地位級Ⅰ	12	18	24	31	40	54	点状間伐 10. 立木の形質区分 (10) 良質な立木 樹幹が通直正円で、傷がなく、樹冠は四方に発達し片寄りのない生長状態の良好な立木 (11) 並の立木 形質及び生育状態に、著しい欠点のない立木 (12) 不良な立木 木被圧木、曲り木、傾斜木、被害木、衰弱木、あばれ木、二又木等形質、生育ともに、著しく不良な立木 11. 選木 初回の間伐は前 1(3)の立木が対象となるが、間伐率によっては、前 1(2)の立木も対象とする。 12. 立木の配置 間伐率を念頭におく中で、立木の配置が均等になるように実行する。 列状間伐 列状間伐を実施する場合には、1 列伐採、2 列残存を標準とする。 13. 伐採後の管理 伐採後、林分は自然更新を促進するため、必要に応じて、間伐後の林分管理を実施する。 14. 伐採後の利用 伐採後の林分は、必要に応じて、利用可能な資源を確保するため、必要に応じて、利用可能な資源を確保する。 15. 伐採後の評価 伐採後の林分は、必要に応じて、評価可能な資源を確保するため、必要に応じて、評価可能な資源を確保する。 16. 伐採後のモニタリング 伐採後の林分は、必要に応じて、モニタリング可能な資源を確保するため、必要に応じて、モニタリング可能な資源を確保する。	1. 建築用材を主な生産目標とした指針表である。 2. 収量比数(Ry=0.80)を中心とした本数管理であって、「やや密仕立て」の指針表である。 3. 主伐Ⅰでは、枝打ちと平行して長さ 4m～5m、末口 18cm、(皮付胸高直径約 23cm)の桁材等を生産目標とする。 4. 主伐Ⅲでは、長さ 4m～5m、12cm×24cm 角(皮付胸高直径約 34cm)の梁材等を生産目標とする。 5. 現在ある林分をこの指針表に適用する場合は、林分中の上層部の樹高と林齢及び、ha 当たり本数を求めて、本表の上層樹高及び林齢に近似する欄の ha 当たり「本数」と比較し、「同値」であれば、そのまま適用し「多い」場合は間伐率を 33%以内で試算して、本表の数値に近似させる なお、本表の間伐前本数より少なく、間伐後本数より多い場合には、本表によって間伐を実施する。 6. 地域の状況により、中庸仕立て又は疎仕立てを行おうとする場合には、林分の状況に応じて収量比数を－0.2 の範囲で調整実施する。
	地位級Ⅱ	14	21	28	37	51	80		
	地位級Ⅲ	15	24	33	47	75	—		
	地位級Ⅳ	18	29	43	69	—	—		
	地位級Ⅴ	21	38	64	—	—	—		
上層樹高(m)		8.0	12.0	15.0	18.0	21.0	24.0		
胸高直径 (cm)	前	10.1	14.8	19.1	23.6	28.3	33.5		
本数 (本/ha)	前	2,400	1,600	1,100	800	600	450		
間伐本数 (本/ha)		800	500	300	200	150	—		
間伐率 (%)		33	31	27	25	25	—		
形状比 (%)	前	78	81	78	76	74	72		
	後	69	70	69	68	67	—		
収量比数 (Ry)	前	0.67	0.78	0.80	0.82	0.83	0.83		
	後	0.56	0.70	0.73	0.76	0.77	—		
材の主な用途		土木用材等	土木用材等	建築用材等	桁等 建築用材	桁・梁等 建築用材	桁・梁等 建築用材		
		合板							
		バイオマス材（他の用途に適さない部分に限る。）							

【表 3-18】ヒノキの施業体系

区分		間伐回数（主伐期）						間伐木の選定	備考
		1	2	3	(主伐Ⅰ) 4	(主伐Ⅱ) 5	(主伐Ⅲ) 6		
林齢 (年)	地位級Ⅰ	15	19	24	31	39	52	点状間伐 13. 立木の形質区分 (13) 良質な立木 樹幹が通直正円で、傷がなく、樹冠は四方に発達し片寄りのない生長状態の良好な立木 (14) 並の立木 形質及び生育状態に、著しい欠点のない立木 (15) 不良な立木 被圧木、曲り木、傾斜木、被害木、衰弱木、あばれ木、二又木等形質、生育ともに、著しく不良な立木 14. 選木 初回の間伐は前 1(3)の立木が対象となるが、間伐率によっては、前 1(2)の立木も対象とする。 15. 立木の配置 間伐率を念頭におく中で、立木の配置が均等になるように実行する。 列状間伐 列状間伐を実施する場合には、1 列伐採、2 列残存を標準とする。	1. 建築用材を主な生産目標とした指針表である。 2. 収量比数(Ry=070)を中心とした本数管理であって、「中庸仕立て」の指針表である。 3. 主伐Ⅰでは、枝打ちと平行して四面無節、心持正角一本取りとし、胸高直径は 20cm ～ 22cm とする。 4. 主伐Ⅲでは、二面無節、正角四本取りとし、胸高直径は約 30cm とする。 5. 現在ある林分をこの指針表に適用する場合は、林分中の上層部の樹高と林齢及び、ha 当たり本数を求めて、本表の上層樹高及び林齢に近似する欄の ha 当たり「本数」と比較し、「同値」であれば、そのまま適用し「多い」場合は間伐率を 33%以内で試算して、本表の数値に近似させる なお、本表の間伐前本数より少なく、間伐後本数より多い場合には、本表によって間伐を実施する。 6. 地域の状況により、密仕立て又は疎仕立てを行うおうとする場合には、林分の状況に応じて収量比数を±0.1 の範囲で調整実施する。
	地位級Ⅱ	16	22	28	37	50	78		
	地位級Ⅲ	19	25	35	49	80	—		
	地位級Ⅳ	22	31	47	67	—	—		
	地位級Ⅴ	27	44	85	—	—	—		
上層樹高(m)		8.0	11.0	14.0	17.0	20.0	23.0		
胸高直径 (cm)	前	11.7	14.9	18.1	22.3	25.7	29.8		
本数 (本／ha)	前	2,700	2,000	1,500	1,000	800	600		
間伐本数 (本／ha)		700	500	500	200	200	—		
間伐率 (%)		26	25	33	20	25	—		
形状比 (%)	前	69	73	77	77	78	78		
	後	64	68	68	72	72	—		
収量比数 (Ry)	前	0.60	0.68	0.73	0.73	0.74	0.74		
	後	0.51	0.59	0.61	0.66	0.66	—		
材の主な用途		仮設、 建築、 用材等	建築用材 等	平割板等	柱角・平割等 建築用材	柱角 平割等 建築用材 (内装材) (造作材)			
						合板			
		バイオマス材（他の用途に適さない部分に限る。）							

【参考 施業体系に準じた林分状況】





(2) 保育の標準的な方法に関する指針

保育の種類は、次の表のとおりとし、森林の立木の生育の促進並びに林分の健全化及び利用価値の向上を図ることとし、作業内容その他必要な事項を定めます。

【表 3-19】保育の実施時期、回数、作業内容

施業種	実施時期	実施林齢	回数	作業内容	対象樹種
下刈り	(1回目) 6月上旬～ 7月上旬 (2回目) 7月下旬～ 8月下旬	2年生～ 10年生	年1～ 2回	① 目的樹種の樹高が、草本植物等の高さの1.5倍になるまで実施する。必要に応じて、年2回実施する。 ② つる植物の旺盛な箇所は、①の高さを超えても継続して実施すること。 ③ ニホンジカ等の食害が懸念される箇所は、全刈りとせず坪刈り・筋刈りとする。こと。 ④ 広葉樹植栽地、天然更新地においては、あらかじめ目立つ色のテープを巻き付けるか竹棒を設置して、誤伐を避ける対策を講じること。 ⑤ 作業の省力化・効率化にも留意しつつ、状況に応じて下刈り回数の削減や実施期間を短縮することに努める。	全樹種
枝打ち	11月～5月	11年生～ 30年生	最大8m までに 必要な 回数	① 人工造林の針葉樹で実施する。 ② 公益的機能別施業森林においては、林内の光環境に応じ、必要に応じて実施する。 ③ 木材生産機能維持増進森林においては、無節で完満な良質材を生産する場合に実施する。 ④ 将来明らかに間伐する立木の枝打ちは行わず、労力の軽減を図ること。 ⑤ 全木枝打ちは、林内環境が激変することから気象害に遭うおそれがあるため、極力避けること。	スギ ヒノキ
除伐	5月～7月 (9月～3月)	11年生～ 25年生	1回～ 2回	① 目的樹種の生長を阻害する樹木等を除去するために行う。 ② 更新樹種の生育に支障とならない樹木は、残すことが望ましい。	全樹種
つる切り	6月上旬～ 7月上旬	11年生～ 30年生	必要に 応じて 2～3回	枝打ち、除伐と並行して実施することが望ましい。	全樹種

(3) その他必要な事項

ア 間伐を行う際の留意点

- a 沢沿いの伐倒木等は下方へ流下しないよう適切に処理する等、山地災害防止に留意することとします。
- b 針広混交林化を図る森林においては、林内の光環境を改善するため、更新伐、長伐期施業を行うものとします。
- c アカマツの間伐木の処理について

アカマツの間伐木の処理に当たっては、松くい虫被害拡大防止の観点から「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針（令和4年3月16日付3森推第383号長野県林務部長通知）」に従い、マツノマダラカミキリ等の産卵対象とならないよう適切な措置を行います。

伐採及び運搬については、「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業の松本地域独自基準（令和5年7月3日 松本地域振興局長通知）」及び北アルプス地域振興局管内の独自基準「大北地域松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針（令和5年2月15日 北アルプス地域振興局長通知）」により実施します。

イ 鳥獣害防止対策

鳥獣害防止対策については、野生鳥獣による被害を防除するため、地域における森林被害や生育状況等を勘案しつつ、施業と一体的に行う防護柵等の鳥獣害防止施設等の整備や捕獲等を行うこととします。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

公益的機能別施業森林の区域は、森林の有する機能のうち、水源涵養機能、山地災害防止機能/土壌保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能及び生物多様性保全機能の高度発揮が求められており、これらの森林の有する公益的機能の維持増進を図るための森林施業を積極的かつ計画的に実施することが必要かつ適切と見込まれる森林の区域について、次のとおり基準を設定します。

また、木材生産機能の維持増進を図る森林の区域については、林木の生育が良好な森林で地形、地利等から効率的な森林施業が可能な森林の区域について設定します。このうち、林地生産力や傾斜等の自然的条件、林道等や集落からの距離等の社会的条件等を勘案し、森林の一体性も踏まえつつ、特に効率的な森林施業が可能な森林の区域について基準を設定します。

(1) 公益的機能別施業森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

【表 3-20】公益的機能別施業森林の区域の設定基準

機能区分	設定基準	設定区域
水源涵養機能	① 水資源の保全のため森林土壌の涵養能力を維持・増進する必要のある森林を設定する。 ② 林班単位で設定する。 ③ 面的に設定する。	① 水源かん養保安林 ② 水道水源保全地区 ③ 水資源保全地域 ④ ダム集水区域 ⑤ 上下流の協力により水源林の整備を行っている森林 ⑥ 水道水源地周辺の森林
山地災害防止機能 / 土壌保全機能	① 特に近年崩壊等災害があった森林、崩壊のおそれのある森林については、積極的に山地災害の防止機能区域の設定を行う。 ② 林小班単位で設定する。	① 土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林などの保安林 ② 砂防指定地周辺 ③ 山地災害危険地区 ④ 山地災害の発生により人命・人家等施設への被害の恐れがある森林 ⑤ 土壌内に異常な帯水層がある森林 山腹の凹曲部等地表流下水、地中水の集中流下する部分を持つ森林など
快適環境形成機能	① 住民の日常生活に密接な関わりを持つ里山 ② 風害等の気象災害を防止する効果が高い森林 ③ 気象緩和、騒音防止等の機能を発揮している森林	① 防風保安林 ② 地域の生活圏に近接する森林
保健・レクリエーション機能	県民に憩いと学びの場を提供する森林	① 保健保安林 ② キャンプ場、森林公園周辺の森林 ③ 景観として優れた森林 ④ 特定の樹種の広葉樹を育成する森林
文化機能	潤いある自然景観や歴史的風致を構成する森林	① 風致保安林 ② 都市計画法に規定する風致地区 ③ 文化財保護法に規定する史跡名勝天然記念物に係る森林 ④ 特定の樹種の広葉樹を育成する森林
生物多様性保全機能	様々な生育段階や樹種から構成され、かつ、バランス良く配置された森林	① 原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林 ② 陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林

なお、区域内において機能が重複する場合には、それぞれの機能の発揮に支障が生じないように、区域を定めるものとします。

イ 施業の方法に関する指針

公益的機能別施業森林の施業は、表3-20、表3-21のとおりで、設定に当たっては、自然的社会的諸条件を総合的に勘案して、森林所有者が受認し得る範囲内で定めます。

さらに、地域における森林資源の保続に配慮しつつ、多様な木材需要に応じた持続的・安定的な木材等の生産が可能な資源構成となるよう、計画的な主伐と植栽による確実な更新に努めます。

【表 3-21】公益的機能別施業森林と施業種

施業種	水源涵養機能	山地災害防止機能 /土壌保全機能	快適環境形成機能	保健・レクリエーション、文化機能(生物多様性保全機能を一部含む)
伐期の延長を推進すべき森林	【表3-20】公益的機能別施業森林の区域の設定基準(以下、「【表3-20】」という。)のとおりに。 適切な配置等により、一部を皆伐しても維持増進を図るべき公益的機能を発揮することができる森林			
長伐期施業を推進すべき森林		【表3-20】のうち、保安林は、指定施業要件の伐採種を定めない土砂流出防備、干害防備保安林とする。	【表3-20】のとおりに。	【表3-20】のうち、保安林は、指定施業要件の伐採種を定めない保健保安林とする。
複層林施業を推進すべき森林		現行複層林であるもしくは複層林として管理予定の森林		
		【表3-20】のとおりに。		
択伐による複層林施業を推進すべき森林		特に公益的機能の発揮を図るべき森林で、現行複層林であるもしくは複層林として管理予定の森林		
		【表3-20】のうち、保安林は、指定施業要件が択伐である土砂流出防備、土砂崩壊防備、水害防備、干害防備、落石防止保安林とする。	【表3-20】のとおりに。	【表3-20】のうち、保安林については、指定施業要件が択伐である保健保安林と風致保安林とする。
特定広葉樹育成施業を推進すべき森林				特に地域独自の景観等の保持が求められ、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林
				択伐による複層林施業を推進すべき森林の設定区域と同様。

【表3-21】公益的機能別施業森林の施業の実施基準

機能区分	公益的機能別施業森林区域				
	水源涵養機能 <small>かん</small>	山地災害防止機能／土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能			保健・レクリエーション、文化機能（生物多様性保全機能を一部含む）に限定
施業種	伐期の延長	長伐期施業	複層林施業	択伐複層林施業	特定広葉樹育成施業
植栽	主伐の実施後5年経過しても更新が図られていない場合、期待成立本数に不足する本数を植栽する。 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林は、標準的な植栽本数を2年以内に植栽する。				
間伐	材積に係る伐採率が35%以下であり、かつ、伐採年度の翌年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内で行うものとする。		単層林である場合、 $Ry0.85$ 以上の森林については、 Ry が 0.75 以下となるよう間伐する。		
主伐	林齢	標準伐期齢＋10年以上	標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢	標準伐期齢以上	
	伐採方法	皆伐を行う場合は、伐採跡地の面積が連続して20haを超えないこと。		伐採率70%以下の伐採	・天然更新 伐採率30%以下の択伐 ・人工植栽 伐採率40%以下の択伐
		伐採後の造林を天然更新(ぼう芽更新を除く。)による場合は、伐採率70%以下の伐採とする。			
	伐採立木材積	伐採材積が年間成長量(カメラルタキセ式補正)に相当する材積に5を乗じて得た材積以下とする。			
			標準伐期齢における立木材積に10分の5を乗じて得た材積以上の立木材積が確保されること。 立木材積は、下層木を除いて $Ry0.75$ 以上、伐採材積は $Ry0.65$ 以下となるよう伐採する。	標準伐期齢における立木材積に10分の7を乗じて得た材積以上の立木材積が確保されること。	標準伐期齢における立木材積が確保されること。

注) 伐採率は、立木材積で計算します。

(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準
及び当該区域における森林施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

【表 3-22】木材生産機能維持増進森林の設定基準

機能区分	設定基準	設定区域
木材生産機能維持増進	林小班単位で設定する。	① 森林経営計画策定森林 ② 地利級の良い森林 ③ 地位の良い森林 ④ その他木材生産を積極的に行う森林

【表3-23】特に効率的な施業が可能な森林の設定基準

機能区分	設定基準	設定区域
特に効率的な施業が可能な森林	木材生産機能維持増進区域のうち林小班単位で設定する。	次の①～⑤のすべてに該当する森林 ① 人工林が過半 ② 地位 3 以上の森林が過半 ③ 平均傾斜が 30 度以下 ④ 道から小班の距離が 200m以内 ⑤ 制限林は除外 ※ これらの条件に準ずると市町村長が判断した箇所

なお、特に効率的な施業が可能な森林の区域内における人工林の主伐後においては、原則として、植栽による更新を図ることとします。

イ 施業の方法に関する指針

【表 3-24】施業種別の方法

施業種		施 業 の 方 法
植栽		主伐の実施後5年経過しても更新が図られていない場合、期待成立本数に10分の3を乗じた本数に不足する本数を植栽する。 「植栽によられなければ適確な更新が困難な森林」の区域内の伐採後は、標準的な植栽本数を原則 2 年以内に植栽する。 「特に効率的な施業が可能な森林」の区域内における人工林の主伐後は、原則 2 年以内に植栽する。
		間伐 おおむね5年後に樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが見込まれる森林において行う立木材積の35%以内の伐採とする。
主伐	林齢	標準伐期齢以上
	伐採方法	皆伐を行う場合は、伐採跡地の面積が連続して20haを超えないこと。 伐採後の造林を天然更新(ぼう芽更新を除く。)による場合は、伐採率70%以下の伐採とする。
	伐採立木材積	伐採材積が年間成長量に100分の120を乗じて得た値(カメラクセ式補正)に相当する材積に5を乗じて得た材積以下とする。

注) 伐採率は、立木材積で計算します。

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

長野県の林道等路網の整備は、全国森林計画に即しつつ、『長野県林内路網整備指針（平成24年2月長野県林内路網整備指針検討委員会編）』に準拠し推進します。

林道等路網については、一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなるものとします。その開設については、森林の整備及び保全、木材の生産及び流通を効果的かつ効率的に実施するため、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮しつつ推進します。

その際、高性能林業機械開発の進展状況等も考慮しながら、傾斜区分と導入を図る作業システムに応じた目指すべき路網整備の水準を踏まえつつ、林道（林業専用道を含む。以下同じ。）及び森林作業道を適切に組み合わせて整備（既設路網の改良を含む。）します。

また、林道等の開設に当たっては、自然条件及び社会的条件が良く、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に、効率的な森林施業や木材の大量輸送等への対応の視点を踏まえて推進します。

特に、林道の開設に当たっては、災害の激甚化や走行車両の大型化、未利用材の収集運搬の効率化に対応し、河川沿いを避けた尾根よりの線形選択、余裕のある幅員や土場等の適切な設置、排水施設の適切な設置等を推進します。また、既設林道の改築・改良に当たっては、走行車両の大型化等に対応できるよう、曲線部の拡幅や排水施設の機能強化等質的な向上を図ります。

林道の開設及び拡幅、改良に係る計画量については、Ⅱの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標」の実現を図るため、路網の骨格としての機能や森林施業の効果的な実施を確保する観点から、第6の4「林道の開設又は拡張に関する計画」のとおり計画することとします。

○ 基幹路網の現状

区 分		路線数	延 長
基幹路網(林道、林業専用道)		367 路線	932km (2,049km)
	うち林業専用道	7路線	11km

注) 1 令和6年度末現在の集計です。

2 カッコ内は、林内公道を含んだ数字です。

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

『長野県林内路網整備指針』で示すとおり、地形等の状況によって導入システムと路網の組み合わせを検討し、安全で効率的なシステムを採用する必要があります。また、間伐は、森林資源が成熟してきていることから、木材の搬出を主体に考えた搬出作業システムを計画していく必要があります。

中部山岳森林計画区は、緩傾斜地及び中傾斜地では林内路網整備が進みつつあることから、車両系による集材が主でしたが、今後は奥地や急傾斜地での作業の増加が想定されますので、大型架線系との組み合わせも検討していく必要があります。

また、主伐を計画する場合は、その後の更新作業の効率性も勘案した路網配置を検討していく必要があります。

○ 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準 (単位 路網密度：m/ha)

区分	作業システム	路網密度	基幹路網		
			林道	林業専用道	計
緩傾斜地 0～15° 未満	車両系	100～250	15～20	20～30	35～50
中傾斜地 15～30° 未満	車両系	75～200	15～20	10～20	25～40
	架線系	25～75			
急傾斜地 30～35° 未満	車両系	60～150	15～20	0～5	15～25
	架線系	15～50			
急峻地 35° ～	架線系	5～15	5～15	—	5～15

○ 搬出作業システムの適用例(参考)

区分	作業システム	最大到達距離		作業システムの例			
		基幹路網から	細部路網から	伐採	木寄せ・集材	造材 (玉切り)	集運材 (運搬)
緩傾斜地 0～15° 未満	車両系	150m～ 200m	30m～ 75m	ハーベスタ (チェーンソー)	グラップル (ウインチ)	ハーベスタ (プロセッサ)	フォワーダ トラック
中傾斜地 15～30° 未満	車両系	200m～ 300m	40m～ 100m	ハーベスタ チェーンソー	グラップル ウインチ	ハーベスタ プロセッサ	フォワーダ トラック
	架線系		100m～ 300m	チェーンソー	スイングヤード (タワーヤード)	プロセッサ	フォワーダ トラック
急傾斜地 30～35° 未満	車両系	300m～ 500m	50m～ 125m	チェーンソー	グラップル ウインチ	プロセッサ	フォワーダ トラック
	架線系		150m～ 500m	チェーンソー	スイングヤード タワーヤード 短距離簡易架線	プロセッサ	フォワーダ トラック
急峻地 35° ～	架線系	500m～ 1,500m	500m～ 1500m	チェーンソー	タワーヤード 大型架線	プロセッサ	トラック

伐倒



チェーンソーによる伐倒



ハーベスタによる伐倒

造材



プロセッサ



木寄せ



ハーベスタによる直取



グラップル木寄せ



テレスコピック（伸縮）
タイプのグラップル



トラクタ木寄せタイプ



スイングヤーダ



タワーヤーダ

運搬



フォワーダ



システムの一例



スイングヤーダ木寄せに
よる架線系システム



グラップル木寄せによる車
両系システム

(3) 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域(路網整備等推進区域)の基本的な考え方

『長野県林内路網整備指針』11頁の「施業団地の設定」に即し、短期間の伐採・搬出だけを想定するのではなく、地形、地質、森林の有する機能等を踏まえ目標とする将来の森林の姿や施業方法を検討して効率的な森林施業が推進できるよう区域の設定を行います。

基本的には、木材生産機能維持増進森林は、低コスト林業を実現するために路網整備を推進する路網整備推進区域に設定することを基本とします。

(4) 路網の規格・構造についての基本的な考え方

長野県内の路網整備に当たっては、適切な規格・構造を確保した整備を図る観点から、次の規程及び指針に基づき路網づくりを行うこととします。

○ 路網の規格・構造について

規格・構造の根拠	備 考
林道規程	昭和48年4月1日48林野道第107号林野庁長官通知 最終改正：令和3年3月25日2林整整第1210号林野庁長官通知
林道技術基準	平成10年3月4日9林野基第812号林野庁長官通知 最終改正：令和7年3月24日6林整計第671号林野庁長官通知
林業専用道作設指針	平成22年9月24日22林整第602号林野庁長官通知 最終改正：令和3年4月1日2林整整第1396号林野庁長官通知
林業専用道作設指針の運用	平成27年3月26日26林整整第845号林野庁森林整備部長通知 最終改正：令和6年4月18日付け6林整整第7号林野庁森林整備部長、 国有林野部長通知
森林作業道作設指針	平成22年11月17日22林整第656号林野庁長官通知 最終改正：令和5年3月31日4林整整第923号林野庁長官通知
長野県林業専用道作設指針	平成23年4月15日23信木第39号林務部長通知 最終改正：平成23年11月18日付け23信木第384号林務部長通知
長野県森林作業道作設指針	平成23年8月1日23森推325号林務部長通知
長野県林内路網整備指針	平成24年3月23日23信木第542号林務部長通知

(5) 林産物の搬出方法等

ア 林産物の搬出方法

林産物の搬出については、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑えつつ、効率性を確保するよう、国で定める「主伐時における伐採・搬出指針（令和5年3月31日付け4林整整第924号林野庁長官通知）」に則して傾斜等の地形、地質、土壌等の条件に応じた適切な方法により搬出することとします。

イ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法

該当なし

6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化その他森林施業の合理化に関する事項

県、市町村、森林・林業・木材産業関係者の合意形成を図りつつ、以下の事項について、計画的かつ総合的に推進します。

また、国有林と民有林が隣接する地域では、地域を管轄する森林管理署と情報交換を密に行い、効率的で一体となった民国連携による森林施業団地の設定を進めます。

(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大及び森林施業の共同化に関する方針

施業集約化と長期施業受委託等に必要な森林情報の提供及び助言、あっせんなどを推進し、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業事業体への委託を進めます。

その際、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、森林の土地の所有者届出制度の運用や固定資産税情報の適切な利用を通じて、得られた情報を林地台帳に反映する等して、森林所有者情報の精度向上を図るとともに、その情報提供を促進します。このほか、施業集約化等を担う森林施業プランナーの育成を進めます。

併せて、今後、森林の適切な整備及び保全を推進するための条件整備として、森林GISや航空レーザ測量等の成果を活用した境界の確認等によって森林管理の適正化を図ることとします。

(2) 森林経営管理制度の活用に関する方針

森林の経営管理を森林所有者自らが実行できない場合には、市町村が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については、市町村が自ら経営管理を実施する森林経営管理制度の活用を促進し、経営管理の集積・集約を進めます。

また、森林経営管理制度の運用については、市町村の9割以上で人員及び専門的な人材が不足していることから、引き続き県林務部の森林経営管理支援センターにより市町村担当者向けの研修会やICTの活用による事務の効率化のための支援を行います。

(3) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

林業のための技能・技術の習得やキャリアアップのため、県や長野県林業労働力確保支援センター（（一財）長野県林業労働財団）の企画する研修への積極的な参加を促進します。県、市町村、林業労働力確保支援センター、森林組合等林業事業体、信州大学農学部、林業大学校など関係機関が保有する技術や知識、教育のノウハウを活用し、就業後一定の経験を有する従事者に対する学び直し（リカレント教育）の機会の充実に取り組みます。

また、林業が「やりがい」のある仕事であることを地域内外へ発信し、地域の実態に応じた林業への新規参入・起業など林業従事者の裾野の拡大、女性等の活躍・定着、外国人材の適正な受入れ等に取り組むとともに、Uターン、Iターン者等による新規林業就業者の定住促進を図るため、地域内で馴染めるよう生活環境の整備に努めるものとします。

そして、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業事業体の育成に向けて、ICTを活用した生産管理手法の導入や事業量の安定確保、生産性の向上等事業の合理化等を支援します。

そのために、林業事業体は経営方針を明確にし、木材需要側との連携を密にしながら経営基盤や経営力を強化することで、雇用の安定を期するものとします。

【表 3-25】令和7年度の林業就業者支援に関する事業

事業名	事業内容	事業主体
就業支援	県が定める森林・林業等の研修機関（林業大学校）で研修を受けている者を対象に、学業等への専念を促すための生活維持に必要な資金の一部を給付 ① 研修期間 概ね1年以上かつ1,200時間以上 ② 就業責務 研修後、林業に関わる業務に就業し、一定期間を継続	県
林業労働力対策	【林業就業者の確保】 セミナー等の開催による林業認知度向上対策、新卒者や移住・転職に対する支援、林業相談窓口の設置、雇入れ時の資格取得等の就業準備に対する支援、圏域や産業の枠を越えた林業労働力のマッチング、創業支援、一人多役による働き方の推進等 【林業就業者の育成・定着促進】 退職金共済掛金・蜂アレルギー検査費等の福利厚生対策への支援、労働安全セミナー・巡回指導の実施、安全装備品等の導入支援、専門家派遣等	県 長野県林業労働力確保支援センター 林業関係団体 林業事業体
持続的な林業経営の確立支援	経営改善等のための個別診断・研修の実施、林業ロールモデルの作成	県
林業士等養成	それぞれの地域で中核となる人材の育成のため、森林・林業に関する知識・技術等の習得を目的とした研修会の開催（20名）	県
緑の雇用 フォレストワーカー （林業作業士）	新規就労者を対象として、3年間のOJT研修や集合研修を通じて、基礎的な知識・技能の習得を図る。（1年目：27日、2年目：24日、3年目：20日の座学・実習）	長野県林業労働力確保支援センター

緑の雇用 フォレストリーダー (現場管理責任者)	現場経験 5 年以上の者を対象として、現場管理能力等の向上を図る。(1 年間：22 日の座学・実習)	長野県林業労働力確保支援センター
緑の雇用 フォレストマネージャー (統括現場管理責任者)	現場経験 10 年以上の者を対象として、複数班の統括など現場責任能力等の向上を図る。(1 年間：10 日の座学・実習)	長野県林業労働力確保支援センター

なお、雇用関係の明確化を図るためには、雇入れの主体を明確にすることが必要であることから、労働条件通知書の交付や雇用契約書を取り交わすよう普及啓発を行います。

また、退職金共済掛金、蜂アレルギー検査及び振動病特殊健診の支援及び林業就業促進資金の貸付、社会保険の加入促進により、就業条件の整備を図るとともに、技能等の客観的評価の促進等による処遇の改善を促進します。



林業士等養成（研修）の様子

(4) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

主伐・再造林の推進に伴い、施業量の増加や軽労化が求められることから、森林施業の効率化、作業の省力化・軽労化等を推進するために必要な、先進的な林業機械の導入や既存機械の稼働率の向上を図ります。

また、現地の地形等による作業条件や課題を踏まえ、労務や機械を効率的に配置する作業システムを、効率的に展開できる技術者・技能者の養成を計画的に推進するほか、リースやレンタルの活用、林業機械の共同利用等、林業機械の利用体制の整備について積極的に取り組みます。

当計画区における高性能林業機械の保有台数は年々増加しており、令和 5 年度末で 100 台を超える機械が導入されています。

引き続き、高性能林業機械の導入を支援するとともに、山側のみではなく川中・川下を見据えた木材生産・作業システムの構築や、自動化や遠隔操作などが行える林業機械の導入の検討を進めます。

(5) 林産物の利用の促進のための施設の整備に関する方針

当計画区の木材需要は県内他計画区よりも多く、豊富なアカマツ・カラマツ資源を中心に利用期を迎えており、木材として積極的な利用を進める必要があります。

また、アカマツ資源については、木材としての付加価値を高めた上で積極的に利用を進める必要があります。

このため、計画区内の中信木材センター等の原木市場や合板工場への直送、地域内の製材工場、計画区内にある木質バイオマス発電施設などの原木の需要に対応するため、関係者が一体となって用途に応じた安定的な原木の供給体制の構築を進めます。なお、市場で最初に木材の譲受け等をする木材関連事業者の取扱う全ての木材が合法性確認木材となるよう、令和5年に改正された合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成28年法律第48号）に基づき、木材関連事業者による合法性の確認等の実施及び合法性確認木材等の取扱数量の増加等の取組を着実に進めます。

また、県産材の需要拡大に向け、合法性を確保し、国内外での競争力を強化するとともに、森林の施業及び保護が継続的に実施されることや、FIT（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）の活用など効果が期待できることから、森林経営計画の策定を促進し、適切な森林の施業、管理及び保護が持続的に実施されるよう取り組みます。

【表 3-26】調達価格の区分(参考)

価格区分	調達価格	対象
間伐材等由来の木質バイオマス	2,000 kW 以上 32 円/1kWh	間伐材のほか、森林経営計画対象森林や保安林、国有林野施業実施計画森林等から、森林に関する法令に基づき適切に設定された施業規範に従い伐採、生産された木材
	2,000 kW 未満 40 円/1kWh	
一般木質バイオマス	10,000kW 以上 入札制度により 決定	輸入木質バイオマスや製材等残材などでガイドラインに基づく由来の証明が可能であり、間伐等由来の木質バイオマスに区分されない木質バイオマスが対象
	10,000kW 未満 24 円/1kWh	
建設資材廃棄物	13 円/1kWh	建設資材廃棄物のほか、ガイドラインに基づいた由来の証明がなされていない木質バイオマスが対象

再生可能エネルギー固定価格買取制度（資源エネルギー庁 2025 年ホームページ）から引用（消費税抜き価格）

【表 3-27】松くい虫等の病虫害被害木の価格適用(参考)

価格区分	調達価格	対 象
間伐材等由来の木質バイオマス	2,000 kW 以上 32 円/1kWh	（森林経営計画対象森林や保安林等から伐採・搬出された木材） 被害木であっても、森林施業の一環として通常の伐採の後に搬出され、本ガイドラインに基づき「間伐材等由来の木質バイオマス」として証明されたものは、適切に設定された施業規範等に従って伐採、生産されたと言えるため、間伐材等由来の木質バイオマスの価格を適用
	2,000 kW 未満 40 円/1kWh	
一般木質バイオマス	10,000kW 以上 入札制度により 決定	（市町村等公的機関が実施する被害木の伐採・搬出） 施業規範に従って伐採、生産されているわけではなく、防災や被害のまん延防止の観点から行われていることから、本ガイドラインに基づき「一般木質バイオマス」として証明された場合は24円/kWhの価格を適用
	10,000kW 未満 24 円/1kWh	

再生可能エネルギー固定価格買取制度（資源エネルギー庁 2025 年ホームページ）から引用（消費税抜き価格）

(6) その他必要な事項

NPO、森林ボランティアなどによる森林整備活動を支援するとともに、企業等による森林整備への協力を得るための情報発信や森林整備活動を支援するなど、多様な主体による森林づくりを進めます。

また、みどりの少年団活動等の森林環境教育を推進し、青少年の森林を守り育てる意識を養います。

併せて、きのこや山菜等の特用林産物の生産振興や、グリーン・ツーリズムなどの自然体験活動や森林の癒し機能を活かした森林セラピー等への支援により、森林資源・森林空間の有効活用を図り、より活気のある地域づくりを進めるとともに、森林整備の推進と相まって地域の雇用を地域で創出することにつなげます。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

森林の施業及び土地の形質の変更に当たって、水資源の^{かん}涵養、土砂の流出、崩壊の防止、特に林地の保全に留意すべき森林を地形、地質、土壌、気象その他の条件を総合的に勘案して定めます。

○ 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

(単位 面積：ha)

区 分	水源の ^{かん} 涵養	土砂の流出崩壊防止	総 数
計画区総数	34, 285	79, 509	113, 794

【市町村別一覧表】

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	30-ろ, は, 31-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 32-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 33-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 34-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 35-い, は, に, ほ, へ, 36-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 37-い, ろ, は, に, 38-い, ろ, は, に, ほ, 55-ろ, 56-い, ろ, は, 57-い, ろ, 58-い, ろ, 59-い, ろ, 60-い, ろ, 61-い, ろ, 62-い, ろ, は, 66-ろ, 71-い, ろ, 73-い, 77-い, 112-に, 115-ろ, 118-い, ろ, は, に, 119-い, ろ, は, に, 120-い, ろ, は, 121-い, ろ, は, 122-い, ろ, は, に, 123-へ, 124-い, ろ, は, 173-い, 174-ろ, 175-い, ろ, 176-い, 177-い, ろ, 178-い, ろ, 179-い, 187-い, ろ, は, に, 188-い, 189-い, 190-ろ, 191-い, 192-い, 193-い, 194-ろ, は, 195-い, ろ, 196-い, ろ, は, に, ほ, へ, 197-い, ろ, に, 198-い, ろ, 199-い, ろ, 200-い, 201-い, ろ, は, に, 203-い, 205-い, 206-い, 1048-ろ, 1049-い, 1050-い, ろ, 1051-い, 1054-ほ, 1055-い, ろ, は, 1056-い, ろ, は, 1057-い, ろ, は, に, 1058-い, ろ, は, に, ほ, 1059-い, ろ, は, に, 1060-い, ろ, は, に, 1075-は, に, ほ, へ, と, 1076-い, ろ, は, に, ほ, 1077-い, ろ, は, 1080-い, ろ, 1081-い, ろ, は, 1082-い, ろ, は, 1083-い, ろ, は, 1084-い, ろ, は, に, ほ, 1085-い, ろ, 1086-い, ろ, 1087-い, 1088-は, に, へ, 1090-い, は, 1091-い, ろ, は, 1092-い, ろ, は, 1109-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1110-い, ろ, は, ほ, へ, と, ち, り, 1111-い, ろ, 2003-に, 2004-ろ, は, 2005-い, ろ, は, に, ほ, と, ち, 2006-い, ろ, は, 2007-い, ろ, は, に, 2008-ろ, は, に, ほ, へ, 2017-へ, と, 2020-い, ろ, 2021-は, に, ほ, へ, 2022-い, ろ, は, に, 2023-い, ろ, は, に, 2024-い, 2025-い, ろ, は, 2027-い, ろ, は, に, ほ, 2028-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2029-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2030-い, ろ, は, 2039-い, ろ, は, に, ほ, 2041-い, は, 2043-ろ, 2059-ほ, 2075-に, 2077-い, 3005-い, ろ, は, に, 3006-い, ろ, は, に, 3007-ろ, に, ほ, へ, と, 3009-へ, 3010-い, ろ, は, 3011-い, ろ, は, 3012-ほ, へ, と, ち, り, 3013-い, ろ, は, に, ほ, 3014-い, ろ, は, に, ほ, 3015-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3016-い, ろ, は, に, ほ, 3022-い, ろ, は, に, ほ, 3024-い, ろ, は, に, ほ, 3026-ろ, は, に, ほ, ぬ, る, を, わ, 3027-に, ほ, へ, と, 3028-い, ろ, は, 3029-い, ろ, は, に, 3030-い, ろ, は, に, ほ, 3034-に, ほ, 3035-い, は, 3036-い, ろ, は, に, へ, 3037-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 3038-ほ, へ, り, 3041-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3042-い, 3044-に, へ, と, ち, り, ぬ, 3047-い, ろ, は, に, 3048-い, ろ, は, に, 3049-い, ろ, は, 3050-い, ろ, は, に, ほ, へ, 3051-い, ろ, は, 3052-ろ, は, ほ, 3053-い, ろ, は, 3054-ろ, ほ, 3055-ろ, は, に, ほ, と, 3066-ち,	10, 828. 78	水源の ^{かん} 養	水かん

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	4025-い, ろ, 4026-い, 4027-い, ろ, は, 5004-に, 5011-は, 5012-い, 5013-い, ろ, は, に, 5021-い, 5022-い, ろ, は, 5023-い, ろ, は, 5024-い, 5025-い, ろ, は, に, ほ, 5026-い, ろ, は, 5027-い, 5028-い, ろ, 5029-い, ろ, は, 5030-い, ろ, は, 5031-い, ろ, は, に, ほ, へ, 5032-い, ろ, は, に, ほ, 5033-い, 5038-い, ろ, は, 5039-い, ろ, は, に, 5040-い, ろ, 5041-い, ろ, は, 5042-い, ろ, は, 5043-い, ろ, 5044-い, ろ, は, に, ほ, 5045-い, ろ, 5046-い, ろ, は, 5047-い, ろ, 5048-い, ろ, は, に, 5051-い, ろ, は, に, 5052-い, ろ, は, 5053-い, ろ, は, 5054-い, ろ, は, 5055-い, ろ, は, に, 5056-い, ろ, は, に, ほ, 5057-い, ろ, は, 5058-い, ろ, は, 5059-い, ろ, は, に, 5060-い		水源のかん養	水かん
		1-い, ろ, に, 4-ろ, 8-に, 10-い, ろ, 12-に, 13-ろ, 14-は, ほ, 15-ろ, は, 16-い, ろ, は, 17-ろ, は, に, ほ, 18-ろ, 19-い, ほ, 24-は, 25-へ, 26-い, ろ, 27-い, に, ほ, へ, と, 29-い, ろ, へ, 35-い, 43-ろ, は, 44-は, に, 48-ろ, 51-い, 54-い, 55-い, は, 56-は, 59-い, ろ, 60-ろ, は, 61-ろ, 62-ろ, 63-い, ろ, 69-い, 71-い, 72-い, 73-い, 74-い, 78-い, ろ, は, に, 79-ろ, 80-い, ろ, に, 81-い, ろ, は, に, 82-ろ, 83-は, 84-い, ろ, は, に, 85-い, ろ, は, 87-に, 88-い, ろ, は, 89-ろ, 90-い, 93-い, ろ, は, 98-は, に, 103-に, 105-い, ろ, 106-い, 109-い, ろ, 110-ろ, 112-ろ, は, 113-ろ, 117-へ, 123-い, ろ, は, に, ほ, 125-は, に, 126-い, ろ, 130-ろ, 134-に, ほ, 135-い, ろ, 136-へ, 141-は, に, 142-ろ, に, と, 143-は, 146-い, ろ, は, に, ほ, 147-い, ろ, は, に, ほ, 148-い, 149-は, 150-ち, り, 151-ろ, は, 153-ろ, は, に, へ, 159-ほ, へ, 160-に, ほ, ち, 161-ち, 162-い, ろ, と, ち, り, ぬ, 163-い, ろ, に, ほ, へ, 164-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 165-い, ろ, は, に, ほ, へ, ち, 166-い, ろ, 168-い, 169-い, 170-い, 171-い, 172-い, 173-い, 174-い, 178-は, 179-い, ろ, は, に, 180-い, 181-い, ろ, 182-い, 183-い, 184-い, 185-い, 186-い, 187-い, 194-い, 200-ろ, 202-い, ろ, は, 1001-い, ろ, は, に, 1002-い, ろ, は, ほ, へ, 1003-い, ろ, は, に, ほ, と, り, 1004-い, に, ほ, ち, り, 1005-い, ろ, は, ち, 1006-い, ろ, は, に, ほ, と, ち, 1007-い, ろ, は, に, ほ, 1008-い, に, ほ, へ, 1009-い, は, に, ほ, へ, 1010-い, ろ, は, に, ほ, 1011-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 1012-に, ほ, 1013-い, ろ, 1014-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1015-い, ろ, 1016-い, 1017-い, 1019-ち, 1020-ろ, ほ, へ, 1021-い, は, 1022-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1023-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1024-い, ろ, は, 1025-い, ろ, は, に, 1026-ろ, は, に, ほ, 1027-ろ, は, ほ, 1028-ろ, は, に, ほ, と, 1029-は, に, 1030-い, ろ, 1031-い, に, へ, 1032-い, ろ, へ, 1033-い, は, に, 1035-に, へ, 1036-い, は, に, 1037-い, ろ, は, に, 1038-い, ろ, 1040-ろ, ち, 1041-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1042-ろ, は, 1043-は, と, 1044-ろ, に, ほ, へ, と, 1045-い, ろ, は, ほ, 1046-ろ, に, 1048-は, 1052-い, は, に, ほ, へ, 1053-い, ろ, は, に, 1054-い, ろ, 1060-ほ, 1061-ろ, は, に, ほ, 1062-い, ろ, 1063-い, は, に, ほ, へ, と, ち, 1064-は, に, 1065-い, ろ, は, に, 1066-ろ, は, ほ, 1067-ろ, は, に, へ, と, 1068-ろ, へ, と, ち, り, 1069-ろ, は, 1071-い, 1072-ろ, は, へ, と, 1074-ろ, 1075-と, 1076-い, 1077-い, は, 1079-い, ろ, は, 1088-い, ろ, 1090-ろ, 1095-ほ, 1096-い, 1097-は, に, ほ, へ, 1101-い, は, に, ほ, へ, 1102-ろ, 1103-い, ろ, は, に, ほ, 1104-い, ろ, は, 1105-い, ろ, は, に, 1106-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 1107-い, ほ, へ, 1108-ほ, へ, と, 1110-に, 2001-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2002-い, ろ, は, に, 2003-い, ろ, は, 2004-い, に, 2005-い, と, ち, 2008-い, に, へ, 2011-は, に, ほ, 2012-い, ろ, は, 2013-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2014-い, ろ, は, に, ほ, 2015-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 2016-い, と, 2019-い, ろ, 2032-ほ, 2034-ろ, は, に, ほ,	6, 915. 06	土砂の流出 崩壊防止	土流

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	2040-い,ろ,は,に,ほ,へ,2043-い,ろ,は,に,2044-い,ろ,は,に,2045-い,ろ,は,2047-い,2048-い,ろ,は,に,ほ,2049-い,ろ,は,に,ほ,へ,2050-ぬ,2051-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,2052-い,ろ,は,に,ほ,と,ち,2053-い,に,ほ,2054-ろ,と,2055-い,に,へ,2056-へ,2057-い,ろ,2058-に,2059-い,は,に,ほ,2060-は,に,ほ,2061-ほ,2062-い,2067-い,ろ,2068-ろ,2069-い,ろ,2070-ほ,2071-に,2073-い,2074-い,2075-い,は,2077-ほ,へ,2078-ろ,に,ほ,へ,2079-ろ,は,と,ち,り,2080-と,2081-い,ろ,は,に,ほ,3001-ろ,は,3002-い,ろ,は,に,3003-に,ほ,と,ち,3004-い,ろ,3006-い,3008-ほ,3010-ほ,3012-い,ろ,は,に,3018-い,ろ,3019-に,3020-い,3021-へ,と,3025-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,3026-い,か,3027-い,ろ,ほ,へ,と,3028-い,ろ,は,3034-い,ろ,は,3035-に,3036-い,3040-い,ろ,は,に,り,ぬ,る,3043-い,ろ,は,に,3044-ろ,3045-い,3046-い,ろ,は,3049-い,ろ,は,3050-ろ,3051-い,ろ,に,3052-い,に,ほ,3053-に,3054-い,ろ,は,に,ほ,3055-ろ,は,に,3056-ほ,3060-は,4001-は,に,4002-い,ろ,は,4003-い,ろ,は,4004-い,ろ,は,に,ほ,4005-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,4006-い,ろ,4007-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,り,4008-い,ろ,は,に,4009-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,4010-い,ろ,は,に,ほ,4011-い,は,へ,4012-い,ろ,は,に,ほ,4013-い,ろ,は,に,4014-い,は,ほ,4015-い,ろ,4016-い,に,ほ,4017-ほ,4018-い,ろ,は,に,ほ,4019-い,ろ,は,4020-い,ろ,は,に,ほ,4021-い,4023-い,ろ,は,に,4024-ろ,5002-い,ろ,5003-い,ろ,5004-い,ろ,5008-ろ,は,5009-い,は,に,5010-い,5011-い,ろ,に,5014-い,ろ,は,に,5015-い,ろ,は,5017-い,ろ,は,に,ほ,へ,5019-い,ろ,5020-い,ろ,は,に,5021-ろ,5023-い		土砂の流出 崩壊防止	土流
		8-は,146-ろ,1008-ほ,2062-い,3020-ろ,は,3023-い,3066-と,ち,4011-へ	18.22	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		95-ろ,は,に,ほ,96-ろ,は,に,ほ,97-い,ろ,は,99-い,ろ,は,100-い,ろ,は,に,ほ,へ,101-い,ろ,は,に,104-い,ろ,は,168-ろ,1093-に,ほ,1094-い,ろ,は,1098-ろ,は,に,1099-い,ろ,は,に,1100-い,ろ,は,に,ほ,と,ち,り,1101-は,1102-い,は,に,ほ,へ,1103-に,1107-は,に,ほ,1108-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,1109-ろ,は,と,2010-に,5005-は	987.79	水源のかん養	干害
		3034-ほ,3036-ほ,へ,3037-ろ,は,に,ほ,へ,と,3053-い,ろ,は	122.96	土砂の流出 崩壊防止	なだれ
		3002-は,3008-に,と,3009-ろ,3020-へ,3024-へ	10.20	土砂の流出 崩壊防止	落石
		37-は,に,38-い,ろ,は,に,ほ,2017-へ,と,2059-ほ,5004-に,90-い,89-ろ,90-い	151.60	水源のかん養	保健
		90-い	1.21	土砂の流出 崩壊防止	風致
		152-は,3055-い,4001-へ,4011-へ,4014-と	13.53	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		12-ほ,103-は,に,104-い,ろ,は,105-い,い,106-い,は,107-い,ろ,は,は,は,108-い,に,109-ろ,ほ,111-い,112-い,115-ろ,116-は,118-ろ,は,は,は,に,に,に,119-い,ろ,ろ,は,は,に,に,120-い,ろ,は,121-い,ろ,ろ,は,は,122-い,ろ,は,に,123-ほ,へ,150-は,155-に,ほ,へ,1001-ろ,1002-に,ほ,へ,1004-い,1005-い,と,1006-に,ほ,へ,1007-は,に,1008-は,に,ほ,1009-い,に,1010-は,に,1011-い,ち,1012-は,に,ほ,1013-は,に,ほ,1014-は,に,1015-い,ろ,1017-い,ろ,1019-ろ,1023-と,1031-は,に,ほ,へ,と,1032-へ,1033-ほ,へ,1034-へ,と,1036-い,に,	2,085.10	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	1042-に, 1043-へ, と, 1044-と, 1047-ろ, は, 1049-い, 1050-い, は, 1051-ろ, は, 1063-は, ほ, 1069-い, 1070-に, 1071-い, 1074-に, へ, 1076-い, ろ, 1077-い, 1079-い, へ, 1088-い, ろ, は, ほ, へ, と, 1089-は, 1094-に, ほ, へ, 1095-は, ほ, 1096-い, 1097-は, に, 1100-は, 2015-い, に, へ, 2027-ほ, 2035-ろ, 2040-い, に, 2051-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2052-い, は, と, ち, 2053-い, へ, と, 2055-い, 2056-ち, 2057-い, 2058-い, は, に, 2060-ほ, と, 2061-に, へ, 2062-い, 2064-ろ, は, に, 2065-い, は, 2066-い, ろ, 2067-い, ろ, 2073-ろ, に, 2074-い, は, 2075-い, 2076-い, 2077-ろ, は, に, ほ, り, 2078-い, ろ, に, ほ, へ, 2079-い, 3001-い, ろ, は, に, 3002-い, ろ, は, に, 3003-ほ, へ, と, ち, 3004-い, ろ, は, に, 3005-い, ろ, 3006-い, 3007-い, は, に, ほ, 3008-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3009-い, ろ, 3023-と, 3024-へ, 3025-い, ろ, 3027-い, ろ, は, ほ, へ, と, 3028-い, ろ, は, 3040-に, ほ, 3044-り, ん, る, 3045-い, ろ, は, に, に, 3046-い, ろ, は, 3048-に, 3049-い, ろ, は, に, 3050-い, い, ろ, ろ, は, は, は, は, に, ほ, ほ, 3050-へ, へ, と, と, 3051-い, い, ろ, ろ, は, に, 3052-い, ろ, ろ, 3052-は, は, に, に, ほ, 3052-ほ, 3054-い, い, ろ, ろ, は, に, ほ, ほ, 3055-い, い, い, い, ろ, は, は, に, に, ほ, ほ, 3055-へ, へ, と, と, ち, ち, ち, 4001-へ, 4002-は, 4003-は, 4004-ほ, 4005-い, 4006-い, 4008-い, 4009-い, ろ, と, 4010-い, ろ, 4011-ほ, 4023-い, ろ, は, に, 4027-い, 5020-に, 5021-い, 5022-ろ, は, 5023-ろ, は, 5026-い, は, 5027-い		土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-い, ろ, に, 2-い, 4-ろ, 7-へ, 8-に, 9-い, 10-い, ろ, 13-い, ろ, 14-ほ, 15-ろ, は, 16-い, ろ, は, 17-ろ, は, に, ほ, 18-い, ろ, は, に, 19-い, ほ, へ, 21-い, ろ, 24-は, 25-へ, 26-い, ろ, 27-い, に, ほ, へ, と, 29-い, ろ, 30-い, 31-ち, 32-い, 33-へ, と, 35-い, ろ, は, 37-に, 38-は, に, ほ, 43-ろ, は, 44-は, に, 48-い, ろ, 50-ろ, 54-い, 55-い, ろ, は, 56-ろ, は, 57-い, ろ, 58-い, ろ, 59-い, ろ, 60-い, ろ, は, 61-い, ろ, 62-い, ろ, は, 63-い, ろ, 65-い, ろ, 69-い, ろ, 70-い, ろ, 71-い, ろ, 73-い, 74-い, 76-い, 77-い, 78-い, ろ, は, に, 79-ろ, 80-い, ろ, に, 81-い, ろ, は, 82-ろ, 83-ろ, は, 84-い, ろ, に, 85-い, ろ, は, 87-い, 88-い, 89-ろ, 90-い, 91-い, ろ, 93-い, ろ, は, 94-い, 103-い, ろ, は, に, 104-い, ろ, は, 106-い, は, 107-い, ろ, は, 108-い, に, 109-い, ろ, は, ほ, 110-ろ, 111-い, 112-い, ろ, は, 115-は, 116-は, 117-い, ろ, は, に, ほ, へ, 118-い, ろ, は, に, 119-ろ, は, に, 120-い, ろ, は, 121-い, ろ, は, 122-い, ろ, は, に, 123-い, ろ, は, に, ほ, へ, 125-は, に, 126-い, ろ, 134-に, ほ, 135-い, ろ, 136-へ, 141-は, に, 142-ろ, は, に, 143-は, 146-ろ, 147-い, は, に, ほ, 148-ほ, 149-ろ, 150-は, に, ち, り, 151-ろ, に, ほ, 153-ろ, は, に, 154-い, ろ, 155-い, ろ, に, ほ, へ, 159-へ, 160-に, ほ, 162-い, ろ, ち, り, ん, 163-ろ, に, ほ, へ, 164-い, ろ, は, へ, と, 165-い, ろ, は, に, ほ, へ, 166-い, ろ, 168-い, 169-い, 170-い, 171-い, 172-い, 173-い, 174-い, ろ, 178-は, 179-い, ろ, は, に, 180-い, 181-い, ろ, 182-い, 183-い, 184-い, 185-い, 186-い, 187-い, ろ, は, に, 188-い, 189-い, 190-ろ, 194-い, 200-い, ろ, 202-い, ろ, は, 205-い, 1001-い, ろ, は, に, 1002-い, ろ, は, に, ほ, 1003-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 1004-ほ, へ, 1005-い, ろ, は, ち, 1006-い, ろ, は, に, ほ, ち, 1007-い, ろ, は, に, ほ, 1008-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1009-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1010-い, は, に, ほ, 1011-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 1012-い, ろ, は, に, ほ, 1013-い, ろ, 1014-い, ろ, は, に, へ, 1015-い, ろ, は, 1016-い, 1017-い, 1019-ろ, ち, 1020-ろ, ほ, 1021-は, 1022-い, ろ, は, に, 1023-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1024-い, ろ, は, 1025-い, ろ, は, に, 1026-ろ, は, に, ほ,	16, 862. 80	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	1027-ほ, 1028-い, ろ, と, 1029-は, に, 1030-い, ろ, 1031-い, ろ, は, に, へ, 1032-い, ろ, へ, 1033-は, 1034-へ, と, 1035-に, へ, 1036-い, ろ, は, に, 1037-い, ろ, は, に, 1038-い, ろ, 1040-ろ, ち, 1041-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1042-ろ, は, に, 1043-へ, と, 1044-ろ, に, ほ, と, 1045-い, ろ, は, ほ, 1046-ろ, に, 1048-は, 1049-い, 1050-ろ, は, 1052-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1053-い, ろ, は, 1054-ろ, は, 1055-ろ, は, 1056-い, ろ, は, 1057-い, ろ, は, に, 1058-い, ろ, は, に, 1060-は, 1061-ほ, 1063-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 1065-い, ろ, は, に, 1067-ろ, は, に, 1070-は, に, 1071-い, に, 1072-い, ろ, は, へ, と, 1073-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1074-ろ, 1075-と, 1076-い, ろ, 1077-い, ろ, は, 1079-い, ろ, は, に, 1080-い, ろ, 1081-い, ろ, は, 1082-い, ろ, は, 1083-い, ろ, は, 1084-い, ろ, 1086-い, ろ, 1088-ろ, 1096-い, に, 1100-は, 1101-い, ほ, 1103-ほ, 1104-い, ろ, は, 1105-い, ろ, は, に, 1106-い, は, に, ほ, と, ち, ぬ, 1107-い, 1108-ほ, へ, と, 1110-に, ち, り, 1112-ろ, は, 2001-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2002-い, ろ, は, に, 2003-い, ろ, は, 2004-い, は, に, 2005-い, へ, と, ち, 2008-い, 2010-い, ろ, は, に, 2011-に, 2013-ろ, は, に, ほ, へ, と, 2014-い, ほ, 2015-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 2018-い, ろ, 2019-い, ろ, 2021-は, ほ, へ, 2023-い, ろ, は, 2026-は, 2027-は, に, 2029-ろ, 2030-い, ろ, は, に, へ, と, 2031-い, 2032-ほ, 2034-ろ, は, に, ほ, 2035-ろ, 2037-ろ, 2040-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2043-い, ろ, は, に, 2044-い, に, 2045-い, ろ, は, 2047-い, 2048-い, ろ, は, に, ほ, 2049-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2050-い, ろ, は, ぬ, 2051-い, ろ, は, ほ, へ, と, 2052-い, は, に, へ, と, ち, 2053-い, は, に, へ, と, 2054-い, ろ, ち, 2055-い, ろ, へ, 2056-へ, と, ち, 2057-い, ろ, へ, 2058-い, は, に, 2059-い, 2060-ろ, は, に, と, 2062-い, へ, 2064-に, ほ, 2065-い, 2066-い, は, 2067-い, ろ, は, に, 2068-い, ろ, 2069-い, ろ, 2070-い, ろ, に, 2071-い, ろ, に, 2072-ろ, 2073-い, ろ, は, に, 2074-い, は, 2075-い, 2076-に, ほ, 2077-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2078-に, ほ, へ, 2079-い, は, ほ, へ, と, 2080-は, ほ, と, 2081-い, は, ほ, 2082-い, 3001-い, ろ, は, に, 3002-い, ろ, は, に, 3003-に, ほ, へ, と, ち, 3004-い, ろ, は, に, 3005-い, ろ, は, に, 3006-い, ろ, は, に, 3007-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3008-い, ろ, は, に, と, 3009-い, ろ, 3010-ほ, へ, 3012-い, ろ, は, に, 3018-い, 3019-に, 3020-い, は, へ, 3021-へ, 3023-い, に, と, 3024-は, に, へ, 3025-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3026-い, か, 3027-い, ろ, ほ, へ, と, 3028-い, ろ, は, 3029-い, ろ, 3030-い, は, ほ, 3034-い, ろ, は, ほ, 3035-ろ, は, に, 3036-い, ろ, は, に, ほ, 3037-は, に, 3039-ろ, は, 3040-い, ろ, は, に, 3042-は, ほ, へ, 3043-い, ろ, は, 3044-ろ, に, り, ぬ, る, 3045-い, ろ, は, に, 3046-い, ろ, は, 3048-に, 3049-い, ろ, は, に, 3050-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 3051-い, ろ, は, に, 3052-い, ろ, は, に, ほ, 3053-に, 3054-い, ろ, は, に, ほ, 3055-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 3056-は, に, ほ, 3058-い, 3060-は, 3062-ろ, 3066-と, 4001-は, に, ほ, へ, と, 4002-い, ろ, は, 4003-い, ろ, は, 4004-い, ろ, は, に, ほ, 4005-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 4006-い, ろ, 4007-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 4008-い, ろ, は, に, 4009-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 4010-い, ろ, は, に, ほ, 4011-い, ろ, は, に, へ, 4012-い, ろ, は, に, ほ, 4013-い, ろ, は, に, 4014-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 4015-い, 4016-い, ろ, は, に, ほ, 4017-い, 4018-い, ろ, は, に, ほ, 4019-い, ろ, は, 4020-ろ, は, に, 4023-い, ろ, は, に, 4024-い, ろ, は, 5002-い, ろ, 5003-い, ろ, 5004-ろ, 5005-は, 5008-と, 5009-い, ろ, は, に, 5011-い, ろ, に, 5014-い, ろ, は, に, 5015-い, ろ, は, 5017-い, ろ, は, に, ほ, 5018-い, ろ, は, 5019-い, ろ, 5020-い, ろ, は, に,		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	松本市	5021-い, ろ, 5023-は, 5039-は, 5044-は, に, ほ, 5045-い, ろ, 5046-い, 5054-ろ, は, 5056-い, ろ, 5057-い, ろ, は		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	37, 997. 24		
	塩尻市	51-に, 54-い, 55-い, ろ, 84-い, ろ, 85-い, ろ, は, に, ほ, 86-い, ろ, は, 87-い, ろ, 88-い, ろ, は, に, ほ, 89-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 90-い, ろ, は, 91-い, ろ, は, に, 92-い, ろ, は, 93-い, ろ, は, 94-い, ろ, 95-い, ろ, 96-い, 97-い, ろ, は, 98-い, ろ, は, に, 99-い, ろ, は, 100-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 101-い, ろ, は, 102-い, ろ, は, 115-に, ほ, 116-は, に, 117-ろ, は, 124-い, ろ, は, に, ほ, へ, 129-ろ, 130-い, ろ, は, に, ほ, へ, 131-い, ろ, は, に, 132-い, ろ, に, 146-い, ろ, は, 147-い, ろ, 148-ろ, は, 149-い, 150-ろ, 1001-い, ろ, は, 1002-い, ろ, は, に, ほ, 1003-い, ろ, は, に, ほ, 1004-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1005-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 1006-い, ろ, は, に, 1007-い, ろ, は, に, 1008-い, ろ, は, に, 1009-い, ろ, は, に, ほ, 1010-ろ, は, に, ほ, へ, と, 1011-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1012-い, ろ, は, に, ほ, 1013-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1014-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1015-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1016-い, ろ, は, に, 1019-い, ろ, は, に, ほ, 1032-は, に, ほ, 1038-に, ほ, へ, 1039-い, ろ, は, に, 1042-へ, 1043-い, 1057-い, ろ, は, 1058-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1059-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1060-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1061-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 1062-い, ろ, は, に, 1063-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1064-い, ろ, は, に, ほ, 1065-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 1066-い, ろ, は, に, 1067-い, ろ, は, に, ほ, 1068-い, ろ, は, に, ほ, 1069-い, ろ, は, に, 1070-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 1071-い, ろ, は, に, ほ, 1072-い, 1073-い, 1074-い, ろ, 1075-い	3, 986. 84	水源のかん養	水かん
		2-ろ, 4-い, 6-に, 7-い, 8-ろ, は, に, ほ, へ, 9-い, ろ, 10-い, 12-い, ろ, 22-ろ, は, 23-は, 24-い, 27-い, ろ, は, に, 28-い, ろ, ほ, 29-い, は, に, ほ, へ, 30-い, 31-い, 32-ほ, 34-に, 36-ほ, 49-い, 50-い, 51-い, ろ, は, 53-は, 65-は, 66-に, ほ, 68-へ, 70-い, は, に, 71-に, 72-に, 75-い, ろ, 76-は, 77-い, ろ, に, 78-い, は, 79-は, 80-り, 103-に, 104-に, 105-い, ろ, は, 106-い, ろ, 109-に, 111-い, 112-は, に, へ, 120-は, 121-ろ, 122-い, 123-い, ろ, 124-へ, 126-ろ, 134-い, は, 135-い, 138-に, 140-は, に, 142-は, 143-ほ, 144-は, へ, と, ち, 145-は, に, ほ, 146-ろ, は, に, 147-ろ, 148-い, ろ, は, 149-い, 150-い, 153-は, 154-い, 156-に, 157-い, ろ, は, に, 160-い, 165-い, ろ, は, 166-は, 167-い, 168-い, 1007-ろ, は, に, へ, 1008-い, ろ, に, 1009-い, ろ, は, に, ほ, 1010-い, ろ, に, へ, ち, 1016-に, ほ, 1017-い, ろ, は, に, ほ, 1018-は, 1020-ろ, は, に, 1021-い, 1023-い, ろ, 1024-い, に, と, ち, 1025-い, ろ, は, 1027-い, ろ, 1028-は, に, ほ, 1029-に, 1030-は, に, 1031-に, 1032-ほ, へ, 1033-い, 1036-い, は, 1037-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 1038-い, ろ, は, へ, 1039-は, 1040-に, 1041-い, ろ, に, 1042-に, ほ, と, 1043-ろ, は, に, ほ, へ, 1045-い, ろ, 1047-い, は, に, ち, 1048-い, ろ, は, に, 1049-ろ, は, に, ほ, 1050-い, は, ほ, へ, 1051-い, ろ, は, に, 1052-い, ろ, は, に, 1053-い, ろ, は, に, ほ, 1054-い, ろ, は, に, 1055-い, ろ, は, に, ほ, 1056-い, ろ, は, に, ほ, 1057-に, 1058-ろ, 1062-ろ, 1069-に	1, 738. 59	土砂の流出 崩壊防止	土流
		110-は, 1007-ろ, へ, 1008-い, 1042-に, 1050-と, 1054-に	2. 97	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		3-い, 5-ろ, は, 40-い, は, に	28. 57	水源のかん養	干害
		54-い, 55-ろ	78. 88	水源のかん養	保健

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	塩尻市	1008-に	1. 05	土砂の流出 崩壊防止	風致
		23-ろ, 1001-い, ろ, 1009-ろ, に, ほ, 1010-い, ち, 1011-い	8. 04	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		37-い, 55-い, い, 55-ろ, ろ, 1052-に, 1054-ろ, 1055-ほ, 1057-に	55. 19	土砂の流出 崩壊防止	砂防指定地
		2-ろ, 4-い, 6-は, に, 7-い, 8-ろ, は, に, ほ, へ, 9-い, ろ, 12-い, 22-ろ, は, 23-は, 24-い, ろ, は, 27-い, ろ, は, に, 28-い, ろ, 29-い, 30-い, 31-い, 32-ほ, 34-に, 36-に, ほ, 37-い, ろ, 47-ろ, に, ほ, 49-い, 50-い, 51-い, 55-い, 66-に, 68-へ, 70-い, は, に, 71-に, 72-に, 75-い, ろ, 76-は, 77-い, に, 78-い, は, 80-り, 86-い, ろ, は, 88-い, ほ, 89-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 94-い, 95-い, 100-へ, 101-い, 103-に, 104-に, 105-い, ろ, は, に, 106-い, ろ, 107-い, 110-は, 111-い, 112-は, に, 115-い, ほ, 120-は, 121-い, ろ, 129-い, 130-い, に, 132-ほ, 134-い, 138-い, に, 140-は, に, 142-ろ, は, 143-ろ, は, 144-へ, 145-は, に, ほ, 146-ろ, は, に, 148-い, ろ, は, 152-は, に, 153-は, 154-い, は, 156-い, ろ, は, ほ, へ, 157-い, ろ, は, に, 158-ろ, は, に, 164-ろ, は, 165-い, ろ, は, 166-は, 167-い, 168-い, 169-ろ, 1004-い, ろ, へ, 1005-に, 1007-ろ, は, に, 1008-に, 1009-ろ, に, ほ, 1010-い, ち, 1011-へ, 1012-に, ほ, 1013-に, ほ, へ, 1015-ろ, は, 1018-に, ほ, 1020-ろ, は, 1022-い, ろ, ほ, 1023-い, 1025-い, ろ, は, 1027-ろ, 1028-は, に, 1029-に, 1031-い, 1036-い, ろ, 1037-い, ろ, は, 1038-ろ, は, に, 1041-い, へ, 1044-は, 1045-い, ろ, 1047-い, は, 1048-い, ろ, は, 1049-に, ほ, 1050-へ, と, 1052-ろ, は, に, 1053-に, ほ, 1054-い, ろ, に, 1055-い, ろ, は, ほ, 1056-い, 1057-に, ほ, 1058-は, に, ほ, 1059-に, ほ, 1060-は, に, 1061-い, ろ, に, 1062-い, ろ, 1063-ほ, へ, 1070-ろ	3467. 08	土砂の流出 崩壊防止	山災防止
		計	9, 367. 22		
	安曇野市	2009-は, 2021-い, ろ, は, に, 2032-い, ろ, 2033-い, ろ, は, に, 2034-い, ろ, は, 2035-い, ろ, は, 2036-い, ろ, 2037-い, ろ, 2038-い, ろ, は, に, 2039-い, ろ, は, に, ほ, 2040-い, ろ, は, に, 2041-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2042-い, ろ, は, に, 2043-い, ろ, は, 2048-い, ろ, 2049-い, ろ, は, 2050-い, 2051-い, ろ, 2052-い, ろ, は, に, ほ, 2053-い, ろ, は, に, 2063-い, ろ, 2064-い, ろ, 2065-い, 2066-い, 3004-い, ろ, は, 3005-は, に, 3006-い, ろ, は, に, ほ, 3007-い, ろ, は, 3012-は, 3016-い, ろ, は, に, ほ, へ, 3017-い, ろ, は, 3018-い, ろ, は, に, 4002-に, ほ, 4004-ろ, は, 4005-ろ, は, ほ, 4024-ほ, へ, と, 4025-い, ろ, 4026-い, は, に, 4027-い, ろ, は, 4028-い, ろ, は, 4029-い, ろ, は, 4033-い, ろ, 3-い, 6-り, 7-い, ろ, は, ほ, 10-は, に, ほ, 11-ろ, は, に, 12-に, 13-は, に, ほ, へ, 4024-は, に, ほ, へ	2, 055. 79	水源のかん養	水かん
		1-は, に, ほ, 2-い, 4-い, 5-ろ, 6-い, ろ, は, に, ほ, へ, 7-い, ろ, は, に, ほ, へ, 8-い, に, ほ, 9-い, ろ, は, 10-い, ろ, ほ, 11-い, ろ, は, 12-い, ろ, に, 13-ろ, ほ, へ, と, 14-に, ほ, へ, ち, 15-い, ろ, に, ほ, へ, 16-い, は, ほ, へ, と, 17-い, 19-い, に, と, 20-い, ろ, は, に, ほ, 21-は, 22-ろ, ほ, へ, 23-い, ろ, は, に, 25-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 27-い, ろ, は, に, ほ, へ, 28-い, ろ, は, に, ほ, 29-い, ろ, は, に, 30-い, ろ, ほ, へ, と, 31-い, ろ, は, に, ほ, と, ち, 32-い, ろ, は, に, ほ, へ, 33-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 34-い, ろ, は, に, ほ, へ, ち, 35-い, ろ, は, に, ほ, 36-ろ, は, に, ほ, へ, 37-に, 38-い, ろ, は, ほ, へ, 39-い, ろ, は, に, ほ, へ, 40-い, ろ, に, 41-い, ろ, は, に, 42-ほ, 43-い, ろ, は, に, 44-い, ろ, は, に, ほ, 45-い, ろ,	2, 735. 37	土砂の流出 崩壊防止	土流

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	安曇野市	は,に,46-い,に,47-い,ろ,は,に,48-い,ろ,は,に,ほ,49-い,ろ,は,50-い,ろ,は,に,51-い,ろ,52-い,ろ,53-ろ,は,に,1001-い,ほ,と,り,1002-い,は,に,1004-へ,と,1006-い,1007-い,1008-は,1009-は,と,1010-い,1011-に,ほ,へ,2002-ろ,2003-へ,2007-に,2010-い,2012-い,ろ,は,に,2013-い,ろ,は,に,2014-い,ろ,2015-い,ろ,へ,2016-に,ほ,へ,と,2017-い,は,2019-い,ろ,ほ,2020-ろ,は,に,ほ,へ,2021-い,2022-い,は,2023-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,2024-い,ろ,2025-い,ろ,は,2026-い,ろ,は,に,ほ,へ,2043-い,2054-い,ろ,は,に,ほ,2055-い,ろ,は,に,2056-い,ろ,は,2057-い,ろ,は,に,ほ,へ,2058-い,ろ,は,に,ほ,2059-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,り,2060-ほ,2062-い,ろ,は,3004-は,3005-い,ろ,3006-い,ほ,へ,と,3008-い,ろ,は,3009-は,3010-は,に,3011-い,3013-い,3016-は,に,3017-い,3019-い,ろ,は,に,ほ,3020-い,ろ,は,に,3021-い,ろ,は,に,3022-い,ろ,は,に,ほ,3023-ろ,ほ,3024-い,ろ,4005-に,へ,4006-い,ろ,に,4009-ろ,4010-は,に,ほ,へ,4011-い,ろ,4012-い,ろ,4013-い,は,4015-と,4017-い,ろ,は,に,ほ,へ,4018-い,ろ,は,に,4019-い,ろ,は,に,ほ,4020-い,ろ,は,に,4021-い,ろ,4022-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,4024-ろ,と,4025-は,4026-ろ,ほ,4027-に,4029-い,ろ,は,4030-い,ろ,4031-い,ろ,は,4032-い,ろ,は,4034-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,4035-い,ろ,は,に,ほ,へ,4036-い,ろ,は,に,ほ,へ,4037-い,ろ,は,に,1-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,3-い,ろ,は,4-い,7-ほ,10-ほ,11-は,1001-い,ろ,は,ほ,と,ち,1002-い,ほ,4015-へ,と,4022-り,ぬ,る,を,わ,4023-い,ろ,は,に,ほ,4024-い,ろ,に		土砂の流出 崩壊防止	土流
		6-に,18-は,に,32-に,へ,1011-い,ろ,3001-ろ,3010-ほ,4002-い	31.04	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		2002-い	0.70	土砂の流出 崩壊防止	水害
		3-い,6-り,7-い,ろ,は,ほ,10-は,に,ほ,11-ろ,は,に,12-に,13-は,に,ほ,へ,4024-は,に,ほ,へ,1001-ほ,と,1-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,3-い,ろ,は,4-い,7-ほ,10-ほ,11-は,1001-い,ろ,は,ほ,と,ち,1002-い,ほ,4015-へ,と,4022-り,ぬ,る,を,わ,4023-い,ろ,は,に,ほ,4024-い,ろ,に	370.69	水源のかん養	保健
		12-い,29-い,1004-へ,1008-は	1.71	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		1-ろ,15-は,に,ほ,へ,16-い,17-へ,と,18-ほ,へ,19-い,ろ,は,に,ほ,へ,20-い,ろ,ほ,21-い,ろ,は,に,22-い,ろ,に,23-い,に,ほ,24-い,ろ,は,に,ほ,26-い,ろ,は,に,27-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,29-ろ,46-い,ろ,47-ろ,1003-に,1006-は,2001-い,2002-は,と,2020-い,2021-い,2022-い,2024-い,2025-は,に,2026-い,ろ,2027-い,2064-い,2065-い,2066-い,3001-い,ろ,は,に,ほ,へ,3003-い,3009-と,3010-ほ,3024-ろ,に,4010-に,へ,4011-い,ろ,4012-い,ろ,4013-ろ,は,4014-ろ,4015-い,ろ,は,に,ほ,と,4042-に,4043-に,4045-ほ	448.84	土砂の流出 崩壊防止	砂防指定地
		1-い,ろ,ほ,へ,2-い,ろ,3-ろ,は,4-い,5-ろ,6-い,ろ,は,に,ほ,と,ち,り,7-い,ろ,は,に,ほ,へ,8-い,に,ほ,9-い,は,10-い,ろ,11-い,12-い,ろ,に,13-ろ,ほ,へ,14-は,に,ほ,15-い,に,ほ,へ,16-い,は,ほ,17-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,18-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,19-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,20-い,ろ,は,に,ほ,21-い,ろ,は,に,22-い,ろ,は,に,ほ,23-い,ろ,は,に,ほ,24-い,ろ,は,に,ほ,25-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,26-い,ろ,は,に,27-い,ろ,は,に,ほ,へ,28-い,ろ,は,に,ほ,29-い,ろ,は,に,30-い,ろ,は,に,ほ,へ,	6,013.45	土砂の流出 崩壊防止	山災防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	安曇野市	と, 31-い, ろ, に, ほ, へ, と, ち, 32-い, ろ, は, に, ほ, へ, 33-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 34-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 35-い, ろ, は, に, ほ, 36-ろ, は, ほ, へ, 38-い, ろ, は, ほ, へ, 39-い, ろ, は, に, ほ, へ, 40-い, ろ, 41-い, ろ, 42-い, ろ, ほ, 43-は, に, 44-は, ほ, 45-い, は, 46-ろ, は, に, 47-い, ろ, は, 48-い, ろ, は, に, ほ, 49-い, ろ, は, 50-い, ろ, は, に, 51-い, ろ, 52-い, ろ, 53-ろ, は, 54-ろ, は, に, ほ, 1001-い, ろ, は, ほ, へ, と, ち, り, 1002-い, ろ, は, に, 1003-と, り, 1004-に, へ, と, 1006-い, ろ, 1008-ろ, は, 1009-ろ, は, ほ, と, 1010-い, ろ, に, 1011-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2001-い, 2002-い, ろ, は, 2007-に, 2008-は, へ, 2009-は, 2010-い, 2012-い, ろ, は, に, 2013-ろ, は, 2014-い, ろ, 2015-い, ろ, へ, 2016-ほ, へ, 2017-い, 2019-い, 2020-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2021-い, ろ, は, に, 2022-い, ろ, は, 2023-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2024-い, ろ, 2025-い, ろ, は, に, 2026-い, ろ, は, に, へ, 2027-い, ろ, 2030-ろ, 2031-い, ろ, 2035-い, 2038-に, 2039-い, ろ, は, に, ほ, 2040-に, 2043-い, ろ, は, 2044-い, 2049-ろ, 2051-い, ろ, 2052-ろ, 2053-い, ろ, は, に, 2054-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2055-い, ろ, は, に, 2056-い, ろ, は, 2057-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2058-い, ろ, は, に, ほ, 2059-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 2060-い, ろ, は, に, ほ, 2062-い, ろ, は, 2063-い, ろ, 2064-い, ろ, 2065-い, 2066-い, 3001-い, ろ, は, に, ほ, へ, 3004-い, ろ, は, 3005-い, ろ, に, 3006-い, ほ, へ, と, 3008-い, ろ, は, 3009-は, と, 3010-ろ, 3015-ろ, 3016-に, 3017-い, ろ, は, 3018-は, に, 3019-い, ろ, は, に, ほ, 3020-い, ろ, は, に, 3021-い, ろ, は, に, 3022-は, 3023-ろ, ほ, 3024-い, ろ, に, 4004-に, 4005-に, へ, 4006-い, ろ, に, 4009-ろ, 4010-に, ほ, へ, 4011-い, ろ, 4012-い, ろ, 4013-い, ろ, は, 4014-い, ろ, 4015-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 4017-ろ, に, 4018-い, ろ, は, に, 4021-へ, と, 4022-り, め, る, を, わ, 4023-い, ろ, は, に, ほ, 4024-い, ろ, と, 4025-は, 4026-い, ろ, は, に, ほ, 4027-い, ろ, は, に, 4028-い, ろ, 4029-い, ろ, は, 4030-い, ろ, 4031-い, ろ, は, 4032-い, ろ, は, 4034-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 4035-い, ろ, は, に, ほ, へ, 4036-い, ろ, は, に, ほ, へ, 4037-い, ろ, は		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	11,657.59		
	麻績村	25-い, ろ	40.92	水源のかん養	水かん
		1-ほ, 2-い, に, へ, と, 3-い, ろ, 4-い, 5-い, へ, 7-い, ろ, は, に, 11-い, ろ, は, に, ほ, 12-い, ろ, は, ほ, 13-ろ, は, ほ, へ, と, ち, り, 15-は, に, め, る, 19-へ, と, 20-り, 24-い, 28-ろ, は, と, ち, り, 29-い, に, ほ, へ, と, ち, り, 30-い, ろ, は, 31-ほ, 32-い, は, 33-は, に, ち, 34-ろ, へ, 35-い, ろ, に, ほ, へ, と, ち, 36-い, に, 39-ろ, は, に, ほ, 40-ほ, へ, と, り, 43-い, ろ, は, に, ほ, と	258.87	土砂の流出 崩壊防止	土流
		33-ろ, は, ち, り, め, 37-ろ, は, に, 38-い, ろ, は, に, 39-ろ, 40-ろ, 17-は	108.13	水源のかん養	干害
		17-は	14.89	水源のかん養	保健
		2-は, 5-は, に, ほ, 8-に, ほ, 10-い, 12-い, ろ, は, 13-ち, り, 14-い, に, 16-ろ, は, に, ほ, 21-い, 23-に, へ, 24-い, ろ, 34-い, ろ, へ, と, ち	26.93	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-ほ, 2-い, に, へ, と, 4-い, 5-に, ほ, 10-ろ, は, ほ, 11-い, ろ, は, に, 12-い, ろ, ほ, 13-ろ, は, へ, と, り, 15-は, に, ほ, 24-い, ろ, 27-ろ, 28-ろ, は, に, ち, 29-は, に, ほ, ち, 33-い, ろ, は, ち, 34-ろ, と, 35-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 36-い, は, に, 38-ろ, は, に, 39-ほ, 41-に, ほ, 43-に	533.23	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	982.98		

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき事項	備考
松本	生坂村	25-と	9.34	水源のかん養	水かん
		1-い,ろ,は,2-い,ろ,は,に,ほ,3-ろ,は,ほ,へ,と,4-い,に,ほ,5-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,6-い,ろ,に,ほ,へ,と,ち,り,7-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,り,8-い,ろ,に,ほ,へ,9-い,ほ,ち,10-い,ろ,は,に,ほ,11-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,12-い,ほ,13-い,ろ,は,に,ほ,14-い,ろ,は,15-い,ろ,は,16-い,は,に,ほ,17-い,ろ,は,に,ほ,18-い,ろ,に,ほ,へ,と,19-い,ろ,20-ろ,は,21-い,ろ,は,に,22-い,ろ,に,24-い,に,25-ろ,は,ほ,26-い,ろ,は,27-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,30-ろ,は,に,31-い,ろ,は,に,ち,り,32-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,33-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,34-い,ろ,は,に,ほ,35-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,37-い,ろ,は,に,ほ,38-は,39-ろ,40-ろ,41-ほ,42-い,ろ,は,に,43-い,ろ,は,44-は,45-は,46-い,ろ,は,に,47-い,は,に,と,48-い,ろ,は,に,ほ,49-い,ろ,50-ろ,51-い,ろ,に,52-い,は,に,53-は,へ,と,54-い,ろ,は,55-い,ろ,は,56-い,は,に,57-い,ろ,は,に,ほ,へ,58-い,ろ,は,に,ほ,59-い,ろ,は,60-い,ろ,は,に,61-い,ほ,62-い,は,に,ほ,へ	1,030.13	土砂の流出 崩壊防止	土流
		2-ろ,4-ほ,5-ほ,7-い,ろ,48-は,53-ほ	6.74	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		11-ろ,は	0.09	土砂の流出 崩壊防止	風害
		11-と	1.84	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		1-い,ろ,は,に,ほ,へ,2-は,ほ,3-ろ,4-い,に,5-い,ほ,へ,と,ち,6-い,7-い,ろ,に,ほ,へ,と,ち,8-い,ろ,は,ほ,へ,と,9-ち,13-は,36-い,ろ,は,37-い,ろ,39-ろ,40-ろ,は,に,41-い,ろ,は,47-に,ほ,56-は,に,57-い,ろ,に,ほ	83.86	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-い,ろ,は,2-い,ろ,は,ほ,3-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,4-い,ろ,は,に,ほ,5-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,6-い,ろ,は,ほ,へ,7-い,ろ,は,に,ほ,8-い,に,へ,9-い,は,10-い,ろ,は,11-ろ,は,ほ,へ,と,12-い,に,ほ,13-い,に,14-い,ろ,15-い,ろ,は,16-い,ろ,は,17-い,ろ,は,に,ほ,18-い,ろ,は,へ,20-ろ,21-ろ,22-い,ろ,に,23-へ,25-へ,27-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,28-ほ,へ,30-い,ろ,は,に,31-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,り,32-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,ち,33-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,34-い,ろ,は,ほ,35-い,ろ,は,ほ,へ,と,ち,36-い,ろ,は,37-い,ろ,は,に,ほ,38-は,39-ろ,40-い,ろ,は,に,41-い,ろ,42-ろ,に,43-ろ,44-い,ろ,46-い,ろ,は,48-ろ,は,に,ほ,へ,49-い,ろ,50-い,ろ,53-は,へ,54-い,ろ,56-い,ろ,は,に,57-い,ろ,ほ,へ,58-は,ほ,59-い,ろ,は,60-い,は,に,ほ,61-い,に,ほ,62-い,ろ,は,に,ほ,へ	1,886.01	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	3,018.01		
	山形村	14-は,に,ほ,15-い,ろ,16-い,17-い,ろ,は	198.44	水源のかん養	水かん
		1-ろ,3-い,ろ,は,に,ほ,5-い,ろ,は,に,ほ,へ,と,6-は,8-と,9-い,は,に,10-い,ろ,は,11-い,は,に,14-い,ろ,15-い,ろ	254.05	土砂の流出 崩壊防止	土流
		3-に,4-い,5-ろ,は,に,ほ,12-は,14-ろ	72.89	水源のかん養	干害
		3-に,4-い,5-ろ,は,に,ほ,12-は	208.54	水源のかん養	保健
		5-い,と,10-い,ろ,11-ほ,と,12-い,に,13-い	11.90	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		2-ろ,に,3-い,ろ,は,に,ほ,5-ろ,へ,9-は,12-に,14-ろ,15-い	327.09	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	1,072.90		

局	市 町 村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき 事項	備考
松 本	朝 日 村	19-は、へ、20-い、ろ、は、21-い、ろ、22-い、ろ、23-い、ろ、 は、25-ろ、は、26-い、ろ、27-い、28-い、29-い、ろ、30-い、 ろ、31-い、ろ、は、32-い、ろ、33-い、ろ、34-い、ろ、35-い、 ろ、36-い、ろ、37-い、ろ、38-い、ろ、は、39-い、ろ、は、40-い、 ろ、41-い、ろ、42-い、ろ、46-い、ろ、47-い、ろ、48-い、ろ、49- い、ろ、は、50-い、ろ、51-い、ろ、52-い、ろ、は、53-い、ろ、54- い、ろ、55-い、ろ、56-い、ろ、は、57-い、ろ、58-い、ろ、59-い、 ろ、60-い、ろ、61-い、ろ、62-い、ろ、は、63-い、ろ、64-い、ろ、 は、65-い、ろ、は、66-い、ろ、67-い、ろ、は、68-い、ろ、は、69- い、ろ、70-い、ろ、は、71-い、ろ、は、72-い、ろ、は、73-い、 ろ、74-い、ろ、75-い、76-い、ろ、77-い、ろ、は、78-い、ろ、 は、79-い、ろ、は、に、80-い、ろ、81-い、ろ、は、82-い、ろ、83- い、ろ、84-い、ろ、は、85-い、ろ、は、に、86-い、ろ、は、に、 ほ、87-い、ろ、は、に、ほ、88-い、ろ、は、89-い、ろ、は、90-い、 ろ、91-い、ろ、は、92-い、ろ、は、93-ろ、は、に、ほ、94-い、 ろ、95-い、ろ、は、に、ほ、96-い、は	4, 331. 25	水源のかん養	水かん
		2-に、6-は、7-い、へ、8-ろ、は、に、ほ、へ、9-い、は、11-い、13- い、ろ、は、ほ、へ、り、14-い、ろ、は、15-に、16-ろ、に、17- い、18-ろ、は、19-い、ろ、24-い、ろ、25-い、ろ、43-い、ろ、44- い、ろ、45-い、ろ、50-い、53-い、96-い、ろ	546. 07	土砂の流出 崩壊防止	土流
		18-ろ	0. 14	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜 地
		5-い、7-い、17-い、18-は、19-は、25-い、ろ、は、43-い、44- ろ、45-い、ろ、46-い、ろ、50-い、ろ、53-い、ろ、54-い、57-い、 ろ、59-い、ろ、88-い、ろ、は	239. 60	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-い、ろ、は、2-い、は、に、3-い、ろ、は、に、ほ、へ、4-い、ろ、は、 に、ほ、5-い、ろ、7-い、へ、8-へ、11-い、に、ほ、13-い、ろ、は、 に、ほ、へ、ち、14-い、ろ、は、15-い、ろ、は、に、16-い、ろ、に、 ほ、17-い、ろ、は、に、18-い、ろ、は、19-い、ろ、は、に、ほ、 へ、20-い、ろ、は、21-い、ろ、22-い、ろ、23-い、ろ、は、24-い、 ろ、25-い、ろ、は、26-い、ろ、27-い、28-い、29-い、ろ、30-い、 ろ、31-い、ろ、は、32-い、ろ、33-い、34-い、36-い、37-い、 ろ、38-い、ろ、は、39-い、ろ、は、40-い、ろ、41-い、ろ、42-い、 ろ、43-い、ろ、44-い、ろ、45-い、ろ、46-い、ろ、47-い、ろ、48- い、ろ、49-い、ろ、は、50-い、ろ、51-い、ろ、52-い、ろ、は、 53-い、ろ、54-い、ろ、55-い、ろ、56-い、ろ、は、57-い、ろ、58- い、ろ、59-い、ろ、60-い、ろ、61-い、ろ、62-い、ろ、は、63-い、 ろ、64-い、ろ、は、65-い、ろ、は、66-い、ろ、67-い、ろ、は、68- い、ろ、は、69-い、ろ、70-い、ろ、72-ろ、73-い、ろ、74-い、 ろ、75-い、76-ろ、77-い、78-い、79-い、ろ、は、に、80-い、81- い、83-い、84-い、ろ、85-い、ろ、は、86-い、ろ、87-ろ、は、88- い、ろ、は、89-い、ろ、は、90-い、ろ、91-ろ、92-い、ろ、は、93- ろ、は、に、ほ、96-い、ろ、は	4, 520. 51	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	9, 637. 56		
	筑 北 村	4-ろ、は、5-い、ろ、は、に、8-に、ほ、9-と、ち、り、ぬ、る、10- ぬ、1032-は、1033-い、1034-い、ろ、2013-い、ろ、は、2014-い、 ろ、は、2015-い、ろ、は、2016-い、ろ、2017-い、ろ、は、に、2041- ろ、は、に、2037-い、ろ、は、に、ほ、2038-い、ろ、は、に、 ほ、2040-い、ろ、は、に、2041-い、ろ	988. 45	水源のかん養	水かん
		1-へ、と、2-い、3-ほ、り、4-い、ろ、は、に、5-い、7-い、9-ほ、10- ろ、は、に、ほ、り、11-い、12-い、14-は、15-ろ、16-い、ろ、は、 ほ、18-は、20-は、ほ、へ、と、21-い、ろ、ほ、22-と、23-ろ、24- は、に、26-は、27-い、ろ、28-い、ろ、は、に、ほ、へ、29-は、 に、30-い、ほ、31-い、32-に、と、33-ほ、34-は、35-い、ろ、は、 に、ほ、36-い、ろ、は、に、ほ、へ、37-い、ろ、38-ろ、は、に、 ほ、39-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、40-ろ、は、に、ほ、	1, 957. 76	土砂の流出 崩壊防止	土流

局	市 町 村	森林の所在（林小班）	面積(ha)	留意すべき 事項	備考
松 本	筑 北 村	1001-い, は, に, ほ, 1002-ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 1003-い, ろ, に, ほ, へ, と, ち, り, 1004-い, ろ, は, に, ほ, 1005-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1006-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1007-い, ろ, は, に, ほ, 1008-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1009-い, ろ, は, に, へ, と, 1010-い, ほ, と, ち, り, 1011-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ぬ, る, を, 1012-い, に, ほ, へ, と, ち, 1013-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1014-ろ, は, 1015-い, ろ, は, に, 1016-い, ろ, は, 1017-い, ろ, 1018-い, ろ, は, に, 1019-い, ろ, は, 1020-い, ろ, 1021-い, 1022-い, ろ, は, に, 1023-い, ろ, は, に, 1024-い, ろ, は, 1025-ろ, へ, と, ち, り, 1026-に, へ, 1027-ろ, は, ほ, 1028-い, と, 1029-い, ろ, は, ほ, へ, ち, り, ぬ, る, 1030-い, ろ, 1031-い, ろ, と, ち, り, ぬ, 1036-る, 2007-は, 2008-い, ろ, に, 2009-い, は, 2011-い, ろ, 2017-ろ, に, 2018-と, 2020-い, ろ, 2024-に, ほ, へ, 2025-い, は, 2027-と, ち, 2028-い, ろ, は, に, 2030-い, ろ, 2031-い, ろ, は, 2033-い, は, へ, 2043-い, 2044-い, に, 2045-い, ろ, は, に, ほ, 2047-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, る, を, わ, か, よ, 2050-ほ, へ, と, 2052-ほ, へ, 2056-い, ろ, 2057-は, に		土砂の流出 崩壊防止	土流
		9-に, 18-ろ, 19-い	1. 15	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		22-へ, と, ち, 23-い, ろ, は, 2042-い, は, 2052-に	89. 90	水源のかん養	干害
		1031-り	0. 24	土砂の流出 崩壊防止	落石
		2037-い, ろ, は, に, ほ, 2038-い, ろ, は, に, ほ, 2040-い, ろ, は, に, 2041-い, ろ	0. 24	水源のかん養	保健
		3-は, 5-い, 6-い, 29-い, ろ, 1003-に, 2017-に, 2042-い, 2046-い, は, 2054-は	15. 19	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-へ, と, 2-い, ろ, は, に, ほ, へ, 3-ほ, り, 4-は, に, 8-い, ろ, 9-ほ, へ, 10-い, ろ, 11-い, ほ, へ, 12-い, 13-と, 14-は, に, ほ, と, 15-に, 16-い, ろ, は, ほ, 17-ほ, へ, 18-は, 19-ほ, 20-は, に, 21-い, 23-ほ, 24-は, 25-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 26-い, ろ, 27-い, ろ, 28-い, ろ, は, に, ほ, へ, 29-い, ろ, は, に, ほ, 30-い, ろ, は, 31-い, ろ, は, に, 32-い, ろ, は, 33-に, ほ, 34-い, に, ほ, 35-い, ろ, は, に, ほ, 36-い, ろ, は, に, ほ, へ, 37-い, ろ, 38-い, ろ, は, に, ほ, 39-ろ, は, に, ほ, へ, と, 40-ろ, に, ほ, 1001-に, ほ, 1002-は, に, ほ, へ, と, ち, 1003-ろ, に, ほ, へ, と, ち, り, 1004-い, ろ, は, に, ほ, 1005-に, ほ, へ, と, 1006-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 1007-ろ, 1008-い, ろ, は, へ, 1009-い, は, に, へ, と, 1010-に, ほ, へ, と, ち, 1011-へ, 1012-ほ, へ, と, ち, 1013-い, ろ, は, に, ほ, 1014-ろ, は, 1015-い, ろ, は, に, 1016-い, ろ, は, 1017-い, ろ, 1018-い, ろ, は, に, 1019-い, ろ, は, 1020-い, ろ, 1021-い, 1022-い, ろ, は, に, 1023-い, ろ, は, に, 1024-ろ, 1027-ほ, 1028-い, へ, と, 1029-い, は, ほ, り, る, 2007-は, 2008-い, ろ, 2009-い, は, 2017-ろ, に, 2020-い, ろ, 2022-ろ, は, 2023-ろ, は, ほ, と, 2024-に, ほ, へ, 2027-に, 2028-い, ろ, は, に, 2030-い, ろ, 2031-い, ろ, は, 2033-と, ち, 2038-い, ろ, 2043-い, 2044-い, 2045-い, ろ, は, に, ほ, 2052-ほ, へ, 2056-い, に	2, 713. 99	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	5, 954. 90		
		計（松本地域振興局 管内）	79, 688. 41		

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	大町市	50-い, ろ, は, 90-に, 121-ろ, に, 122-は, に, ほ, 124-ろ, は, に, ほ, 125-い, ろ, は, に, ほ, 126-い, ろ, は, に, ほ, 128-へ, 133-に, 134-は, に, ほ, 137-い, ろ, は, に, ほ, 138-い, ろ, は, に, ほ, 139-い, ろ, は, に, ほ, へ, 140-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, め, 141-い, は, に, ほ, へ, と, 142-い, ろ, は, に, 143-い, ろ, は, に, 144-ほ, 148-い, ろ, は, に, 149-い, ろ, は, 150-い, ろ, 151-い, ろ, は, に, 152-い, 153-い, ろ, 154-い, ろ, 155-い, 2055-り, 2056-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, め, る, 2057-ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 2060-い, ろ, は, に, ほ, へ, と	1, 524. 90	水源のかん養	水かん
		2-い, ろ, 3-い, ろ, は, に, 4-い, ろ, は, 5-い, 6-は, 8-へ, 9-は, 10-は, 11-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 12-い, ろ, は, に, ほ, 15-い, は, 18-ほ, 19-い, 20-い, ろ, は, に, ほ, へ, 21-い, ろ, は, ほ, 22-へ, と, ち, 24-い, ろ, 29-は, に, 36-ろ, は, 39-は, に, 45-は, ち, り, め, 52-は, に, 53-い, ろ, は, 55-い, ろ, は, 60-い, 66-ろ, 75-は, 76-は, 77-い, ち, め, 79-た, 81-に, 82-は, 84-い, に, 88-ほ, へ, と, ち, 93-は, 94-ろ, は, に, 96-は, 97-ろ, に, へ, め, 102-は, 104-い, は, に, ほ, 105-は, に, ほ, へ, 106-ほ, へ, 107-い, ろ, は, に, へ, 108-ほ, 109-い, ろ, は, ほ, へ, 110-ろ, は, に, ほ, へ, と, 111-ろ, は, ほ, へ, と, 112-い, ろ, は, に, 113-は, に, 114-い, ろ, は, ほ, へ, 115-は, ほ, 118-に, ほ, 121-に, 122-い, ほ, 123-い, ろ, に, ほ, 124-い, ろ, は, 127-い, ろ, は, に, ほ, へ, 128-い, ろ, 134-は, 135-ほ, 1003-い, ろ, は, に, 1004-い, ろ, は, に, 1005-い, ほ, へ, 1006-い, 1010-い, は, に, 1011-と, 1013-ほ, へ, 1014-ろ, に, 1015-い, は, 1016-い, 1017-い, ろ, に, ほ, 1018-い, ろ, は, 1019-ろ, は, ほ, 1020-い, ろ, 1021-い, 1022-ほ, 1023-い, は, 1025-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1026-は, に, ほ, へ, 1027-い, ろ, は, に, ほ, へ, ち, り, 1028-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1029-い, ろ, は, 1030-は, に, 1031-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1032-ろ, は, 1035-い, は, 1038-ほ, 1040-ろ, 1042-い, 1043-い, ほ, 1044-い, ろ, は, に, 1045-は, 1047-ろ, は, 1048-い, ろ, は, 1049-は, に, 1050-い, ろ, に, 1051-い, は, 1053-ろ, は, に, ほ, へ, 1054-い, ほ, 1055-い, は, に, ほ, へ, 1056-い, ろ, は, に, ほ, 2001-い, は, ほ, へ, ち, 2002-い, に, ほ, 2003-い, ろ, は, 2004-に, ほ, 2005-へ, 2006-い, ろ, は, 2010-ほ, 2030-い, 2033-い, ろ, は, に, 2035-い, 2036-い, ろ, 2037-ほ, 2039-い, 2040-い, は, 2041-い, ろ, ほ, へ, 2045-ほ, 2046-い, 2047-は, ほ, 2048-ち, り, 2050-り, 2051-ろ, に, 2052-い, ろ, ほ, 2054-に, 2063-ろ, 2064-は, 2065-ほ, 2067-い, 2071-い, ろ, は, 2072-い, ろ, は, に, 2073-い, に, ほ, と, 2074-ろ, は, に, ほ, 2075-い, ろ, に, ほ, 2076-い, ろ, は, 2077-ほ, 2078-い, ろ, は, 2079-ろ, は, ほ, 2080-は, に, 2081-い, は, に, ち, 2083-い, 2084-る, 2086-に, 2088-い, 2089-と, 2090-ろ, 2091-い, は, に, ほ, へ, 2092-い, ろ, は, に, ほ, 2093-い, ろ, は, に, 2095-へ, 2096-い, ろ, 2097-に, 2098-ほ, へ, 2100-は, 2101-ろ, は, に, 2102-い, ほ, 2103-い, ろ, は, 2104-い, ろ, に, ほ, 2105-ほ, へ, と, 2106-い, ろ, は, ほ, ち, り, 2108-は, 2109-り, 2110-い, ろ, は, に, 2111-い, ろ, は, に, 2115-い, ろ, 2116-い, に, 2117-に, ほ, 2119-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2120-い, 2121-ろ, は, 2122-ろ, 2123-い, に	2, 403. 23	土砂の流出 崩壊防止	土流
		102-は, 2051-ほ	0. 65	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		80-に, 114-に, 1002-は, 1003-い, ろ, に, ほ, 2038-い, ろ, は	76. 41	水源のかん養	干害
		49-に, 51-い	2. 00	土砂の流出 崩壊防止	なだれ
		1033-ほ, へ, 1037-い, と, 2080-ろ	7. 53	土砂の流出 崩壊防止	落石

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	大町市	114-に, 1047-ろ, 1048-い, ろ	11. 25	水源のかん養	保健
		83-ち, 100-と, 101-い, 115-い, ろ, 2051-い	2. 00	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		1-い, 2-い, ろ, 3-い, ろ, は, に, 4-い, ろ, は, 5-い, 6-い, ろ, は, 7-い, ろ, は, 8-い, ろ, は, に, ほ, へ, 9-い, ろ, は, に, 10-い, ろ, は, 11-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 12-い, ろ, は, に, ほ, 13-い, ろ, は, に, 14-い, ろ, は, に, ほ, 15-い, ろ, ろ, ろ, は, は, は, に, に, に, ほ, 16-い, ろ, は, 17-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 18-い, ろ, ろ, ろ, は, は, に, に, ほ, ほ, 19-い, ろ, は, に, 20-い, ろ, は, に, ほ, へ, 21-い, ろ, は, に, ほ, 22-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 23-い, ろ, は, に, ほ, へ, 24-い, ろ, 25-い, ろ, は, に, ほ, へ, 26-い, ろ, 27-い, ろ, は, 28-い, ろ, は, 29-い, ろ, は, に, ほ, 30-い, ろ, は, に, ほ, 31-い, ろ, は, に, 32-い, ろ, は, に, ほ, へ, 33-い, ろ, は, に, ほ, 34-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 35-い, ろ, は, に, 36-い, ろ, は, に, 37-い, へ, 41-い, ろ, 50-ろ, は, に, ほ, 81-と, 82-い, ろ, は, に, ほ, 83-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 83-ち, 88-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 91-い, 100-に, ほ, 101-い, ろ, 116-い, ろ, 117-い, 118-ほ, 120-い, ろ, 121-ろ, 135-と, 136-い, 138-ほ, 140-へ, と, ち, り, 141-は, 145-い, ろ, 146-へ, 147-は, に, 148-い, ろ, は, 150-ろ, 154-い, 1013-に, ほ, 1015-に, 1022-は, 1031-へ, 1032-に, ほ, 1040-ろ, に, 2010-は, ほ, 2041-わ, 2047-に, ほ, へ, 2048-ほ, と, ち, 2049-ろ, は, に, ほ, 2050-い, ち, り, 2051-ほ, へ, 2052-い, ろ, に, と, ち, ぬ, る, 2053-ろ, は, 2054-は, に, 2058-ほ, 2059-い, ろ, は, 2060-へ, と, ち, 2061-い, ろ, は, に, へ, 2062-は, に, ほ, 2063-ろ, は, に, ほ, 2065-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 2066-ほ, 2068-い, へ, 2073-い, ろ, は, に, と, 2074-ろ, ほ, 2075-ろ, 2079-い, は, ほ, 2083-い, に, ほ, 2084-は, と, 2085-ろ, は, ほ, へ, 2086-ほ, へ, 2088-い, は, に, ほ, 2089-は, ほ, へ, 2090-い, ろ, は, 2092-に, ほ, 2093-ろ, に, 2095-ろ, ほ, へ, 2096-い, ろ, は, ほ, 2097-い, ろ, は, に, ほ, 2098-ろ, に, ほ, へ, と, 2102-い, ほ, 2103-い, ろ, は, 2104-い, ろ, に, ほ, 2105-ほ, へ, と, 2106-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 2107-い, ろ, は, に, 2108-い, ろ, は, に, へ, 2118-に, ほ, 2121-ろ, 2122-い, ろ, に, ほ	3, 268. 13	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-い, 2-い, ろ, 3-い, ろ, は, に, 4-い, ろ, は, 5-い, ろ, 6-い, ろ, は, 7-い, ろ, 8-い, ろ, は, に, ほ, へ, 9-い, ろ, は, に, 10-い, ろ, は, 11-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 12-い, ろ, は, に, ほ, 13-い, ろ, は, に, 14-い, ろ, は, に, ほ, 15-い, ろ, は, に, ほ, 16-い, ろ, は, 17-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 18-い, ろ, は, に, ほ, 19-い, ろ, は, に, 20-い, ろ, は, に, ほ, へ, 21-い, ろ, は, に, ほ, 22-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 23-い, ろ, は, に, ほ, へ, 24-い, ろ, 25-い, ろ, は, に, ほ, へ, 26-い, ろ, 27-い, ろ, は, 28-い, ろ, は, 29-い, ろ, は, に, ほ, 30-い, ろ, は, に, ほ, 31-い, ろ, は, に, 32-い, ろ, は, に, ほ, へ, 33-い, ろ, は, に, ほ, 34-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 35-ろ, は, に, 36-い, ろ, は, に, 37-い, へ, 39-に, 40-ろ, と, 41-い, ろ, 45-は, ち, り, る, 49-に, 50-い, ろ, は, に, 53-い, ろ, は, 54-い, 61-は, 62-へ, 64-は, 78-へ, と, 81-い, に, 82-い, ろ, は, に, ほ, 83-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 88-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 94-ろ, 97-ろ, に, へ, ぬ, 100-ほ, 103-ろ, へ, 105-い, へ, 106-へ, 107-は, に, ほ, 108-は, 110-ろ, へ, 112-ろ, 114-い, ろ, は, ほ, 115-は, ほ, 117-い, 118-い, ほ, 120-い, ろ, 121-ろ, 122-い, ほ, 123-に, 124-ろ, 125-ろ, は, 126-い, ろ, は, に, ほ, 127-ほ, 128-い, 134-い, ろ, は, に, ほ, 135-ほ, 136-い, 137-い, ろ, 138-ろ, に, ほ, 139-は, に, ほ, 140-い, は, に,	7, 014. 22	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	大町市	ほ, ち, 142-は, に, 144-ろ, は, に, ほ, 145-い, ろ, 146-い, ろ, は, に, ほ, へ, 147-は, に, 148-い, ろ, は, 150-ろ, 154-い, ろ, 155-い, 1003-い, ろ, に, 1004-い, ろ, は, 1005-へ, 1006-い, 1013-に, ほ, 1014-ろ, 1015-は, 1016-い, に, ほ, 1019-は, ほ, 1022-は, ほ, 1023-い, 1025-ほ, へ, 1026-は, へ, 1027-り, 1028-い, ろ, は, に, ほ, へ, 1029-い, ろ, は, 1030-い, ろ, は, 1031-い, ろ, は, に, へ, 1032-ろ, 1033-ほ, へ, 1035-い, ろ, 1036-い, ほ, へ, 1037-へ, 1039-ほ, 1040-ろ, に, 1043-い, 1044-ろ, は, に, 1047-い, は, 1048-い, ろ, は, 1049-い, ろ, は, 1050-ろ, は, に, 1052-ろ, は, ほ, 1053-ろ, は, へ, 1054-い, に, ほ, 1055-は, に, ほ, へ, 1056-に, ほ, 2001-は, に, ほ, 2002-い, ろ, に, ほ, 2006-い, ろ, は, 2007-は, 2010-は, ほ, 2015-ろ, 2030-い, 2033-い, 2035-い, 2036-い, ろ, 2037-ろ, は, 2038-い, ろ, は, 2039-い, ろ, 2041-い, ろ, へ, 2043-と, 2046-は, に, ほ, 2047-い, ろ, に, り, 2048-り, 2049-は, に, ほ, 2050-い, ろ, 2051-い, ろ, に, 2052-ぬ, ろ, 2053-ろ, に, 2060-へ, 2061-へ, 2062-は, に, ほ, 2063-ろ, 2064-は, 2065-は, ち, り, 2066-ほ, へ, 2067-い, ろ, 2071-ろ, は, と, ち, 2072-い, ろ, は, に, 2073-い, ろ, 2074-に, ほ, 2075-い, ろ, は, に, ほ, 2076-い, ろ, 2077-に, ほ, 2078-い, ろ, は, 2079-い, ろ, は, に, ほ, 2080-い, ろ, は, に, 2081-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 2083-ろ, 2084-ろ, 2086-い, ろ, は, へ, と, ち, り, 2087-は, に, ほ, 2088-は, に, 2090-ろ, 2092-い, ろ, は, ほ, へ, 2093-は, に, 2094-い, ろ, は, に, へ, 2095-い, ろ, 2098-に, へ, と, 2100-い, 2101-は, 2102-い, 2103-ろ, は, 2104-へ, と, ち, 2105-い, ろ, と, 2106-ろ, は, に, ほ, 2107-い, 2108-い, ろ, は, に, 2110-い, ろ, は, に, 2111-い, ろ, は, に, 2114-は, 2115-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 2116-い, ろ, は, に, 2117-い, ろ, は, に, ほ, 2119-い, ろ, は, に, ほ, へ, 2120-い, 2121-は, 2122-い, ろ, は, に, ほ, 2123-い		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	14, 310. 31		
池田町		1-ろ, に, ほ, 2-い, へ, 3-い, に, へ, 4-い, は, に, 5-い, ろ, 6-い, ろ, は, に, 7-ろ, 8-い, ろ, は, 9-い, ろ, は, 10-は, へ, 11-い, は, に, 12-い, ろ, は, 13-い, ろ, は, に, 14-い, ろ, に, ほ, 15-い, ろ, に, へ, 16-い, は, 17-ほ, 18-ろ, に, ほ, へ, 19-い, ろ, は, に, 21-に, ほ, 22-い, ろ, は, に, 23-い, ろ, に, へ, 24-に, 25-い, ろ, 26-い, に, ほ, 28-は, に, ほ, へ, 29-い, ろ, は, へ, と, 30-い, ろ, は, に, 31-い, ろ, は, ほ, 32-い, ろ, は, 33-に, 34-い, ろ, は, 35-い, ろ, は, に, 36-い, ろ, 37-い, ろ, は, 38-い, ろ, は, に, ほ, へ, 39-は, 41-ほ, へ, 42-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち	526. 74	土砂の流出 崩壊防止	土流
		21-い, ほ, 29-へ, ち, 30-い, 31-ろ, 39-は	9. 70	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		34-ろ, 43-へ, と, ち, り, ぬ	59. 51	水源のかん養	干害
		43-へ, と, ち, り, ぬ	59. 14	水源のかん養	保健
		1-い, ろ, は, に, ほ, 5-は, に, 10-ろ, は, ほ, へ, 11-い, ろ, 12-は, に, 13-い, 14-ほ, 15-い, 18-い, ほ, 19-ろ, ほ, へ, と, 20-い, ろ, は, 21-い, ろ, は, に, ほ, 22-に, 23-い, ろ, は, に, ほ, へ, 24-い, ろ, は, に, 25-ろ, は, 26-は, 41-い, ろ, は, に, 42-ほ	217. 47	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-い, ろ, は, に, ほ, 2-は, ほ, 3-い, ろ, は, に, ほ, へ, 4-ろ, は, に, 5-い, ろ, 6-は, に, 7-ろ, 8-い, ろ, は, 9-い, ろ, は, 10-ろ, は, に, ほ, 11-い, ろ, は, に, 12-い, は, 13-い, は, 14-ろ, は, に, ほ, 15-い, ろ, は, 18-い, ろ, は, に, ほ, へ, 19-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 20-い, ろ, は, 21-い, ろ, は, に, ほ, 22-い, ろ, は, に, 23-い, ろ, は, に, ほ, へ, 24-い, ろ, は, に, 25-い, ろ, は, 26-い, に, ほ, 28-は, に, ほ, へ, 29-は, ほ, へ, ち,	1, 354. 41	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	池田町	30-い, ろ, に, 31-ろ, に, ほ, 32-い, ろ, 33-い, ろ, 34-い, ろ, 35-い, ろ, に, 36-い, ろ, 37-い, ろ, は, 38-い, ろ, は, に, ほ, へ, 39-い, は, 41-い, ろ, は, に, 42-ろ, は, に, ほ, ち		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	2, 226. 97		
	松川村	8-へ, と, ち	45. 28	水源のかん養	水かん
		1-ほ, へ, 2-い, に, ほ, 4-に, 7-い, ろ, は, 9-い, 11-に, ほ, へ, 13-い, ろ, は, 14-ほ, 15-い, ろ, は, 16-い, ろ, に, ほ, へ, 17-い, ろ, は, に, 18-い, は, 19-は, に, 23-ろ, は, ほ, 25-に	232. 56	土砂の流出 崩壊防止	土流
		8-い, ろ, は, に, ほ, 9-い, ろ, 10-は, に, ほ	99. 49	水源のかん養	干害
		8-い, ろ, は, に, ほ, 9-い, ろ, 10-は, に, ほ, 10-ほ	98. 87	水源のかん養	保健
		7-は, に, 8-い, 10-は, 21-い, ろ, は	10. 41	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		1-ほ, へ, 2-に, ほ, 4-ろ, は, 5-い, ろ, は, 6-は, 7-い, は, に, 8-い, 9-い, 12-い, ろ, は, 13-い, ろ, 14-ろ, は, に, 15-は, 16-ろ, は, に, 17-い, ろ, は, 18-は, 19-ろ, は, に, 20-ろ, は, 21-い, ろ, は, 23-ろ, は, 24-ろ, は	622. 98	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	1, 109. 60		
	白馬村	11-は, に, ほ, ち, 14-ろ, 18-る, を, 100-は, に, ほ, 102-い, ろ, は, 103-い, ろ, は, に, ほ, へ, 104-い, ろ, 105-は, 106-い, ろ, は, に, へ, と, ち, り, 107-い, ろ, 121-は, に, ほ, へ, と, 122-に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, る, を, わ, か, 124-と, り, 125-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 133-い, ろ, は, に	768. 79	水源のかん養	水かん
		10-は, 11-ろ, 20-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 24-は, 34-ろ, は, 35-ろ, は, に, ほ, へ, 36-ろ, は, に, ほ, へ, 37-い, 43-ろ, 51-い, 62-は, 66-ち, 68-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 69-い, ろ, は, に, ほ, へ, 70-い, ろ, は, に, ほ, へ, 71-い, 72-い, ろ, 73-い, 74-い, 75-い, 76-い, ろ, は, 77-い, ろ, 78-い, ろ, 80-に, ほ, 93-に, ほ, 94-い, ろ, は, に, 96-い, ろ, は, 98-ろ, 107-は, に, 109-い, は, に, へ, り, 110-い, ろ, 111-ろ, は, 112-い, 117-い, 120-へ, 123-ろ, ほ, へ, 130-い, と, 131-い, は	2, 011. 08	土砂の流出 崩壊防止	土流
		51-ろ, 95-ろ, は, に, 117-を, 118-ろ, 130-と	16. 97	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		26-と, ち, り, と, ち, り	17. 47	水源のかん養	干害
		58-い, 65-ろ, 81-ち	1. 02	土砂の流出 崩壊防止	水害
		40-ろ, 95-は, に	34. 95	土砂の流出 崩壊防止	なだれ
		94-は	0. 40	土砂の流出 崩壊防止	落石
		26-と, ち, り, 68-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 69-い, ろ, は, に, ほ, へ, 70-い, ろ, は, に, ほ, へ, 71-い, 72-い, ろ, 73-い, 74-い, 75-い, 76-い, ろ, は, 77-い, ろ, 78-い, ろ	1, 526. 06	水源のかん養	保健
		10-は, 11-に, 14-へ, 21-い, 36-い, 37-い, 38-は, に, ほ, 41-と, 42-は, 45-い, ろ, ろ, ろ, は, は, は, に, 46-い, い, ろ, は, に, 47-い, ろ, は, に, ほ, 53-い, ろ, は, 54-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, る, を, わ, か, 55-い, ろ, は, に, に, ほ, ほ, ほ, へ, と, ち, ち, り, ぬ, 56-い, ろ, は, に, 96-い, ろ, は, 112-い, に, ほ, へ, 126-ろ, ち, り, 127-い	818. 25	土砂の流出 崩壊防止	砂防 指定地
		10-は, に, ほ, へ, 11-ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 15-と, 16-い, ろ, は, に, ほ, へ, 17-い, ろ, 18-い, ろ, は, へ, と, 28-へ, ぬ, 29-い, ろ, は, に, ほ, 30-ろ, は, に, ほ, 33-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 34-い, ろ, は, に, ほ, 35-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 36-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, 37-い, は, 38-い, ろ, は, に, ほ, 41-へ, と, 42-い, ろ, は, に,	4, 074. 00	土砂の流出 崩壊防止	山災 防止

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	白馬村	43-い, ろ, は, 44-い, ろ, は, に, ほ, へ, 45-い, ろ, は, に, 46-い, ろ, は, に, 47-い, ろ, は, に, ほ, 53-い, ろ, は, 54-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, る, を, わ, か, 55-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, ぬ, 56-い, ろ, は, に, 60-り, 62-は, ほ, と, ち, 67-い, ろ, は, 68-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 69-い, ろ, は, に, ほ, へ, 70-い, ろ, は, に, ほ, へ, 71-い, 72-い, ろ, 73-い, 74-い, 75-い, 76-い, ろ, は, 77-い, ろ, 78-い, ろ, 79-ほ, 80-い, ろ, は, 82-ぬ, る, を, わ, 83-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, ち, り, 86-い, 93-ほ, 94-は, に, 95-ろ, は, に, 96-い, ろ, は, 97-い, に, 98-い, ろ, 101-ろ, 102-い, 107-は, に, 109-い, へ, り, 110-い, ろ, 111-ろ, は, 112-い, に, ほ, へ, 115-る, を, 116-と, 117-い, 118-ろ, は, に, へ, 122-よ, た, 123-へ, 124-い, ろ, に, ほ, 130-と		土砂の流出 崩壊防止	山災 防止
		計	9, 268. 99		
	小谷村	10-い, ろ, は, 11-い, は, 12-い, ろ, は, に, ほ, 16-い, ろ, は, に, ほ, へ, 17-い, 19-は, に, ほ, 20-い, ろ, 35-へ, 37-い, ろ, は, に, ほ, 38-い, ろ, は, に, 39-い, ろ, 40-い, ろ, は, 44-い, ろ, は, に, 45-ほ, 47-い, 48-い, ろ, は, に, ほ, 49-ろ, は, 50-は, に, ほ, へ, と, ち, り, る, 60-ろ, は, に, ほ, 65-い, ろ, 66-い, ろ, は, に, ほ, へ, 67-い, ろ, は, に, ほ, 68-い, ろ, 87-は, 92-に, 94-い, ろ, は, 95-い, ろ, は, に, 96-い, ろ, は, に, ほ, 97-い, ろ, は, 98-い, ろ, 133-ろ, は, に, ほ, へ, 178-ろ, は, 179-い, は, に, 180-い, ろ, は, に, 181-い, ろ, は, に, ほ, へ, 182-い, ろ, は, に, 183-い, ろ, は, に, 184-い, ろ, は, 185-い, ろ, 186-い, ろ, は, 187-い, ろ, は, に, 189-い, ろ, 190-い, ろ, は, 191-い, ろ, は, 192-い, ろ, は, に, ほ, 193-い, ろ, は, 194-い, ろ, は, に, 195-い, ろ, は, 196-い, ろ, 204-い, ろ, は, に, ほ, 205-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 206-い, ろ, は, 207-い, ろ, は, 208-い, 209-い, ろ, は, に, 210-い, 211-い, ろ, は, に, ほ, 212-い, ろ, は, に, ほ, 221-い	4, 593. 18	水源のかん養	水かん
		2-ろ, は, に, 4-ろ, 7-ろ, 23-い, は, と, 24-い, 26-ほ, 27-ろ, は, 29-ろ, 30-い, に, 31-い, は, 32-ろ, は, 33-い, ろ, に, ほ, へ, 34-い, 35-に, ほ, り, 36-ろ, に, ほ, へ, 41-ほ, 42-い, ろ, へ, 45-い, 46-ろ, 51-へ, 52-へ, 53-い, ろ, ほ, 54-に, と, 57-い, は, ち, 58-ろ, は, 59-ろ, に, と, ち, る, 61-い, ろ, 74-ろ, に, 75-ろ, は, 78-は, 82-い, ろ, 83-い, ろ, 84-ろ, は, に, 85-い, 86-い, 87-い, は, に, 88-ろ, は, ほ, へ, と, 89-い, ろ, は, 90-い, ろ, は, に, 91-い, ろ, 92-い, ろ, は, 93-い, ろ, は, に, ほ, 94-い, ろ, は, 95-は, に, 105-は, に, 107-は, 111-ろ, は, 112-い, 113-は, 114-い, 116-い, ろ, は, 117-い, 118-い, ろ, 119-い, ろ, 123-は, に, 127-い, 128-は, に, ほ, 141-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 143-へ, と, 144-ろ, は, 146-ろ, と, ち, 147-ろ, に, 148-ほ, 150-い, ろ, は, に, ほ, へ, 151-ろ, 152-い, ろ, は, に, ほ, 153-い, ろ, は, に, 154-い, ろ, 155-い, ろ, 156-い, ろ, は, ほ, 157-ろ, は, 158-い, ろ, 159-は, に, 161-い, 162-い, ほ, 163-い, 165-い, 166-は, 167-い, 168-ろ, 171-ろ, 172-ろ, に, 173-は, に, 174-は, 175-は, に, 176-ほ, 177-い, 179-ろ, 188-い, ろ, は, 200-い, に, 202-ろ, 203-は, に, 213-い, ろ, は, に, 214-い, ろ, は, 215-い, 216-い, 217-い	1, 708. 64	土砂の流出 崩壊防止	土流
		23-い, 32-い, 59-に, 112-い, 162-い, 163-い	15. 26	土砂の流出 崩壊防止	土崩
		1-ほ, 2-い, ろ, 18-ろ, 23-と, 26-と, 28-い, 29-い, 31-い, ろ, は, に, 32-い, 36-い, 51-は, 53-い, ろ, 54-へ, と, 55-い, 58-ろ, 59-は, に, ほ, 61-ろ, は, 74-は, 75-い, ろ, は, に, 76-ろ, は, 77-い, 83-ろ, 88-い, 111-は, に, 138-へ, 143-ろ, は, に, 156-い, 160-は, 162-い, 164-ほ, 165-い, 167-い, ろ, 173-ろ, に	136. 36	土砂の流出 崩壊防止	なだれ

局	市町村	森林の所在（林小班）	面積 (ha)	留意すべき事項	備考
北アルプス	小谷村	24-ろ, 109-は, に	14. 89	土砂の流出 崩壊防止	落石
		10-い, ろ, は, 11-い, は, 12-い, ろ, は, に, ほ, 10-い, は, 11-い, ろ, 12-い	450. 11	水源のかん養	保健
		23-へ, 26-い, 28-い, 52-ほ, 75-い, ろ, 85-に, 114-ろ	5. 02	土砂の流出 崩壊防止	急傾斜地
		32-ほ, へ, 33-は, に, ほ, へ, 34-ろ, は, に, 35-い, は, 61-い, ろ, 62-い, は, 93-い, 112-ろ, は, 113-い, ろ, は, 123-に, 137-ろ, 138-い, 146-ろ, 150-は, に, 160-ほ, 164-い, ほ, 165-い, 166-ろ, は, 167-ろ, 219-い, 220-ろ	187. 65	土砂の流出 崩壊防止	砂防指定地
		1-ほ, 2-い, ろ, に, 5-い, 6-い, ろ, は, に, 7-い, ろ, 13-は, 14-い, 18-ほ, 20-は, に, 21-い, に, 23-い, 24-い, 28-い, ろ, に, ほ, 29-い, ろ, は, に, 30-い, は, 31-は, に, 32-い, ろ, は, ほ, へ, 33-は, に, ほ, へ, 34-い, ろ, は, に, 35-い, は, に, 42-い, ろ, は, に, ほ, へ, 43-い, ろ, は, に, 45-い, ろ, 46-ろ, 51-は, 52-ろ, は, へ, 53-い, ろ, 55-い, ろ, は, 56-い, は, 57-ろ, に, ち, 58-ろ, に, ほ, 59-い, に, ほ, 61-い, ろ, は, 62-い, は, 72-い, ろ, は, 73-い, 74-ろ, は, に, 75-い, ろ, は, に, 76-ろ, は, 77-い, ろ, に, 78-い, ろ, は, 79-ろ, 80-い, は, 82-い, ろ, 83-い, ろ, 84-に, 85-い, 88-い, ろ, 89-い, ろ, は, 90-い, ろ, は, に, 91-い, ろ, 92-い, 95-は, に, 96-い, ろ, は, に, ほ, 102-い, ほ, 105-は, 109-は, に, 111-ろ, は, に, 112-ろ, は, 113-い, ろ, は, 115-い, 116-い, 117-い, 118-い, ろ, 119-い, ろ, は, 120-い, ろ, は, に, ほ, へ, 121-い, ろ, 122-い, ろ, は, 123-い, ろ, は, に, 138-へ, 141-い, ろ, は, に, ほ, へ, と, 142-い, 143-ろ, は, へ, 144-ろ, は, 146-は, と, ち, 150-ろ, に, ほ, へ, 151-い, 152-い, ろ, は, ほ, 153-い, ろ, は, に, ほ, 154-い, ろ, 155-ろ, 156-い, ろ, は, 158-い, 159-ろ, に, 160-い, ろ, は, に, ほ, 161-い, ろ, は, 162-い, 163-い, 164-ほ, 165-い, 166-は, 167-い, ろ, は, 168-ろ, 172-い, ろ, は, に, 173-ろ, は, 175-い, ろ, は, に, 176-は, ほ, へ, 178-い, ろ, 179-ろ, は, 180-い, ろ, は, 181-い, ろ, は, 182-い, ろ, は, に, ほ, へ, 183-い, ろ, は, に, 184-い, ろ, は, 188-い, 189-ろ, 191-ろ, 192-い, 195-ろ, は, 196-い, 200-い, に, 203-に, 213-い, ろ, は, 214-い, ろ, は, 215-い, 216-い, 217-い	4, 786. 07	土砂の流出 崩壊防止	山災防止
		計	11, 897. 18		
		計（北アルプス地域振興局 管内）	34, 105. 25		
		合 計（中部山岳森林計画区）	113, 793. 67		

※ 当該表の面積合計は、2以上の目的を達成するために指定する保安林等の重複数値を含みます。

(2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法

該当なし

(3) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

地域における飲用水等の水源として依存度の高い森林や、良好な自然環境を形成する森林等安全で潤いのある居住環境の保全及び形成に重要な役割を果たしている森林の他用途への転用は、極力避けます。

また、土石の切取り、盛土その他の土地の形質の変更を行う場合には、気象、地形、地質等の自然条件、地域における土地利用及び森林の現況並びに土地の形質変更の目的及び内容を総合的に勘案し、実施地区の選定を適切に行います。

さらに、土砂の流出又は崩壊、水害等の災害の発生をもたらす、又は地域における水源の確保、環境の保全に支障を来すことのないよう、その態様等に応じ、法面の緑化、土留工等の防災施設及び貯水池等の設置、環境の保全等のための森林の適正な配置等の適切な措置を講じます。

なお、太陽光発電設備の設置にあたり、小規模な林地開発でも土砂の流出の発生割合が高いこと、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観に及ぼす影響が大きいこと等の特殊性を踏まえ、許可が必要とされる面積規模の引下げや適切な防災施設の設置、森林の適正な配置など改正された開発行為の許可基準の適正な運用を行うとともに、地域住民の理解を得る取組の実施等に配慮します。

また、次の点に留意します。

ア 県は、保安林制度、林地開発許可制度などの法令の基準を遵守するよう指導を徹底します。

イ 市町村は、伐採届による小規模林地開発の案件に対しては、林地開発許可基準に準じた計画とするよう指導します。

ウ 県及び市町村は、森林の有する公益的機能に配慮し、最小限の土地の形質変更に努めるよう、土地の形質を変更しようとする者を指導します。

エ 盛土等に伴う災害を防止するため、宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号）や長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例（長野県条例第33号）に基づき、盛土等の工事を行う際の技術基準を遵守するよう指導を徹底します。

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する方針

森林に関する自然条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の^{かん}涵養、災害の防備、保健、風致の保存等の目的を達成するため保安林に指定する必要がある森林について、保安林の配備を計画的に推進するとともに、必要に応じて指定施業要件を見直し、その保全を確保することとします。

(2) 保安施設地区の指定に関する方針

該当なし

(3) 治山事業の実施に関する方針

県民生活の安全・安心の確保を図る観点から、災害に強い地域づくりや水源地域の

機能強化を図るため、近年、大雨や短時間豪雨の発生頻度の増加により、尾根部からの崩壊による土砂流出量の増大、流木災害の激甚化、広域にわたる河川氾濫等災害の発生形態が変化していることを踏まえ、山地災害による被害を防止・軽減する事前防災・減災の考え方に立ち、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、『災害に強い森林づくり指針（長野県林務部）』に基づき、流域治水の取組と連携を図りつつ次のとおり治山事業を実施します。

ア 荒廃山地・荒廃危険地の復旧、整備

- ・ 山地災害危険地区等における、きめ細かな治山ダムの設置等による土砂流出の抑制
- ・ 森林整備と筋工の組合せによる森林土壌の保全強化
- ・ 流木捕捉式治山ダムの設置、渓流域での危険木の伐採等による流木災害リスクの軽減
- ・ 既存治山施設の点検調査、機能強化、長寿命化対策
- ・ ICTや新技術の施工現場への導入

イ 住民等と協働して行う山地防災力を高めるための取り組み

- ・ 地域住民による自主的な防災活動を促すために、防災講演会や説明会等の開催
- ・ 地域住民による森林の見回りや防災マップづくりなどの取り組みに対する技術的な支援



治山ダムの設置



森林整備事業

(4) その他必要な事項

保安林の適切な管理を確保するため、地域住民、地方公共団体等の協力・参加が得られるよう努めるとともに、保安林台帳の調製、標識の設置、巡視及び指導を適切に行います。

(5) 特定保安林の整備に関する事項

指定の目的に即して機能していないと認められる保安林であって、その区域内に次の要件のすべてを満たす森林が存在するものについては、当該保安林を特定保安林に指定するとともに、第2の1に定める森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保残に関する基本的事項に即し、間伐等の必要な施業を積極的かつ計画的に推進して、当該目的に即した機能の確保を図ることとします。

特に造林、保育、伐採その他の施業を早急に実施する必要があると認められる森林については、要整備森林とし、森林の現況等に応じて、必要な施業の方法及び時期を明らかにした上で、その実施の確保を図ることとします。

- ・ 下層植生が消失しており、森林土壌が流出し、またはその恐れがあると認められる森林、樹冠が疎開しており、林木の生育状況からみてうっ閉せず、またはうっ閉するまで長期を要すると認められる森林、つる類が繁茂している等林相が著しく悪化し、またはおそれがあると認められる森林等、下層植生や土壌の状況、樹冠疎密度、林木の生育状況等からみて、指定の目的に即して機能することを確保するため、早急に施業を実施する必要があると認められること。
- ・ 気候、地形、土壌等の自然的条件からみて、施業を行うことにより、健全な林木の生育が見込まれ、指定の目的に即して機能することを確保し得ると認められること。
- ・ 法令上の制限、林内路網の整備状況等からみて、森林所有者等に施業を実施させることが相当であると認められること。

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域の基準及び当該区域内における鳥獣害の防止に関する方針

ア 区域の設定の基準

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について（平成28年10月20日付け28林整研第180号林野庁長官通知）」に基づき、特に、次の点に留意して定めることとします。

- ・ 区域設定の対象とする鳥獣（以下「対象鳥獣」という。）は、ニホンジカとし、必要に応じてその他の森林に被害を与える鳥獣(ツキノワグマ等)についても対象とします。
- ・ 区域の設定は、森林生態系多様性基礎調査の調査結果等により、対象鳥獣による食害や剥皮等の被害がある森林又はそれら被害のある森林の周辺に位置し被害発生のおそれがあるなど、対象鳥獣による被害防止のための森林であって、人工林を基本とし、森林資源の状況に応じて天然林も含めることとします。
- ・ 設定区域は林班を単位とし、区域は対象鳥獣の別に設定することとし、対象鳥獣ごとの区域を重複して設定できるものとします。

イ 鳥獣害の防止の方法に関する方針

森林の適確な更新及び造林木の確実な生育を図るため、森林所有者等による巡視や被害状況調査のほか、対象鳥獣別に被害を防止するために効果を有すると考えられる次の方法による鳥獣害防止対策を推進します。

- ・ 緩衝帯及び防護柵・電気柵の設置又は維持管理
- ・ 幼齢木の食害防止チューブの設置、剥皮防止帯の設置、忌避剤の散布
- ・ わな及び銃器による捕獲
- ・ 出没に関する情報提供や注意喚起

その際、関係行政機関等との連携した対策を推進することとし、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携・調整を図ることとします。

(2) その他必要な事項

鳥獣害防止森林区域内における鳥獣害防止対策の実施状況については、必要に応じて、現地調査や各種会議での情報交換、森林所有者等からの情報収集等により、鳥獣害防止対策の実施状況を確認することとします。

(3) 鳥獣害対策の方針（(1)及び(2)に掲げる事項を除く）

第二種特定鳥獣管理計画に基づく、各種対策を総合的に実施します。

種 名	対象個体群	現 状	対 策
ニホンジカ	関 東 山 地 八 ケ 岳 南アルプス	高い生息密度で 推移している	① 個体数調整の実施に加え、狩猟期 間の延長等による捕獲の促進 ② 防護柵の設置等による被害防除 ③ ジビエ振興等有効活用対策の積極 的な推進
	その他の地域	生息分布拡大に よる被害の増加 が懸念される。	
ツキノワグマ	関東山地 南アルプス	生息数はやや少 ない	① 森林環境整備による生息域の確保 と緩衝帯整備によるすみ分け ② 誘引の原因となる嗜好性の高い 農作物等へ電気柵の設置を実施 ③ 加害個体を選別しての捕獲
	八ヶ岳	生息数は非常に 少ない	
	その他の地域	推定生息数は 増加している	
ニホンザル	全 域	生息分布に大き な変化は見られ ない	① 電気柵設置による被害防除 ② 出没防止のための生息環境の整備 (緩衝帯整備と森林整備の推進) ③ 部分捕獲を基本とする群れの個体 数管理
ニホン カモシカ	全 域	生息数は維持ま たは漸減傾向。	① 防護柵、食害防止チューブ等の 物理的対策及び忌避剤による科学的 防除の実施 ② 被害防除対策を優先に、地域個体 群が維持される範囲で、加害個体を 特定して捕獲
イノシシ	全 域	林産物（きのこ 等）の被害があ る。	① 出没防止のための生息環境の整備 (緩衝帯整備と森林整備の推進) ② 加害個体等の捕獲及び狩猟の推進

4 森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項

(1) 森林病虫害等の被害対策の方針

森林病虫害等の被害対策について、松枯れ、ナラ枯れ等の森林病虫害等による被害の未然防止、早期発見及び早期駆除等に努めます。

ア 松くい虫の被害防止

「松くい虫被害レベルマップ」等を活用して守るべき松林を明確に定め、次の措置を効果的に組み合わせながら対策を講じます。

- ・ 伐倒駆除
- ・ 薬剤散布等の各種予防事業
- ・ 守るべき松林の周辺部の樹種転換
- ・ 抵抗性を有するマツへの転換

○伐採及び運搬に関するアカマツ林施業の基準について

「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針（令和3年3月16日付け3森推第838号長野県林務部長通知）」を基に各地域振興局管内で独自基準を定めています。

松くい虫被害を拡大させないために、伐採及び運搬については、「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業の松本地域独自基準（令和5年7月3日 松本地域振興局長通知）」及び北アルプス地域振興局管内の独自基準「大北地域松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針（令和5年2月15日 北アルプス地域振興局長通知）」により実施します。

なお、枯損木については、木質バイオマスエネルギー等としての利用を促進します。

主伐の場合は、適確な更新を図ることとします。

イ カシノナガキクイムシによる被害の拡大防止

防災上あるいは景観上維持すべきナラ類があることから、防除対策等について長野県林業総合センターを中心とした試験研究、広葉樹林の整備等を実施します。

また、別荘地等での予防処置として、健全木への侵入防止を目的とする粘着剤塗布やビニールシート巻木等の物理的防除、殺菌剤の注入によるナラ菌の殺菌とカシノナガキクイムシの繁殖抑制等も保全場所に応じて実施します。

被害の早期発見、被害発生地域の監視と関係者の情報共有を強化し、より効果的かつ総合的な被害監視・被害防除対策の推進を図ります。

ウ スギノアカネトラカミキリの被害防止

スギノアカネトラカミキリは、スギ・ヒノキ生立木の枯れ枝に産卵し、幼虫が枯れ枝から樹幹部に入って死節の周辺を食害し、幹材にトビクサレ被害を起こす材質劣化害虫です。林分が閉鎖し枯れ枝が発生する前に生枝打ちを実施するとともに、間伐により健全な森林の維持に努めることが有効な防除法です。

エ カラマツ先枯病の被害防止

カラマツ先枯病は、森林病虫害等防除法第2条第1項第3号の政令で定める病気の一つです。苗畑での薬剤防除を徹底し、苗木時の感染を予防する、造林地

に罹病苗木を持ち込まない、罹病木を発見した場合は速やかに伐倒し枝条を焼却処分するといった防除方法を進めます。

また、カラマツ先枯病は風衝地に多発することから、植栽する場合は、風当たりの強いところでは、カラマツ以外の樹種を選定します。

オ その他の病虫害等の被害防止

その他の病虫害が発生した場合、適正な防除、駆除に努めます。また、早期発見、早期防除が最善の方法であるので、広報等の活用により普及啓発に努めます。

(2) 林野火災の予防の方針

ア 火入れ許可

市町村森林整備計画において、森林法に基づく次の内容を定め、住民へ周知徹底を図り、林野火災を予防します。

森林又は森林の周囲 1 キロメートルの範囲内にある原野、山岳、荒廃地その他の土地（地域森林計画区域外も含む）においては、その森林又は土地の所在する市町村長の許可を受けて指示することに従ってでなければ、火入れをすることはできません。（森林法第 21 条第 1 項）また、市町村長は、火入れの目的が次の内容でないと、許可することができません。（森林法第 21 条第 2 項）

- ア 造林のための地ごしらえ
- イ 開墾準備
- ウ 害虫駆除
- エ 焼畑
- オ 採草地の改良（森林法施行規則第 47 条第 1 項）

なお、火入れをしようとする者は、あらかじめ必要な防火の設備をし、かつ、火入れをしようとする森林又は森林の周囲 1 キロメートルの範囲内にある立木竹の所有者又は管理者にその旨を通知しなければなりません。（森林法第 22 条）

イ 啓発活動

毎年実施している山火事予防の啓発運動を今後も継続して行うものとします。

また、イベント等の会場では、積極的に山火事予防の普及啓発を行います。

さらに、森林レクリエーションのための森林利用が多い地域を対象に、山火事被害を未然に防止することを目的として、県、市町村の行政機関だけでなく、森林整備を担う森林組合等林業事業体や地域住民による巡視の体制も検討します。

第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項

保健機能と文化機能の高い森林につきその保健機能を高度に発揮させるため、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法（平成元年法律第71号）」第3条第1項に規定する森林の保健機能の増進に関する基本方針に基づき森林資源の総合的利用を促進します。その森林の保健機能の増進については次のとおり定めます。

(1) 保健機能森林の区域の基準

保健機能森林は、湖沼、溪谷等と一体となって優れた自然美を構成している森林等保健機能の高い森林のうち、自然環境の保全に配慮しつつ、森林の存する地域の実情、森林の利用者の意向等からみて、森林の保健機能の増進を図るため整備することが適当であり、かつ、森林施業の担い手が存在するとともに、森林施業と森林保健施設の整備を一体的に行うことが適当と認められる森林について設定します。

(2) その他保健機能森林の整備に関する事項

保健機能森林の施業については、森林の保健機能の一層の増進を図るとともに、森林保健施設の設置に伴う森林の有する水源の^{かん}涵養、国土保全等の機能の低下を補完するため、自然環境の保全及び森林の有する諸機能の保全に配慮しつつ、森林の特色を踏まえて、多様な施業を積極的に実施します。

なお、これらの場合において、快適な森林環境の維持及び利用の利便性にも配慮し、間伐、除伐等の保育を積極的に行います。

ア 保健機能森林の区域内の森林における施業の方法に関する指針

施業の方法を複層林施業、択伐複層林施業及び特定広葉樹育成施業のいずれかに設定します。

イ 保健機能森林の区域内の森林における森林保健施設の整備に関する指針

施設の整備に当たっては、自然環境の保全、国土の保全及び文化財の保護に配慮しつつ、地域の実情、利用者の意向等を踏まえた多様な施設の整備を行うとともに、次の事項について配慮することとします。

- a 周辺の景観に配慮しつつ森林の状況や利用の見通し等に応じた施設整備
- b 施設全体の一体的かつ計画的な整備
- c 四季を通じて利用可能な施設の設置
- d 周辺にある既存施設との調和に配慮した整備
- e 森林の有する保健機能以外の諸機能に著しい支障を及ぼさないよう、施設の位置、規模等を適切に決定する
- f 施設の設置に当たっては防火体制、防火施設の整備、高齢者や身体障害者等の利用並びに利用者の安全及び交通安全、円滑な交通の確保に留意する
- g 周辺との調和や地域の林業・林産業の振興を図る観点から、積極的に木造施設の導入を図る

ウ その他必要な事項

保健機能森林の管理及び運営に当たっては、次のことに留意するものとします。

- a 森林及び森林保健施設の適切な管理
- b 防火体制及び防火施設の整備
- c 利用者の安全
- d 交通の安全・円滑の確保

(3) 立木の期待平均樹高

対象森林の樹冠を構成する立木が標準伐期齢に達したときに期待される樹高（既に標準伐期齢に達している立木にあってはその樹高）を定めます。

第6 計画量等

1 伐採立木材積

地域特性、木材の需要動向、資源構成等を勘案した資源予測を行い、森林資源の循環利用を推進し、持続可能な地域林業の構築を目指した伐採量を計画しました。

【表6-1】伐採の方法及び針広別の伐採立木材積の計画量 (単位 材積：千m³)

区分	総数			主伐※ ¹			間伐※ ²		
	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
総数	1,425	1,277	148	408	362	46	1,017	915	102
前半5ヵ年の計画量	712	638	74	204	181	23	508	457	51

2 間伐面積

第6の1による間伐に係る伐採立木材積、人工林の森林資源量等を勘案して定めました。

【表6-2】間伐面積の計画量 (単位 面積：ha)

区 分	間伐面積※ ¹
総数	10,390
前半5ヵ年の計画量	5,195

3 人工造林及び天然更新別の造林面積

第6の1の伐採立木材積の計画数量及び植栽実績を基礎として、以下の考え方により、造林面積を計画しました。

- ・ 単層林の拡大造林(人工林以外の箇所への人工造林)は原則として計画しない。
- ・ 天然林の伐採跡地は原則として天然更新とする。
- ・ 上記のほか、樹下植栽及び天然更新による育成複層林の導入を計画する。

【表6-3】人工造林及び天然更新別の造林面積の計画量 (単位 面積：ha)

区 分	人工造林※ ²	天然更新※ ²
総数	2,224	928
前半5ヵ年の計画量	1,112	464

第6 1～3の計画量は、「長野県森林づくり指針」で検討中の目標値(目安量)と整合を図ることを基本とし、以下により決定した。

※1 「長野県森林づくり指針」で検討中の目標値(目安量)を換算して計画量とした。

※2 「長野県森林づくり指針」で検討中の目標値(目安量)を換算した値が、全国森林計画に基づく計画量(国計画量)を大幅に下回っていることから、国計画量の下限値を計画量とした。

4 林道の開設及び拡張に関する計画

ア 総括表

(単位 延長;m)

樹立	開設(新設)				開設(改築)			
	路線数	路線延長			路線数	路線延長		
		前期	後期	計		前期	後期	計
計画区計	7	174,200	67,600	241,800	12	9,623	3,002	12,625
林道	7	200	5,600	5,800	12	9,623	3,002	12,625
森林作業道		174,000	62,000	236,000				
松本地区計	6	113,200	44,100	157,300	12	9,623	3,002	12,625
松本市	0	0	0	0	2	300	958	1,258
塩尻市	6	200	2,100	2,300	4	5,173	0	5,173
安曇野市	0	0	0	0	3	2,250	1,300	3,550
麻績村	0	0	0	0	1	0	744	744
生坂村	0	0	0	0	0	0	0	0
山形村	0	0	0	0	1	1,300	0	1,300
朝日村	0	0	0	0	0	0	0	0
筑北村	0	0	0	0	1	600	0	600
林道 計	6	200	2,100	2,300	12	9,623	3,002	12,625
森林作業道		113,000	42,000	155,000				
北アルプス地区計	1	61,000	23,500	84,500	0	0	0	0
大町市	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0
松川村	0	0	0	0	0	0	0	0
白馬村	0	0	0	0	0	0	0	0
小谷村	1	0	3,500	3,500	0	0	0	0
林道 計	1	0	3,500	3,500	0	0	0	0
森林作業道		61,000	20,000	81,000				

樹立	拡張(改良)				拡張(舗装)			
	数「路 箇所」	路線延長			路線数	路線延長		
		前期	後期	計		前期	後期	計
計画区計	[688] 112	25,112	31,544	56,656	81	50,521	79,700	130,221
林道	688 112	25,112	31,544	56,656	81	50,521	79,700	130,221
松本地区計	[666] 105	20,912	31,220	52,132	76	48,221	66,700	114,921
松本市	[233] 39	1,853	15,400	17,253	24	15,611	27,963	43,574
塩尻市	[55] 9	3,178	800	3,978	5	2,700	5,000	7,700
安曇野市	[131] 25	4,698	3,620	8,318	18	5,550	13,369	18,919
麻績村	[10] 1	700	0	700	4	5,227	5,155	10,382
生坂村	[24] 5	650	1,100	1,750	4	2,320	3,369	5,689
山形村	[55] 5	1,750	1,400	3,150	2	600	200	800
朝日村	[38] 5	5,900	3,000	8,900	8	1,500	3,500	5,000
筑北村	[120] 16	2,183	5,900	8,083	11	14,713	8,144	22,857
林道 計	[666] 105	20,912	31,220	52,132	76	48,221	66,700	114,921
北アルプス地区計	[22] 7	4,200	324	4,524	5	2,300	13,000	15,300
大町市	[0] 0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	[10] 3	300	324	624	0	0	0	0
松川村	[1] 1	1,500	0	1,500	0	0	0	0
白馬村	[0] 0	0	0	0	2	300	5,000	5,300
小谷村	[11] 3	2,400	0	2,400	3	2,000	8,000	10,000
林道 計	[22] 7	4,200	324	4,524	5	2,300	13,000	15,300

※林道とは、林道、林業専用道をいう。

※本総括表の内、開設(新設)は作業道の延長を含むものとし、(2)イ箇所別表と一致しない。

イ 路網計画 開設(新設)路線別表

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延長	利用区域 面 積	前半 5カ 年計 画	路線番号	備 考	
			地区 名	市町村名							
開設（新設）	自動車道	林道	松本	松本市	該当なし						
				塩尻市	糠 沢	500	68		40062	旧檜川村	
								((6)) (316)			
					桑 崎	200	274	○	02082	旧檜川村	
					尻 平 沢	400	131		04991	旧檜川村	
					長 瀬	400	150		40063	旧檜川村	
					橋 戸	400	46		03247	旧檜川村	
					羽 渕	400	231		k0004	旧檜川村	
				計	計6路線 前期	2,300					
					後期	200					
					2,100						
				安曇野市	該当なし						
				麻績村	該当なし						
				生坂村	該当なし						
				山形村	該当なし						
				朝日村	該当なし						
				筑北村	該当なし						
				松本 計	計6路線 前期	2,300					
					後期	200					
					2,100						
開設（新設）	自動車道	林道	北アルプス	大町市	該当なし						
				池田町	該当なし						
				松川村	該当なし						
				白馬村	該当なし						
				小谷村	山 の 神	3,500	((87)) 630		02094		
					計1路線 前期	3,500					
				後期	0						
			計	3,500							
			北アルプス 計	計1路線 前期	3,500						
				後期	0						
				3,500							
			計画区 計	計7路線 前期	5,800						
				後期	200						
5,600											

※本表は開設(新設)計画の内、林道計画分を登載したものである。

※()内の数字は、国有林面積。(())の数字は、官行造林地面積。

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位 置		路 線 名	延長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	路線番号	備 考
			地区名	市町村名						
開設（新設）	自動車道	林業専用道	松本・北アルプス	-	該当なし					
	計画区 計									

ウ 路網計画 開設(改築)路線別表

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	路線 番号	備 考
			地区 名	市町村名						
開設 (改築)	自動車 道	林道	松本	松本市	大 仏 入	958	100		04232	
					大 嵩 崎 線	300	30			
					計2路線 前期 後期	1,258 300 958				
				塩尻市	片 丘 南 部	1,000	279	○	03118	
					大 塚	1,193	56	○	01405	
					計2路線 前期 後期	2,193 2,193 0				
				安曇野市	一 の 沢	900	(820) 535		02078	旧穂高町
					宮 沢	400	10		05617	旧明科町
					裏 峰	2,250	44	○	40028	旧明科町
					計3路線 前期 後期	3,550 2,250 1,300				
				麻績村	高 林	744	39		05086	
					計1路線 前期 後期	744 0 744				
				山形村	北 沢	1,300	111	○	04986	
					計1路線 前期 後期	1,300 1,300 0				
				筑北村	末 地	600	115	○	04330	旧坂北村
					計1路線 前期 後期	600 600 0				
				松本 計		計10路線 前期 後期	9,645 6,643 3,002			
				北 アル プ ス	-	該当なし				
				北アルプス 計		計0路線 前期 後期	0 0 0			
				計画区 計		計10路線 前期 後期	9,645 6,643 3,002			

※()内の数字は、国有林面積。(())の数字は、官行造林地面積。

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位 置		路 線 名	延長	利用区域 面積	前半5カ 年計画	路線	備 考
			地区名	市町村名						
開設（改築）	自動車道	林業専用道	松本	塩尻市	片 丘 南 部	1,880	279	○	03118	
					大 塚	1,100	50	○	01405	
					計2路線 前期 後期	2,980 2,980 0				
				計						
			松本 計		計2路線 前期 後期	2,980 2,980 0				
			北アルプス 計		計0路線 前期 後期	0 0 0				
			計画区 計		計2路線 前期 後期	2,980 2,980 0				

エ 路網計画 拡張(改良)路線別表

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張 (改良)	自動車道	林道	松本	松本市	宮ノ入	[4] 965	593	○	02163	
					美ヶ原	[6] 540	((60)) (138) 1,172	○	02071	
					菖蒲沢	[3] 200	109		04234	
					鉢伏	[10] 300	((18)) 41		04830	
					桧沢	[10] 500	244		03288	
					栗の木	[10] 400	((10)) 204		04951	
					よもぎこば	[4] 400	366		03116	
					日陰	[4] 400	91		05364	
					太ノ田	[8] 800	304		03427	旧四賀村
					花川原	[4] 350	170		04314	旧四賀村
					虚空蔵	[6] 550	119		04957	旧四賀村
					菅ノ田	[3] 140	45		05291	旧四賀村
					中北山	[4] 400	47		05374	旧四賀村
					十二沢	[4] 400	194		40254	旧四賀村
					傘	[4] 450	83		40255	旧四賀村
					水の上	[4] 200	112		04313	旧四賀村
					池の平	[6] 600	59		04006	旧四賀村
					長沢	[4] 200	38		40364	旧四賀村
					峯山	[3] 200	62		04882	旧四賀村
					草深	[4] 140	348		04956	旧四賀村
					駒平	[4] 400	102		40363	旧四賀村
					小屋沢	[6] 550	37		05607	旧四賀村
					菅田沢高ソメ	[10] 1,000	962		02179	旧奈川村

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張(改良)	自動車道	林道	松本	松本市	奈川安曇	[7] 348	((46)) (5,728) 2,920	○	01012	
					西山	[10] 1,000	((35)) 538		02220	旧奈川村
					曾倉沢	[5] 150	(136) 115		03111	旧奈川村
					沼の沢	[6] 300	65		40252	旧奈川村
					忠地川角平	[2] 600	521		02165	旧奈川村
					月夜沢	[8] 1,000	(770) 2,855		01036	旧奈川村
					番所	[6] 200	847		02080	旧安曇村
					島々	[5] 120	286		03352	旧安曇村
					稲核	[10] 300	183		04575	旧安曇村
					池尻	[5] 150	73		04356	旧安曇村
					氷沢	[5] 100	207		40061	旧安曇村
					安曇野	[15] 1,000	(938) 1,057		01017	旧梓川村
					沢山	[6] 600	690		02081	旧梓川村
					穴沢	[4] 400	100		04264	旧梓川村
					大飛々	[1] 250	31		09070	旧梓川村
					あきんど平支	[13] 650	((43)) 394		04955	旧波田町
				計	計39路線 計233箇所 前期 後期	17,253 1,853 15,400				
				塩尻市	奈良井川	[10] 2,000	696	○	02218	
					小曾部	[2] 12	663	○	02066	
					片丘	[2] 316	635	○	02106	
					片丘南部	[10] 500	279	○	03118	
					烏川	[10] 300	329		03098	
					日出塩	[7] 300	182		04974	
					桑崎	[7] 200	((11)) (91) 295	○	02082	旧櫛川村

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張(改良)	自動車道	林道	松本	塩尻市	天 照 沢	[4] 200	(81) 147		03497	旧樽川村
					釜 ノ 沢	[3] 150	529	○	02069	
					計9路線 計55箇所 前期 後期	3,978 3,178 800				
				安曇野市	計					
					長 峰	[28] 920	186	○	04309	旧明科町
					吐 中 清 水	[9] 600	48	○	04308	旧明科町
					天 田	[4] 48	35		04311	旧明科町
					矢 下	[2] 50	164		04836	旧明科町
					大 山	[2] 520	40		05082	旧明科町
					塚 田 山	[4] 350	35		05083	旧明科町
					黒 坪	[8] 134	67		40027	旧明科町
					岩 州	[5] 108	40		40264	旧明科町
					白 牧	[5] 110	66		04312	旧明科町
					裏 峰	[10] 2,250	44	○	40028	旧明科町
					城 山	[5] 500	112		40057	旧豊科町
					舟 ケ 沢	[3] 150	37	○	04335	旧豊科町
					北 沢	[5] 500	((48)) (795) 748	○	02164	旧穂高町
					浅 川	[3] 200	31		04815	旧穂高町
					安 曇 野	[10] 500	1,049		01017	旧三郷村
					黒 沢	[4] 108	306	○	03115	旧三郷村
					北 沢	[4] 200	92		04572	旧三郷村
					烏 川	[2] 110	(2,331) 989	○	01001	旧堀金村
					一 の 沢	[1] 60		○	01001	旧堀金村
					二 ノ 沢	[5] 300	322		03224	旧堀金村
					大 野 沢	[2] 100	127		04750	旧堀金村
					小 水 沢	[2] 150	215		03311	旧堀金村
					田 多 井	[2] 100	112		40302	旧堀金村
					寺 山	[1] 100	30		04781	旧堀金村

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張 (改良)	自動車道	林道	松本	安曇野市	上の平	[5] 150	70		40554	旧堀金村
					計25路線 計131箇所 前期 後期	8,318 4,698 3,620				
					計					
				麻績村		[10] 700	((150)) 1,310	○	02182	
					四阿屋					
					計1路線 計10箇所 前期 後期	700 700 0				
					計					
				生坂村	入山	[8] 650	89	○	03185	
					丸山込地	[2] 200	166		04338	
					天神沢	[6] 200	98		04339	
					万平	[3] 300	71		04341	
					清久保	[5] 400	62		40353	
					計5路線 計24箇所 前期 後期	1,750 650 1,100				
					計					
				山形村	堂ヶ入	[25] 500	139		04256	
					大池	[20] 1,320	207	○	03105	
					横吹1号	[5] 600	128		04323	
					横吹2号	[4] 300	36		04151	
					平沢	[1] 430	12	○		
					計5路線 計55箇所 前期 後期	3,150 1,750 1,400				
					計					
				朝日村		[16] 2,300	((103)) (4,921) 1,164	○	01035	
					鉢盛山	[8] 2,100	597	○	02076	
					檜俣	[4] 1,500	516		02077	
					外山	[6] 1,500	1,037	○	02074	
					舟ヶ沢					

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張(改良)	自動車道	林道	松本	朝日村	中 俣	[4] 1,500	931		02075	
					計5路線 計38箇所 前期 後期	8,900 5,900 3,000				
				筑北村	計					
					四 阿 屋	[46] 1,430	((150)) 1,310		02182	旧本城村
					白 坂 砥 石 沢	[10] 400	202		04204	旧本城村
					ヒ エ ダ	[5] 150	46		05381	旧本城村
					大 洞 沢	[7] 300	40		05382	旧本城村
					ム ジ ナ ヤ	[5] 320	54		04325	旧本城村
					大 沢 入	[7] 250	33		05313	旧本城村
					栃 平	[10] 500	125		03131	旧本城村
					青 柳	[3] 150	38		05089	旧坂北村
					刈 谷 沢	[4] 200	121		40366	旧坂北村
					南 谷 沢	[3] 150	81		40432	旧坂北村
					大 側	[10] 1,000	167		09099	旧坂北村
					中 尾 峰	[3] 500	55		05249	旧坂北村
					笹 打	[2] 300	32		05380	旧坂北村
					北 の 沢	[2] 150	66		04963	旧坂北村
					湯 沢	[2] 100	47		04871	旧坂北村
					氷 室	[1] 2,183	43	○	40043	旧坂北村
					計16路線 計120箇所 前期 後期	8,083 2,183 5,900				
					計					
				松本 計	計105路線 計666箇所 前期 後期	52,132 20,912 31,220				

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	箇所数 及び延長	利用区域 面積	前半 5カ年 計画	路線 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張 (改良)	自動車道	林道	北アルプス	大町市	該当なし					
				池田町	中 島	[2] 100	59	○	05100	
					中 島 支	[5] 324	33		05270	
					花 岡 山	[3] 200	63	○	40075	
					計3路線 計10箇所 前期 後期	624 300 324				
				松川村	馬 羅 尾	[1] 1,500	((15)) (946) 391	○	02126	
					計1路線 計1箇所 前期 後期	1,500 1,500 0				
					計					
				白馬村	該当なし					
				小谷村	大 池	[5] 1,000	1,126	○	02088	
					姫 川 妙 高	[5] 400	3,143	○	01006	
					黒 川	[1] 1,000	210	○	03232	
					計3路線 計11箇所 前期 後期	2,400 2,400 0				
					計					
				北アルプス 計	計7路線 計22箇所 前期 後期	4,524 4,200 324				
				計画区 計	計112路線 計688箇所 前期 後期	56,656 25,112 31,544				

※()内の数字は、国有林面積。(())の数字は、官行造林地面積。

才 路網計画 拡張(舗装)路線別表

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	延長	利用区域 面積	前半5カ 年計画	対図 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張(舗装)	自動車道	林道	松本	松本市			((38))			
					栗の木	3,000	204		04951	
					高遠	5,000	728		03222	
					御鷹山	4,000	((279)) (437) 323		03117	
					菅ノ田	1,794	45		05291	旧四賀村
					傘	3,000	83		40255	旧四賀村
					峯山	2,369	62		04882	旧四賀村
					太ノ田	300	304		03427	旧四賀村
					草深	2,267	348	○	04956	旧四賀村
					菅田沢高ソメ	2,000	962	○	02179	旧奈川村
					曾倉沢	1,000	(136) 115		03111	旧奈川村
					金原	500	85		04747	旧奈川村
					西山	500	((35)) 538		02220	旧奈川村
					奥小唐沢	1,000	99		04355	旧奈川村
					忠地川角平	200	521		02165	旧奈川村
					大寄合	500	(270) 175		03129	旧奈川村
					番所	1,000	847		02080	旧安曇村
					島々	800	286		03352	旧安曇村

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	対図 番号	備 考
			地区名	市町村名						
拡張（舗装）	自動車道	林道	松本	松本市	稲 核	3,344	183	○	04575	旧安曇村
					氷 沢	1,000	207		40061	旧安曇村
					池 尻	800	73		04356	旧安曇村
					安 曇 野	3,000	1,049	○	01017	旧梓川村
					黒 川	5,000	((462)) 2,680	○	01011	旧波田町
					水 沢	800	(99) 68		04301	旧波田町
					小 水 沢	400	44		06074	旧波田町
					計24路線 前期 後期	43,574 15,611 27,963				
				計						
				塩尻市	奈 良 井 川	1,000	696		02218	
					小 曾 部	1,200	663	○	02066	
					片 丘	3,000	303		02106	
					片 丘 南 部	1,500	279	○	03118	
					桑 崎	1,000	((6)) (316) 274		02082	旧檜川村
					計5路線 前期 後期	7,700 2,700 5,000				
				計						
				安曇野市	白 牧	2,500	66		04312	旧明科町
					吐 中 清 水	500	48	○	04308	旧明科町
					黒 坪	2,396	67		40027	旧明科町
					岩 州	500	40		40264	旧明科町
					裏 峰	2,250	44	○	40028	旧明科町

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延 長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	対図 番号	備 考
			地区名	市町村名						
拡張 (舗装)	自動車道	林道	松本	安曇野市	中 谷	500	148	○	04260	旧豊科町
					北 沢	5,000	((48)) (795) 748		02164	旧穂高町
					一 の 沢	900	(820) 535		02078	旧穂高町
					北 の 沢	300	(30) 340		03126	旧穂高町
					浅 川	200	31		04815	旧穂高町
					安 曇 野	300	1,049		01017	旧三郷村
					黒 沢	1,500	306	○	03115	旧三郷村
					滝 の 沢	88	84		40058	旧三郷村
					北 沢	200	95	○	04572	旧三郷村
					大 野 沢	600	127	○	04750	旧堀金村
					小 水 沢	520	215		03311	旧堀金村
					田 多 井	400	112		40302	旧堀金村
					寺 山	265	30		04781	旧堀金村
					計18路線 前期 後期	18,919 5,550 13,369				
					計					
				麻績村	四 阿 屋	5,227	((21)) 236	○	02182	
					大 池	1,500	240		04001	
					城 山	3,000	70		04962	
					室 沢	655	33		05392	
					計4路線 前期 後期	10,382 5,227 5,155				
					計					

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種別	区分	位置		路線名	延長	利用区域 面積	前半5カ 年計画	対図 番号	備考
			地区名	市町村名						
拡張 (舗装)	自動車道	林道	松本	生坂村	丸山込地	969	166		04338	
					雲根	2,400	179		40352	
					清久保	1,720	62	○	40353	
					万平	600	71	○	04341	
					計4路線 前期 後期	5,689 2,320 3,369				
					計					
				山形村	横吹2号	200	36		04151	
					大池	600	207	○	03105	
					計2路線 前期 後期	800 600 200				
					計					
				朝日村	舟ヶ沢	500	1,037		02074	
					中俣	500	931	○	02075	
					鉢盛山	500	((103)) (4,921) 1,164	○	01035	
					檜俣	500	597	○	02076	
					外山	1,500	516		02077	
					大舟	500	206		03106	
					小舟	500	175		04259	
					曾倉小舟	500	69		40051	
					計8路線 前期 後期	5,000 1,500 3,500				
					計					

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延 長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	対図 番号	備 考
			地区 名	市町村名						
拡張 (舗装)	自動車道	林道	松本	筑北村	四 阿 屋	8,930	((187)) 1,347	○	02182	旧本城村
					ヒ エ ダ	2,000	46	○	05381	旧本城村
					ム ジ ナ ヤ	1,300	54		04325	旧本城村
					白 坂 砥 石 沢	2,500	202		04204	旧本城村
					刈 谷 沢	800	121	○	40366	旧坂北村
					青 柳	1,000	38		05089	旧坂北村
					北 山	2,844	64		05187	旧坂北村
					駄 妻	800	156	○	40038	旧坂井村
					中 尾 峰	300	55		05249	旧坂井村
					北 の 沢	200	66		04963	旧坂井村
					氷 室	2,183	43	○	40043	旧坂井村
					計11路線 前期 後期	22,857 14,713 8,144				
				計						
				松本 計	計76路線 前期 後期	114,921 48,221 66,700				

(単位 延長:m、面積:ha)

開設 拡張別	種 別	区 分	位 置		路 線 名	延 長	利用区域 面 積	前半5カ 年計画	対図 番号	備 考
			地区 名	市町村名						
拡張 (舗装)	自動車道	林道	北 ア ル プ ス	大町市	該当なし					
				池田町	該当なし					
				松川村	該当なし					
				白馬村	白馬小谷東山	5,000	1,156		01055	
					岩 岳	300	168	○	04303	
					計2路線 前期 後期	5,300 300 5,000				
				小谷村	山 の 神	2,000	630		02094	
					妙 高 小 谷	6,000	(1,633) 163		01013	
					深 原	2,000	730	○	02090	
					計3路線 前期 後期	10,000 2,000 8,000				
					計					
				北アルプス 計	計5路線 前期 後期	15,300 2,300 13,000				
				計画区 計		計81路線 前期 後期	130,221 50,521 79,700			

※()内の数字は、国有林面積。(())の数字は、官行造林地面積。

5 保安林の整備及び治山事業に関する計画

保安林の配備は、市町村森林整備計画の公益的機能別施業森林を中心に、保安林の指定目的（公益的機能）を特に発揮できる場所を指定するよう計画し、治山事業の活用等により保安林指定の目的の維持・増進を目指します。

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

(単位 面積：ha)

保安林の種類	面積 (期末面積)		備 考
		前半5ヵ年の計画面積	
総数（実面積）	55,658	54,654	現況：53,651
水源涵養のための保安林	30,905	30,138	現況：29,372
災害防備のための保安林	24,743	24,518	現況：24,292
保健、風致の保存等のための保安林	3,184	3,172	現況：3,161

注) 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、合計に一致しない。

②-1 計画期間内において保安林の指定を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

(単位 面積：ha)

森林の所在		総数 (実面積)	水源涵養のための保安林			災害防備のための保安林			保健・風致の保存等のための保安林		
地区	市町村		期末面積	前半5ヵ年の計画面積	現況	期末面積	前半5ヵ年の計画面積	現況	期末面積	前半5ヵ年の計画面積	現況
松 本	松本市	19,532	11,394	11,111	10,829	8,235	8,161	8,054	153	153	153
	塩尻市	6,007	4,195	4,091	3,987	1,810	1,794	1,770	80	80	80
	安曇野市	5,005	2,163	2,109	2,056	2,830	2,804	2,767	372	371	371
	麻績村	418	43	42	41	375	372	367	15	15	15
	生坂村	1,070	10	10	9	1,061	1,051	1,037	0	0	0
	山形村	543	209	204	198	334	331	327	209	209	209
	朝日村	5,116	4,557	4,444	4,331	558	553	546	0	0	0
	筑北村	3,136	1,040	1,014	988	2,096	2,077	2,049	188	188	188
	計	40,827	23,611	23,025	22,440	17,201	17,044	16,917	1,018	1,017	1,015
北アルプス	大町市	4,151	1,604	1,565	1,525	2,546	2,523	2,490	11	11	11
	池田町	609	0	0	0	609	604	596	59	59	59
	松川村	387	48	46	45	340	337	332	99	99	99
	白馬村	2,938	809	789	769	2,129	2,110	2,082	1526	1526	1,526
	小谷村	6,844	4,833	4,713	4,593	1,918	1,900	1,875	470	460	450
	計	14,930	7,294	7,113	6,932	7,542	7,474	7,375	2,166	2,155	2,145
合 計		55,658	30,905	30,138	29,372	24,743	24,518	24,292	3,184	3,172	3,161

注) 1. 現況面積は、令和7年9月1日現在の面積

2. 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、合計に一致しない。

3. 四捨五入により、合計が一致しない。

②-2 計画期間内において保安林の解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

森 林 の 所 在			種 類	面 積	解除を必要とする理由
地 区	市町村	区 域			
中部山岳	塩尻市	—	水源かん養保安林	0.3ha	指定理由の消滅
	安曇野市	—	水源かん養保安林	0.2ha	指定理由の消滅
	安曇野市	—	土砂流出防備保安林	0.2ha	指定理由の消滅
	安曇野市	—	保健保安林	0.2ha	指定理由の消滅
	筑北村		土砂流出防備保安林	0.1ha	指定理由の消滅
	大町市	—	土砂崩壊防備保安林	0.1ha	指定理由の消滅
計	—	—	—	1.1ha	—

③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積

種 類	指定施業要件の整備区分				
	伐採の方法の 変更面積	皆伐面積の 変更面積	択伐率の 変更面積	間伐率の 変更面積	植栽の 変更面積
水源涵養のための保安林	—	—	4,468ha	4,934ha	2,090ha
災害防備のための保安林	—	—	3,680ha	4,064ha	1,721ha
保健、風致の保存等 の ための 保 安 林	—	—	481ha	531ha	225ha
計	—	—	8,628ha	9,528ha	4,036ha

注) 四捨五入により、合計が一致しない。

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等

該当なし

(3) 実施すべき治山事業の数量

森 林 の 所 在			治山事業施行地区数		主 な 工 種	備考
区域	市 町 村	区域(林班)		前半5ヵ年の計画		
松 本	松本市	3055、84、4014	3地区	3地区	溪間工、山腹工、 本数調整伐	
	塩尻市	157	1地区	1地区	溪間工	
	安曇野市	11、2013	2地区	2地区	溪間工	
	麻績村	-	-	-	-	
	生坂村	-	-	-	-	
	山形村	-	-	-	-	
	朝日村	-	-	-	-	
	筑北村	2028、2027、2030	1地区	1地区	溪間工、本数調整伐	
	計		7地区	7地区		

森 林 の 所 在			治山事業施行地区数		主 な 工 種	備 考
区域	市 町 村	区域(林班)		前半5ヵ年の計画		
北 ア ル プ ス	大 町 市	1018、2001、2051、2081	4 地区	4 地区	溪間工、山腹工、地すべり防止工、森林整備	
	池 田 町	21、35、37、38	3 地区	3 地区	山腹工、森林整備	
	松 川 村	10、11	1 地区	1 地区	溪間工	
	白 馬 村					
	小 谷 村	109	1 地区	1 地区	山腹工	
	計		9 地区	9 地区		

6 要整備森林の所在及び面積及び要整備森林について実施すべき森林施業の方法及び時期

(1) 要整備森林の所在及び面積

該当箇所なし

(2) 要整備森林について実施すべき施業の方法及び時期

該当なし

第7 保安林その他法令による制限林の施業の方法

制限林の種類による施業の方法は、下記の表のとおり定めます。

【表7-1 制限林の施業の方法】

制限林の種類	表記	施業方法及びその区分		
水源かん養保安林	水かん	1-1	禁伐	<p>主伐に係る伐採を禁止する。また間伐も原則として禁止するが、その森林が植栽されたものであり、保育のため間伐をしなければ当該保安林の目的が達成できないと認められるものであって、指定施業要件で間伐できることが定められているものについては、樹冠疎密度が、10分の8以上の箇所においてできるものとする。</p> <p>間伐することができる立木の材積は、原則として当該伐採年度の初日におけるその森林の立木材積の10分の2(3.5)※¹を越えず、かつ、その伐採によりその森林に係る樹冠疎密度が、10分の8を下ったとしても、当該伐採年度の翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後において、その森林の当該樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内の材積とする。</p>
		1-2	択伐	<p>主伐は、択伐による。主伐として伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとし、その伐採の限度は、当該年度の初日におけるその森林の立木の材積の10分の3(4)※²以内とする。</p> <p>また、将来択伐することができるような林型に誘導しようとする場合の間伐であって指定施業要件で定められている場合には、樹冠疎密度が、10分8以上の箇所において間伐できるものとする。</p> <p>間伐することができる立木の材積は、1-1の間伐の項を準用する。</p> <p>植栽については、人工造林に係る森林及び森林所有者が具体的な植栽計画をたてている森林について、伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に、それぞれ、指定施業要件を定める者が指定する樹種の満1年以上の苗を、おおむね、1ヘクタール当たり各保安林の指定の指定施業要件で定める植栽本数に、当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積から当該択伐を終えたときの当該森林の立木の材積を減じて得た材積を当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積で除して得られる率を乗じて算出される植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。</p>
		1-3	皆伐伐区 指定有	<p>主伐に係る伐採種を定めない。主伐として伐採できる立木は、市町村森林計画で定める標準伐期齢以上のものとし、毎年度伐採できる1箇所当たりの皆伐面積の限度は、20ヘクタールの範囲内で指定施業要件に定められた面積とする。</p> <p>間伐は、樹冠疎密度が、10分の8以上の森林について行うことができるものとし、間伐することができる立木の材積は、1-1の間伐の項を準用する。</p> <p>植栽については、人工造林に係る森林及び森林所有者が具体的な植栽計画をたてている森林について、伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に、指定施業要件を定める者が指定する樹種の満1年以上の苗を、1ヘクタール当たりおおむね各保安林の指定施業要件で定める植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。</p>
		※1、※2については、各保安林の指定施業要件による。		

制限林の種類	表記	施業方法及びその区分		
土砂流出防備保安林	土流	2-1	禁伐	1-1 を準用する。
		2-2	択伐	1-2 を準用する。
		2-3	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
土砂崩壊防備保安林	土崩	3-1	禁伐	1-1 を準用する。
		3-2	択伐	1-2 を準用する。
干害防備保安林	干害	4-1	択伐	1-2 を準用する。
		4-2	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
防風保安林	風害	5-1	択伐	1-2 を準用する。
水害防備保安林	水害	6-1	択伐	1-2 を準用する。
落石防止保安林	落石	7-1	禁伐	1-1 を準用する。
		7-2	択伐	1-2 を準用する。
なだれ防止保安林	なだれ	8-1	禁伐	1-1 を準用する。
		8-2	択伐	1-2 を準用する。
保健保安林	保健	9-1	禁伐	1-1 を準用する。
		9-2	択伐	1-2 を準用する。
		9-3	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
風致保安林	風致	10-1	禁伐	1-1 を準用する。
		10-2	択伐	1-2 を準用する。
水源かん養 ＋風致保安林	水致	11-1	択伐	1-2 を準用する。
水源かん養 ＋保健保安林	水保	28-1	択伐	1-2 を準用する。
		28-2	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
土砂流出防備 ＋保健保安林	流保	29-1	禁伐	1-1 を準用する。
		29-2	択伐	1-2 を準用する。
		29-3	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
干害防備 ＋保健保安林	干保	31-1	択伐	1-2 を準用する。
		31-2	皆伐伐区指定有	1-3 を準用する。
水害防備 ＋保健保安林	水害保	32-1	択伐	1-2 を準用する。
落石防止保安林 ＋保健保安林	落保	34-2	択伐	1-2 を準用する。
保健保安林 ＋風致保安林	致保	35-1	択伐	1-2 を準用する。
砂防指定地	砂防	50-1	皆伐伐区指定有	1-3 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。
		50-2	皆伐伐区指定無	主伐に係る伐採種を定めない。主伐として伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとし、毎年度伐採できる1箇所当たりの皆伐面積の限度は定めない。 間伐及び伐採に関する事項については1-3を準用する。

制限林の種類	表記	施業方法及びその区分		
国立公園 特別保護地区	国立特	51-1	禁伐	原則として、全ての森林の伐採を禁止する。 ただし、学術研究その他公益上必要と認められるもの、地域住民の日常生活の維持のために必要と認められるもの、病虫害の防除、防災若しくは風致の維持その他森林の管理のために行われるもの又は、測量のために行われるものは除く。
国立公園 第1種特別地域	国立1	52-1	禁伐	51-1を準用する。
		52-2	択伐	単木による択伐によることができる。 伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に見合う林齢に10年以上を加えたものとし、その伐採の限度は、現在蓄積の10%以内とする。
国立公園 第2種特別地域	国立2	53-1	禁伐	51-1を準用する。
		53-2	択伐	択伐によることができる。 伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上とし、その伐採の限度は、用材林においては、現在蓄積の30%以内とし、薪炭林においては60%以内とする。
		53-3	皆伐伐区 指定有	風致の維持に支障のないものにあつては、1伐区の大きさが2ヘクタール以内の皆伐作業を行うことができる。ただし、樹冠疎密度3より多く保残木を残す場合又は車道、歩道、集団施設地区、単独施設等の主要公園利用地点より望見されない場合は、伐区面積を増大することができる。 なお、伐区は更新後5年を経過しなければ連続して設定してはならない。 また、伐期齢は標準伐期齢以上とする。
		53-4	皆伐伐区 指定無	全般的に風致の維持を考慮して施業を行うこととし、特に施業の制限を受けないものとする。
国立公園 第3種特別地域	国立3	54-1	禁伐	51-1を準用する。
		54-2	択伐	53-2を準用する。
		54-3	皆伐伐区 指定有	53-3を準用する。
		54-4	皆伐伐区 指定無	53-4を準用する。
国立公園 普通地域	国立未	55-1	禁伐	51-1を準用する。
		55-2	択伐	52-2を準用する。
		55-3	皆伐伐区 指定有	53-3を準用する。
		55-4	皆伐伐区 指定無	53-4を準用する。
国定公園 第1種特別地域	国定1	56-1	択伐	53-2を準用する。
国定公園 第2種特別地域	国定2	57-1	禁伐	51-1を準用する。
		57-2	択伐	52-2を準用する。
		57-3	皆伐伐区 指定有	53-3を準用する。
国定公園 第3種特別地域	国定3	58-1	択伐	53-2を準用する。
		58-2	皆伐伐区 指定有	53-3を準用する。
		58-3	皆伐伐区 指定無	53-4を準用する。

制限林の種類	表記	施業方法及びその区分		
県立指定公園 普通地域	県立未	68-1	皆伐伐区 指定有	53-3 を準用する。
文化財保護法による 史跡名勝天然記念物 にかかる指定地	文化財	59-1	皆伐伐区 指定有	1-3 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。
都市計画法、 風致地区	都風	61-1	択伐	1-2 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。
		61-2	皆伐伐区 指定有	1-3 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。 ただし 1-3 のうち「1 箇所当たりの皆伐面積の限度 20 ヘクタール」を「1 箇所当たりの皆伐面積の限度は 1 ヘクタール」と読み替えるものとする。
鳥獣保護区 特別保護地区	鳥獣特	62-1	禁伐	原則としてすべての伐採を禁止する。
		62-2	択伐	主伐は択伐による。主伐として伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
		62-3	皆伐伐区 指定有	鳥獣の保護に支障がないと認められる場合には皆伐することができる。 主伐として伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとし、その伐採の限度は 1-2 を準用する。 また、地域森林計画の初年度以降 5 年間に当該計画に係る特別保護地区内において皆伐できる面積の限度は、当該特別保護地区内の皆伐区域面積を標準伐期齢に相当する数で除して得た面積の 5 倍とする。
		62-4	皆伐伐区 指定無	主伐に係る伐採種を定めない。主伐として伐採できる立木は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとし、毎年度伐採できる 1 箇所当たりの皆伐面積の限度は定めない。 間伐及び伐採に関する事項については 1-3 を準用する。
急傾斜地崩壊危険 区域内の森林	急傾斜	63-1	択伐	1-2 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。
		63-2	皆伐伐区 指定有	1-3 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。
		63-3	皆伐伐区 指定無	50-2 を準用し、指定目的に適合した施業を行う。

(注意) 制限林が重複指定されている場合は、その制限に係る施業方法の厳しいものにより施業すること。

【表 7-2 制限林の施業方法総括表】

出力範囲		中部山岳		(単位 面積：h a)				
制限林の種類		面 積	伐 採 方 法 別 面 積				重 複	
			皆 伐		択 伐	禁 伐		
			皆 伐	伐区指定無				伐区指定有
保安林	水源かん養保安林	30,458.18	28,686.14			1,482.48	289.56	保健 845.96 国立特 270.10 国立1 225.91 国立2 571.80 国立3 290.23 国定1 36.35 国定2 451.61 国定3 950.40 鳥獣特 651.45 急傾斜 0.40 砂防 901.02
	土砂流出防備保安林	21,816.75	14,164.57			6,048.51	1,603.67	保健 1,773.01 国立特 1,143.63 国立1 359.71 国立2 269.85 国立3 15.30 国定1 92.59 国定2 721.40 国定3 448.23 鳥獣特 97.15 都風 192.92 急傾斜 2.15 砂防 1,719.36
	土砂崩壊防備保安林	113.16	9.09			104.07		急傾斜 0.55 砂防 3.95
	干害防備保安林	1,385.52	1,131.18			254.34		保健 250.43 国立特 2.21 国定2 7.94 砂防 96.83
	風害防備保安林	0.09				0.09		
	水害防備保安林	3.20				3.20		保健 1.29
	落石防止保安林	55.76				37.97	17.79	砂防 22.10
	なだれ防止保安林	297.82				285.47	12.35	国立2 52.15 国立3 71.15
	保健保安林	2,960.00	379.13			792.33	1,788.54	水かん 845.96 土流 1,773.01 干害 250.43 水害 1.29 風致 1.55 国立特 1,413.73 国立1 541.92 国立2 1.85 国定1 12.07 国定2 116.77 国定3 21.39 鳥獣特 80.96 砂防 8.38
	風致保安林	2.20				2.20		保健 1.55
	計	57,092.68	44,370.11			9,010.66	3,711.91	

制限林の種類			面 積	伐 採 方 法 別 面 積					重 複	
				皆 伐			択 伐	禁 伐		
				皆 伐	伐区指定無	伐区指定有				
砂防指定地			7,468.52		3,877.76	2,485.27	1,102.99	2.50	水かん 土流 土崩 干害 落石 保健 国立特 国立1 国立2 国立3 国定2 国定3 鳥獣特 都風 急傾斜	901.02 1,719.36 3.95 96.83 22.10 8.38 1.92 75.76 451.02 30.90 178.46 17.40 1.92 83.93 0.58
自然公園	国立公園	第1種特別地域	752.78				378.32	374.46	水かん 土流 保健 砂防	225.91 359.71 541.92 75.76
		第2種特別地域	2,678.58			812.18	1,864.55	1.85	水かん 土流 なだれ 保健 急傾斜 砂防	571.80 269.85 52.15 1.85 0.58 451.02
		第3種特別地域	429.02		52.34	347.33	29.35		水かん 土流 なだれ 砂防	290.23 15.30 71.15 30.90
		未指定地域								
		計	3,860.38		52.34	1,159.51	2,272.22	376.31		
	国定公園	第1種特別地域	172.62				172.62		水かん 土流 保健 国定2 鳥獣特	36.35 92.59 12.07 1.62 41.86
		第2種特別地域	1,402.01		5.84	1,101.20	294.97		水かん 土流 干害 保健 国定1 鳥獣特 砂防	451.61 721.40 7.94 116.77 1.62 79.32 178.46
		第3種特別地域	2,709.25		1,224.58	1,116.18	368.49		水かん 土流 保健 鳥獣特 砂防	950.40 448.23 21.39 341.15 17.40
		未指定地域								
		計	4,283.88		1,230.42	2,217.38	836.08			
	県立公園	第1種特別地域								
		第2種特別地域								
		第3種特別地域								
		未指定地域								
		計								
計			8,144.26		1,282.76	3,376.89	3,108.30	376.31		

制限林の種類	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					重 複
		皆 伐			択 伐	禁 伐	
		皆 伐	伐区指定無	伐区指定有			
文化財保護法による史跡名勝天然記念物にかかる指定地	5. 77			5. 77			
鳥獣保護区特別保護地区	795. 37		21. 03	0. 42	772. 00	1. 92	水かん 651. 45 土流 97. 15 保健 80. 96 国立特 1. 92 国定1 41. 86 国定2 79. 32 国定3 341. 15 砂防 1. 92
急傾斜地崩壊危険地区	32. 31		0. 68	8. 49	23. 14		水かん 0. 40 土流 2. 15 土崩 0. 55 国立2 0. 58 砂防 0. 58
都市計画法による風致地区	900. 95			828. 92	72. 03		土流 192. 92 砂防 83. 93
林業種苗法による特別母樹または特別母樹林							
原生自然環境保全地域							
自然環境保全地域の国の指定による特別地域							
自然環境保全地域の県の指定による特別地域							
残置森林地域							
その他の制限林計	17, 347. 18		5, 182. 23	6, 705. 76	5, 078. 46	380. 73	
総 計	74, 439. 86	44, 370. 11	5, 182. 23	6, 705. 76	14, 089. 12	4, 092. 64	

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
松本市	水かん	30-ろ、は、31-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、32-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、33-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、34-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、35-い、は、に、ほ、へ、36-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、37-い、55-ろ、56-い、57-い、66-ろ、71-い、ろ、73-い、77-い、112-に、115-ろ、118-い、ろ、は、に、119-い、ろ、は、に、120-い、ろ、は、121-い、ろ、は、122-い、ろ、は、に、123-へ、124-い、ろ、は、173-い、174-ろ、175-い、ろ、176-い、177-い、ろ、178-い、ろ、179-い、187-い、ろ、は、に、188-い、189-い、190-ろ、191-い、192-い、193-い、194-ろ、は、195-い、ろ、196-い、ろ、は、に、ほ、へ、197-い、ろ、に、198-い、ろ、199-い、ろ、200-い、201-い、ろ、は、に、203-い、205-い、206-い、1048-ろ、1049-い、1050-い、ろ、1051-い、1054-ほ、1055-い、ろ、は、1056-い、ろ、は、1057-い、ろ、は、に、1058-い、ろ、は、に、ほ、1059-い、ろ、は、に、1060-い、ろ、は、に、1075-は、に、ほ、へ、と、1076-い、ろ、は、に、ほ、1077-い、ろ、は、1080-い、ろ、1081-い、ろ、は、1082-い、ろ、は、1083-い、ろ、は、1084-い、ろ、は、に、ほ、1085-い、ろ、1086-い、ろ、1087-い、1088-は、に、へ、1090-い、は、1091-い、ろ、は、1092-い、ろ、は、1109-い、ろ、は、に、ほ、へ、1110-い、ろ、は、ほ、へ、と、ち、り、1111-い、ろ、2003-に、2004-ろ、は、2005-い、ろ、は、に、ほ、と、ち、2006-い、ろ、は、2007-い、ろ、は、に、2008-ろ、は、に、ほ、へ、2020-い、ろ、2021-は、に、ほ、へ、2022-い、ろ、は、に、2023-い、ろ、は、に、2024-い、2025-い、ろ、は、2027-い、ろ、は、に、ほ、2028-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、2029-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、2030-い、ろ、は、2039-い、ろ、は、に、ほ、2041-い、は、2043-ろ、2075-に、2077-い、3005-い、ろ、は、に、3006-い、ろ、は、に、3007-ろ、に、ほ、へ、と、3009-へ、3010-い、ろ、は、3011-い、ろ、は、3012-ほ、へ、と、ち、り、3013-い、ろ、は、に、ほ、3014-い、ろ、は、に、ほ、3015-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、3016-い、ろ、は、に、ほ、3022-い、ろ、は、に、ほ、3024-ろ、は、に、ほ、3026-ろ、は、に、ほ、ぬ、る、を、わ、3027-に、ほ、へ、と、3028-い、ろ、は、3029-い、ろ、は、に、3030-い、ろ、は、に、ほ、3034-ほ、3035-い、は、3036-い、ろ、は、に、へ、3037-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、3038-ほ、へ、り、3041-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、3042-い、3044-に、へ、と、ち、り、ぬ、3047-い、ろ、は、に、3048-い、ろ、は、に、3049-い、ろ、は、3050-は、に、ほ、3051-ろ、は、3052-ろ、は、ほ、3055-は、に、ほ、と、4025-い、ろ、4026-い、4027-い、ろ、は、5004-に、5011-は、5012-い、5013-い、ろ、は、に、5021-い、5022-い、ろ、は、5023-い、ろ、は、5024-い、5025-い、ろ、は、に、ほ、5026-い、ろ、は、5027-い、5028-い、ろ、5029-い、ろ、は、5030-い、ろ、は、5031-い、ろ、は、に、ほ、へ、5032-い、ろ、は、に、ほ、5033-い、5038-い、ろ、は、5039-い、ろ、は、に、5040-い、ろ、5041-い、ろ、は、5042-い、ろ、は、5043-い、ろ、5044-い、ろ、は、に、ほ、5045-い、ろ、5046-い、ろ、は、5047-い、ろ、5048-い、ろ、は、に、5051-い、ろ、は、に、5052-い、ろ、は、5053-い、ろ、は、5054-い、ろ、は、5055-い、ろ、は、に、5056-い、ろ、は、に、ほ、5057-い、ろ、は、5058-い、ろ、は、5059-い、ろ、は、に、5060-い	9935.11						
		37-い、ろ、は、56-ろ、は、57-い、ろ、58-い、ろ、59-い、ろ、60-い、ろ、61-い、ろ、62-い、ろ、は、71-ろ、77-い、2043-ろ、3007-ろ、ほ、3024-い、3028-は、3029-い、ろ、は、3030-い、ろ、は、ほ、3034-に、3050-い、ろ、へ、3051-い、ろ、3052-ろ、3053-い、ろ、は、3054-ろ、ほ、3055-ろ、は、ほ、3066-ち					745.07		1-2
			小計		10680.18	9935.11	0	0	745.07

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
松本市	土流	1-い、ろ、に、4-ろ、8-に、12-に、13-ろ、14-ほ、15-ろ、は、16-い、は、17-ろ、は、に、ほ、24-は、25-へ、27-い、に、ほ、へ、と、29-い、ろ、43-ろ、は、44-は、に、48-ろ、51-い、54-い、55-い、56-は、63-ろ、69-い、71-い、73-い、74-い、78-ろ、は、に、79-ろ、80-い、ろ、81-い、ろ、は、に、82-ろ、83-は、84-い、ろ、は、に、85-い、ろ、は、88-い、ろ、は、93-い、ろ、は、98-は、に、103-に、105-い、ろ、106-い、109-い、ろ、110-ろ、112-ろ、は、113-ろ、123-い、ろ、は、に、ほ、126-い、ろ、134-に、ほ、135-い、ろ、136-へ、141-は、に、142-ろ、に、143-は、151-ろ、は、153-ろ、は、に、へ、159-ほ、へ、160-に、ほ、ち、161-ち、162-い、ろ、と、ぬ、163-い、ろ、に、ほ、へ、164-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、165-い、ろ、は、に、ほ、へ、ち、166-い、ろ、168-い、169-い、170-い、171-い、172-い、173-い、174-い、178-は、179-い、ろ、は、に、180-い、181-い、ろ、182-い、184-い、185-い、186-い、187-い、194-い、200-ろ、202-い、ろ、は、1001-い、ろ、に、1002-い、ろ、は、ほ、へ、1003-い、ほ、り、1004-い、に、ほ、ち、り、1005-い、ろ、は、ち、1006-い、ろ、は、に、ほ、と、ち、1007-い、は、に、ほ、1008-い、ほ、1009-は、に、ほ、1010-い、ろ、は、に、ほ、1011-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、1014-い、ろ、は、に、ほ、へ、1015-い、ろ、1016-い、1017-い、1019-ち、1020-ほ、1021-い、は、1022-い、ろ、は、に、ほ、へ、1023-い、ろ、は、に、ほ、へ、1024-い、ろ、は、1025-い、ろ、は、に、1026-ろ、は、に、ほ、1027-ろ、は、ほ、1028-ろ、は、と、1029-は、に、1030-い、ろ、1031-い、へ、1032-い、ろ、へ、1033-は、に、1035-に、へ、1036-い、は、に、1037-い、ろ、は、に、1038-い、ろ、1040-ち、1041-ろ、は、に、ほ、へ、と、1042-ろ、は、1043-は、と、1044-ろ、に、ほ、1045-ろ、は、ほ、1046-ろ、に、1048-は、1052-い、は、に、ほ、1053-い、は、に、1054-い、1060-ほ、1061-ろ、は、に、ほ、1062-い、ろ、1063-い、と、ち、1064-に、1065-ろ、は、に、1066-ろ、は、ほ、1067-ろ、は、に、へ、と、1068-ろ、へ、と、ち、り、1069-は、1071-い、1075-と、1076-い、1077-い、1079-い、は、1088-い、ろ、1090-ろ、1097-は、へ、1101-い、は、に、ほ、へ、1102-ろ、1103-い、ろ、は、に、ほ、1104-い、ろ、1105-い、ろ、は、に、1106-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、1107-い、ほ、へ、1108-ほ、へ、と、2001-い、ろ、は、に、ほ、へ、2002-い、ろ、は、に、2005-ち、2008-い、に、へ、2011-は、に、ほ、2012-い、ろ、は、2013-い、ろ、は、に、ほ、と、2014-ろ、は、に、ほ、2015-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、2016-い、と、2019-い、ろ、2034-ろ、は、に、ほ、2040-ろ、は、2043-い、は、に、2044-い、ろ、は、に、2045-い、ろ、は、2048-い、ろ、に、ほ、2051-い、ろ、は、へ、と、2052-い、ろ、は、に、ほ、と、ち、2053-い、に、ほ、2054-と、2055-に、2058-に、2059-い、2060-は、に、ほ、2062-い、2068-ろ、2069-い、ろ、2071-に、2073-い、2075-は、2077-ほ、へ、2078-ろ、に、ほ、へ、2079-ろ、は、と、ち、り、2081-ほ、3002-い、ろ、は、に、3003-に、ち、3004-ろ、3018-い、ろ、3025-い、へ、と、3026-い、3034-は、3036-い、3040-い、ろ、は、り、ぬ、る、3043-い、ろ、3044-ろ、3046-ろ、は、3060-は、4001-は、に、4002-い、ろ、は、4003-い、ろ、は、4004-い、ろ、は、に、ほ、4005-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、4006-い、ろ、4007-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、4008-い、ろ、は、に、4009-い、ろ、は、に、ほ、へ、と、4010-い、ろ、は、に、ほ、4011-い、は、へ、4012-い、ろ、は、に、ほ、4013-い、ろ、は、に、4014-い、は、ほ、4015-い、ろ、4016-い、に、ほ、4017-ほ、4018-い、ろ、は、に、ほ、4019-い、ろ、は、4020-い、ろ、は、に、ほ、4023-い、ろ、は、に、4024-ろ、5002-い、ろ、5003-い、ろ、5004-い、ろ、5008-ろ、は、5009-い、は、に、5010-い、5011-い、ろ、に、5014-い、ろ、は、に、5015-い、ろ、は、5017-い、ろ、は、に、ほ、へ、5019-い、ろ、5020-い、ろ、は、に、5021-ろ、5023-い	4968.62				2-3		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
松本市	土流	1ーろ、10ーい、ろ、14ーは、15ーろ、は、16ーろ、は、17ーろ、18ーろ、19ーい、ほ、24ーは、25ーへ、26ーい、ろ、29ーへ、35ーい、43ーは、48ーろ、55ーは、59ーい、ろ、60ーろ、は、61ーろ、62ーろ、63ーろ、72ーい、78ーい、ろ、は、79ーろ、80ーろ、に、81ーい、は、87ーに、88ーい、89ーろ、117ーへ、125ーは、に、126ーい、130ーろ、136ーへ、142ーと、146ーい、ろ、は、に、ほ、147ーい、ろ、は、に、ほ、148ーい、149ーは、150ーち、り、151ーは、162ーい、ろ、ち、り、163ーほ、へ、164ーい、ろ、は、ほ、へ、165ーい、ろ、に、ち、166ーい、183ーい、1001ーい、ろ、は、に、1002ーい、ろ、へ、1003ーろ、は、に、ほ、と、1004ーい、に、ほ、1005ーろ、1006ーち、1007ーい、ろ、に、1008ーに、へ、1009ーい、に、へ、1010ーろ、は、ほ、1011ーい、ろ、は、1012ーに、ほ、1013ーい、ろ、1014ーろ、に、ほ、へ、1015ーい、ろ、1016ーい、1019ーち、1020ーろ、ほ、へ、1022ーい、1023ーに、ほ、へ、1028ーろ、に、ほ、1030ーい、1031ーに、1032ーい、ろ、1033ーい、1036ーは、に、1037ーい、ろ、に、1040ーろ、1041ーい、は、に、ほ、へ、1042ーろ、は、1044ーに、ほ、へ、と、1045ーい、ろ、は、ほ、1052ーへ、1053ーろ、1054ーろ、1061ーろ、に、1063ーは、に、ほ、へ、ち、1064ーは、に、1065ーい、1069ーろ、1072ーろ、は、へ、と、1074ーろ、1075ーと、1076ーい、1077ーは、1079ーろ、は、1088ーい、ろ、1095ーほ、1096ーい、1097ーは、に、ほ、1101ーい、1104ーは、1110ーに、2002ーに、2003ーい、ろ、は、2004ーい、に、2005ーい、と、2011ーは、に、ほ、2012ーい、ろ、2013ーは、へ、と、2014ーい、に、ほ、2016ーと、2032ーほ、2040ーい、は、に、ほ、へ、2043ーい、ろ、は、2044ーに、2047ーい、2048ーろ、は、ほ、2049ーい、ろ、は、に、ほ、へ、2050ーぬ、2051ーろ、は、に、ほ、へ、と、2052ーい、は、に、ほ、ち、2053ーに、ほ、2054ーろ、と、2055ーい、へ、2056ーへ、2057ーい、ろ、2059ーは、に、ほ、2061ーほ、2062ーい、2067ーい、ろ、2070ーほ、2074ーい、2075ーい、2077ーほ、へ、2078ーろ、2080ーと、2081ーい、ろ、は、に、3001ーろ、は、3002ーい、は、3003ーに、ほ、と、3004ーい、ろ、3006ーい、3008ーほ、3010ーほ、3012ーい、ろ、は、に、3019ーに、3020ーい、3021ーへ、と、3025ーろ、は、に、ほ、と、3026ーか、3027ーい、ろ、ほ、へ、と、3028ーい、ろ、は、3034ーい、ろ、は、3035ーに、3036ーい、3040ーに、3043ーろ、は、に、3045ーい、3046ーい、3049ーい、ろ、は、3050ーろ、3051ーい、ろ、に、3052ーい、に、ほ、3053ーに、3054ーい、ろ、は、に、ほ、3055ーろ、は、に、3056ーほ、3060ーは、4007ーへ、り、4011ーへ、4014ーほ、4020ーろ、に、4021ーい、5017ーい、へ					1620.8		2-2
		48ーろ、63ーい、130ーろ、164ーい、1006ーち、1029ーは、に、1031ーい、に、1032ーい、ろ、1036ーい、は、1069ーは、1107ーい、2055ーい、2062ーい						13.61	2-1
		小計	6603.03	4968.62	0	0	1620.8	13.61	
	土崩	8ーは、146ーろ、1008ーほ、2062ーい、3020ーろ、は、3023ーい、3066ーと、ち、4011ーへ					21.08		3-1
		小計	21.08	0	0	0	21.08	0	
	干害	95ーろ、は、に、ほ、96ーろ、は、に、ほ、97ーい、ろ、は、99ーい、ろ、は、100ーい、ろ、は、に、ほ、へ、101ーい、ろ、は、に、104ーい、ろ、は、168ーろ、1093ーに、ほ、1094ーい、ろ、は、1098ーろ、は、に、1099ーい、ろ、は、に、1100ーい、ろ、は、に、ほ、と、ち、り、1101ーは、1102ーい、は、に、ほ、へ、1103ーに、1107ーは、に、ほ、1108ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1109ーろ、は、と、2010ーに、5005ーは	849.97						4-2
		小計	849.97	849.97	0	0	0	0	
	落石	3002ーは、3008ーに、と、3009ーろ、3020ーへ、3024ーへ					28.5		7-2
		小計	28.5	0	0	0	28.5	0	
	なだれ	3034ーほ、3036ーほ、へ、3037ーろ、は、に、ほ、へ、と、3053ーい、ろ、は					123.3		8-2
		小計	123.3	0	0	0	123.3	0	
	水保	2017ーへ、と、2059ーほ、5004ーに		36.36					28-2
		37ーは、に、38ーい、ろ、は、に、ほ					85.24		28-1
		小計	121.6	36.36	0	0	85.24	0	
	流保	89ーろ、90ーい					5.93		29-2
		小計	5.93	0	0	0	5.93	0	
	致保	90ーい					1.55		35-1
		小計	1.55	0	0	0	1.55	0	
	保安林計		18435.14	15790.06	0	0	2631.47	13.61	

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方 法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
松本市	国立特	3055ーち					1.92	51-1	
	小計	1.92	0	0	0	1.92			
	国立2	3034ーは、3035ーろ、に、3038ーい、ろ、は、に、と、ち、3050ーい、は、に、ほ、3051ーろ、3053ーほ、3054ーほ、3055ーい、は、に、ほ、へ、と、3056ーい、ろ、は、に、3059ーぬ、3060ーろ、は				276.51		53-3	
		3033ーい、ろ、は、に、ほ、3034ーい、ろ、は、に、3035ーろ、に、3038ーい、ろ、は、に、と、ち、3045ーに、3050ーい、ろ、ほ、へ、と、3051ーい、ろ、に、3052ーい、に、ほ、3053ーい、ろ、は、に、ほ、3054ーい、ろ、は、に、ほ、3055ーろ、は、に、ほ、3056ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、3057ーい、ろ、は、に、3058ーい、ろ、3059ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、3060ーい、ろ、は、に					1122.84	53-2	
		小計	1399.35	0	0	276.51	1122.84	0	
		国立3	3036ーろ			0.37			54-4
	195ーい、206ーい、3034ーほ、3035ーい、は、3036ーい、ろ、は、に、ほ、へ、3037ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、3038ーほ、へ、3050ーは、3051ーは、3052ーろ、は、ほ				347.33			54-3	
	3034ーほ、3036ーい、3037ーは、に、3052ーろ					29.35		54-2	
	小計	377.05	0	0.37	347.33	29.35	0		
	国定1	38ーい、ろ、に、60ーろ、は、77ーい					63.74		
	小計	63.74	0	0	0	63.74	0		
	国定2	107ーは			5.84				
		43ーろ、は、54ーい、66ーろ、71ーい、ろ、81ーろ、は、に、105ーい、ろ、107ーは、118ーい、は、に、119ーい、ろ、は、に、121ーろ、は、124ーは、168ーろ、は、170ーい、171ーい、172ーい、184ーい、185ーい、186ーい、187ーい、ろ、は、に、190ーい、ろ、191ーい、192ーい、193ーい、202ーい、ろ、は				920.11		57-3	
		37ーい、ろ、は、に、38ーい、ろ、は、に、ほ、43ーは、65ーろ、71ーろ、167ーは、に、168ーろ、183ーい					201.07	57-2	
		小計	1127.02	0	5.84	920.11	201.07	0	
	国定3	1ーろ、は、2ーは、に、ほ、3ーい、ろ、30ーい、ろ、は、34ーい、ろ、は、に、ほ、38ーほ、39ーい、ろ、は、40ーい、ろ、41ーろ、49ーは、52ーい、ろ、53ーい、56ーろ、64ーい、ろ、65ーい、66ーい、68ーい、69ーい、ろ、70ーい、ろ、72ーい、75ーい、ろ、76ーい、81ーに、82ーい、ろ、167ーい、ろ、168ーい、は、169ーい、188ーい、189ーい、192ーい、195ーい、ろ、196ーは、へ、197ーろ、は、に、203ーい、204ーい、ろ			1218.56			58-3	
		30ーろ、は、34ーい、ろ、は、に、ほ、へ、37ーい、55ーい、ろ、56ーい、は、57ーい、69ーい、73ーい、74ーい、77ーい、105ーは、107ーは、168ーい、169ーい、173ーい、179ーい、188ーい、189ーい、192ーい、194ーは、195ーい、ろ、196ーい、ろ、は、に、ほ、へ、197ーい、ろ、に、198ーい、ろ、199ーい、ろ、200ーい、ろ、201ーい、ろ、は、に、203ーい、205ーい				922.98		58-2	
		37ーは、に、38ーい、55ーは、56ーろ、は、57ーい、ろ、59ーい、ろ、60ーい、ろ、72ーい					332.55	58-1	
		小計	2474.09	0	1218.56	922.98	332.55	0	
		71ーい				0.42		62-3	
	鳥獣特	37ーい、ろ、は、に、38ーい、ろ、は、に、ほ、56ーろ、は、57ーい、ろ、58ーい、ろ、59ーい、ろ、60ーい、ろ、61ーい、ろ、62ーい、ろ、は、71ーろ					733.67	62-2	
		3055ーち						1.92	62-1
		小計	736.01	0	0	0.42	733.67	1.92	
都風		150ーろ、ほ、ち、り、159ーほ、へ、160ーと、162ーほ、163ーほ、164ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、165ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、166ーい、ろ				210.01		61-2	
	150ーち、り、164ーい、ろ、は、ほ、165ーい、ろ、ち、166ーい			3877.76		44.99	61-1		
	小計	255	0	0	210.01	44.99	0		
文化財	90ーほ、125ーい				5.77				
	小計	5.77	0	0	5.77	0	0		
急傾斜	4014ーと			0.35					
	3055ーい、4011ーへ				0.87		63-2		
	152ーは、4001ーへ、4011ーへ					12.34	63-1		
	小計	13.56	0	0.35	0.87	12.34	0		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
松本市		12－ぼ、103－は、に、106－い、は、107－い、ろ、は、108－い、に、109－ろ、ほ、111－い、112－い、115－ろ、116－は、123－へ、150－は、155－に、ほ、1001－ろ、1002－に、ほ、へ、1004－い、1005－い、と、1006－に、ほ、へ、1007－は、に、1008－は、に、ほ、1009－い、に、1010－は、に、1011－い、ち、1012－は、に、ほ、1013－は、に、ほ、1014－は、1015－い、1017－ろ、1019－ろ、1023－と、1031－は、に、ほ、へ、と、1032－へ、1033－ぼ、へ、1034－へ、と、1036－い、に、1042－に、1043－へ、と、1044－と、1047－ろ、は、1049－い、1050－い、は、1051－ろ、は、1063－は、1071－い、1074－に、へ、1077－い、1088－い、ろ、は、ほ、へ、と、1089－は、1094－に、ほ、へ、1095－は、ほ、1096－い、1097－に、1100－は、2035－ろ、2051－い、は、ほ、へ、2052－と、2053－い、へ、と、2055－い、2056－ち、2057－い、2058－は、に、2060－ほ、と、2061－に、2062－い、2064－ろ、は、に、2065－い、は、2066－い、ろ、2067－い、ろ、2073－ろ、に、2074－い、は、2075－い、2076－い、2077－ろ、は、に、ほ、り、2078－い、ろ、に、ほ、へ、2079－い、3001－い、ろ、は、に、3002－は、に、3003－ほ、へ、と、ち、3004－い、ろ、は、に、3005－ろ、3007－い、は、ほ、3008－い、ろ、は、ほ、へ、と、3009－い、3023－と、3027－ろ、は、3040－ほ、3044－る、3045－い、ろ、は、3046－い、ろ、は、3049－に、4003－は、4004－ほ、4005－い、4006－い、4008－い、4009－い、ろ、と、4011－ほ、4023－い、ろ、に、4027－い			757. 2			50-2	
	砂防	103－に、104－い、ろ、は、105－い、106－い、115－ろ、118－ろ、は、に、119－い、ろ、は、に、120－い、ろ、は、121－い、ろ、は、122－い、ろ、は、に、123－ほ、へ、155－に、へ、1001－ろ、1002－ほ、へ、1005－い、1010－に、1011－ち、1014－は、に、1015－い、1017－い、1036－に、1047－は、1063－ほ、1069－い、1070－に、1076－い、ろ、1077－い、1079－い、へ、1088－ろ、は、1097－は、1100－は、2015－い、に、へ、2027－ほ、2051－ろ、は、に、へ、2052－い、は、2053－い、2058－い、に、2060－ほ、2062－い、2066－い、2077－ほ、3002－い、ろ、は、3003－ち、3004－ろ、3005－い、ろ、3006－い、3007－に、ほ、3025－い、3044－り、ぬ、3046－ろ、は、3048－に、3049－い、ろ、は、3050－い、は、に、ほ、3051－ろ、は、3052－ろ、は、3054－ほ、3055－い、は、に、ほ、へ、と、4001－へ、4002－は、4004－ほ、4009－い、ろ、4010－い、ろ、4023－い、は、に、5020－に、5021－い、5022－ろ、は、5023－ろ、は、5026－い、は、5027－い				880. 36		50-1	
		1001－ろ、1002－へ、1004－い、1007－に、1012－に、ほ、1015－い、ろ、1063－は、1088－い、1095－ほ、1097－は、に、2040－い、に、2051－ろ、は、ほ、へ、と、2052－ち、2055－い、2057－い、2061－へ、2062－い、2067－い、ろ、2074－い、2075－い、2077－ほ、2078－ろ、3001－ろ、は、3002－い、は、3003－ほ、と、3004－い、ろ、3006－い、3007－ほ、3008－に、と、3009－ろ、3024－へ、3025－ろ、3027－い、ろ、ほ、へ、と、3028－い、ろ、は、3040－に、3045－い、に、3046－い、3049－い、ろ、は、3050－い、ろ、ほ、へ、と、3051－い、ろ、に、3052－い、ろ、に、ほ、3054－い、ろ、は、に、ほ、3055－ろ、は、に、ほ、2055－い、2062－い、3055－ち					445. 42		
		小計		2085. 1	0	757. 2	880. 36	445. 42	2. 12
		その他制限林計		8538. 61	0	1982. 32	3564. 36	2985. 97	5. 96
	合計		26973. 75	15790. 06	1982. 32	3564. 36	5617. 44	19. 57	

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方 法	
				皆 伐			択 伐	禁 伐		
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
塩 尻 市	水 かん	51ーに、54ーい、55ーい、ろ、84ーい、ろ、85ーい、ろ、は、に、ほ、86ーい、ろ、は、87ーい、ろ、88ーい、ろ、は、に、ほ、89ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、90ーい、ろ、は、91ーい、ろ、は、に、92ーい、ろ、は、93ーい、ろ、は、94ーい、ろ、95ーい、ろ、96ーい、97ーい、ろ、は、98ーい、ろ、は、に、99ーい、ろ、は、100ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、101ーい、ろ、は、102ーい、ろ、は、115ーに、ほ、116ーは、に、117ーろ、は、124ーい、ろ、は、に、ほ、へ、129ーろ、130ーい、ろ、は、に、ほ、へ、131ーい、ろ、は、に、132ーい、ろ、に、146ーい、ろ、は、147ーい、ろ、148ーろ、は、149ーい、150ーろ、1001ーい、ろ、は、1002ーい、ろ、は、に、ほ、1003ーい、ろ、は、に、ほ、1004ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1005ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、1006ーい、ろ、は、に、1007ーい、ろ、は、に、1008ーい、ろ、は、に、1009ーい、ろ、は、に、ほ、1010ーろ、は、に、ほ、へ、と、1011ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1012ーい、ろ、は、に、ほ、1013ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1014ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1015ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1016ーい、ろ、は、に、1019ーい、ろ、は、に、ほ、1032ーは、に、ほ、1038ーに、ほ、へ、1039ーい、ろ、は、に、1042ーへ、1043ーい、1057ーい、ろ、は、1058ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1059ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1060ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1061ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、1062ーい、ろ、は、に、1063ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1064ーい、ろ、は、に、ほ、1065ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、1066ーい、ろ、は、に、1067ーい、ろ、は、に、ほ、1068ーい、ろ、は、に、ほ、1069ーい、ろ、は、に、1070ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、1071ーい、ろ、は、に、ほ、1072ーい、1073ーい、1074ーい、ろ、1075ーい		5010.2					1-3	
		54ーい、84ーい					1.53		1-2	
		1013ーは、1014ーほ、へ						6.21	1-1	
		小計	5017.94	5010.2	0	0	1.53	6.21		
土 流	土 流	2ーろ、4ーい、6ーに、7ーい、8ーろ、に、へ、10ーい、12ーい、ろ、22ーろ、は、23ーは、24ーい、27ーい、ろ、は、に、28ーい、ろ、ほ、29ーい、は、に、ほ、へ、30ーい、31ーい、32ーほ、34ーに、49ーい、50ーい、51ーい、ろ、は、53ーは、66ーに、ほ、68ーへ、70ーい、は、に、71ーに、72ーに、75ーい、ろ、76ーは、77ーい、ろ、に、78ーい、は、79ーは、80ーり、103ーに、104ーに、105ーい、ろ、は、106ーい、ろ、111ーい、112ーは、に、へ、120ーは、121ーろ、123ーい、ろ、134ーい、は、140ーは、に、142ーは、144ーは、へ、ち、145ーは、に、ほ、146ーろ、は、に、147ーろ、148ーい、ろ、は、149ーい、150ーい、153ーは、154ーい、157ーろ、は、に、165ーい、ろ、は、166ーは、167ーい、168ーい、1007ーろ、は、に、へ、1008ーい、ろ、に、1009ーい、ろ、に、ほ、1010ーい、に、へ、ち、1016ーに、ほ、1017ーい、ろ、は、に、ほ、1018ーは、1020ーろ、は、に、1021ーい、1023ーい、ろ、1024ーい、に、と、ち、1025ーい、ろ、は、1027ーい、ろ、1029ーに、1030ーは、に、1031ーに、1036ーい、は、1037ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、1038ーい、ろ、は、へ、1039ーは、1040ーに、1041ーい、ろ、1042ーに、ほ、と、1043ーろ、は、に、ほ、へ、1047ーい、は、に、ち、1048ーい、ろ、は、に、1049ーろ、は、に、ほ、1050ーい、は、ほ、へ、1051ーい、ろ、は、に、1052ーい、ろ、は、に、1053ーい、ろ、は、に、ほ、1054ーい、ろ、は、に、1055ーい、ろ、は、に、ほ、1056ーい、ろ、は、に、ほ、1057ーに、1069ーに		1525.39					2-3	
		2ーろ、7ーい、8ーは、ほ、9ーい、ろ、10ーい、29ーい、31ーい、36ーほ、49ーい、65ーは、75ーい、ろ、79ーは、80ーり、103ーに、105ーい、ろ、は、106ーろ、109ーに、122ーい、123ーい、124ーへ、126ーろ、135ーい、138ーに、143ーほ、144ーと、148ーい、150ーい、156ーに、157ーい、ろ、は、160ーい、1007ーろ、は、に、へ、1008ーい、ろ、1009ーは、に、1010ーい、ろ、1023ーろ、1025ーい、1028ーに、ほ、1029ーに、1030ーに、1032ーほ、へ、1033ーい、1037ーへ、1041ーに、1042ーほ、1045ーい、ろ、1047ーは、に、1051ーは、1054ーは、に、1055ーろ、1056ーい、は、に、1058ーろ、1062ーろ、1069ーに					216.71		2-2	
		1010ーい、ち、1028ーは、に、1045ーい、ろ、1053ーほ						1.58	2-1	
		小計	1743.68	1525.39	0	0	216.71	1.58		
		土 崩	1008ーい、1042ーに、1050ーと		6.08					
			110ーは、1007ーろ、へ、1054ーに					6.5		3-1
小計	12.58		6.08	0	0	6.5	0			

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積: ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
塩尻市	干害	3-い、5-ろ、は		16.81					4-2
		40-い、は、に					11.62		4-1
		小計	28.43	16.81	0	0	11.62	0	
	風致	1008-に					0.65		10-1
		小計	0.65	0	0	0	0.65	0	
	水保	54-い							28-2
		54-い、55-ろ					52.59		28-1
		小計	64.99	12.4	0	0	52.59	0	
	保安林計		6868.27	6570.88	0	0	289.6	7.79	
	国定1	8-い、は、9-い、ろ、11-ろ、は、16-い					108.88		
		小計	108.88	0	0	0	108.88	0	
	国定2	6-に、7-い、8-い、ろ、に、へ、11-い、54-い、55-い、ろ				181.09			57-3
		7-い、8-は、ほ、9-い、ろ、17-い、54-い、55-い					93.9		57-2
		小計	274.99	0	0	181.09	93.9	0	
	国定3	6-に、10-い、49-い			6.02				58-3
		6-に、7-い、8-い、10-い、49-い、50-い、51-い、ろ、は				193.2			58-2
		10-い、11-い、13-は、に、ほ、49-い、54-い					35.94		58-1
		小計	235.16	0	6.02	193.2	35.94	0	
	鳥獣特	10-い、11-い、は、13-は、に、ほ、16-い、17-い					38.33		62-2
		小計	38.33	0	0	0	38.33	0	
	急傾斜	1001-い、ろ、1009-ろ、に、ほ、1010-い、ち、1011-い				7.29			63-2
		23-ろ、1001-い					0.75		63-1
		小計	8.04	0	0	7.29	0.75	0	
	砂防	37-い、55-い、ろ、1052-に、1054-ろ、1055-ほ、1057-に				49.09			50-1
		55-ろ					6.1		
		小計	55.19	0	0	49.09	6.1	0	
	その他制限林計		720.59	0	6.02	430.67	283.9	0	
	合計		7588.86	6570.88	6.02	430.67	573.5	7.79	

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法	
				皆 伐			択 伐	禁 伐		
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
安曇野市	水かん	2009ーは、2021ーい、ろ、は、に、2032ーい、ろ、2033ーい、ろ、は、に、2034ーい、ろ、は、2035ーい、ろ、は、2036ーい、ろ、2037ーい、ろ、2038ーい、ろ、は、に、2039ーい、ろ、は、に、ほ、2040ーい、ろ、は、に、2041ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、2042ーい、ろ、は、に、2043ーい、ろ、は、2048ーい、ろ、2049ーい、ろ、は、2050ーい、2051ーい、ろ、2052ーい、ろ、は、に、ほ、2053ーい、ろ、は、に、2063ーい、ろ、2064ーい、ろ、2065ーい、2066ーい、3004ーい、ろ、は、3005ーは、に、3006ーい、ろ、は、に、ほ、3007ーい、ろ、は、3012ーは、3016ーい、ろ、は、に、ほ、へ、3017ーい、ろ、は、3018ーい、ろ、は、に、4002ーに、ほ、4004ーろ、は、4005ーろ、は、ほ、4024ーほ、へ、と、4025ーい、ろ、4026ーい、は、に、4027ーい、ろ、は、4028ーい、ろ、は、4029ーい、ろ、は、4033ーい、ろ		1944. 52						1-3
		2041ーい					1. 62		1-2	
		小計	1946. 14	1944. 52	0	0	1. 62	0		
	土流	1ーは、に、ほ、2ーい、6ーい、ほ、7ーい、ろ、は、に、ほ、へ、8ーい、に、ほ、9ーい、ろ、は、10ーい、ろ、ほ、11ーい、ろ、は、12ーに、13ーろ、ほ、へ、と、14ーに、ほ、ち、15ーい、に、ほ、へ、16ーい、は、へ、と、17ーい、19ーい、に、と、20ーい、は、に、ほ、21ーは、22ーろ、へ、23ーい、ろ、は、25ーい、は、に、ほ、へ、27ーい、ろ、は、に、ほ、へ、28ーい、ろ、は、に、ほ、29ーい、ろ、は、に、30ーい、ろ、ほ、へ、と、31ーい、ろ、は、と、ち、32ーい、ろ、は、に、ほ、へ、33ーい、ろ、は、に、ほ、と、34ーい、は、に、ほ、へ、35ーい、ろ、は、に、ほ、36ーは、に、ほ、へ、37ーに、38ーい、ろ、は、ほ、へ、39ーい、ろ、は、に、ほ、へ、40ーい、ろ、に、41ーろ、は、42ーほ、43ーい、ろ、に、44ーい、ろ、は、に、ほ、45ーい、ろ、は、に、46ーに、47ーい、ろ、は、に、48ーろ、は、に、ほ、49ーい、ろ、は、50ーい、ろ、は、に、51ーい、ろ、52ーい、ろ、53ーろ、は、に、1001ーい、ほ、り、1002ーい、は、1011ーに、ほ、へ、2007ーに、2010ーい、2012ーい、ろ、は、に、2013ーい、ろ、は、に、2014ーい、ろ、2015ーい、ろ、へ、2016ーに、ほ、へ、と、2017ーい、は、2019ーい、ろ、ほ、2020ーろ、は、に、ほ、へ、2022ーは、2023ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、2024ーい、ろ、2025ーい、ろ、は、2026ーい、ろ、は、に、ほ、へ、2043ーい、2056ーい、ろ、は、2057ーい、ろ、は、に、ほ、へ、2058ーい、ろ、は、に、ほ、2059ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、2060ーほ、2062ーい、ろ、は、3004ーは、3005ーい、ろ、3006ーい、ほ、へ、と、3008ーい、ろ、は、3009ーは、3010ーは、に、3011ーい、3013ーい、3016ーは、に、3017ーい、3019ーい、ろ、は、に、ほ、3020ーい、ろ、は、に、3021ーい、ろ、は、に、3022ーい、ろ、は、に、ほ、3023ーろ、ほ、3024ーい、ろ、4005ーへ、4006ーい、ろ、に、4009ーろ、4010ーは、に、ほ、へ、4011ーい、ろ、4012ーい、ろ、4013ーい、は、4015ーと、4018ーい、ろ、は、に、4019ーい、ろ、は、に、ほ、4020ーい、ろ、は、に、4021ーい、ろ、4022ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、4024ーろ、と、4025ーは、4026ーろ、ほ、4027ーに、4029ーい、ろ、は、4030ーい、ろ、4031ーい、ろ、は、4032ーい、ろ、は、4034ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、4035ーい、ろ、は、に、ほ、へ、4036ーい、ろ、は、に、ほ、へ、4037ーい、ろ、は、に		2198. 03						2-3
		1ーは、4ーい、5ーろ、6ーい、ろ、は、に、ほ、へ、8ーい、に、ほ、10ーい、ろ、12ーい、ろ、14ーへ、15ーい、ろ、ほ、へ、16ーほ、19ーい、と、20ーい、ろ、21ーは、22ーろ、ほ、へ、23ーは、に、25ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、28ーい、ろ、ほ、29ーい、は、に、30ーい、31ーい、に、ほ、と、ち、32ーい、ろ、は、に、へ、33ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、34ーろ、は、ち、35ーろ、ほ、36ーろ、ほ、へ、37ーに、38ーい、ろ、へ、39ーに、41ーい、に、43ーい、ろ、は、に、44ーい、45ーい、ろ、は、に、46ーい、48ーい、ろ、49ーい、ろ、51ーろ、52ーろ、53ーろ、1001ーと、1002ーは、に、1004ーへ、と、1006ーい、1007ーい、1008ーは、1009ーは、と、1010ーい、1011ーほ、2002ーろ、2003ーへ、2021ーい、2022ーい、2043ーい、2054ーい、ろ、は、に、ほ、2055ーい、ろ、は、に、3017ーい、3019ーろ、4005ーに、4010ーに、4017ーい、ろ、は、に、ほ、へ、4018ーは、4024ーと、4035ーい、ろ、は、に								
		36ーへ、4010ーに						0. 34	2-1	
		小計	2517. 43	2198. 03	0	0	319. 06	0. 34		
	土崩	6ーに、18ーは、に、32ーに、へ、1011ーい、ろ、3001ーろ、3010ーほ、4002ーい					25. 8		3-1	
		小計	25. 8	0	0	0	25. 8	0		
	水害	2002ーい					0. 34		6-1	
		小計	0. 34	0	0	0	0. 34	0		
保健	1001ーほ、と		0. 61					9-2		
	小計	0. 61	0. 61	0	0	0	0			

(単位 面積：ha)

134

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積				施 業 方法		
				皆 伐			択 伐		禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
生坂村	水かん	25ーと		7.31					1-3	
		小計	7.31	7.31	0	0	0	0		
	土流	1ーい、ろ、2ーい、ろ、は、ほ、3ーは、ほ、へ、と、4ーい、に、ほ、5ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、6ーろ、に、へ、と、り、7ーい、ろ、は、に、ほ、へ、り、8ーい、へ、9ーい、11ーい、ろ、は、に、ほ、12ーい、ほ、13ーい、に、16ーい、ほ、17ーい、ろ、は、に、ほ、18ーい、ろ、に、ほ、へ、と、19ーい、ろ、20ーは、21ーい、ろ、は、22ーい、ろ、に、24ーい、25ーは、30ーろ、は、に、31ーい、ろ、は、に、ち、り、32ーほ、と、ち、33ーろ、は、に、ほ、へ、と、34ーい、ろ、は、に、35ーい、ろ、は、ほ、へ、と、ち、37ーろ、は、に、39ーろ、40ーろ、42ーい、ろ、は、に、43ーい、は、44ーは、45ーは、46ーい、ろ、に、47ーい、は、に、と、48ーろ、49ーい、ろ、50ーろ、51ーい、ろ、に、52ーい、は、に、53ーは、と、54ーい、ろ、は、55ーい、ろ、は、56ーい、は、に、58ーい、ろ、は、59ーい、は、60ーい、61ーい、62ーい、は、に、		516.09					2-3	
		1ーは、2ーい、に、3ーろ、へ、5ーい、ほ、へ、6ーい、ろ、に、ほ、ち、り、7ーろ、は、に、へ、と、ち、8ーい、ろ、に、ほ、へ、9ーい、ほ、ち、10ーい、ろ、は、に、ほ、11ーい、ろ、は、ほ、へ、と、12ーい、13ーろ、は、ほ、14ーい、ろ、は、15ーい、ろ、は、16ーは、に、17ーい、ろ、は、18ーい、ろ、に、へ、と、19ーい、20ーろ、21ーい、は、に、24ーに、25ーは、ほ、26ーい、ろ、は、27ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、32ーい、ろ、は、に、へ、33ーい、34ーほ、35ーに、37ーい、ろ、は、に、ほ、38ーは、41ーほ、42ーは、に、43ーろ、46ーろ、は、48ーい、ろ、は、に、ほ、49ーい、ろ、53ーへ、57ーい、ろ、は、に、ほ、へ、58ーは、に、ほ、59ーろ、は、60ーい、ろ、は、に、61ーほ、62ーい、へ					513.6		2-2	
		5ーほ、8ーへ、25ーろ						1.5	2-1	
		小計	1031.19	516.09	0	0	513.6	1.5		
		土崩	5ーほ		0.22					
	2ーろ、4ーほ、5ーほ、7ーい、ろ、48ーは、53ーほ						6.63		3-1	
	風害	小計	6.85	0.22	0	0	6.63	0		
		11ーろ、は					0.09		5-1	
	急傾斜	小計	0.09	0	0	0	0.09	0		
		保安林計		1045.44	523.62	0	0	520.32	1.5	
		砂防	11ーと					1.84		63-1
			小計	1.84	0	0	0	1.84	0	
		砂防	1ーほ、へ、5ーへ、と、7ーい、ろ、へ、8ーへ、36ーい、ろ、は、37ーい、ろ、39ーろ、40ーろ、は、に、41ーい、ろ、は、47ーに、ほ、56ーは、に、57ーい、ろ、			59.87				50-2
			5ーへ、37ーろ				2.31			50-1
			1ーい、ろ、は、に、へ、2ーは、ほ、3ーろ、4ーい、に、5ーい、ほ、へ、と、ち、6ーい、7ーい、ろ、に、ほ、と、ち、8ーい、ろ、は、ほ、へ、と、9ーち、13ー					21.62		
			5ーほ						0.06	
			小計	83.86	0	59.87	2.31	21.62	0.06	
その他制限林計		85.7	0	59.87	2.31	23.46	0.06			
合計		1131.14	523.62	59.87	2.31	543.78	1.56			
山形村		水かん	14ーは、に、ほ、15ーい、ろ、16ーい、17ーい、ろ、は		196.41					1-3
			小計	196.41	196.41	0	0	0	0	
		土流	1ーろ、3ーい、ろ、は、に、ほ、8ーと、9ーい、は、に、10ーい、ろ、は、11ーい、は、に、14ーい、ろ、15		239.53					2-3
	3ーろ、は、に、5ーい、ろ、に、ほ、へ、と、6ーは、9ーに、14ーい						15.58		2-2	
	小計		255.11	239.53	0	0	15.58	0		
	干害	14ーろ		27.26					4-2	
		小計	27.26	27.26	0	0	0	0		
	流保	5ーは、に					1.94		29-2	
		小計	1.94	0	0	0	1.94	0		
	干保	3ーに、4ーい、5ーろ、は、に、ほ、12ーは		14.59					31-2	
		4ーい、5ーろ、は、に、ほ					36.9		31-1	
		小計	51.49	14.59	0	0	36.9	0		
	保安林計		532.21	477.79	0	0	54.42	0		
	砂防	5ーい、と、10ーい、ろ、11ーほ、と、12ーい、に、13ーい					11.9			
		小計	11.9	0	0	0	11.9	0		
		その他制限林計		11.9	0	0	0	11.9	0	
	合計		544.11	477.79	0	0	66.32	0		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
朝日村	水かん	19-は、へ、20-い、ろ、は、21-い、ろ、22-い、ろ、23-い、ろ、は、25-ろ、は、26-い、ろ、27-い、28-い、29-い、ろ、30-い、ろ、31-い、ろ、は、32-い、ろ、33-い、ろ、34-い、ろ、35-い、ろ、36-い、ろ、37-い、ろ、38-い、ろ、は、39-い、ろ、は、40-い、ろ、41-い、ろ、42-い、ろ、46-い、ろ、47-い、ろ、48-い、ろ、49-い、ろ、は、50-い、ろ、51-い、ろ、52-い、ろ、は、53-い、ろ、54-い、ろ、55-い、ろ、56-い、ろ、は、57-い、ろ、58-い、ろ、59-い、ろ、60-い、ろ、61-い、ろ、62-い、ろ、は、63-い、ろ、64-い、ろ、は、65-い、ろ、は、66-い、ろ、67-い、ろ、は、68-い、ろ、は、69-い、ろ、70-い、ろ、は、71-い、ろ、は、72-い、ろ、は、73-い、ろ、74-い、ろ、75-い、76-い、ろ、77-い、ろ、は、78-い、ろ、は、79-い、ろ、は、に、80-い、ろ、81-い、ろ、は、82-い、ろ、83-い、ろ、84-い、ろ、は、85-い、ろ、は、に、86-い、ろ、は、に、ほ、87-い、ろ、は、に、ほ、88-い、ろ、は、89-い、ろ、は、90-い、ろ、91-い、ろ、は、92-い、ろ、は、93-ろ、は、に、ほ、94-い、ろ、95-い、ろ、は、に、ほ、96-		4393.43					1-3
		小計	4393.43	4393.43	0	0	0	0	
	土流	2-に、6-は、7-い、8-ろ、は、に、ほ、へ、9-い、は、11-い、13-い、ろ、は、へ、り、14-い、ろ、は、15-に、16-ろ、に、17-い、18-ろ、は、19-い、ろ、24-い、ろ、25-い、ろ、43-い、ろ、44-い、ろ、45-い、ろ、50-い、53-い、96-い		378.07					2-3
		2-に、7-へ、8-へ、9-い、13-ほ、へ					13.26		2-2
		96-ろ						6.37	2-1
		小計	397.7	378.07	0	0	13.26	6.37	
		保安林計	4791.13	4771.5	0	0	13.26	6.37	
	急傾斜	18-ろ				0.14			63-2
	小計	0.14	0	0	0.14	0	0	0	
	砂防	5-い、7-い、17-い、18-は、19-は、25-い、ろ、は、43-い、44-ろ、45-い、ろ、46-い、ろ、50-い、ろ、53-い、ろ、54-い、57-い、ろ、59-い、ろ、88-い、ろ、は				239.6			50-1
		小計	239.6	0	0	239.6	0	0	
		その他制限林計	239.74	0	0	239.74	0	0	
合計		5030.87	4771.5	0	239.74	13.26	6.37		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積				施 業 方法		
				皆 伐			択 伐		禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
筑北村	水かん	4ーろ、は、5ーい、ろ、は、に、8ーに、ほ、9ーと、ち、り、ぬ、る、10ーぬ、1032ーは、1033ーい、1034ーい、ろ、2013ーい、ろ、は、2014ーい、ろ、は、2015ーい、ろ、は、2016ーい、ろ、2017ーい、ろ、は、に、2041ーろ、は、に		699.62					1-3	
		小計	699.62	699.62	0	0	0	0		
	土流	3ーり、4ーい、ろ、は、に、5ーい、7ーい、11ーい、12ーい、16ーい、ろ、は、ほ、18ーは、20ーは、ほ、へ、と、21ーい、ほ、22ーと、23ーろ、24ーは、に、26ーは、27ーい、ろ、28ーい、ろ、は、に、ほ、へ、29ーは、に、30ーい、32ーに、と、33ーほ、34ーは、35ーい、ろ、は、に、ほ、36ーい、ろ、は、ほ、へ、37ーい、ろ、38ーろ、は、に、ほ、39ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、40ーろ、は、に、ほ、1001ーい、は、に、ほ、1002ーろ、は、に、ほ、へ、と、ち、1003ーい、ろ、ち、り、1004ーい、ろ、は、に、ほ、1005ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1006ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1007ーい、ろ、は、に、ほ、1008ーい、ろ、は、に、へ、1009ーい、ろ、に、へ、と、1010ーい、ほ、り、1011ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ぬ、る、を、1012ーほ、へ、と、ち、1013ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、1014ーろ、は、1015ーは、に、1016ーい、ろ、は、1018ーに、1023ーい、ろ、1024ーろ、は、1025ーろ、ち、り、1026ーへ、1027ーほ、1028ーい、と、1029ーい、ろ、は、ほ、へ、ぬ、る、1030ーい、ろ、1031ーい、ろ、と、ち、り、ぬ、1036ーる、2007ーは、2008ーい、ろ、に、2009ーい、は、2017ーろ、に、2018ーと、2020ーい、ろ、2024ーに、ほ、へ、2025ーい、2027ーち、2028ーい、ろ、は、に、2030ーい、ろ、2031ーい、ろ、は、2033ーい、は、へ、2043ーい、2044ーい、に、2045ーい、ろ、は、に、ほ、2047ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、を、わ、か、よ、2050ーほ、へ、2052ーほ、へ、2056ーい、ろ、2057ーは、に		1373.06						2-3
		1ーへ、と、2ーい、3ーほ、9ーほ、10ーろ、は、に、ほ、り、14ーは、15ーろ、20ーほ、へ、21ーろ、24ーは、に、28ーろ、ほ、へ、30ーほ、31ーい、32ーと、38ーに、ほ、39ーろ、1001ーい、1002ーろ、へ、ち、1003ーろ、に、ほ、へ、と、ち、り、1004ーに、1007ーい、ろ、1008ーは、に、ほ、1009ーろ、は、に、1010ーと、ち、り、1011ーい、ろ、1012ーい、に、1014ーろ、は、1015ーい、ろ、は、に、1016ーろ、は、1017ーい、ろ、1018ーい、ろ、は、に、1019ーい、ろ、は、1020ーい、ろ、1021ーい、1022ーい、ろ、は、に、1023ーい、ろ、は、に、1024ーい、ろ、1025ーへ、と、り、1026ーに、1027ーろ、は、1029ーち、り、ぬ、1030ーい、2007ーは、2009ーは、2011ーい、ろ、2018ーと、2025ーい、は、2027ーと、ち、2028ーい、ろ、に、2030ーい、ろ、2031ーい、は、2033ーい、は、へ、2043ーい、2050ーほ、へ、と					570.08			2-2
		28ーろ、は、に、29ーは、に、32ーと、35ーい、ろ、は、に、ほ、36ーい、ろ、は、に、ほ、へ、37ーい、ろ、38ーろ、は、39ーは、に、ほ、と、40ーほ、1009ーと、1014ーろ、は、1018ーに、1023ーい、ろ、2008ーい、ろ、2009ーい						57.87		2-1
		小計	2001.01	1373.06	0	0	570.08	57.87		
	土崩	9ーに、18ーろ、19ーい					1.22		3-1	
		小計	1.22	0	0	0	1.22	0		
	干害	22ーへ、と、ち、23ーい、ろ、は、2042ーは、2052ーに		85.53					4-2	
		2042ーい					4.09		4-1	
	落石	小計	89.62	85.53	0	0	4.09	0		
		1031ーり					0.24		7-2	
	水保	小計	0.24	0	0	0	0.24	0		
		2037ーい、ろ、は、に、ほ、2038ーは、に、ほ、2040ーい、ろ、は、に、2041ーい、ろ		155.62					28-2	
		2038ーい、ろ、2040ーは					34.57		28-1	
		小計	190.19	155.62	0	0	34.57	0		
	保安林計		2981.9	2313.83	0	0	610.2	57.87		
	砂防	1003ーに、2042ーい、2046ーい、は、2054ーは				10.69			50-1	
		3ーは、5ーい、6ーい、29ーい、ろ、2017ーに					4.5			
	小計		15.19	0	0	10.69	4.5	0		
	その他制限林計		15.19	0	0	10.69	4.5	0		
合計		2997.09	2313.83	0	10.69	614.7	57.87			

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関係林小班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
大町市	水かん	50ーい、ろ、は、90ーに、121ーろ、に、122ーは、に、ほ、124ーろ、は、に、ほ、125ーい、ろ、は、に、ほ、126ーい、ろ、は、に、ほ、128ーへ、133ーに、134ーは、に、ほ、137ーい、ろ、は、に、ほ、138ーい、ろ、は、に、ほ、139ーい、ろ、は、に、ほ、へ、140ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、141ーい、は、に、ほ、へ、と、142ーい、ろ、は、に、143ーい、ろ、は、に、144ーほ、148ーい、ろ、は、に、149ーい、ろ、は、150ーい、ろ、151ーい、ろ、は、に、152ーい、153ーい、ろ、154ーい、ろ、155ーい、2055ーり、2056ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、2057ーろ、は、に、ほ、へ、と、ち、2060ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と		1320.04					1-3
		小計	1320.04	1320.04	0	0	0	0	
	土流		2ーい、ろ、3ーい、ろ、は、に、4ーい、ろ、は、5ーい、6ーは、10ーは、11ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、12ーい、ろ、は、に、ほ、22ーへ、24ーい、ろ、29ーは、に、36ーろ、52ーに、53ーい、ろ、55ーい、79ーた、102ーは、104ーい、は、105ーは、に、106ーへ、107ーろ、は、108ーほ、109ーい、ろ、は、ほ、へ、110ーろ、は、111ーろ、は、113ーは、に、114ーは、ほ、123ーい、ろ、に、ほ、124ーい、ろ、127ーい、ろ、は、に、ほ、へ、128ーい、ろ、134ーは、1003ーに、1004ーろ、1006ーい、1011ーと、1023ーい、1025ーい、ほ、へ、1026ーは、に、ほ、へ、1028ーい、ろ、は、に、ほ、へ、1029ーい、ろ、1031ーい、ろ、1038ーほ、1047ーろ、は、1048ーは、1049ーは、1050ーに、1054ーほ、1055ーは、に、ほ、へ、1056ーほ、2001ーち、2002ーに、ほ、2003ーい、ろ、2004ーほ、2005ーへ、2006ーい、ろ、は、2030ーい、2033ーい、ろ、は、2035ーい、2036ーい、2039ーい、2041ーほ、へ、2046ーい、2047ーは、2048ーち、り、2051ーろ、に、2063ーろ、2064ーは、2075ーろ、2078ーは、2081ーは、ち、2083ーい、2084ーる、2086ーに、2092ーに、ほ、2093ーい、ろ、に、2101ーに、2102ーい、2103ーい、2104ーろ、2106ーろ、は、2108ーは、2110ーろ、は、に、2111ーい、ろ、は、に、2116ーい、2117ーに、ほ、2119ーい、ろ、は、に、ほ、へ、2120ーい、2121ーろ、は、2122ーろ		1458.38				
		2ーろ、8ーへ、9ーは、15ーい、は、18ーほ、19ーい、20ーい、ろ、は、に、ほ、へ、21ーい、ろ、は、ほ、22ーへ、と、ち、24ーい、ろ、36ーは、39ーは、に、45ーは、ち、り、ぬ、52ーは、に、53ーい、ろ、は、55ーろ、は、60ーい、66ーろ、75ーは、76ーは、77ーい、ち、ぬ、79ーた、81ーに、82ーは、84ーい、に、88ーほ、へ、と、ち、93ーは、94ーろ、は、に、96ーは、97ーろ、に、へ、ぬ、104ーに、ほ、105ーほ、へ、106ーほ、107ーい、ろ、は、に、へ、110ーは、に、ほ、へ、と、111ーろ、は、ほ、へ、と、112ーい、ろ、は、に、113ーは、に、114ーい、ろ、は、ほ、へ、115ーは、ほ、118ーに、ほ、121ーに、122ーい、ほ、123ーろ、124ーい、は、127ーろ、に、134ーは、135ーほ、1003ーい、ろ、は、に、1004ーい、ろ、は、に、1005ーい、ほ、へ、1006ーい、1010ーい、は、に、1013ーほ、へ、1014ーろ、に、1015ーい、は、1016ーい、1017ーい、ろ、に、ほ、1018ーい、ろ、は、1019ーろ、は、ほ、1020ーい、ろ、1021ーい、1022ーほ、1023ーい、は、1025ーろ、は、に、1027ーい、ろ、は、に、ほ、へ、ち、り、1029ーい、は、1030ーは、に、1031ーろ、は、に、ほ、へ、1032ーろ、は、1035ーい、は、1040ーろ、1042ーい、1043ーい、ほ、1044ーい、ろ、は、に、1045ーは、1047ーろ、1048ーろ、1049ーに、1050ーい、ろ、1051ーい、は、1053ーろ、は、に、ほ、へ、1054ーい、1055ーい、1056ーい、ろ、は、に、2001ーい、は、ほ、へ、ち、2002ーい、に、ほ、2003ーろ、は、2004ーに、ほ、2010ーほ、2033ーに、2036ーろ、2037ーほ、2039ーい、2040ーは、2041ーい、ろ、2045ーほ、2047ーほ、2050ーり、2051ーろ、に、2052ーい、ろ、ほ、2054ーに、2065ーほ、2067ーい、2071ーい、ろ、は、2072ーい、ろ、は、に、2073ーい、に、ほ、と、2074ーろ、は、に、ほ、2075ーい、ろ、に、ほ、2076ーい、ろ、は、2077ーほ、2078ーい、ろ、は、2079ーろ、は、ほ、2080ーは、に、2081ーい、は、に、ち、2086ーに、2088ーい、2089ーと、2090ーろ、2091ーい、は、に、ほ、へ、2092ーい、ろ、は、2093ーは、に、2095ーへ、2096ーい、ろ、2097ーに、2098ーほ、へ、2100ーは、2101ーろ、は、2102ーほ、2103ーい、ろ、は、2104ーい、ろ、に、ほ、2105ーほ、へ、と、2106ーい、ろ、ほ、ち、り、2108ーは、2109ーり、2110ーい、に、2115ーい、ろ、2116ーに、2123ーい、に					953.52	2-2	
		1003ーは、1004ーは、1042ーい、2040ーい、2104ーほ、2105ーほ、2122ーろ							1
	小計	2412.9	1458.38	0	0	953.52	1		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方法	
				皆 伐			択 伐	禁 伐		
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
大町市	土崩	102ーは		2.79						
	2051ーほ					0.58		3-1		
	小計	3.37	2.79	0	0	0.58	0			
	干害	80ーに、1002ーは、1003ーい、ろ、に、ほ、2038ーい、ろ、は		46.25					4-2	
		80ーに					0.16		4-1	
		小計	46.41	46.25	0	0	0.16	0		
	落石	1033ーほ、へ、1037ーい、と、2080ーろ					7.62		7-2	
		1033ーほ						0.37	7-1	
		小計	7.99	0	0	0	7.62	0.37		
	なだれ	49ーに、51ーい					1.33		8-2	
		小計	1.33	0	0	0	1.33	0		
	流保	1047ーろ、1048ーい、ろ					7.96		29-2	
		小計	7.96	0	0	0	7.96	0		
	干保	114ーに					3.75		31-1	
		小計	3.75	0	0	0	3.75	0		
			保安林計	3803.75	2827.46	0	0	974.92	1.37	
	都風	15ーろ、は、に、18ーろ、は、に、ほ、42ーは、43ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、44ーい、ろ、は、に、45ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、り、ぬ、る、46ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、47ーい、は、に、62ーい、ろ、は、に、64ーい、に、ほ、へ、65ーい、ろ、は、に、ほ、へ、66ーい、ろ、は、に、67ーい、は、に、68ーろ、は、69ーろ、71ーい、ろ、72ーい、ろ、73ーへ、81ーに、84ーい、ろ、は、に、85ーろ				618.91			61-2	
			15ーは、18ーほ、45ーは、ち、り、ぬ、66ーろ、84ーい、に					27.04		61-1
			小計	645.95	0	0	618.91	27.04	0	
	急傾斜	100ーと、101ーい			0.33					
		83ーち、115ーい、ろ、2051ーい					1.67		63-1	
		小計	2	0	0.33	0	1.67	0		
	砂防	1ーい、2ーい、6ーい、ろ、7ーい、ろ、は、8ーい、ろ、は、に、ほ、9ーい、ろ、に、10ーい、ろ、13ーい、ろ、は、に、14ーい、ろ、は、に、ほ、15ーい、ろ、に、ほ、16ーい、ろ、は、17ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、18ーい、ろ、19ーい、ろ、は、に、20ーい、ろ、は、ほ、へ、21ーに、ほ、22ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、23ーい、ろ、は、に、ほ、へ、25ーい、ろ、は、に、ほ、へ、26ーい、ろ、27ーい、ろ、は、28ーい、ろ、は、29ーい、ろ、に、ほ、30ーい、ろ、は、に、ほ、31ーい、ろ、は、に、32ーい、ろ、は、に、ほ、へ、33ーい、ろ、は、に、ほ、34ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、35ーい、ろ、は、に、36ーい、に、37ーい、へ、41ーい、ろ、50ーろ、は、に、ほ、81ーと、82ーい、ろ、は、に、ほ、83ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、88ーい、ろ、は、に、り、ぬ、91ーい、100ーに、ほ、101ーい、ろ、116ーい、ろ、117ーい、118ーほ、120ーい、ろ、121ーろ、135ーと、136ーい、138ーほ、140ーへ、と、ち、り、145ーい、ろ、146ーへ、147ーは、に、148ーい、ろ、は、1013ーに、ほ、1015ーに、1022ーは、1032ーに、1040ー			1957.9				50-2	
			2ーい、ろ、3ーい、ろ、は、に、4ーい、ろ、は、5ーい、6ーは、10ーは、11ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、12ーい、ろ、は、に、ほ、15ーろ、は、に、18ーろ、は、に、ほ、22ーへ、24ーい、ろ、29ーは、に、36ーろ、121ーろ、141ーは、150ーろ、154ーい、2010ーは、ほ、2041ーわ、2047ーに、ほ、へ、2048ーほ、と、ち、2049ーろ、は、に、ほ、2050ーい、ち、り、2051ーほ、へ、2052ーい、ろ、に、と、ち、ぬ、る、2053ーろ、は、2054ーは、に、2058ーほ、2059ーい、ろ、は、2060ーへ、と、ち、2061ーい、ろ、は、に、へ、2062ーは、に、ほ、2063ーろ、は、に、ほ、2065ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、2066ーほ、2068ーい、へ、2073ーろ、と、2074ーろ、2075ーろ、2079ーい、は、ほ、2083ーい、に、ほ、2084ーは、と、2085ーろ、は、ほ、へ、2086ーほ、へ、2088ーい、は、に、ほ、2089ーは、ほ、へ、2090ーい、ろ、は、2092ーに、ほ、2093ーろ、に、2095ーろ、ほ、へ、2096ーい、ろ、は、ほ、2097ーい、ろ、は、に、ほ、2098ーろ、に、ほ、へ、と、2102ーい、ほ、2103ーい、ろ、2104ーい、ろ、に、ほ、2105ーほ、へ、と、2106ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、2107ーい、ろ、は、に、2108ーい、ろ、は、に、へ、2118ーに、ほ、2121ーろ、2122ーい、ろ、に、ほ				1074.21		50-1	
			2ーろ、8ーへ、9ーは、15ーい、は、18ーほ、19ーい、20ーい、ろ、は、に、ほ、21ーい、ろ、は、ほ、22ーへ、34ーへ、36ーは、82ーは、88ーほ、へ、と、ち、1022ーは、1031ーへ、1032ーほ、2010ーほ、2047ーほ、2050ーり、2054ーに、2073ーい、は、に、と、2074ーろ、ほ、2079ーは、ほ、2098ーへ、2102ーほ、2103ーい、ろ、は、2104ーい、ろ、ほ、2105ーほ、へ、と、2106ーい、ろ、ほ、ち、2108ーは					235.79		
			2104ーほ、2105ーほ						0.23	
			小計	3268.13	0	1957.9	1074.21	235.79	0.23	
			その他制限林計	3916.08	0	1958.23	1693.12	264.5	0.23	
			合計	7719.83	2827.46	1958.23	1693.12	1239.42	1.6	

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方法	
				皆 伐			択 伐	禁 伐		
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有				
池田町	土流	1ーに、ほ、2ーい、3ーい、へ、4ーい、6ーろ、14ーに、ほ、15ーに、18ーへ、22ーろ、は、に、23ーい、28ーに、へ、30ーに、31ーい、32ーい、ろ、34ーい、ろ、は、35ーい、36ーろ、37ーい、ろ、38ーい、ろ、は、		208.69					2-3	
		1ーろ、に、ほ、2ーへ、3ーい、に、へ、4ーは、に、5ーい、ろ、6ーい、ろ、は、に、7ーろ、8ーい、ろ、は、9ーい、ろ、は、10ーは、へ、11ーい、は、に、12ーい、ろ、は、13ーい、ろ、は、に、14ーい、ろ、に、15ーい、ろ、へ、16ーい、は、17ーほ、18ーろ、に、ほ、19ーい、ろ、は、に、21ーに、ほ、22ーい、に、23ーい、ろ、に、へ、24ーに、25ーい、ろ、26ーい、に、ほ、28ーは、に、ほ、へ、29ーい、ろ、は、へ、と、30ーい、ろ、は、に、31ーい、ろ、は、ほ、32ーい、ろ、は、33ーに、34ーは、35ーい、ろ、は、に、36ーい、37ーは、38ーへ、39ーは、41ーほ、へ、42ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち					326.7		2-2	
		1ーろ、6ーに、8ーい、は、10ーへ、11ーに、12ーい、ろ、は、13ーい、ろ、は、19ーは、22ーい、は、23ーろ						15.25	2-1	
		小計	550.64	208.69	0	0	326.7	15.25		
	土崩	21ーい、ほ、29ーへ、ち、30ーい、31ーろ、39ーは					8.43		3-1	
	小計	8.43	0	0	0	8.43	0			
	干害	34ーろ		0.03					4-2	
	小計	0.03	0.03	0	0	0	0			
	干保	43ーへ、と、ち、り、ぬ					58.34		31-1	
	小計	58.34	0	0	0	58.34	0			
	保安林計		617.44	208.72	0	0	393.47	15.25		
	砂防	1ーい、ろ、は、に、ほ、5ーは、に、10ーろ、は、ほ、へ、11ーい、ろ、12ーは、に、13ーい、14ーほ、15ーい、18ーい、ほ、19ーろ、ほ、へ、と、20ーい、ろ、は、21ーい、ろ、は、に、ほ、22ーに、23ーい、ろ、は、に、ほ、へ、24ーい、ろ、は、に、25ーろ、は、26ーは、41ーい、ろ、は、に、42ーほ			198.32				50-2	
		23ーい、に、へ				1.3			50-1	
		5ーは、10ーろ、へ、12ーは、21ーい、に、ほ、23ーい、ろ、に、25ーろ					17.76			
		23ーろ						0.09		
		小計	217.47	0	198.32	1.3	17.76	0.09		
		その他制限林計		217.47	0	198.32	1.3	17.76	0.09	
		合計		834.91	208.72	198.32	1.3	411.23	15.34	
松川村	水かん	8ーへ、と、ち		43.73					1-3	
		小計	43.73	43.73	0	0	0	0		
	土流	7ーい、ろ、11ーへ、13ーい、ろ、は、14ーほ、15ーい、ろ、16ーい、ろ、に、ほ、17ーい、ろ、は、に、18ーほ、へ、2ーい、に、ほ、4ーに、7ーい、ろ、は、9ーい、11ーに、ほ、へ、13ーい、ろ、14ーほ、15ーい、ろ、は、16ーい、ほ、へ、17ーい、は、18ーい、は、19ーは、に、23ーろ、は、ほ、25ーに		95.06				130.37		2-2
		小計	225.43	95.06	0	0	130.37	0		
		干保	8ーい、ろ、は、に、ほ、9ーい、ろ、10ーは、に、ほ					105.4		31-1
	小計	105.4	0	0	0	105.4	0			
	保安林計		374.56	138.79	0	0	235.77	0		
	砂防	21ーい、ろ、は			5.82				50-2	
		7ーに				0.25			50-1	
		7ーは、8ーい、10ーは					4.34			
		小計	10.41	0	5.82	0.25	4.34	0		
	その他制限林計		10.41	0	5.82	0.25	4.34	0		
	合計		384.97	138.79	5.82	0.25	240.11	0		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施 業 方 法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
白馬村	水かん	11ーは、に、ほ、ち、14ーろ、18ーる、を、100ーは、に、ほ、102ーい、ろ、は、103ーい、ろ、は、に、ほ、へ、104ーい、ろ、105ーは、106ーい、ろ、は、に、へ、と、ち、り、107ーい、ろ、121ーは、に、ほ、へ、と、122ーに、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、を、わ、か、124ーと、り、125ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、		908.97					1-3
		11ーは、に、105ーは、106ーり、107ーい、ろ					14.28		1-2
		小計	923.25	908.97	0	0	14.28	0	
	土流	11ーろ、20ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、24ーは、35ーろ、は、に、ほ、へ、36ーろ、は、に、ほ、94ーろ、107ーに、110ーろ、111ーろ、は、112ーい		217.53					2-3
		10ーは、20ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、34ーろ、は、36ーへ、37ーい、43ーろ、51ーい、62ーは、66ーち、80ーに、ほ、93ーに、ほ、94ーい、ろ、は、に、96ーい、ろ、は、98ーろ、107ーは、109ーい、は、に、へ、り、110ーい、111ーは、117ーい、120ーへ、123ーろ、ほ、へ、130ーい、と、131ーい、は					234.24		2-2
		小計	451.77	217.53	0	0	234.24	0	
	土崩	51ーろ、95ーろ、は、に、117ーを、118ーろ、130ーと					19.08		3-1
		小計	19.08	0	0	0	19.08	0	
	干害	26ーと、ち、り					2.21		4-1
		小計	2.21	0	0	0	2.21	0	
	水害	58ーい、65ーろ、81ーち					1.57		6-1
		小計	1.57	0	0	0	1.57	0	
	落石	94ーは					1.31		7-2
		小計	1.31	0	0	0	1.31	0	
	なだれ	40ーろ、95ーは、に					31.9		8-2
		小計	31.9	0	0	0	31.9	0	
	流保	68ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、69ーい、ろ、は、に、ほ、へ、70ーい、ろ、は、に、ほ、へ、71ーい、72ーい、ろ、73ーい、74ーい、75ーい、76ーい、ろ、は、77ーい、ろ、78ーい、ろ						1505.19	29-1
		小計	1505.19	0	0	0	0	1505.19	
		干保	26ーと、ち、り					16.72	
		小計	16.72	0	0	0	16.72	0	
		保安林計	2953	1126.5	0	0	321.31	1505.19	
	国立特	26ーと、ち、り、70ーい、ろ、は、に、ほ、へ、71ーい、72ーい、ろ、73ーい、74ーい、75ーい、76ーい、						1145.84	51-1
		小計	1145.84	0	0	0	0	1145.84	
	国立1	53ーい、ろ、は、55ーに、ほ、ち、67ーは					78.51		52-2
		62ーち、68ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、69ーい、ろ、は、に、ほ、へ、77ーい、ろ、78ーい、ろ						361.21	52-1
		小計	439.72	0	0	0	78.51	361.21	
国立2	45ーい、ろ、は、46ーい					53.19		53-2	
	77ーい						1.85	53-1	
	小計	55.04	0	0	0	53.19	1.85		
砂防	38ーは、に、ほ、46ーろ、は、に、47ーい、ろ、は、に、ほ、54ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、を、か、55ーい、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、56ーい、ろ、は、に、112ーい、に、ほ、			541.16				50-2	
	11ーに、47ーろ、54ーわ、112ーに				53.25			50-1	
	10ーは、11ーに、14ーへ、21ーい、36ーい、37ーい、38ーは、に、ほ、41ーと、42ーは、45ーい、ろ、は、に、46ーい、53ーい、ろ、は、55ーに、ほ、ち、96ーい、ろ、は、126ーろ、ち、り、127ーい					223.84			
	小計	818.25	0	541.16	53.25	223.84	0		
	その他制限林計	2458.85	0	541.16	53.25	355.54	1508.9		
	合計	5411.85	1126.5	541.16	53.25	676.85	3014.09		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
小谷村	水かん	16－い、ろ、は、に、ほ、へ、19－は、に、ほ、20－い、ろ、35－へ、37－い、ろ、は、に、ほ、38－い、に、39－い、ろ、40－い、ろ、は、44－い、ろ、は、に、45－ほ、47－い、48－い、ろ、は、に、ほ、49－ろ、は、50－は、に、ほ、へ、と、ち、り、る、60－ろ、は、に、ほ、65－い、ろ、66－い、ろ、は、に、ほ、へ、67－い、ろ、は、に、ほ、68－い、ろ、92－に、94－い、ろ、は、95－い、ろ、は、に、96－い、ろ、は、に、ほ、97－い、ろ、は、98－い、ろ、133－ろ、は、に、ほ、へ、178－ろ、は、179－い、は、に、180－い、ろ、は、に、181－い、ろ、は、に、ほ、へ、182－い、ろ、は、に、183－い、ろ、は、に、184－い、ろ、は、185－い、ろ、186－い、ろ、は、187－い、ろ、は、に、189－い、ろ、190－い、ろ、は、191－い、ろ、は、192－い、ろ、は、に、ほ、193－い、ろ、は、194－い、は、に、195－い、ろ、は、196－い、ろ、204－い、ろ、は、に、ほ、205－い、ろ、は、に、ほ、へ、と、206－い、ろ、は、207－い、ろ、は、208－い、209－い、ろ、は、に、210－い、211－い、ろ、は、に、ほ、212－い、ろ、は、に、ほ		3927.47					1-3
		16－ろ、17－い、38－い、ろ、は、39－い、ろ、49－ろ、50－ほ、へ、67－ほ、68－い、ろ、87－は、180－ろ、182－は、に、183－い、ろ、は、184－は、194－い、ろ、は、195－は、196－い、221－い					416.85		1-2
		小計	4344.32	3927.47	0	0	416.85	0	
	土流	2－に、23－と、24－い、30－い、に、32－ろ、33－い、ろ、に、ほ、42－ろ、へ、45－い、46－ろ、53－ろ、57－い、は、ち、58－ろ、75－は、83－い、ろ、87－い、111－ろ、は、113－は、118－ろ、119－い、ろ、123－は、141－い、ろ、は、に、ほ、へ、と、143－へ、144－ろ、は、150－い、ろ、へ、152－い、ろ、は、155－ろ、156－い、ろ、は、171－ろ、179－ろ、200－に、213－い、ろ、は、に、214－い、ろ、は、215－い、216－い、217－い		655.34					2-3
		2－ろ、は、に、4－ろ、7－ろ、23－い、は、と、26－ほ、27－ろ、は、29－ろ、30－い、に、31－い、は、32－ろ、は、33－ほ、へ、34－い、35－に、ほ、り、36－ろ、に、ほ、へ、41－ほ、42－い、へ、51－へ、52－へ、53－い、ろ、ほ、54－に、と、57－い、ち、58－ろ、は、59－ろ、に、と、ち、る、61－い、ろ、74－ろ、に、75－ろ、は、78－は、82－い、ろ、83－い、84－ろ、は、に、85－い、86－い、87－い、は、に、88－ろ、は、ほ、へ、と、89－い、ろ、は、90－い、ろ、は、に、91－い、ろ、92－い、ろ、は、93－い、ろ、は、に、ほ、94－い、ろ、は、95－は、に、105－は、に、107－は、111－ろ、112－い、113－は、114－い、116－い、ろ、は、117－い、118－い、119－い、123－は、に、127－い、128－は、に、ほ、143－と、146－ろ、と、ち、147－ろ、に、148－ほ、150－い、ろ、は、に、ほ、へ、151－ろ、152－に、ほ、153－い、ろ、は、に、154－い、ろ、155－い、ろ、156－は、157－ろ、は、158－い、ろ、159－は、に、161－い、162－い、ほ、163－い、165－い、166－は、167－い、168－ろ、171－ろ、172－ろ、に、173－は、に、174－は、175－は、に、176－ほ、177－い、188－い、ろ、は、200－い、に、202－ろ、203－は、に					948.01	2-2	
		156－ほ						0.96	2-1
		小計	1604.31	655.34	0	0	948.01	0.96	
	土崩	23－い、32－い、59－に、112－い、162－い、163－い					14.64		3-1
		小計	14.64	0	0	0	14.64	0	
	落石	24－ろ					0.3		7-2
109－は、に							17.42	7-1	
小計		17.72	0	0	0	0.3	17.42		
なだれ	1－ほ、2－い、ろ、18－ろ、23－と、26－と、28－い、29－い、31－い、ろ、は、に、32－い、36－い、51－は、53－い、ろ、54－へ、と、55－い、58－ろ、59－は、に、ほ、61－ろ、は、74－は、75－い、ろ、は、に、76－ろ、は、77－い、83－ろ、88－い、111－は、に、138－へ、143－ろ、160－は、162－い、164－ほ、165－い、167－い、ろ、173－ろ、に					128.94		8-2	
	31－ろ、143－は、に、156－い						12.35	8-1	
	小計	141.29	0	0	0	128.94	12.35		
保健	10－い、は、11－い、ろ、12－い					87.15		9-1	
	小計	87.15	0	0	0	87.15	0		
水保	10－い、は、11－い					81.81		28-1	
	10－ろ、11－は、12－い、ろ、は、に、ほ						283.35		
	小計	365.16	0	0	0	81.81	283.35		
国立特	保安林計	6574.59	4582.81	0	0	1677.7	314.08		
	10－ろ、11－は、12－ろ、は、に、ほ						270.1	51-1	
	小計	270.1	0	0	0	0	270.1		
国立1	10－い、は、11－い、ろ、12－い、17－い					299.81		52-2	
	12－い						13.25	52-1	
	小計	313.06	0	0	0	299.81	13.25		

【表 7-3】 制限林の伐採方法別所在及び面積表

(単位 面積 : ha)

所在市町村	制限林の種類	森 林 の 所 在 (関 係 林 小 班)	面 積	伐 採 方 法 別 面 積					施業方法
				皆 伐			択 伐	禁 伐	
				皆 伐	伐 区 無	伐 区 有			
小谷村	国立2	16-ろ、194-い、は、に、195-い、ろ、は、196-い、ろ、197-ろ、は、198-い、ろ、199-は、200-に、201-い、ろ、は、202-い、は、に、ほ				535.67			53-3
		7-い、ろ、8-い、ろ、9-い、ろ、に、16-ろ、154-い、ろ、194-い、ろ、は、195-は、196-い、197-い、ろ、は、198-い、ろ、199-い、ろ、は、200-い、ろ、は、に、202-ろ、218-ろ					680.4		53-2
		小計	1216.07	0	0	535.67	680.4	0	
		9-は			51.97				54-4
	国立3	小計	51.97	0	51.97	0	0	0	
		急傾斜	23-へ、26-い、28-い、52-ほ、75-い、ろ、85-に、114-ろ					5.02	
	小計		5.02	0	0	0	5.02	0	
	砂防	112-ろ、164-い、166-は			6.58				50-2
		32-ほ、へ、33-は、に、ほ、34-ろ、は、に、35-い、は、61-い、ろ、123-に				131.46			50-1
		33-へ、62-い、は、93-い、112-ろ、は、113-い、ろ、は、137-る、138-い、146-ろ、150-は、に、160-ほ、164-ほ、165-い、166-ろ、167-ろ、219-い、220-ろ					49.61		
		小計	187.65	0	6.58	131.46	49.61	0	
		その他制限林計		2043.87	0	58.55	667.13	1034.84	283.35
	合計		8618.46	4582.81	58.55	667.13	2712.54	597.43	

Ⅲ 参 考 資 料

1	計画量の明細・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－1
2	森林計画区の概況・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－6
3	森林の現況・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－9
4	林業の動向・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－24
5	その他・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－28

(付) 利用者のために

付属資料の利用にあたって・・・・・・・・	Ⅲ－31
用語の説明・・・・・・・・・・・・・・・・	Ⅲ－35

1 計画量の明細

ここでは本編「Ⅱ 計画事項 第6 計画量等」に関わる考え方等の詳細について記載します。

(1) 全国森林計画に即した計画量の考え方

本編「Ⅱ 計画事項 第6 計画量等」のうち、伐採及び造林に関する計画数量は全国森林計画において各広域流域単位での計画量が明記されています。

○全国森林計画（農林水産省 令和5年10月閣議決定）に基づく計画量

広域流域または 森林計画区	伐採立木材積(単位:千 m^3) ^{注1}			造林面積(単位:ha) ^{注1}	
	総数	主伐	間伐	人工造林	天然更新
全国 ^{注2}	888,990 【59,266】	544,580 【36,305】	344,410 【22,961】	1,375,000 【91,667】	792,000 【52,800】
信濃川 ^{注2}	15,620 【1,041】	7,340 【489】	8,280 【552】	23,000 【1,533】	13,000 【867】
中部山岳	1,762 【176】	491 【49】	1,271 【127】	2,780 【278】	1,160 【116】

注) 1 【】内は1年あたりの計画量を示す。

2 全国森林計画（農林水産省 令和5年10月閣議決定）より抜粋

なお、中部山岳地域森林計画区の ha 当たりの材積を考慮し、伐採立木材積から算出した造林面積は以下のとおりです。

○全国森林計画の伐採立木材積に基づく推定造林面積

森林計画区	伐採立木材積(単位:千 m^3) ^{注1}			推定造林面積(単位:ha) ^{注1}
	総数	主伐	間伐	人工造林・天然更新
中部山岳	1,762 【176】	491 【49】	1,271 【127】	1,228 【123】

注) 1 【】内は1年あたりの計画量を示す。

2 流域における樹種構成を考慮し、400 m^3/ha として算出

推定造林面積 1,228haに対し、全国森林計画の造林面積計画量の合計は 3,940ha（人工造林面積 2,780haおよび天然更新 1,160ha）となっています。この数値から全国森林計画では、森林資源量を鑑み森林齢級の平準化等を目的とした計画であることが推定できます。

これらの状況を考慮し、全国森林計画に即して地域森林計画は内容を編成する必要があることから、全国森林計画において計画量が明記されているものについては、全国森林計画に即すように計画量の補正を行っています。

○中部山岳地域森林計画における計画量

森林計画区	伐採立木材積(単位:千 m^3) ^{注1}			造林面積(単位:ha) ^{注1}	
	総数	主伐	間伐	人工造林	天然更新
中部山岳	1,425 【143】	408 【41】	1,017 【102】	2,224 【222】	928 【93】

注) 1 【】内は1年あたりの計画量を示す。

(2) 長野県森林づくり指針による計画量

長野県では、概ね100年先の本県の森林のあるべき姿を実現するために、県政や県民、森林所有者、事業者等が取り組むべき長期の森林づくりに関する方向性を明らかにし、今後10年間に行う県の施策の基本的な展開方向を定める長野県森林づくり指針を策定しています。この長野県森林づくり指針では、木材生産量として令和9年度に830千 m^3 、令和14年度に880千 m^3 の数値目標を定めており、森林・林業の実態を考慮した目標値となっています。

以下に長野県森林づくり指針の目標値から算出した中部山岳地域の目標値を示します。この数値は、今後の目標達成に向けて各指標の進捗状況を管理するため、地域別に目標値を振り分けたものです。地域森林計画における計画量は、この数値と整合を図ることを基本としていますが、(1)に示すとおり、全国森林計画に即す数値となるよう補正を行っています。

なお、長野県森林づくり指針に基づく地域別目標値は、検討段階のものであることから、参考値として提示するものです。

○長野県森林づくり指針から算出した中部山岳地域の参考目標値(令和8年度～令和12年度)

森林計画区	伐採立木材積(単位:千 m^3) ^{注1}			造林面積(単位:ha) ^{注1}
	総数	主伐	間伐	人工造林
中部山岳	568 【114】	204 【41】	364 【73】	510 【102】

注) 1 【】内は1年あたりの計画量を示す

○中部山岳地域森林計画における計画量の考え方総括表

計画事項	区分	全国森林計画に基づく計画量 [略称: 国計画量] ($\pm 20\%$)	森林づくり指針に基づく計画量	地域森林計画の計画量	備考
①伐採立木材積 (m^3)	主伐材積	245,400 (196～294千 m^3)	204,000	204,000	「森林づくり指針」人工造林目標面積を主伐面積に換算した数値を採用 (400 m^3/ha で換算)
	面積換算値 (400 m^3/ha) での相当面積	614ha (491～736ha)	510ha	510ha	
	間伐材積	635,600 (508～751千 m^3)	364,000	508,000	「森林づくり指針」間伐目標面積を材積に換算したところ、国計画量を下回ったため、国計画量の下限値を採用
	面積換算値 (70 m^3/ha) での相当面積	9,080ha (7,264～10,896ha)	5,200ha	7,264ha	
	計	881,000	568,000	712,000	
②間伐面積 (ha)		—	5,195	5,195	「森林づくり指針」間伐目標面積を採用
③造林面積 (ha)	人工造林	1,140 (1,112～1,668)	510	1,112	「森林づくり指針」人工造林目標面積では国計画量を大幅に下回るため、国計画量下限値を採用
	天然更新	580 (464～696)	—	464	造林面積の計画量が主伐の計画量を上回っており、天然更新が見込まれる面積は小さいため、国計画量の下限値を採用
	計	1,720 (1,576～2,364)	—	1,576	

長野県森林づくり指針では、市町村森林整備計画において定められる「特に効率的な施業が可能な森林」を林業経営に適した森林の中心として位置付け、主伐・再生林の推進を図っています。

地域森林計画の計画量及び長野県森林づくり指針の目標達成に向け、各地域の主伐・再生林の目標達成に向けた取組みに活用するため、「特に効率的な施業が可能な森林」の条件（県基準）に該当する面積及び位置図を下記のとおり示します。

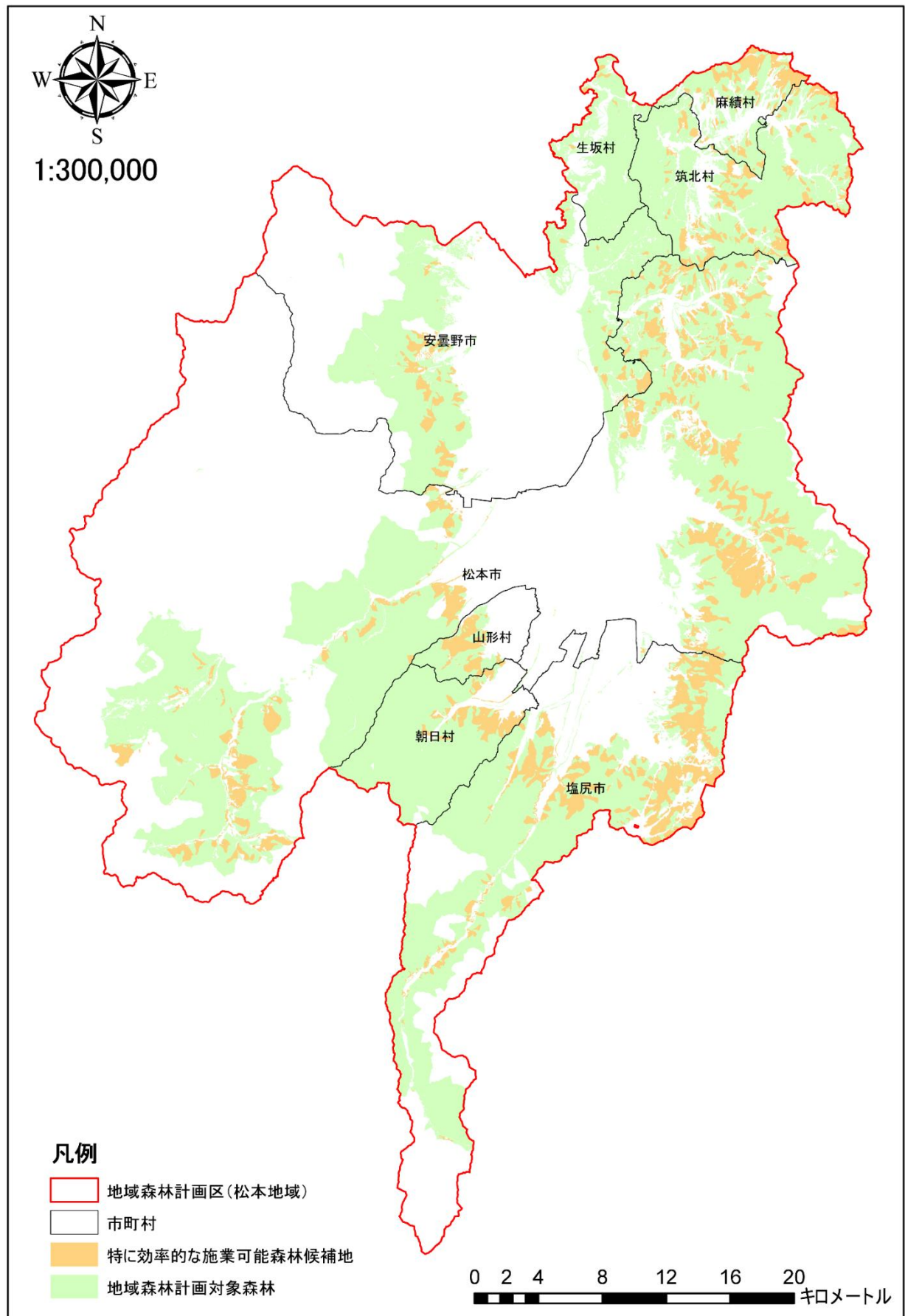
○参考：「特に効率的な施業が可能な森林」の条件（県基準）に該当する森林の面積及び市町村森林整備計画における設定状況（令和7年9月1日時点）

地域振興局	市町村	地域森林計画対象森林面積(A)	特に効率的な施業が可能な森林の区域面積				
			県基準に該当する面積(B)	B/A	市町村森林整備計画が定める面積(C)	計画率(C/B)	C/A
松本	松本市	38,378 ha	6,174 ha	16%	678 ha	11%	2%
	塩尻市	15,865 ha	3,568 ha	22%	4,543 ha	127%	29%
	安曇野市	10,454 ha	938 ha	9%	382 ha	41%	4%
	麻績村	2,337 ha	755 ha	32%	768 ha	102%	33%
	生坂村	3,058 ha	49 ha	2%	0 ha	0%	0%
	山形村	1,273 ha	445 ha	35%	285 ha	64%	22%
	朝日村	6,085 ha	628 ha	10%	520 ha	83%	9%
	筑北村	8,245 ha	1,300 ha	16%	107 ha	8%	1%
(地域)小計		85,696 ha	13,858 ha	16%	7,283 ha	53%	8%
北アルプス	大町市	19,117 ha	4,564 ha	24%	817 ha	18%	4%
	池田町	2,143 ha	330 ha	15%	340 ha	103%	16%
	松川村	1,686 ha	254 ha	15%	608 ha	239%	36%
	白馬村	10,599 ha	1,530 ha	14%	312 ha	20%	3%
	小谷村	16,441 ha	1,252 ha	8%	15 ha	1%	0%
(地域)小計		49,986 ha	7,930 ha	16%	2,092 ha	26%	4%
(森林計画区)計		135,683 ha	21,787 ha	16%	9,375 ha	43%	7%

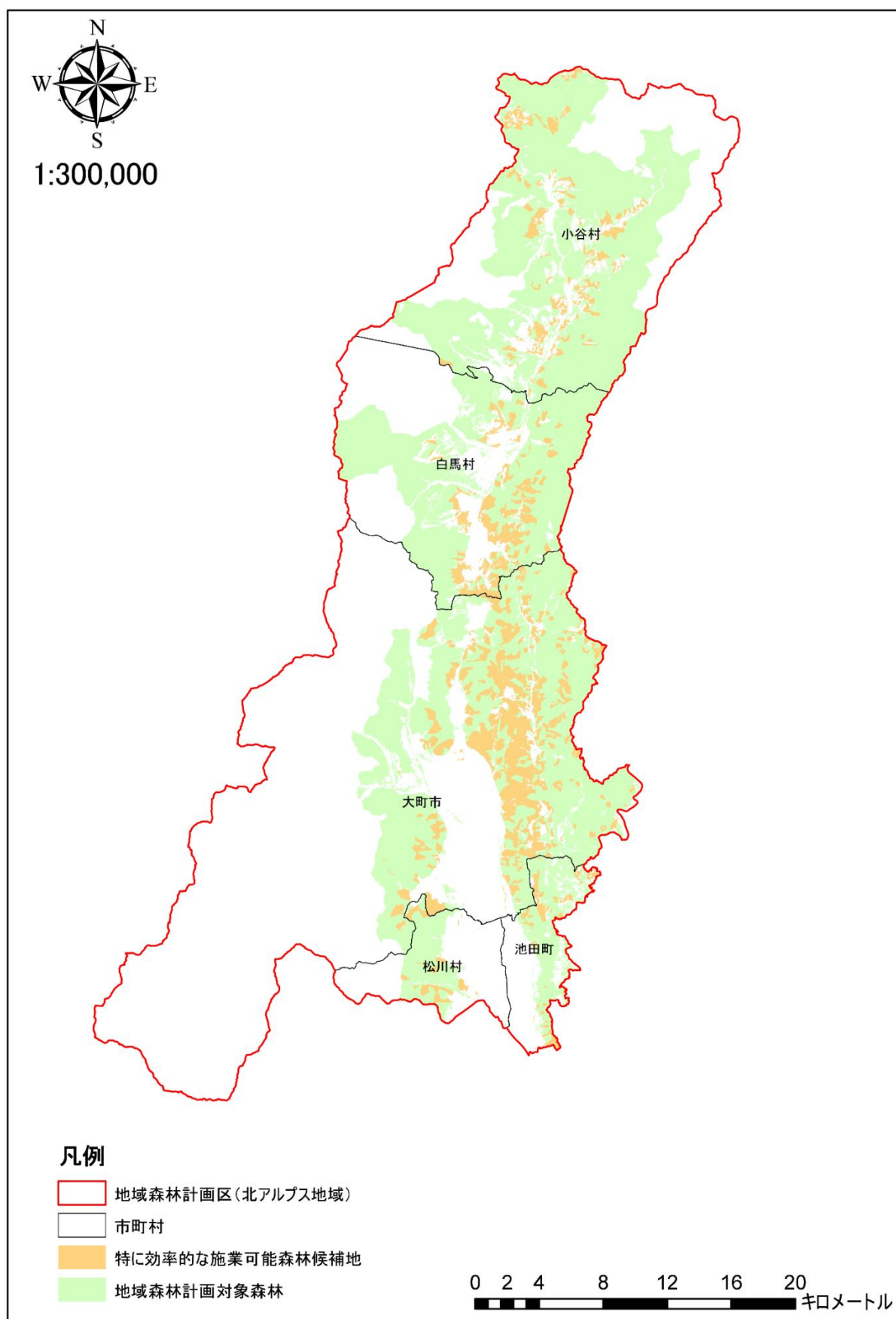
○特に効率的な施業が可能な森林の設定基準（p60より再掲）

設定区域	設定基準
木材生産機能維持増進区域のうち林小班単位で設定する。	次の①～⑤のすべてに該当する森林 ① 人工林が過半 ② 地位3以上の森林が過半 ③ 平均傾斜が30度以下 ④ 道から小班の距離が200m以内 ⑤ 制限林は除外 ※ これらの条件に準ずると市町村長が判断した箇所

○特に効率的な施業が可能な森林の条件（県基準）に該当する森林の位置図（松本地域振興局管内）



○特に効率的な施業が可能な森林の条件(県基準)に該当する森林の位置図(北アルプス地域振興局管内)



2 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

(単位：ha)

市町村名		区域面積 ①	森林面積			森林比率 ②/①×100
			総 数 ②	国 有 林 (林野庁所管)	民 有 林	
松 本	松本市	97,847	78,551	40,172	38,378	80%
	塩尻市	28,998	21,862	5,997	15,865	75%
	安曇野市	33,178	19,964	9,509	10,454	60%
	麻績村	3,438	2,337	0	2,337	68%
	生坂村	3,905	3,058	0	3,058	78%
	山形村	2,498	1,273	0	1,273	51%
	朝日村	7,062	6,147	62	6,085	87%
	筑北村	9,947	8,302	57	8,245	83%
	小計	186,873	141,494	55,798	85,696	76%
北 ア ル プ ス	大町市	56,515	49,038	29,921	19,117	87%
	池田町	4,016	2,143	0	2,143	53%
	松川村	4,707	2,613	927	1,686	56%
	白馬村	18,936	15,694	5,095	10,599	83%
	小谷村	26,791	23,659	7,218	16,441	88%
	小計	110,965	93,147	43,161	49,986	84%
合 計		297,838	234,641	98,959	135,683	79%

注) 1 区域面積は「ながの県勢要覧」令和6年版による。

2 民有林面積は地域森林計画の面積による(R7.4.1現在)。

3 国有林面積は「長野県民有林の現況(令和7年版)」の統計による。

4 四捨五入の関係で各項目の加算値等の計が必ずしも一致しない場合がある。

(2) 気候

観測地		気 温(°C)			年間 降水量 (mm)	最深 積雪量 (cm)
		最高	最低	年平均		
長 野	松本	36.7	△ 8.5	13.8	1,384	25
	穂高	37.4	△ 10.4	13.3	1,467	—
北 信	大町	35.1	△ 14.1	11.2	1,580	27
	白馬	33.9	△ 15.4	10.8	2,183	42

注) 1 気象庁ホームページの気象統計情報による。(2024年)

2 — は観測データが存在しない。

(3) 土地利用の現況

(単位：ha)

市 町 村 名		総面積	農地			宅地	その他	森林
		(a+b+c+d)	総数(a)	うち田	うち畑	(b)	(c)	(d)
松 本	松本市	97,847	7,785	4,932	2,853	4,987	6,524	78,551
	塩尻市	28,998	3,340	1,105	2,235	1,429	2,367	21,862
	安曇野市	33,178	7,320	5,497	1,822	2,694	3,200	19,964
	麻績村	3,438	585	269	316	278	238	2,337
	生坂村	3,905	542	122	420	89	216	3,058
	山形村	2,498	798	203	595	261	166	1,273
	朝日村	7,062	538	108	430	140	237	6,147
	筑北村	9,947	820	369	451	164	661	8,302
	小計	186,873	21,726	12,605	9,121	10,042	13,611	141,494
北 ア ル プ ス	大町市	56,515	2,700	2,275	425	1,101	3,443	49,270
	池田町	4,016	904	730	173	297	673	2,143
	松川村	4,707	1,167	1,073	94	283	642	2,616
	白馬村	18,936	947	741	206	483	1,812	15,694
	小谷村	26,791	491	355	136	106	2,535	23,659
	小計	110,965	6,208	5,175	1,033	2,270	9,105	93,382
合 計		297,838	27,934	17,779	10,154	12,312	22,716	234,876

注) 1 「ながの県勢要覧」令和6年版による。

2 森林面積は民有林と国有林の合計値である。

3 四捨五入の関係で各項目の加算値等の計が必ずしも一致しない場合がある。

(4) 産業別生産額

(単位：百万円)

市町村名		農業 産出額 (令和5年)	製造品 出荷額 (令和3年)	商品 販売額 (令和2年)
松 本	松本市	23,520	560,991	1,013,713
	塩尻市	13,830	718,751	173,874
	安曇野市	11,440	469,494	224,964
	麻績村	370	2,008	1,263
	生坂村	320	960	65
	山形村	4,200	6,823	29,698
	朝日村	2,690	10,196	4,770
	筑北村	840	1,840	1,517
	小計	57,210	1,771,063	1,449,864
北 ア ル プ ス	大町市	3,040	98,003	32,887
	池田町	1,420	16,490	12,444
	松川村	1,680	7,415	6,582
	白馬村	1,110	2,628	11,743
	小谷村	150	879	1,086
	小計	7,400	125,415	64,742
合 計		64,610	1,896,478	1,514,606

注) 1 農業産出額は、農林水産省 令和5年市町村別農業産出額(推計)による。

2 製造品出荷額、商品販売額については「ながの県勢要覧」令和6年版による。

3 「X」は秘匿値であり、計には含まれない。

4 四捨五入の関係で各項目の加算値等の計が必ずしも一致しない場合がある。

(5) 産業別就業者数

(単位：人)

市町村名		総 数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能
			計	農業	林業	漁業			
松 本	松本市	118,889	6,061	5,901	152	8	26,923	82,328	3,577
	塩尻市	35,363	2,593	2,524	69	—	11,869	20,736	165
	安曇野市	48,058	3,839	3,729	71	39	13,095	29,782	1,342
	麻績村	1,269	223	218	4	1	259	784	3
	生坂村	885	166	161	4	1	247	453	19
	山形村	4,529	791	778	13	—	1,249	2,428	61
	朝日村	2,451	492	484	7	1	636	1,267	56
	筑北村	2,050	298	292	5	1	526	1,192	34
	小計	213,494	14,463	14,087	325	51	54,804	138,970	5,257
北 ア ル プ ス	大町市	12,168	1,083	1,021	59	3	3,336	7,567	182
	池田町	4,687	416	405	4	7	1,316	2,904	51
	松川村	5,095	550	542	5	3	1,578	2,954	13
	白馬村	4,388	267	259	6	2	611	3,478	32
	小谷村	1,359	131	118	13	—	294	908	26
	小計	27,697	2,447	2,345	87	15	7,135	17,811	304
合計		241,191	16,910	16,432	412	66	61,939	156,781	5,561

注) 2020年度国勢調査報告による。

3 森林の現況
(1) 齢級別森林資源表

区 分			総 数			1 齢級			2 齢級				
			面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量		
総 数			135,682.59	23,380,598	223,523.50	231.13			449.59	4,208	580.6		
立 木	総 数	総 数	131,138.13	23,355,787	223,516.80	231.13			449.59	4,208	580.6		
		針 葉 樹	67,527.08	16,812,856	168,203.20	117.02			121.89				
		広 葉 樹	63,611.05	6,542,931	55,313.60	114.11			327.70	4,208	580.6		
	人 工 林	総 数	総 数	56,965.05	14,253,815	156,742.70	173.85			203.45	933	131.3	
			針 葉 樹	56,305.65	14,210,428	155,746.40	116.84			121.89			
			広 葉 樹	659.40	43,387	996.30	57.01			81.56	933	131.3	
		育 単 林	総 数	56,216.72	14,083,228	153,467.20	173.85			203.45	933	131.3	
			針 葉 樹	55,780.53	14,061,529	152,848.60	116.84			121.89			
			広 葉 樹	436.19	21,699	618.60	57.01			81.56	933	131.3	
		成 複 層 林	総 数	総 数	748.33	170,587	3,275.50						
				上 層	748.33	108,218	999.90						
				中 層									
	針 葉 樹		下 層	748.33	62,369	2,275.60				4.18			
			総 数	525.12	148,899	2,897.80							
			上 層	525.12	90,525	802.40							
	広 葉 樹		中 層										
			下 層	636.62	58,374	2,095.40				4.18			
			総 数	223.21	21,688	377.70							
	下 層		上 層	223.21	17,693	197.50							
			中 層										
			下 層	111.71	3,995	180.20							
	天 然 林	総 数	総 数	74,173.08	9,101,972	66,774.10	57.28			246.14	3,275	449.3	
			針 葉 樹	11,221.43	2,602,428	12,456.80	0.18						
			広 葉 樹	62,951.65	6,499,544	54,317.30	57.10			246.14	3,275	449.3	
		育 単 林	総 数	1,325.20	204,143	1,510.20	14.95			17.04	238	33.7	
			針 葉 樹	507.33	121,629	624.40							
			広 葉 樹	817.87	82,514	885.80	14.95			17.04	238	33.7	
		成 複 層 林	総 数	総 数									
				上 層									
				中 層									
			針 葉 樹	下 層									
				総 数									
				上 層									
			広 葉 樹	中 層									
				下 層									
				総 数									
			上 層	上 層									
				中 層									
				下 層									
		天 生 林	総 数	72,847.88	8,897,829	65,263.90	42.33			229.10	3,037	415.6	
			針 葉 樹	10,714.10	2,480,799	11,832.40	0.18						
			広 葉 樹	62,133.78	6,417,030	53,431.50	42.15			229.10	3,037	415.6	
竹 林			254.67										
無 立 木 地			4,197.55										
更 新 困 難 地			92.24	24,811	6.70								

(単位 面積：h a 材積：m³)

3齡級			4齡級			5齡級			6齡級		
面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量
112.02	2,488	327.9	227.57	9,605	935.3	378.19	25,419	1,537.4	946.29	73,987	3,410.3
112.02	2,488	327.9	222.85	9,525	929.9	378.19	25,419	1,537.4	946.29	73,987	3,410.3
33.41	991	185.4	127.42	6,805	744.3	197.01	16,843	1,093.6	392.26	48,067	2,378.4
78.61	1,497	142.5	95.43	2,720	185.6	181.18	8,576	443.8	554.03	25,920	1,031.9
55.31	1,262	212.4	152.09	7,252	769.5	214.08	19,044	1,203.6	399.02	49,229	2,425.0
32.18	912	174.8	123.70	6,476	717.0	191.26	16,391	1,068.6	380.81	46,629	2,317.4
23.13	350	37.6	28.39	776	52.5	22.82	2,653	135.0	18.21	2,600	107.6
55.31	1,262	212.4	152.09	7,131	761.3	214.08	15,367	988.0	394.73	33,723	1,677.9
32.18	912	174.8	123.70	6,355	708.8	191.26	14,479	944.2	380.81	33,233	1,658.1
23.13	350	37.6	28.39	776	52.5	22.82	888	43.8	13.92	490	19.8
				121	8.2		3,677	215.6	4.29	15,506	747.1
									4.29	171	6.9
			2.75	121	8.2	94.81	3,677	215.6	222.73	15,335	740.2
				121	8.2		1,912	124.4		13,396	659.3
			2.75	121	8.2	40.53	1,912	124.4	170.33	13,396	659.3
							1,765	91.2	4.29	2,110	87.8
									4.29	171	6.9
						54.28	1,765	91.2	52.40	1,939	80.9
56.71	1,226	115.5	70.76	2,273	160.4	164.11	6,375	333.8	547.27	24,758	985.3
1.23	79	10.6	3.72	329	27.3	5.75	452	25.0	11.45	1,438	61.0
55.48	1,147	104.9	67.04	1,944	133.1	158.36	5,923	308.8	535.82	23,320	924.3
3.26	66	6.2	3.38	98	6.8	2.53	79	4.2	10.95	775	29.4
			0.10	3	0.3				2.33	384	13.8
3.26	66	6.2	3.28	95	6.5	2.53	79	4.2	8.62	391	15.6
53.45	1,160	109.3	67.38	2,175	153.6	161.58	6,296	329.6	536.32	23,983	955.9
1.23	79	10.6	3.62	326	27.0	5.75	452	25.0	9.12	1,054	47.2
52.22	1,081	98.7	63.76	1,849	126.6	155.83	5,844	304.6	527.20	22,929	908.7
			4.72	80	5.4						

区 分			7 齢 級			8 齢 級			9 齢 級				
			面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量		
総 数			1,384.93	126,735	4,475.7	2,297.92	259,536	7,566.8	2,566.23	349,280	7,943.2		
立 木	総 数	総 数	1,384.93	126,735	4,475.7	2,297.92	259,536	7,566.8	2,566.23	349,280	7,943.2		
		針 葉 樹	490.84	78,938	3,020.3	987.50	178,199	5,193.1	1,428.52	268,946	5,853.6		
		広 葉 樹	894.09	47,797	1,455.4	1,310.42	81,337	2,373.7	1,137.71	80,334	2,089.6		
	総 数	総 数	487.76	77,635	2,987.4	1,013.90	179,271	5,229.8	1,430.20	266,514	5,823.9		
		針 葉 樹	476.42	76,921	2,966.1	977.77	176,695	5,158.2	1,404.89	264,859	5,779.9		
		広 葉 樹	11.34	714	21.3	36.13	2,576	71.6	25.31	1,655	44.0		
	育 単 林	総 数	487.76	61,568	2,362.0	1,013.34	164,843	4,748.6	1,418.97	261,914	5,702.4		
		針 葉 樹	476.42	60,961	2,344.0	977.21	162,425	4,681.6	1,401.83	260,734	5,670.5		
		広 葉 樹	11.34	607	18.0	36.13	2,418	67.0	17.14	1,180	31.9		
	工 成 複 層 林	総 数	総 数		16,067	625.4	0.56	14,428	481.2	11.23	4,600	121.5	
			上 層				0.56	90	1.9	11.23	762	17.7	
			中 層										
			下 層	169.44	16,067	625.4	138.56	14,338	479.3	27.68	3,838	103.8	
		針 葉 樹	総 数		15,960	622.1	0.56	14,270	476.6	3.06	4,125	109.4	
			上 層				0.56	90	1.9	3.06	287	5.6	
			中 層										
			下 層	167.60	15,960	622.1	136.03	14,180	474.7	27.68	3,838	103.8	
		広 葉 樹	総 数		107	3.3		158	4.6	8.17	475	12.1	
			上 層							8.17	475	12.1	
			中 層										
			下 層	1.84	107	3.3	2.53	158	4.6				
	天 然 林	総 数	総 数	897.17	49,100	1,488.3	1,284.02	80,265	2,337.0	1,136.03	82,766	2,119.3	
			針 葉 樹	14.42	2,017	54.2	9.73	1,504	34.9	23.63	4,087	73.7	
			広 葉 樹	882.75	47,083	1,434.1	1,274.29	78,761	2,302.1	1,112.40	78,679	2,045.6	
		育 単 林	総 数	10.89	653	20.1	19.91	1,406	35.5	14.24	1,082	24.6	
			針 葉 樹	0.95	123	3.5	0.40	75	1.5				
			広 葉 樹	9.94	530	16.6	19.51	1,331	34.0	14.24	1,082	24.6	
		育 成 複 層 林	総 数	総 数									
				上 層									
				中 層									
				下 層									
			針 葉 樹	総 数									
				上 層									
				中 層									
				下 層									
			広 葉 樹	総 数									
				上 層									
				中 層									
				下 層									
	天 生 林	総 数	886.28	48,447	1,468.2	1,264.11	78,859	2,301.5	1,121.79	81,684	2,094.7		
		針 葉 樹	13.47	1,894	50.7	9.33	1,429	33.4	23.63	4,087	73.7		
		広 葉 樹	872.81	46,553	1,417.5	1,254.78	77,430	2,268.1	1,098.16	77,597	2,021.0		
竹 林													
無 立 木 地													
更 新 困 難 地													

(単位 面積：ha 材積：m³)

(單位：面積：Ha、材積：m³)								
10 齡 級			11 齡 級			12 齡 級		
面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量
4,779.55	772,492	14,140.6	6,891.53	1,326,762	18,766.7	12,241.88	2,536,337	30,957.5
4,779.55	772,492	14,140.6	6,890.34	1,326,669	18,765.4	12,241.88	2,536,337	30,957.5
3,086.39	635,361	10,797.5	5,115.50	1,171,353	15,829.0	9,390.07	2,267,184	26,112.3
1,693.16	137,131	3,343.1	1,774.84	155,316	2,936.4	2,851.81	269,153	4,845.2
3,047.92	626,444	10,690.2	5,089.53	1,159,241	15,724.4	9,253.41	2,236,405	25,816.4
3,029.51	624,916	10,651.5	5,023.98	1,153,653	15,618.4	9,235.13	2,235,067	25,792.2
18.41	1,528	38.7	65.55	5,588	106.0	18.28	1,338	24.2
3,041.43	625,547	10,670.1	5,033.35	1,152,518	15,632.9	9,185.93	2,229,139	25,717.5
3,026.80	624,201	10,635.9	4,983.08	1,147,808	15,542.7	9,183.03	2,228,843	25,711.9
14.63	1,346	34.2	50.27	4,710	90.2	2.90	296	5.6
6.49	897	20.1	56.18	6,723	91.5	67.48	7,266	98.9
6.49	491	10.3	56.18	6,723	91.5	67.48	6,875	91.1
6.13	406	9.8				5.85	391	7.8
2.71	715	15.6	40.90	5,845	75.7	52.10	6,224	80.3
2.71	309	5.8	40.90	5,845	75.7	52.10	5,833	72.5
6.13	406	9.8				5.85	391	7.8
3.78	182	4.5	15.28	878	15.8	15.38	1,042	18.6
3.78	182	4.5	15.28	878	15.8	15.38	1,042	18.6
1,731.63	146,048	3,450.4	1,800.81	167,428	3,041.0	2,988.47	299,932	5,141.1
56.88	10,445	146.0	91.52	17,700	210.6	154.94	32,117	320.1
1,674.75	135,603	3,304.4	1,709.29	149,728	2,830.4	2,833.53	267,815	4,821.0
24.60	2,850	52.1	30.17	3,108	53.7	87.22	9,428	158.4
8.70	1,516	21.4	3.23	708	7.8	4.54	1,016	9.5
15.90	1,334	30.7	26.94	2,400	45.9	82.68	8,412	148.9
1,707.03	143,198	3,398.3	1,770.64	164,320	2,987.3	2,901.25	290,504	4,982.7
48.18	8,929	124.6	88.29	16,992	202.8	150.40	31,101	310.6
1,658.85	134,269	3,273.7	1,682.35	147,328	2,784.5	2,750.85	259,403	4,672.1
			1.19	93	1.3			

(単位 面積：h a 材積：m3)

区 分			13 齡 級			14 齡 級			15 齡 級 以 上				
			面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量	面 積	材 積	成長量		
總 数			18,342.97	3,698,592	44,683.2	22,551.70	4,358,363	45,077.7	57,828.87	9,836,794	43,120.6		
立 木	總 数	總 数	18,342.97	3,698,592	44,683.2	22,551.70	4,358,363	45,077.7	57,742.54	9,812,156	43,120.6		
		針 葉 樹	12,834.62	3,154,698	36,416.8	12,690.68	3,307,377	33,378.4	20,513.95	5,678,094	27,200.5		
		広 葉 樹	5,508.35	543,894	8,266.4	9,861.02	1,050,986	11,699.3	37,228.59	4,134,062	15,920.1		
	人 工 林	總 数	總 数	12,258.54	3,023,072	35,078.7	11,481.44	3,035,762	31,110.6	11,704.55	3,571,751	19,539.5	
			針 葉 樹	12,174.90	3,015,932	34,966.6	11,436.83	3,032,032	31,065.5	11,579.54	3,559,945	19,470.2	
			広 葉 樹	83.64	7,140	112.1	44.61	3,730	45.1	125.01	11,806	69.3	
		育 単 林	總 数	12,131.53	3,006,525	34,875.7	11,305.46	3,004,778	30,781.0	11,405.44	3,517,980	19,206.1	
			針 葉 樹	12,094.33	3,002,964	34,817.8	11,293.15	3,003,653	30,768.1	11,378.00	3,514,961	19,190.2	
			広 葉 樹	37.20	3,561	57.9	12.31	1,125	12.9	27.44	3,019	15.9	
		成 複 層 林	總 数	總 数	127.01	16,547	203.0	175.98	30,984	329.6	299.11	53,771	333.4
				上 層	127.01	16,529	202.7	175.98	28,019	287.7	299.11	48,558	290.1
				中 層									
				下 層	0.08	18	0.3	34.43	2,965	41.9	41.69	5,213	43.3
			針 葉 樹	總 数	80.57	12,968	148.8	143.68	28,379	297.4	201.54	44,984	280.0
				上 層	80.57	12,950	148.5	143.68	25,414	255.5	201.54	39,797	236.9
				中 層									
				下 層	0.08	18	0.3	34.43	2,965	41.9	41.03	5,187	43.1
			広 葉 樹	總 数	46.44	3,579	54.2	32.30	2,605	32.2	97.57	8,787	53.4
				上 層	46.44	3,579	54.2	32.30	2,605	32.2	97.57	8,761	53.2
				中 層									
				下 層							0.66	26	0.2
地	總 数	總 数	6,084.43	675,520	9,604.5	11,070.26	1,322,601	13,967.1	46,037.99	6,240,405	23,581.1		
		針 葉 樹	659.72	138,766	1,450.2	1,253.85	275,345	2,312.9	8,934.41	2,118,149	7,730.3		
		広 葉 樹	5,424.71	536,754	8,154.3	9,816.41	1,047,256	11,654.2	37,103.58	4,122,256	15,850.8		
		育 単 林	總 数	118.55	16,378	189.3	208.52	28,855	272.7	758.99	139,127	623.5	
			針 葉 樹	35.06	8,081	72.5	56.12	12,166	96.7	395.90	97,557	397.4	
			広 葉 樹	83.49	8,297	116.8	152.40	16,689	176.0	363.09	41,570	226.1	
	成 複 層 林	總 数	總 数										
			上 層										
			中 層										
			下 層										
		針 葉 樹	總 数										
			上 層										
			中 層										
			下 層										
		広 葉 樹	總 数										
			上 層										
			中 層										
			下 層										
	天 生 林	總 数	5,965.88	659,142	9,415.2	10,861.74	1,293,746	13,694.4	45,279.00	6,101,278	22,957.6		
		針 葉 樹	624.66	130,685	1,377.7	1,197.73	263,179	2,216.2	8,538.51	2,020,592	7,332.9		
		広 葉 樹	5,341.22	528,457	8,037.5	9,664.01	1,030,567	11,478.2	36,740.49	4,080,686	15,624.7		
竹 林													
無 立 木 地													
更新困難地								86.33	24,638				

(3) 市町村別森林資源表

地区	市町村	区分	総 数	立											
				総 数			人 工 林								
				総 数			総 数			育 成 単 層 林			育 成 複 層 林		
				総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹
長野	松本市	面積	38,378.47	37,497.46	22,500.76	14,996.70	19,549.13	19,231.97	317.16	19,317.79	19,116.75	201.04	231.34	115.22	116.12
		材積	6,772,960	6,772,920	5,217,207	1,555,713	4,503,678	4,481,589	22,089	4,458,984	4,449,303	9,681	44,694	32,286	12,408
	塩尻市	面積	15,864.77	15,604.74	11,374.11	4,230.63	9,490.67	9,427.97	62.70	9,400.64	9,370.05	30.59	90.03	57.92	32.11
		材積	3,314,792	3,314,792	2,820,235	494,557	2,358,747	2,354,169	4,578	2,336,388	2,334,300	2,088	22,359	19,869	2,490
	安曇野市	面積	10,454.40	10,193.38	5,766.15	4,427.23	4,192.51	4,112.93	79.58	3,970.59	3,915.89	54.70	221.92	197.04	24.88
		材積	1,838,358	1,838,358	1,404,003	434,355	1,018,964	1,016,122	2,842	968,329	967,311	1,018	50,635	48,811	1,824
	麻績村	面積	2,337.12	2,300.42	1,493.25	807.17	1,080.20	1,078.78	1.42	1,077.37	1,075.95	1.42	2.83	2.83	
		材積	486,432	486,432	398,414	88,018	296,961	296,936	25	296,551	296,526	25	410	410	
	生坂村	面積	3,058.17	2,728.40	718.13	2,010.27	420.38	419.68	0.70	420.13	419.68	0.45	0.25		0.25
		材積	408,240	408,240	197,988	210,252	133,695	133,660	35	133,674	133,660	14	21		21
	山形村	面積	1,273.15	1,243.57	1,123.06	120.51	870.22	869.15	1.07	869.65	868.58	1.07	0.57	0.57	
		材積	331,039	331,039	317,512	13,527	255,189	255,095	94	254,989	254,895	94	200	200	
	朝日村	面積	6,084.84	6,025.11	4,605.69	1,419.42	4,316.83	4,287.58	29.25	4,276.35	4,261.37	14.98	40.48	26.21	14.27
		材積	1,254,173	1,253,873	1,090,018	163,855	1,018,548	1,016,493	2,055	1,009,427	1,008,498	929	9,121	7,995	1,126
	筑北村	面積	8,245.29	7,850.94	4,095.07	3,755.87	3,192.96	3,163.60	29.36	3,159.04	3,144.48	14.56	33.92	19.12	14.80
		材積	1,369,321	1,369,321	971,855	397,466	758,121	755,752	2,369	750,740	749,451	1,289	7,381	6,301	1,080
	松本計	面積	85,696.21	83,444.02	51,676.22	31,767.80	43,112.90	42,591.66	521.24	42,491.56	42,172.75	318.81	621.34	418.91	202.43
		材積	15,775,315.00	15,774,975.00	12,417,232.00	3,357,743.00	10,343,903.00	10,309,816.00	34,087.00	10,209,082.00	10,193,944.00	15,138.00	134,821.00	115,872.00	18,949.00
	大町市	面積	19,116.77	19,000.89	8,300.67	10,700.22	7,261.33	7,220.06	41.27	7,188.35	7,158.99	29.36	72.98	61.07	11.91
		材積	3,118,344	3,118,344	2,045,647	1,072,697	1,811,552	1,807,855	3,697	1,792,271	1,790,148	2,123	19,281	17,707	1,574
北信	池田町	面積	2,142.79	2,124.14	958.50	1,165.64	759.08	736.33	22.75	744.57	725.92	18.65	14.51	10.41	4.10
		材積	361,877	361,877	242,259	119,618	192,848	191,518	1,330	189,822	188,897	925	3,026	2,621	405
	松川村	面積	1,686.19	1,662.06	918.34	743.72	539.70	516.95	22.75	505.08	485.41	19.67	34.62	31.54	3.08
		材積	291,548	291,548	213,226	78,322	115,844	114,888	956	103,174	102,786	388	12,670	12,102	568
	白馬村	面積	10,599.20	9,005.30	2,297.12	6,708.18	2,148.27	2,130.28	17.99	2,143.39	2,127.09	16.30	4.88	3.19	1.69
		材積	1,343,194	1,343,194	683,436	659,758	650,174	649,496	678	649,385	648,899	486	789	597	192
	小谷村	面積	16,441.43	15,901.72	3,376.23	12,525.49	3,143.77	3,110.37	33.40	3,143.77	3,110.37	33.40			
		材積	2,490,320	2,465,849	1,211,056	1,254,793	1,139,494	1,136,855	2,639	1,139,494	1,136,855	2,639			
	北アルプス計	面積	49,986.38	47,694.11	15,850.86	31,843.25	13,852.15	13,713.99	138.16	13,725.16	13,607.78	117.38	126.99	106.21	20.78
		材積	7,605,283.00	7,580,812.00	4,395,624.00	3,185,188.00	3,909,912.00	3,900,612.00	9,300.00	3,874,146.00	3,867,585.00	6,561.00	35,766.00	33,027.00	2,739.00
計画区計		面積	135,682.59	131,138.13	67,527.08	63,611.05	56,965.05	56,305.65	659.40	56,216.72	55,780.53	436.19	748.33	525.12	223.21
		材積	23,380,598	23,355,787	16,812,856	6,542,931	14,253,815	14,210,428	43,387	14,083,228	14,061,529	21,699	170,587	148,899	21,688

(単位 面積:ha 材積:m3)

木						地						竹 林	無立木地	更 新 困 難 地
天 然 林														
総 数			育 成 単 層 林			育 成 複 層 林			天 然 生 林					
総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹			
17,948.33	3,268.79	14,679.54	330.16	91.92	238.24				17,618.17	3,176.87	14,441.30	57.36	822.90	0.75
2,269,242	735,618	1,533,624	44,206	21,159	23,047				2,225,036	714,459	1,510,577			40
6,114.07	1,946.14	4,167.93	246.87	103.58	143.29				5,867.20	1,842.56	4,024.64	11.25	248.78	
956,045	466,066	489,979	42,878	25,566	17,312				913,167	440,500	472,667			
6,000.87	1,653.22	4,347.65	209.92	138.62	71.30				5,790.95	1,514.60	4,276.35	63.78	197.24	
819,394	387,881	431,513	39,877	34,431	5,446				779,517	353,450	426,067			
1,220.22	414.47	805.75	15.03	2.99	12.04				1,205.19	411.48	793.71	2.65	34.05	
189,471	101,478	87,993	2,148	717	1,431				187,323	100,761	86,562			
2,308.02	298.45	2,009.57	2.06	0.03	2.03				2,305.96	298.42	2,007.54	60.48	269.29	
274,545	64,328	210,217	223	9	214				274,322	64,319	210,003			
373.35	253.91	119.44	67.28	53.89	13.39				306.07	200.02	106.05	0.10	29.48	
75,850	62,417	13,433	14,482	13,005	1,477				61,368	49,412	11,956			
1,708.28	318.11	1,390.17	45.29	29.78	15.51				1,662.99	288.33	1,374.66	1.44	51.18	7.11
235,325	73,525	161,800	8,594	6,891	1,703				226,731	66,634	160,097			300
4,657.98	931.47	3,726.51	35.04	8.00	27.04				4,622.94	923.47	3,699.47	28.47	365.88	
611,200	216,103	395,097	4,921	2,006	2,915				606,279	214,097	392,182			
40,331.12	9,084.56	31,246.56	951.65	428.81	522.84				39,379.47	8,655.75	30,723.72	225.53	2,018.80	7.86
5,431,072.00	2,107,416.00	3,323,656.00	157,329.00	103,784.00	53,545.00				5,273,743.00	2,003,632.00	3,270,111.00			340.00
11,739.56	1,080.61	10,658.95	140.31	44.51	95.80				11,599.25	1,036.10	10,563.15	27.00	88.88	
1,306,792	237,792	1,069,000	18,988	9,947	9,041				1,287,804	227,845	1,059,959			
1,365.06	222.17	1,142.89	34.63	9.13	25.50				1,330.43	213.04	1,117.39	2.00	16.65	
169,029	50,741	118,288	4,841	2,048	2,793				164,188	48,693	115,495			
1,122.36	401.39	720.97	31.71	16.03	15.68				1,090.65	385.36	705.29	0.14	23.99	
175,704	98,338	77,366	5,288	3,832	1,456				170,416	94,506	75,910			
6,857.03	166.84	6,690.19	35.67	1.45	34.22				6,821.36	165.39	6,655.97		1,593.90	
693,020	33,940	659,080	3,573	269	3,304				689,447	33,671	655,776			
12,757.95	265.86	12,492.09	131.23	7.40	123.83				12,626.72	258.46	12,368.26		455.33	84.38
1,326,355	74,201	1,252,154	14,124	1,749	12,375				1,312,231	72,452	1,239,779			24,471
33,841.96	2,136.87	31,705.09	373.55	78.52	295.03				33,468.41	2,058.35	31,410.06	29.14	2,178.75	84.38
3,670,900.00	495,012.00	3,175,888.00	46,814.00	17,845.00	28,969.00				3,624,086.00	477,167.00	3,146,919.00			24,471.00
74,173.08	11,221.43	62,951.65	1,325.20	507.33	817.87				72,847.88	10,714.10	62,133.78	254.67	4,197.55	92.24
9,101,972	2,602,428	6,499,544	204,143	121,629	82,514				8,897,829	2,480,799	6,417,030			24,811

(4) 所有形態別森林資源表

区 分			総 数	立 木				
				総 数			人 工	
				総 数	針 葉 樹	広 葉 樹	総 数	針 葉 樹
公 有 林	県	面 積	4,240.60	4,090.29	2,781.50	1,308.79	2,701.37	2,668.62
		材 積	722,119	722,119	609,907	112,212	594,483	591,370
	市町村	面 積	26,814.17	24,397.27	12,756.56	11,640.71	10,953.42	10,751.85
		材 積	4,195,954	4,171,337	2,953,763	1,217,574	2,532,846	2,515,754
	財産区	面 積	5,914.39	5,722.21	3,637.24	2,084.97	3,240.48	3,182.64
		材 積	1,005,468	1,005,407	790,701	214,706	693,984	691,293
	小計	面 積	36,969.16	34,209.77	19,175.30	15,034.47	16,895.27	16,603.11
		材 積	5,923,541	5,898,863	4,354,371	1,544,492	3,821,313	3,798,417
私 有 林	集落	面 積	17,102.36	16,603.98	6,299.93	10,304.05	5,494.21	5,438.06
		材 積	2,646,021	2,646,021	1,569,316	1,076,705	1,369,430	1,364,307
	団体	面 積	13,333.88	13,229.41	9,785.87	3,443.54	9,501.90	9,411.91
		材 積	2,454,978	2,454,885	2,088,914	365,971	2,014,354	2,007,002
	その他	面 積	68,277.19	67,094.97	32,265.98	34,828.99	25,073.67	24,852.57
		材 積	12,356,058	12,356,018	8,800,255	3,555,763	7,048,718	7,040,702
	小計	面 積	98,713.43	96,928.36	48,351.78	48,576.58	40,069.78	39,702.54
		材 積	17,457,057	17,456,924	12,458,485	4,998,439	10,432,502	10,412,011
総 数		面 積	135,682.59	131,138.13	67,527.08	63,611.05	56,965.05	56,305.65
		材 積	23,380,598	23,355,787	16,812,856	6,542,931	14,253,815	14,210,428

注) 私有林は、所有者不明の森林を含む。

(単位 面積:ha 材積:m3)

地				竹林	無立木地	更新困難地
林	天 然 林					
広 葉 樹	総 数	針 葉 樹	広 葉 樹			
32.75	1,388.92	112.88	1,276.04	0.00	150.31	0.00
3,113	127,636	18,537	109,099			0
201.57	13,443.85	2,004.71	11,439.14	0.36	2,328.42	88.12
17,092	1,638,491	438,009	1,200,482			24,617
57.84	2,481.73	454.60	2,027.13	0.39	189.61	2.18
2,691	311,423	99,408	212,015			61
292.16	17,314.50	2,572.19	14,742.31	0.75	2,668.34	90.30
22,896	2,077,550	555,954	1,521,596			24,678
56.15	11,109.77	861.87	10,247.90	2.00	496.38	0.00
5,123	1,276,591	205,009	1,071,582			0
89.99	3,727.51	373.96	3,353.55	0.19	103.09	1.19
7,352	440,531	81,912	358,619			93
221.10	42,021.30	7,413.41	34,607.89	251.73	929.74	0.75
8,016	5,307,300	1,759,553	3,547,747			40
367.24	56,858.58	8,649.24	48,209.34	253.92	1,529.21	1.94
20,491	7,024,422	2,046,474	4,977,948			133
659.40	74,173.08	11,221.43	62,951.65	254.67	4,197.55	92.24
43,387	9,101,972	2,602,428	6,499,544			24,811

(5) 制限林の種類別面積表

地区	市町村名	保 安 林					砂防指定地	急傾斜崩壊危険区域	自 然					
		水源かん養保安林	土砂流出防備保安林	土砂崩壊防備保安林	その他の保安林	計			国 立 公 園					
									国立公園特別保護地区	第一種特別地域	第二種特別地域	第三種特別地域	普通地域	小計
松 本	松本市	(25.65) 1,828.78	(250.65) 6,915.57	(1,377.59) 18.22	(78.88) 123.11	(78.88) 18,785.16	(1.75) 77.51	(1.92) 11.81	(542.32) 857.30	(376.68) 0.37	(920.92) 857.40			
	塩尻市	(78.88) 3,986.84	(78.88) 1,738.59	(49.19) 6.00	(78.88) 29.62	(78.88) 5,758.02	(1.80) 6.24				(0.00) 0.00			
	安曇野市	(361.16) 255.79	(361.16) 2,735.37	(72.94) 375.90	(361.16) 1.23	(361.16) 4,832.43	(0.13) 1.58		8.12		(0.00) 8.12			
	麻績村	(14.89) 4.92	(14.89) 258.87	(5.31) 21.62	(14.89) 18.13	(14.89) 407.93					(0.00) 0.00			
	生坂村	(0.00) 9.34	(0.00) 13.13	(7.80) 76.60	(0.00) 0.97	(0.00) 1,046.30	(7.80) 1.84				(0.00) 0.00			
	山形村	(28.54) 198.44	(28.54) 254.50	(0.21) 11.70	(28.54) 72.89	(28.54) 525.38					(0.00) 0.00			
	朝日村	(0.00) 4,331.25	(0.00) 546.66	(223.68) 15.92	(0.00) 4,877.31	(0.00) 4,877.31	(223.68) 0.14				(0.00) 0.00			
	筑北村	(188.23) 988.45	(188.23) 1,957.76	(2.38) 12.81	(188.23) 9.14	(188.23) 3,037.50					(0.00) 0.00			
	地域振興局計	(0.00) 22,439.81	(0.00) 15,435.90	(3.68) 21.61	(1,102.35) 1,334.21	(1,102.35) 39,270.03	(1,739.09) 1,227.52	(3.68) 21.61	(1.92) 0.00	(0.00) 0.00	(542.32) 865.15	(376.68) 0.37	(0.00) 0.00	(920.92) 865.52
北アルプス	大町市	(1.93) 1,524.90	(10.93) 243.23	(194.35) 2.00	(1.93) 86.26	(10.93) 4,015.03	(194.35) 2,173.78							(0.00) 0.00
	池田町	(59.14) 526.74	(59.14) 9.73	(14.37) 22.89	(59.14) 59.51	(59.14) 595.96	(14.37) 22.89							(0.00) 0.00
	松川村	(98.87) 45.28	(98.87) 232.56	(4.34) 6.70	(98.87) 99.49	(98.87) 377.34	(4.34) 6.70							(0.00) 0.00
	白馬村	(1,526.62) 768.79	(1,526.06) 211.83	(178.50) 639.63	(1,526.62) 53.84	(1,526.06) 2,850.68	(178.50) 639.63		(1,145.84) 4.25	(435.47) 4.25	(55.40)			(1,636.35) 4.25
	小谷村	(376.47) 4,593.18	(376.47) 178.64	(31.25) 156.40	(376.47) 224.89	(376.47) 6,541.97	(31.25) 156.40		(27.10) 5.20	(313.60)	(398.61) 89.90			(981.77) 861.87
	地域振興局計	(0.00) 6,932.14	(0.00) 6,882.25	(0.00) 42.59	(2,071.46) 523.99	(2,071.46) 14,380.97	(1,322.81) 3,178.77	(0.00) 7.02	(1,415.94) 0.00	(748.53) 4.25	(453.65) 809.90	(0.00) 51.97	(0.00) 0.00	(2,618.12) 866.12
計画区合計		(0.00) 29,371.95	(0.00) 22,318.15	(0.00) 102.70	(3,173.81) 1,858.21	(3,173.81) 53,651.01	(3,061.90) 4,406.29	(3.68) 28.63	(1,417.86) 0.00	(748.53) 4.25	(995.97) 1,675.05	(376.68) 52.34	(0.00) 0.00	(3,539.04) 1,731.64

注) 1 保安林の面積は、令和 7 年 9 月 1 日現在の森林づくり推進課資料による。
2 () 書きの重複数値は、他の制限林との重複面積を外数で表している。
なお、保安林の重複数値は、他の種類の保安林との重複面積を表す。

上段:()重複数値 下段:単独数値

(単位 面積:ha)

公 園									県 自然環境保全法による 自然環境保全地域の特別地区	鳥獣保護法による特別保護地区	都市計画法による風致地区	林業種苗法による特別母樹林	文化財保護法による 史跡名勝天然記念物に係る指定地等	その他	合 計
国 定 公 園				県 立 公 園				計							
第一種特別地域	第二種特別地域	第三種特別地域	小 計	第一種特別地域	第二種特別地域	第三種特別地域	小 計								
(63.74)	(993.79)	(122.60)	(2,278.13)				(0.00)	(3,199.05)		(736.10)	(165.33)				(5,730.38)
	133.23	1,253.49	1,386.72				0.00	2,244.12			89.12		5.77		21,843.49
(73.91)	(224.49)	(225.69)	(524.09)				(0.00)	(524.09)		(38.33)					(692.29)
34.97	5.50	9.47	94.94				0.00	94.94							5,865.20
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(434.23)
			0.00				0.00	8.12							5,218.03
			(0.00)				(0.00)	(0.00)		(21.30)					(41.23)
			0.00				0.00	0.00							429.55
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(7.80)
			0.00				0.00	0.00							1,124.20
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(208.74)
			0.00				0.00	0.00							537.08
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(223.68)
			0.00				0.00	0.00							4,893.37
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(190.61)
			0.00				0.00	0.00							3,050.31
(137.65)	(1,218.28)	(1,446.29)	(2,802.22)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(3,723.14)	(0.00)	(795.37)	(165.33)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(7,528.96)
34.97	183.73	1,262.96	1,481.66	0.00	0.00	0.00	0.00	2,347.18	0.00	0.00	89.12	0.00	5.77	0.00	42,961.23
			(0.00)				(0.00)	(0.00)			(19.42)				(1,214.70)
			0.00				0.00	0.00			536.53				6,727.34
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(73.51)
			0.00				0.00	0.00							798.85
			(0.00)				(0.00)	(0.00)							(103.21)
			0.00				0.00	0.00							383.41
			(0.00)				(0.00)	(1,636.35)							(3,340.91)
			0.00				0.00	4.25							3,494.56
			(0.00)				(0.00)	(981.77)							(1,389.49)
			0.00				0.00	861.87							7,565.26
(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(2,618.12)	(0.00)	(0.00)	(109.42)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(6,121.81)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	866.12	0.00	0.00	536.53	0.00	0.00	0.00	18,969.41
(137.65)	(1,218.28)	(1,446.29)	(2,802.22)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(6,341.26)	(0.00)	(795.37)	(274.75)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(13,650.77)
34.97	183.73	1,262.96	1,481.66	0.00	0.00	0.00	0.00	3,213.30	0.00	0.00	625.65	0.00	5.77	0.00	61,930.65

(6) 樹種別材積表

地区	市町村	区分	針 葉 樹					
			スギ	ヒノキ	サワラ	アカマツ	カラマツ	その他針
松 本 市	松本市	面積	42.47	55.34	0.02	331.46	692.3	1.47
		材積	21546	12492	5	79797	203356	316
	塩尻市	面積	94.79	124.85	0.04	824.45	3477	84.56
		材積	40854	24398	11	176505	830266	17984
	安曇野市	面積	274.24	241.37	2.96	2530.23	1019.35	26.92
		材積	120382	38678	484	552426	254373	5512
	麻績村	面積	2180.87	1015.77	6.89	2594.55	2232.94	269.65
		材積	791749	123106	1195	520027	556325	53245
	生坂村	面積	206.21	128.57	0.1	448.42	174.14	1.06
		材積	85956	13870	28	95592	46588	225
	山形村	面積	14.53	84.02	0.22	549.46	245.85	24.26
		材積	5851	15626	50	129947	56672	5080
	朝日村	面積	1542.45	12.04	1.36	176.69	553.71	10.87
		材積	520159	1365	227	35712	123802	2171
	筑北村	面積	2953.16	5.9	0	15.92	208.4	192.85
		材積	1119289	367	0	3630	50170	37600
	計	面積	7308.72	1667.86	11.59	7471.18	8603.69	611.64
		材積	2705786	229902	2000	1593636	2121552	122133
北アルプス	大町市	面積	1902.75	12.74	0.19	361.08	2558.26	256.36
		材積	1018739	2377	60	83366	744539	45700
	池田町	面積	906.01	317.56	0.13	1516.48	1724.37	0
		材積	415613	75372	33	339266	478800	0
	松川村	面積	211.26	57.58	0.22	959.84	1023.57	0.15
		材積	107518	12445	69	225599	311951	26
	白馬村	面積	30.33	0	0	12.45	22.65	0
		材積	16895	0	0	3066	6717	0
	小谷村	面積	1185.45	2.67	0	178.42	1970.35	496.1
		材積	659444	775	0	40952	551224	83196
	計	面積	4235.8	390.55	0.54	3028.27	7299.2	752.61
		材積	2218209	90969	162	692249	2093231	128922
計画区合計		面積	6,138.55	403.29	0.73	3,389.35	9,857.46	1,008.97
		材積	3,236,948	93,346	222	775,615	2,837,770	174,622

(単位:面積 ha、材積 m3)

小計	広 葉 樹					合計
	クヌギ	ブナ	ナラ	その他広	小計	
1123.06	0	0	1.1	119.41	120.51	1243.57
317512	0	0	145	13382	13527	331039
4605.69	0	13.21	48.55	1357.66	1419.42	6025.11
1090018	0	1836	6185	155834	163855	1253873
4095.07	10.57	2.1	427.26	3315.94	3755.87	7850.94
971855	882	221	46065	350298	397466	1369321
8300.67	35.27	66.6	1203.97	9394.38	10700.22	19000.89
2045647	2538	7533	124958	937668	1072697	3118344
958.5	49.86	0	64.23	1051.55	1165.64	2124.14
242259	3874	0	6628	109116	119618	361877
918.34	1.03	0	60.56	682.13	743.72	1662.06
213226	55	0	4851	73416	78322	291548
2297.12	0.12	367.8	319.77	6020.49	6708.18	9005.3
683436	8	44290	32634	582826	659758	1343194
3376.23	0.04	1668	123.46	10733.99	12525.49	15901.72
1211056	3	197406	13441	1043943	1254793	2465849
25674.68	96.89	2117.71	2248.9	32675.55	37139.05	62813.73
6775009	7360	251286	234907	3266483	3760036	10535045
5091.38	8.17	3.21	90.83	2660.4	2762.61	7853.99
1894781	736	626	9398	294411	305171	2199952
4464.55	214.21	1.05	113.55	1956.32	2285.13	6749.68
1309084	18442	28	13110	218405	249985	1559069
2252.62	143.63	0	58.98	1062.52	1265.13	3517.75
657608	12659	0	6393	121053	140105	797713
65.43	30.19	0	23.51	113.45	167.15	232.58
26678	2712	0	2534	12546	17792	44470
3832.99	0.26	0	142.1	2948.54	3090.9	6923.89
1335591	24	0	16870	296235	313129	1648720
15706.97	396.46	4.26	428.97	8741.23	9570.92	25277.89
5223742	34573	654	48305	942650	1026182	6249924
20,798.35	404.63	7.47	519.80	11,401.63	12,333.53	33,131.88
7,118,523	35,309	1,280	57,703	1,237,061	1,331,353	8,449,876

(7) 特定保安林の指定状況

(単位 面積:ha)

市町村	特定保安林					要整備森林		備考
	番号	面積						
		総数	人工林	天然林	その他	箇所数	面積	
池田町	7	77.30	42.15	30.87	4.28	4	6.27	
大町市	8	10.76	4.62	5.28	0.86	6	4.10	(旧美麻村)

(8) 荒廃地等の面積

(単位 面積:ha、地区数:箇所)

区 分		荒廃地(崩壊地)				荒 廃 危 険 地							
		崩壊地	岩石地	はげ山	合計	山腹崩壊		地すべり		崩壊土砂流出		合計	
		面積	面積	面積	面積	地区数	面積	地区数	面積	地区数	面積	地区数	面積
松 本	松本市	264	212	2	479	165	793	21	561	161	358	347	1,712
	塩尻市	37	48	2	87	55	483	1	16	79	137	135	636
	安曇野市	41	35	4	80	110	555	21	824	52	69	183	1,448
	麻績村	3	18	9	31	6	21			15	20	21	41
	生坂村	26	231		256	32	100	13	307	40	33	85	440
	山形村	4			4	1	4			15	18	16	22
	朝日村	36	3		39	19	33			63	341	82	374
	筑北村	52	217	35	303	37	115	13	283	61	63	111	461
	小計	462	765	52	1,279	425	2,104	69	1,991	486	1,039	980	5,134
北 ア ル プ ス	大町市	2	1	1	4	69	278	15	882	117	135	201	1,295
	池田町	0			0	15	74	10	398	38	39	63	511
	松川村	0	0		1	4	29			13	21	17	50
	白馬村	91	1,466		1,558	19	131	2	123	11	15	32	269
	小谷村	94	109		203	85	261	13	986	57	80	155	1,327
	小計	188	1,577	1	1,765	192	773	40	2,389	236	290	468	3,452
計画区合計		650	2,341	53	3,044	617	2,877	109	4,380	722	1,329	1,448	8,586

注)

- 1 四捨五入の関係で各項目の加算値等の計が必ずしも一致しない場合がある。
- 2 荒廃地(崩壊地)は森林簿から集計 (令和7年9月1日現在)
- 3 荒廃危険地は、山地災害危険地区調査について(昭和53年7月17日付け53林野治第1817号林野庁長官通達)による山地災害危険地区調査の結果に基づく、山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区及び地すべり危険地区のうち、概成箇所以外の地区を集計した。(令和7年3月31日現在 森林づくり推進課資料)

(9) 森林の被害

種 類		山火事(ha)			松くい虫(m3)			獣 害(ha) ※実損面積								
								ニホンジカ			カモシカ			ツキノワグマ		
年 度(年)		R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
松 本	松本市		4	8	15,300	14,164	13,544	0	1	0						
	塩尻市		0		918	1,570	2,405	2		2	1	1	1	4	13	13
	安曇野市	1		0	5,720	5,650	5,600									
	麻績村		0		1,107	690	825									
	生坂村				319	319	204									
	山形村	0														
	朝日村				355	291	549									
	筑北村				2,300	2,633	1,249									
	小計	1	4	8	26,019	25,317	24,376	2	1	2	1	1	1	4	13	13
北 ア ル プ ス	大町市	0			855	1,021	690									
	池田町				90	210	202									
	松川村				500	513	898		0							
	白馬村		0	0												
	小谷村		0													
	小計	0	0	0	1,445	1,744	1,790		0							
計画区合計		1	4	8	27,464	27,061	26,166	2	1	2	1	1	1	4	13	13

(令和7年3月31日現在)

注) 1 山火事は「森林被害報告」(森林づくり推進課)、松くい虫被害は森林づくり推進課資料、獣害は鳥獣対策室資料による。

2 獣害が確認されたものの実損面積が不明な場合は、本表に記載していない。

(10) 防火線等の整備状況
該当なし

4 林業の動向

(1) 保有山林規模別林家数

(単位:戸)

区 分		総 数	0.01ha ～ 1.00ha	1.01ha ～ 5.00ha	5.01ha ～ 10.00ha	10.01ha ～ 50.00ha	50.01ha 以上
松 本	松本市	8,596	5,494	2,504	385	158	55
	塩尻市	3,993	2,407	1,216	206	134	30
	安曇野市	3,144	2,032	867	151	64	30
	麻績村	691	373	239	49	26	4
	生坂村	1,255	798	362	66	26	3
	山形村	390	221	140	15	13	1
	朝日村	484	190	205	52	29	8
	筑北村	1,703	867	591	119	108	18
北 ア ル プ ス	大町市	4,367	2,059	1,421	494	360	33
	池田町	1,380	948	364	49	17	2
	松川村	498	220	194	60	22	2
	白馬村	3,129	2,173	562	233	144	17
	小谷村	1,952	843	754	202	117	36
計画区合計		31,582	18,625	9,419	2,081	1,218	239

(令和7年9月1日現在)

- 注) 1 森林簿より集計
 2 森林簿上の所有者不明森林は除いている
 3 計画区の数値は、町村欄の数値の合計

(2) 森林経営計画の認定状況

ア 民有林計

(単位 面積:ha)

区 分		森 林 経 営 計 画					
		総 数		公 有 林		私 有 林	
		計画数	面 積	計画数	面 積	計画数	面 積
松 本	松本市	26	2,573	12	915	19	1,658
	塩尻市	28	2,821	5	220	26	2,602
	安曇野市	9	465	3	129	7	337
	麻績村	1	89	1	89		
	生坂村						
	山形村						
	朝日村	3	441			3	441
	筑北村	1	181	1	138	1	43
	小計	68	6,571	22	1,491	56	5,080
北 ア ル プ ス	大町市	11	973			11	973
	池田町	4	442	1	29	4	414
	松川村	5	597	2	257	4	341
	白馬村	3	295	1	6	3	289
	小谷村						
	小計	23	2,308	4	291	22	2,016
計画区合計		91	8,878	26	1,782	78	7,096

- 注) 1 市町村長が認定し、令和7年3月31日時点で有効な計画のみを集計した。
2 計画数は公有林と私有林を併せ持つ計画の場合、総数は1と数えているため、
各項の加算値とは必ずしも一致しない。
3 面積は四捨五入をして表示しており、各項の加算値と計は必ずしも一致しない。

イ 県営林及び長野県林業公社所有森林における数値

(単位 面積:ha)

区 分		森 林 経 営 計 画					
		総 数		県有林		林業公社	
		計画数	面 積	計画数	面 積	計画数	面 積
松 本	松本市	2	2,918	1	2,278	1	640
	塩尻市	2	775	1	189	1	586
	安曇野市	2	680	1	551	1	129
	麻績村	2	26	1	22	1	3
	生坂村						
	山形村						
	朝日村	1	11			1	11
	筑北村	2	192	1	90	1	102
	小計	11	4,603	5	3,130	6	1,472
北 ア ル プ ス	大町市	2	722	1	71	1	650
	池田町						
	松川村	1	6			1	6
	白馬村	1	72			1	72
	小谷村	2	1,228	1	885	1	343
	小計	6	2,028	2	957	4	1,071
計画区合計		17	6,630	7	4,087	10	2,543

- 注) 1 面積は四捨五入をして表示しており、各項の加算値と計は必ずしも一致しない。
2 令和7年3月31日時点で有効な森林経営計画について記載した。

(3) 森林組合及び生産森林組合の現況

【森林組合の現況】

区分	組合名	組合員数	執行体制				技能職員 150日以上	出資金総数 (千円)	組合員所有(又は組合経営)森林面積(ha)	高性能林業機械保有状況 (レンタル含む)
			理事 (常勤)	理事 (非常勤)	監事	職員数 (兼務含む)				
松本	松本広域	9,973	1	19	3	40	38	121,560	60,462	52
北ア	北アルプス	4,474	1	12	3	13	9	63,879	23,786	7
計画区計		14,447	2	31	6	53	47	185,439	84,248	59

注) 林務部業務資料(信州の木活用課)による。

【生産森林組合の現況】

区分	組合員数	執行体制			組合経営森林面積(ha)						
		理事 (常勤)	理事 (非常勤)	監事	総数	所有林	分収林等	その他	人工林	天然林	その他
松本	1,362	0	100	23	2,769	2,769	0	0	2,351	418	0
北ア	33	0	3	2	588	579	0	9	47	531	10
計画区計	1,395	0	103	25	3,357	3,348	0	9	2,398	949	10

注) 林務部業務資料(信州の木活用課)による。

(4) 林業事業体等の現況

(単位: 者)

区 分	造林業	素材生産業	木材販売業 (うち素材市売市場)	木材・木製品製造業		その他
				製材・加工 チップ・ペレット	プレカット	
松本	9	9	11 (1)	16	2	
北アルプス	7	11	5 (0)	7		2
計	16	20	16 (1)	23	2	2

- 注) 1 造林業については「令和6年度林業事業体等調査結果」(信州の木活用課)による。
 2 造林業以外については「令和6年度長野県木材統計」(県産材利用推進室)による。
 3 その他には休業・廃業を含む

(5) 林業機械化の概況

高性能林業機械の導入状況

(単位: 台)

区 分	プロセッサ	ハーベスタ	フォワーダ	タローヤード	スイングヤード	その他	計
松本	4	11	18	1	14	41	89
北アルプス	2	3	7		1	10	23
計	6	14	25	1	15	51	112

注) 「林業機械保有状況調査」(信州の木活用課)による。(令和6年3月31日現在)

(6) 林道等林内路網の状況

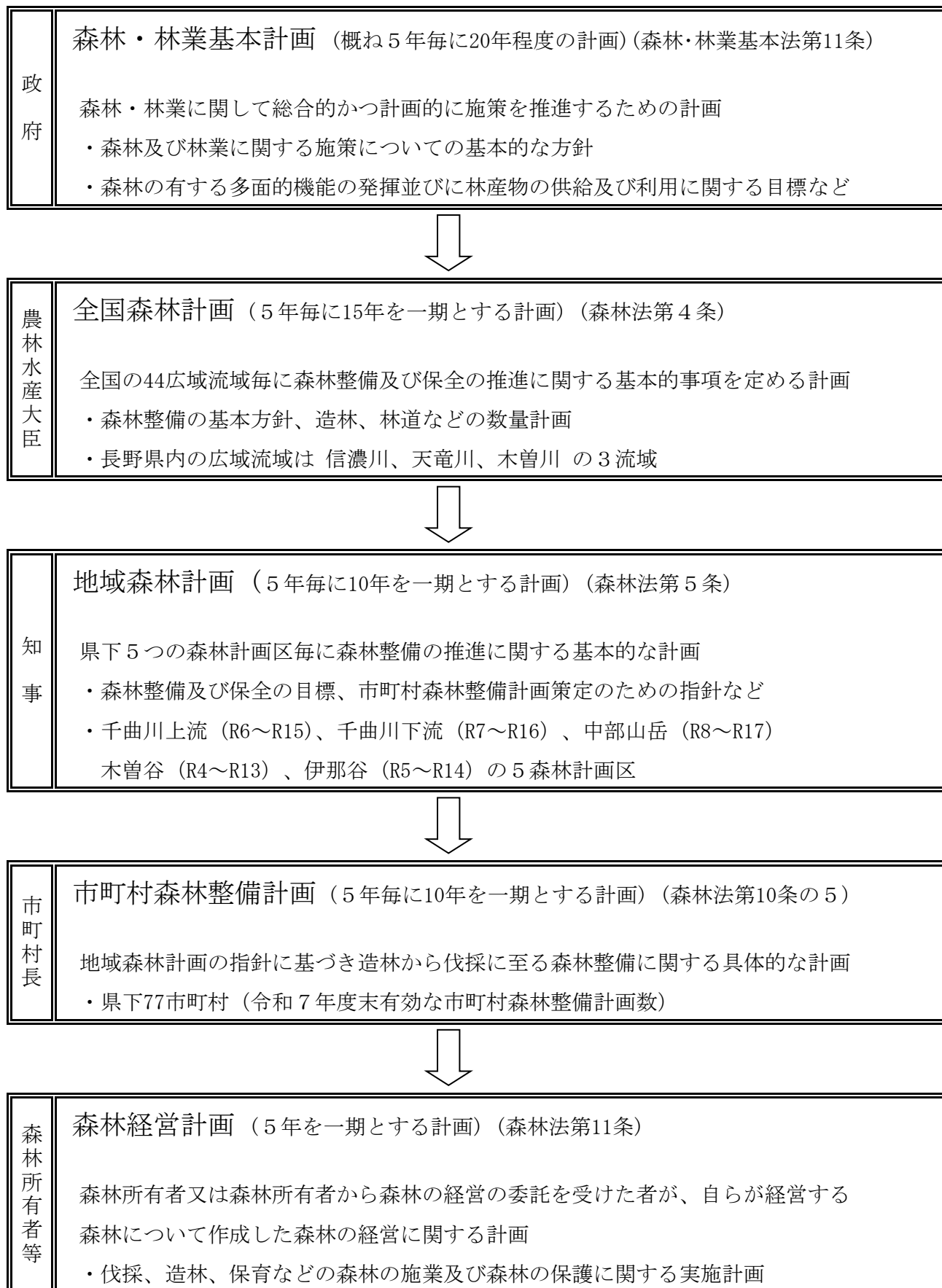
(単位 延長:m、面積:ha)

地区	市町村	民有林 面積 (A)	林道延長 (B)	林内公道 延長 (C)	林内道路 延長 (D) =(B)+(C)	林内道路 密度 (D)/(A)	作業道 延長 (E)	作業道 密度 (E)/(A)	林内路網 延長 (F) =(D)+(E)	林内路網 密度 (F)/(A)
松本	松本市	38,378	287,482	283,546	571,028	14.9	228,005	5.9	799,033	20.8
	塩尻市	15,865	77,944	168,241	246,185	15.5	188,389	11.9	434,574	27.4
	安曇野市	10,454	120,690	150,848	271,538	26.0	58,974	5.6	330,512	31.6
	麻績村	2,337	9,514	45,500	55,014	23.5	2,210	0.9	57,224	24.5
	生坂村	3,058	16,491	36,500	52,991	17.3	1,660	0.5	54,651	17.9
	山形村	1,273	19,733	19,800	39,533	31.1	6,874	5.4	46,407	36.5
	朝日村	6,085	38,312	15,600	53,912	8.9	21,440	3.5	75,352	12.4
	筑北村	8,245	81,396	129,151	210,547	25.5	25,664	3.1	236,211	28.6
	小計	85,696	651,562	849,186	1,500,748	17.5	533,216	6.2	2,033,964	23.7
北アルプス	大町市	19,117	129,683	136,428	266,111	13.9	223,222	11.7	489,333	25.6
	池田町	2,143	7,708	30,157	37,865	17.7	62,430	29.1	100,295	46.8
	松川村	1,686	17,748	3,300	21,048	12.5	35,123	20.8	56,171	33.3
	白馬村	10,599	25,691	46,500	72,191	6.8	76,829	7.2	149,020	14.1
	小谷村	16,441	99,994	50,916	150,910	9.2	9,292	0.6	160,202	9.7
	小計	49,986	280,824	267,301	548,125	11.0	406,896	8.1	955,021	19.1
合計		135,683	932,386	1,116,487	2,048,873	15.1	940,112	6.9	2,988,985	22.0

- 注) 1 本表の民有林面積(A)は長野県民有林の現況(令和7年版)による。
2 本表の延長数値(B) (C) (E)は「令和6年度市町村別林内道路現況」による。
(令和7年3月31日現在 信州の木活用課調べ)
3 軽車道は林道延長に含めず、作業道延長に含める。

5 その他

(1) 森林計画制度の体系



(2) 持続的伐採可能量

第 1 表 主伐（皆伐）上限量の目安（年間）

（単位：材積 千 m^3 ）

主伐（皆伐）上限量の目安（千 m^3 ）	
525	千m^3

第 2 表 持続的伐採可能量（年間）

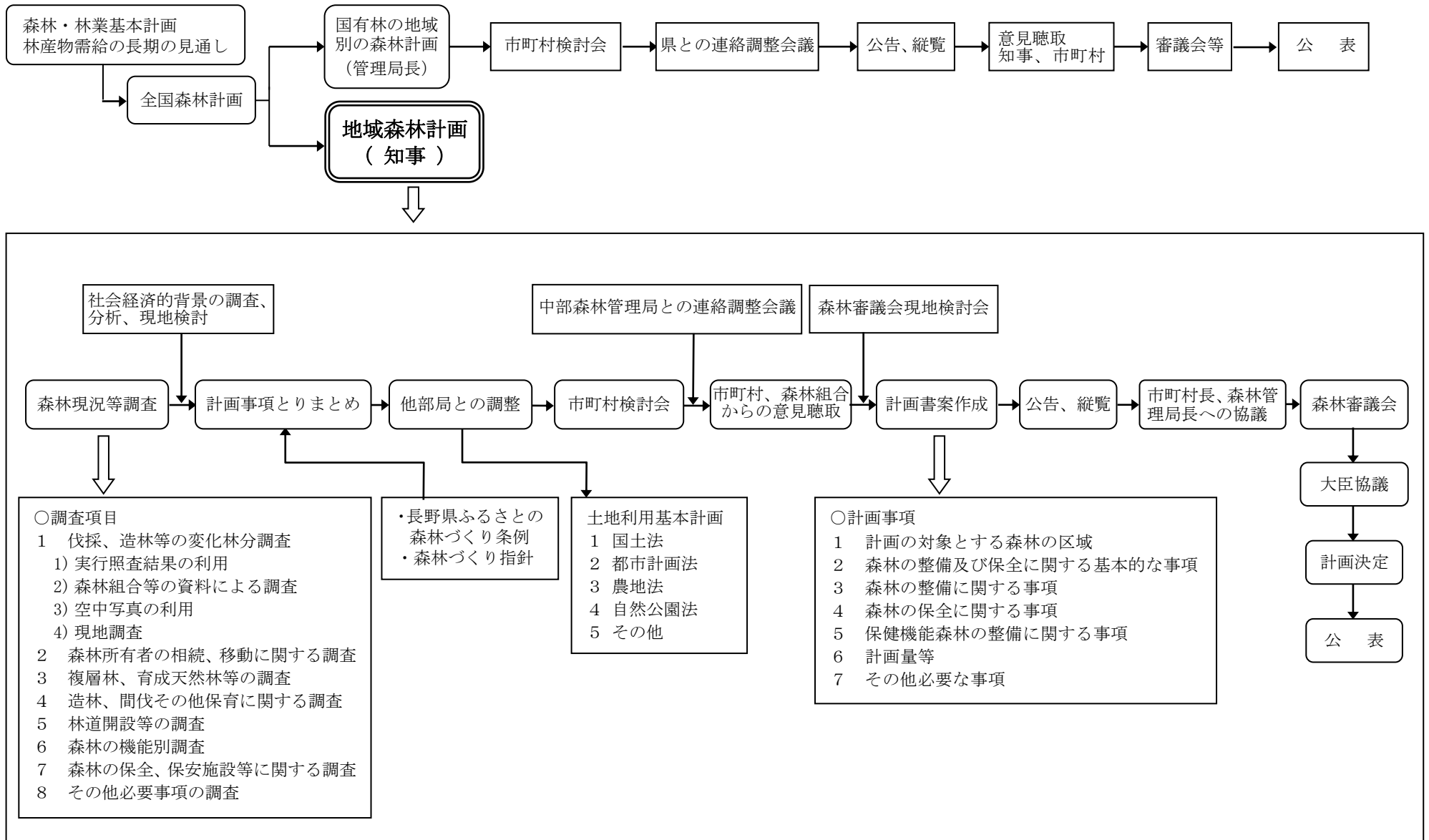
（単位：再造林率 %、材積 千 m^3 ）

再造林率	持続的伐採可能量	間伐立木材積	合計
100%	525	102	627
90%	473		575
80%	420		522
70%	368		470
60%	315		417
50%	263		365
40%	210		312
30%	158		260
20%	105		207
10%	53		155

注 1 間伐立木材積は地域森林計画Ⅱの第 6 の 1 に定める計画量を記載する。

注 2 記載する材積は伐採立木材積であり、素材換算材積でないことに注意。

(3) 地域森林計画樹立の流れ図



付属資料の利用にあたって

地域森林計画の編成に当たっては、地域森林計画書とともに付属資料を作成したので、下記の事項を理解の上、林業経営及び林務行政資料として広く活用してください。

1 資料作成並びに調査の方法

(1) 資料作成の目的

森林資源の把握を主目的として、森林経営及び林務行政の参考資料とするため、編成地域森林の地況、林況、森林施業の方法及びその他必要な事項についてまとめた。

(2) 調査の方法

「地域森林計画及び国有林の地域別の森林計画に関する事務の取扱いについて」（平成 23 年農林水産事務次官依命通知）及び「同取扱いの運用について」（平成 23 年林野庁長官通知）に基づき以下の調査を行った。

ア 現況調査

地況、林況、森林施業の方法その他必要な事項について、空中写真及び森林計画図、国土調査法による地籍調査、伐採届等の資料等を利用し、市町村、森林組合の協力を得て現地調査を行うなどの方法で実施した。

イ 補足調査

自然公園法、自然環境保全法、都市計画法等、他の法令による森林施業の制限の方法等については、関係官公庁及び関係部・課の資料により、個々の調整を図り現地調査にあわせて実施した。

(3) 資料のとりまとめ

前項の調査結果に基づいて、森林簿及び、森林計画図を作成した。面積は、実測値または、森林地理情報システム（以下：森林GIS）により計測した数値を用い、材積については、計画区ごとに調整した「長野県地域森林計画主要樹種林分材積表（昭和 61 年 3 月調整）」によったものである。これらのデータを利用した森林GISにより資源構成表を作成することが可能である。

2 資料使用に当たっての注意事項

(1) 用語及び記号

ア 森林所有者

森林法第 2 条第 2 項の規定により、森林の土地の上に木竹を所有し育成することができる者を森林所有者とした。

イ 林班、小班、施業番号、枝番及び整理番号

(ア) 林班は、旧 121 市町村単位に一連番号とした。

(イ) 小班は、い・ろ・は……で表示しているが、場合によっては、A・B・C……で表示しているものもあるので、これについては、A=い、B=ろ、C=は……と読み換える。

(ウ) 施業番号は、小班ごとに 1 から一連番号で表示しているが、転用等で欠番になっているものもある。

(エ) 枝番は、施業番号を分割する必要がある場合に、施業番号ごとにイ・ロ・ハ……で表示しているが、森林GISのCSV出力データ等では、A・B・C……で表示している場合があるので、これ

については、A＝イ、B＝ロ、C＝ハ……と読み換える。

- (オ) 整理番号は、複層林や混交林などを表示するためのもので、施業番号・枝番ごとに1から一連番号で表示している。

(2) 利用上の注意

ア 森林所有者

森林所有者名については、市役所、町村役場の段階で判別できるものについて、所有者の異動について見直しを行っているが、全ての異動について把握しきれないので、現実とは必ずしも一致しない。

イ 森林簿及び森林計画図の精度等

森林簿及び森林計画図は、空中写真等からの間接調査法により、森林資源の把握を目的として作成したもので、所有者、所有界、面積等については、登記簿等の照合や所有界等の現地確認は行っていない。そのため、所有権者、所有界、面積等、土地に関する諸権利についての根拠や証拠などに利用することはできない。

なお、森林GISの更新機能利用者にあつて、経年変化等による林相等の変化を把握した場合は、その時点で、森林簿及び森林計画図の修正案を作成し、修正案の承認を依頼するものとする。

3 森林計画図の表示について

(1) 森林計画図の林班、小班、施業区画の区画線について

ア 林班の区画

(ア) 区画線 

(イ) 林班名 アラビア数字で表示

イ 小班の区画

(ア) 区画線 

(イ) 小班名 ㊦、㊧、㊨、表示

ウ 施業の区画

(ア) 区画線(界)  (森林所有者界又は施業区画界)

(イ) 施業番号名 1、2又は1ーイ、1ーロ、2イ、2ロ等(イ、ロを枝番という)
500番台以上の表示があるものは、地域森林計画対象森林以外の民有林である。

(2) 森林に接する森林以外は黒ボカシ

(3) 制限林等の表示


ア 森林法による制限林

(既存森林計画図の表示)

(森林GISの表示)

(ア) 水源かん養保安林  



(イ) 土砂流出防備保安林   



(ウ) 土砂崩壊防備保安林  



(エ) 飛砂防備保安林 

(オ) 防風保安林 



(カ) 水害防備保安林 



(キ) 干害防備保安林	⊕	干害		⊕
(ク) 落石防止保安林	⊙落	落石		⊙落
(ケ) 風致保安林	⊙風	風致		⊙風
(コ) 保健保安林	⊙保	保健	保保	⊙保
(ク) 保安施設地区		保施		⊙施
イ 自然公園による制限林				
(ア) 国立公園特別保護地区		国立特		国特
(イ) 国立公園第1種特別地域		国立1		国1
(ウ) 国立公園第2種特別地域		国立2		国2
(エ) 国立公園第3種特別地域		国立3		国3
(オ) 国立公園 普通地域		国立普		国普
(カ) 国定公園第1種特別地域		国定1		定1
(キ) 国定公園第2種特別地域		国定2		定2
(ク) 国定公園第3種特別地域		国定3		定3
(ケ) 県立公園第1種特別地域		県立1		県1
(コ) 県立公園第2種特別地域		県立2		県2
(ク) 県立公園第3種特別地域		県立3		県3
(シ) 県立公園 普通地域		県立普		県普
ウ その他の法令による制限林				
(ア) 砂防指定地	⊙砂			⊙砂
(イ) 鳥獣保護区 特別保護地区		鳥特		鳥特
(ウ) 都市計画区域風致地区		都風		都風
(エ) 林業種苗法特別母樹林		母樹		母樹
(オ) 文化財保護法史跡名勝天然記念物		文化財		文化
(カ) 急傾斜地崩壊危険区域	⊙急	急傾斜		⊙急
エ 特定施業森林				
(ア) 伐採方法その他施業の方法を特定 する必要のある林分	⊙施			—

4 資料管理上の注意事項

森林簿等の管理については、「長野県森林情報資産取扱要領」（以下「取扱要領」という。）にしたがって適正に管理するものとし、特に個人情報については取扱いに十分注意すること。林業経営上、森林基本図（地形図のみ）を複製及び使用しようとする者は、測量法第 43 条及び第 44 条の規定によって知事の承認を得なければならない。

なお、森林基本図及び森林計画図の写しの交付希望がある場合は、取扱要領に定める申請書に電子媒体を添付し、申請すれば配付する。

用語の説明

※原則として五十音順としていますが、関連する用語は一括して記載しました。

用語	説明																				
育成林	植栽の有無にかかわらず、育成のために人の手を積極的に加えていく森林。 上層、下層の階層構造に着目して「育成単層林」「育成複層林」に区分し、主として天然力の活用により保全・管理する森林を「天然生林」として区分する。 なお、以前の区分と比較すると次のとおりである。 <div style="text-align: center;"><table><tr><td></td><td>(旧区分)</td><td></td><td>(新区分)</td></tr><tr><td>人工林</td><td>単層林</td><td>—————</td><td>育成単層林</td></tr><tr><td></td><td>複層林</td><td>—————</td><td>育成複層林</td></tr><tr><td>天然林</td><td>育成天然林</td><td>／</td><td></td></tr><tr><td></td><td>天然生林</td><td>—————</td><td>天然生林</td></tr></table></div>		(旧区分)		(新区分)	人工林	単層林	—————	育成単層林		複層林	—————	育成複層林	天然林	育成天然林	／			天然生林	—————	天然生林
	(旧区分)		(新区分)																		
人工林	単層林	—————	育成単層林																		
	複層林	—————	育成複層林																		
天然林	育成天然林	／																			
	天然生林	—————	天然生林																		
育成単層林	森林を構成する林木の一定のまとまりを一度に全部伐採し、人の手（植栽及び萌芽等）により単一の樹冠層を構成する森林として成立させ、維持する施業が実施されている森林。																				
育成複層林	森林を構成する林木を抜き伐りにより部分的に伐採し、人の手（植栽、刈り払い、地表のかき起こし等）により複数の樹冠層を構成する森林として成立させ、維持する施業が実施されている森林。																				
天然生林	天然林のうち、主として天然力を活用することにより成立させ維持する施業が実施されている森林。																				
一斉林	樹冠の層がほぼ同じ高さで樹種が単一である森林。一般に皆伐跡地に同一樹種を一斉に植栽されたものが成長してできるため、単層林、同齢林、単純林ともいう。																				
うっ閉	隣り合う林木の樹冠が相接してすきまがなくなった状態。																				
枝打ち	完満な材を作るため、計画的に下枝の一部を幹に沿って、ナタや鋸等で除去する作業のこと。 枝打ちの目的は、材の付加価値を高めることや病虫害の防止等のほか、林内に光を入れ、下層植生を生育させ、公益的機能の発揮を目指すことである。																				
枝下高	枝のない幹の部分の高さ。地上から最初の枝までの高さ。																				
皆伐	主伐の一種で、森林の林木の全部あるいは大部分を同時に伐採する方法。																				
拡大造林	天然林の伐採跡地又は原野等に人工造林を行うことで、多くの場合は広葉樹天然林から針葉樹人工林へ転換させる。																				
間伐	混みすぎた森林の立木を抜き伐りにより適正な密度にし、林木の利用価値の向上と森林の有する機能の維持増進を図るための伐採。																				
官行造林	公有林野等官行造林法（大正 9 年 7 月 27 日法律第 7 号）に基づき、市町村有の林野等に国が造林し、その収入を国とその市町村等が分割取得する分収造林の一種。 本法律は昭和 36 年 5 月 19 日に廃止されたが、契約期間中の団地が県下に存在している。																				
胸高直径	立木材積測定法に用いられ、本県においては山側の地上 1.20m の位置での立木の直径をいう。																				
クローネ （樹冠）	樹木の上部に付いている枝と葉の集まりのこと。																				
公益的機能別 施業森林	「森林の有する機能ごとの森林の整備及び保全の目標並びに基本方針」のうち、特に公益的機能の高度発揮が求められる森林で、これらの公益的機能の維持増進を図るための森林施業を積極的かつ計画的に実施することが必要かつ適切と見込まれる森林の区域。市町村森林整備計画において設定される。																				

用語	説明
高性能 林業機械	1 台の機械で多くの工程を処理したり、単一の工程を能率良く処理できる林業用の機械をいい、機械の種類にはフェラバンチャ（伐倒）、プロセッサ（玉切り・枝払い）、ハーベスタ（伐倒、玉切り、枝払い）、タワーヤーダ（集材）、スキッダ（集材）、フォワーダ（集材運搬）、グラップルソー（玉切り、集積、積込）等がある。
更新	森林の樹木の世代交代のこと。 目的に達した成熟林分を伐採利用して、後継林分を育てること。
(天然更新)	専ら天然力で後継樹を仕立てることで、種子が発芽して成長する場合（天然下種）と萌芽が大きくなる場合（萌芽更新）がある。 天然更新を成功させるため、発芽条件の改善、稚樹の補充、稚樹の保護、保育などの更新補助作業がある。
(人工更新)	人の力によって、種子、苗木、さし穂等を造林地に定着させて仕立てられた林をいうが、ほとんどは苗木の植栽による。 人工更新＝人工造林といってよく、仕立てられた林は人工林である。
国有林	森林法第 2 条第 3 項に規定される、国が森林所有者である森林及び国有林野の管理経営に関する法律第 10 条第 1 号に規定する分収林。
民有林	国有林以外の森林。 私有林（個人有、会社有、社寺有等）、公有林（県有、市町村有、財産区有）がある。
混交林	2 種類以上の樹種からなる森林で単純林（一斉林）に対するもの。混交林は、性質の異なった樹種、例えば針葉樹と広葉樹（針広混交林）が適当に配置されることになり、病虫害被害や山地災害に強い森林を作ることができる。
混牧林	農業振興地域の整備に関する法律第 3 条第 2 号に規定される「主として木竹の生育に供され、従として耕作又は養畜の業務のための採草又は家畜の放牧の目的に供される土地」をいう。混牧林は林業と畜産の複合利用を意図したもので、農用地としても扱われる。
材積	素材や立木の体積のこと。m ³ （立方メートル）で表す。
再造林	人工林の伐採跡地に人工造林を行うこと。多くは、針葉樹の人工林の伐採跡地に再び針葉樹の苗木を植栽するもの。
作業路	伐採、造林、保育等の森林施業を行うために、林道等から作業現場へ向けて開設した低規格（幅員 3m 程度）の作業用道路をいい、作業終了後は、原則として再び森林に復する。
砂防指定地	砂防法第 2 条に基づき、砂防設備を要する土地又は治水上砂防のため一定の行為を禁止若しくは制限する土地のことをいい、国土交通大臣が指定する。 立木の伐採等について、知事の許可が必要な場合がある。
指定施業要件	保安林における立木の伐採の方法及び限度並びに伐採後の植栽方法、期間及び樹種をいう。
自家用林	森林法第 10 条の 8 第 1 項第 7 号に規定される「普通林であつて、自家の生活の用に充てるため必要な木材その他林産物の採取の目的に供する森林」で北海道では 2ha 以内、北海道以外では 1ha 以内で指定される。伐採する場合は「伐採及び伐採後の造林の届出書」の提出は不要である。
下刈り	幼齢造林木の生育を妨げる雑草木を刈り取ること。
収量比数 (Ry)	林分密度管理図に示されている最多密度線に平行して示される線のことで、ある平均樹高の時のその林分がもてる最大の幹材積に対する割合。
主伐	伐期に達した立木を伐採することで、次の世代の樹木の育成（更新）を伴う伐採。伐採方法としては、皆伐、択伐、傘伐（漸伐）等がある。

用語	説明
除伐	植栽した林がほぼうっ閉した時に行う保育作業で、植栽樹種以外の樹種を切り払うことをいうが、植栽樹種でも形質の劣る場合は合わせて切ることもある。
人工林	人工造林（人の力で苗木や種子を造林地に定着させて仕立てる方法）によって仕立てられた林。天然更新や直播による場合もあるが、通常は人工造林によってできた林を指す。
薪炭林	燃料用の木材を採取する目的の林で、広葉樹の萌芽更新によって更新される森林。
森林計画制度	<p>国有林、民有林の両者を通じて、森林の管理方法を秩序づけるため、法律や規則等により、森林の取扱いの内容と場所と時期についての予定を一定の形式に整え、実施することで森林の経営を規制する制度。</p> <p>具体的には、森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、森林を重視する機能に応じて区分し、望ましい森林へ導くため、森林整備を実施するための方法や数量等を計画することで、国、県、市町村、森林所有者のレベルで計画が作成される。</p>
全国森林計画	農林水産大臣が森林・林業基本計画に即し、全国の森林について5年ごと15年を1期として立てる計画。
地域森林計画	民有林を対象として、森林計画区毎に都道府県知事が全国森林計画に即して5年ごと10年を1期として立てる計画。
市町村森林整備計画	森林法第10条の5に基づき、市町村長がその市町村内の森林について5年ごと10年を1期として樹立する造林から伐採に至るまでの総合的な森林整備計画。
森林経営計画	森林法第11条に基づき、森林所有者又は森林経営の受託を受けた者が、単独又は共同で面的にまとまりをもった森林を対象として作成する伐採、造林、路網整備、森林の保護等に関する5ヶ年の計画。
地域森林計画対象民有林	森林法第5条に基づき知事が立てる地域森林計画の対象とする民有林をいい、伐採及び伐採後の造林の届出書、造林補助金、林地開発許可等の対象となる。
地域森林計画対象外民有林	森林法第2条に規定する森林であるが、地域森林計画の対象としない民有林をいう。
森林計画区	森林法第7条第1項の規定により、農林水産大臣が知事の意見を聴いて、地勢等を勘案しながら流域別に都道府県の区域を分けて定めたもので、全国で158、長野県では千曲川上流、千曲川下流、中部山岳、木曽谷、伊那谷の5計画区がある。
森林簿	地域森林計画を樹立するために必要な地況、林況等の調査を実施し、その結果を林小班ごとに示した簿冊。
森林基本図	空中写真等の図化成果を用いて作成した1/5,000の地形図。
森林計画図	1/5,000の地形図に行政区界、林小班界、林道等を示した図面で、森林簿の林小班と整合している。
森林GIS	森林地理情報システム（Geographic Information System）。図面を介して森林の位置からいろいろな情報を得ることができるシステム。
森林の有する機能	流域を基本的な単位として、森林の有する諸機能を「水源涵（かん）養」、「山地災害防止/土壌保全」、「快適環境形成」、「保健・レクリエーション」、「文化」、「生物多様性保全」及び「木材等生産」に分類し、これらの機能ごとに森林の整備及び保全の目標と基本方針を定めている。

用語	説明
森林・林業基本法	平成 13 年度に林業基本法が改正され、森林・林業基本法となった。 この法律の基本理念は、従来の木材生産を主体としたものから森林の多面的機能の持続的発揮を目指したものへ大きく転換され、今後の森林づくりや森林政策の規範となるものである。
森林・林業基本計画	森林・林業基本法第 11 条に基づき、政府が立てる森林・林業・木材産業に関する基本計画で、森林の多面的機能の持続的発揮、林業の健全な発達、林産物の利用及び供給の確保を柱とし、森林・林業・木材産業の目標設定と関連施策を示している。
森林土壌	森林植生の生立の基盤となっている土壌であり、また、森林植生の影響下で土壌生成が行なわれた土壌。
(褐色森林土)	最も広く分布する森林土壌で、BD 型（適潤性褐色森林土）に代表されるようにスギ、ヒノキ人工林や広葉樹林が生立している。
(ポドゾル)	寒冷湿潤な気候下の針葉樹林帯に出現し、酸性が強いため、土壌中の鉄やアルミニウムが溶脱し下層に集積する。灰白色を呈し、林木の成長は悪い。
(グライ)	地下水の影響を受けて水が停滞し、青灰色を呈する土壌で、湖沼や湿地に多く出現し、林木の成長は悪い。
森林法	明治 30 年に制定され、昭和 26 年に全面的に改正され新たに公布された森林行政の基本法典。内容は、総則、森林計画等、保安施設、土地の使用、森林審議会、雑則からなり、森林計画では基本となる法律である。 (主な改正) 平成 10 年改正 <ul style="list-style-type: none"> ・伐採届の受理等の権原が市町村へ権限移譲された ・市町村森林整備計画制度が定められた（全市町村で策定が義務づけ） 平成 23 年改正 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の森林の機能区分（3 区分）が廃止され、公益的機能別施業森林等（6 区分）となった ・森林経営計画制度、森林の土地の所有者届出制度が創設された 平成 28 年改正 <ul style="list-style-type: none"> ・「伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書」の提出が義務化された ・林地台帳制度が創設された
森林立地	森林の生育に影響を与える環境因子（土壌、地形、気象、生物等）を総合して森林立地という。
森林施業	森林を維持造成するために、森林に対して行う伐採、造林、保育等の作業を指すとともに、目的に応じた森林の取扱いをすることという。
成長量	樹木がある期間に成長した量をいう。通常は樹幹材積の成長した量（材積成長量）をいう。 1 年間に成長した量を連年成長量、現在までに成長した量を総成長量、その平均を平均成長量という。
素材生産	立木を伐採、搬出、玉切りし、丸太（素材）にする一連の作業をいう。
疎密度	林地面積に対する樹冠投影面積の占める比率（樹冠疎密度）をいう。 3/10 未満の場合は無立木地として扱っている。
択伐	主伐の一種で、成熟した森林において単木又は群状的に立木を伐採・収穫することをいうが、個々の樹木を健全に育てるとともに後継樹が順調に育つように伐採木を選んで伐採することもある。

用語	説明
地位	林地の材積生産力を示す指数。樹種毎に 40 年生時の樹高を示して地位指数として表すこともある。
地況	位置、気候、地勢、地質、土壌、地位及び地利等の要素を一括して地況という。
地利	林地が木材の運搬等に関して経済的位置の有利な程度を示す。
蓄積	林分の材積の総量を指し、森林簿では施業番号ごとにm3（立方メートル）で整数表記している。
鳥獣害防止森林	対象となる野生鳥獣（ニホンシジカ等）による食害や剥皮等の被害がある森林又はそれら被害がある森林の周辺に位置し被害発生のおそれがあるなど、対象鳥獣による被害を防止するための措置を実施すべき森林。
長伐期施業	高い林齢で主伐する施業で、およそ標準伐期齢の 2 倍以上の林齢で主伐する場合をいう。
つる切り	下刈りを終了した後に、クズ、フジ等のつる植物が植栽木に巻き付く場合、ナタや除草剤でこれらを除去する作業をいう。
天然更新補助作業	自然の力で種子が飛散したり、切り株から新芽が生えて生育する世代交代を助ける作業のこと。種子の発芽を促すため、地表のかき起こしや根株に密生した若芽（萌芽枝）を切って本数を減らして整理する作業がある。
特定保安林	保安林の指定目的の機能の発揮を確保するため、造林、保育、伐採等の施業を早急に実施する必要があると認められる保安林。
特用林	森林法第 10 条の 8 第 1 項第 8 号で規定される立木の果実（樹液、樹皮又は葉）の採取に主として供される普通林。「伐採及び伐採後の造林の届出」の適用は受けない。
特用林産物	主に森林原野において、生産又は採取されている産物の内、建築やパルプなどに使われている材木を除く品目の総称であり、きのこ類、くり・くるみなどの樹実類、わらびなどの山菜類、その他木炭、薪、漆などの種類がある。
二次林	原生の森林が伐採され、その後萌芽等により天然力で復した森林をいう。植生遷移の 2 次遷移からいう。
伐期齢	施業目的に従い林分が成熟期に達して、主伐によって収穫する林齢。
(標準伐期齢)	主要樹種について平均成長量が最大となる林齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の伐採齢及び森林の構成を勘案して定める。 地域の標準的な伐採時期として林業経営上の指標や保安林等の制限林の伐採規制（主伐は標準伐期齢以上の林齢）、森林評価（損失補償）等の基準年齢としても用いられている。
(伐期の延長を推進すべき森林の伐期齢)	地域森林計画書において、主伐林齢の下限が標準伐期齢に 10 年を加えた林齢以上として定められている。
(長伐期施業を推進すべき森林の伐期齢)	地域森林計画書において、主伐林齢の下限が標準伐期齢のおおむね 2 倍以上に相当する林齢として定められている。
(適正伐期齢)	個々の林業経営では、伐期は標準伐期齢を基準に検討されるが、経営目標や経済事情、林分の生育状況等、標準伐期齢に従った一律的な伐採はできないことから、森林所有者が経営目標等を勘案して林分毎に定める伐期齢をいう。 市町村が地域の実情に応じて、市町村森林整備計画で具体的に定めることができることとされていたが、森林計画制度の見直しにより、廃止された。

用語	説明
伐採の届出	<p>森林法第 10 条の 8 第 1 項の規定により、森林所有者等は地域森林計画対象森林を伐採する場合は、あらかじめ市町村長へ「伐採及び伐採後の造林の届出書」を提出する必要がある。</p> <p>伐採計画に加えて伐採後の造林の方法別面積、植栽樹種別の面積、本数等を記載する。</p>
(伐採及び伐採後の造林計画の変更命令)	<p>森林法第 10 条の 9 に基づき、提出された「伐採及び伐採後の造林の届出書」に記載された伐採面積、伐採方法、伐採林齢及び造林方法、樹種、植栽面積、本数が市町村森林整備計画に適合しない場合は、市町村長が届出者に伐採及び伐採後の造林計画の変更を命ずることができる。</p>
(伐採及び伐採後の造林計画の遵守命令)	<p>森林法第 10 条の 9 に基づき、森林所有者等の行う伐採及び伐採後の造林が、提出された「伐採及び伐採後の造林の届出書」に記載された、伐採面積、伐採方法、伐採林齢及び造林方法、樹種、植栽面積、本数に従って行われていない場合は、市町村長は伐採及び伐採後の造林の計画の遵守を命令することができる。</p>
施業の勧告	<p>森林法第 10 条の 10 に基づき、森林所有者等が市町村森林整備計画に従って施業していないと認められる場合は、市町村長が勧告できる制度。</p> <p>なお、要間伐森林の施業が適切に行われない場合は勧告、調停、制定の制度がある。</p>
複層林施業	<p>皆伐をせずに更新を行っていく施業のことで、複数の林冠（複数の樹冠により構成）を形成するため、複層林という。林冠層が 2 段の場合は 2 段林、多数にわたる場合は多段林という。</p>
(樹下植栽)	<p>複層林を造成するとき、上層木の下に下層木を造成するために行う植栽。</p>
(受光伐)	<p>複層林を造成するときに、下層木の成長を促すため林床に光を入れるように上層木を抜き伐ることをいう。</p>
保安林	<p>森林の有する水源涵養、災害の防備、生活環境の保全等の公益的機能を発揮させる森林を保安林として指定し、その森林の保全と適切な森林施業の確保を図り、目的の機能の維持・増進を図る。</p> <p>保安林は森林法第 25 条第 1 項に掲げる指定の目的により 17 種とされている。</p>
保育	<p>目的樹種の成長の障害となる他の植物を人手により取り除き、林木の成長を助ける作業をいう。</p> <p>下刈り、雪起こし、除伐、つる切り等の作業がある。</p>
保育間伐	<p>間伐材を利用しない間伐（切り捨て）をいう。</p>
保健機能森林	<p>森林の保健機能の増進を図るべき森林をいう。</p>
法正林	<p>毎年一定した収穫のできる要件を完備した森林のこと。</p>
保護樹林帯	<p>山地災害防止や植栽木の保護のため、前生樹の一部を等高線に沿って帯状に残した樹林帯をいう。</p>
面積	<p>森林の面積は通常 ha 単位で表す。森林簿では小数点以下第 2 位まで表記している。</p>
木材生産機能の維持増進を図る森林の区域	<p>林木の生育が良好な森林で、地形、地理等から効率的な木材生産のための森林施業が可能な森林の区域を設定する。</p>
材	<p>針葉樹では構造材、建築用材を指し、広葉樹では家具用材を指す。</p>

用語	説明
保続	収穫が毎年連続してあることをいう（収穫の保続）。林業経営が連続的にできることを保続経営ともいう。
立木 (りゅうぼく)	森林法では土地に生立している木竹のことをいう。
立木密度	単位面積当たりに生立している木の密度をいう。密度は本数で表す場合が多い。 (本/ha)
林況	林種、樹種、林齢、胸高直径、樹高、本数、材積、成長量等の要素を一括して林況という。
林業専用道	主として森林施業用の車両の走行を想定する道。 普通自動車(10t 積程度のトラック)及び大型ホイールタイプのフォワーダの走行を想定し、森林施業のため特定の人が利用する必要最低限の構造を持ち、林道台帳により管理されているもの。
林業労働力 確保支援 センター	「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、林業労働力の育成確保、就労条件の改善、労働安全衛生の確保等を推進するために設置された公益法人。県下に1ヶ所設置されている。
林相	森林を構成する樹種、林齢、大きさなどで表される森林の姿をいう。
林地	森林の土地の部分というが、木竹が集団で生立している土地を指す場合が一般的である。
林道密度	森林の単位面積当たりの林道延長をいい、通常m/haで示す。 なお、林道に林内に存在する一般道路を加えたものの密度を林内道路密度といい、同様にm/haで示す。
林班	森林計画では、森林の位置を明らかにする必要があることから、対象の森林を字界や尾根、谷等の天然地形で区画したものを「林班」といい、市町村の区域ごとにおおむね50ha程度で設定し、数字で表している。 林班内を天然地形等で5ha程度に区画したものを「小班」といい、「い、ろ、は・・・」の文字で表している。 小班内を森林所有者、林相、林齢、樹種、法令に基づく制限等の異なる毎に細かく分けたものを「施業番号」といい、数字で表記している。
林分	森林の取扱いの単位となる樹木の集団及びそれが生えている林地を合わせて「林分」という。樹木の集団のみを指す場合は「林木」という。
林木	林分を構成している樹木のことをいう。
林齢	林分が生立して経過した年数をいい、人工林は更新年度(植栽年度)を1年生と数える。通常3年生の苗木を植栽するため、樹齢(実際の年齢)とは異なる。天然林のように異なった年齢の樹木が混じって生育している場合は、平均年齢を林齢とする。
齢級	ある一定の年齢の幅に林齢をまとめたものをいう。通常は5年毎にまとめる。 1齢級は1年生から5年生、2齢級は6年生から10年生をいう。
路網整備等 推進区域	森林整備の集約化と路網の整備により、低コストの森林整備を推進する区域で、市町村森林整備計画において設定される。